

英語大好きキッズを育てる
「北九州市型
外国語教育」
ハンドブック



～北九州市と世界をつなぐ
グローバル人材の育成を目指して～

目次

I ハンドブック作成の趣旨 1

各段階の活動の位置付けについて 2

II 目指す子ども像 3

III 小学校1・2年生 外国語体験活動「英語大好きタイム」 ハンドブック 4

1 外国語体験活動の目的 5

2 外国語体験活動の内容、指導者、実施時間等 6

3 外国語体験活動での学習評価について 6

4 小学校1・2年生の外国語体験活動における学習到達目標 / TRYリスト形式による
年間指導計画 7

5 英語大好きタイム指導案(ストーリーボード・ピクチャーカード・ワークシート) 10

6 動画・音源データのリスト 108

IV 小学校3・4年生 外国語活動「ファンタイム」 ハンドブック 112

1 外国語体験活動を踏まえた外国語活動の目的 113

2 外国語活動におけるファンタイムの内容、指導者、実施時間等 114

3 外国語活動での学習評価について 114

4 外国語体験活動(英語大好きタイム)との違い、外国語科への接続について 115

5 ファンタイム指導案(ワークシート) 116

V 小学校5・6年生 外国語科「パフォーマンスタイム」 ハンドブック 178

1 小学校5・6年生外国語科の目的 179

2 小学校5・6年生の外国語科におけるパフォーマンスタイムの内容、指導者、実施時間等
.....180

3 小学校5・6年生外国語科での学習評価について 181

4 外国語活動との違い、中学校への接続について 181

5 小中の接続を意識した授業や学校行事について 182

6 パフォーマンスタイムに関するQ&A 182

7 パフォーマンスタイム指導案(ワークシート) 184

VI 中学校 外国語科 パフォーマンステスト ハンドブック

……252

- 1 小学校外国語科を踏まえた中学校外国語科の目的 ……253
- 2 中学校外国語科におけるパフォーマンステストの内容、実施時間、指導する教員 ……254
- 3 中学校外国語科の学習評価について ……254
- 4 小学校外国語科との違い、高等学校への接続について ……255
- 5 小中の接続を意識した授業や学校行事について ……256
- 6 パフォーマンステストに関するQ&A ……256
- 7 パフォーマンステスト指導案・ワークシート・思考ツール ……258

VII 小中連携・接続等を意識した外国語授業や学校行事「つながりタイム」……306

- 1 中学校探検ウォークラリー 指導案 ……307
- 2 「北九州市のふるさと自慢をしよう」指導案／ふるさとかるた英訳 ……310
- 3 ハッピー・イングリッシュ・タイム指導案 ……316

VIII 資料

……318

- クラスルーム・イングリッシュ一覧 ……319



I ハンドブック作成の趣旨

グローバル化が急速に進展し、加速度的に変化を速めている社会において、子どもたちには、多様な他者と協働するためのコミュニケーションの資質・能力を身につけることや、異文化への理解が一層求められるようになっていきます。

そのような背景から、自分の考えをもち、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成を目指して、小学校1年生から中学校3年生までの9年間の指導（特に言語活動の充実）に活用できるハンドブックを作成しました。

目指す子ども像

「北九州市に誇りをもち、自分の考えや気持ちを積極的に伝え、
学び続ける子ども」

このハンドブックは、子どもたちが、楽しみながら、無理なくコミュニケーションの資質・能力を高めていくことができるよう、主に以下の二つに重点を置いています。

- 小学校1年生から9年間を見通した指導
- 学んだ英語を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合う体験をより多く取り入れた指導

また、英語に初めて触れる時期には、外国語を学ぶことの楽しさや、わくわくした気持ちを十分に感じられるように、また、学年が上がるにしたがい、話題を身の回りのことから、日常的なこと、社会的なことに広げながら、自分の考えや気持ちを自分の言葉で伝え合うことができるようになることを意図して、内容を配列しています。

さらに、このハンドブックでは、多様な活動を通してパフォーマンス評価を行うことで、教員が指導と評価の一体化を図ること、また、児童生徒が自分の学びを振り返ることで次の学びへと向かい、児童生徒が主体となる学びを進めていけるよう配慮しています。

ハンドブックにある言語活動を参考に、先生方の授業における言語活動をより充実させ、将来、グローバル社会で活躍し、北九州市と世界の架け橋となる子どもの育成を図っていきましょう。

<各段階の活動の位置付けについて>

1・2年生

外国語体験活動「英語大好きタイム」

1・2年生は外国語活動の前の下地作りの段階、英語との出会いの時期です。
英語に楽しく触れ、好きになってもらうことを大切にします。

3・4年生

外国語活動における言語活動充実の時間

「ファンタイム(“Fun” Time)」

3・4年生ではパフォーマンス評価を取り入れますが、活動型です。テストとしてではなく、楽しい雰囲気アウトプットすることを重視します。

5・6年生

外国語科における言語活動充実の時間

「パフォーマンスタイム」

5・6年生はALTと一対一のやり取り、発表に挑戦します。既習事項を生かして、自分の考えや気持ちを表現するようにします。

中学校

外国語科における言語活動充実の時間

「パフォーマンステスト」

テストの録画を見て分析したり、相互評価したりします。どのくらい話したり書いたりできるか分析し、よりよく表現できるようにします。

小中の接続

小中の接続等を意識した外国語授業や学校行事

「つながりタイム」

外国語の授業において、小中の児童生徒や異学年の児童生徒の交流を図ります。
英語を使って児童生徒が交流することで、小中の接続を円滑にします。

北九州市と世界の懸け橋になる人材を育成するため 中3卒業時の姿につながるよう各段階で指導



GOAL

北九州市に誇りを持ち、自分の考えや気持ちを積極的に伝え、学び続ける子ども

伝え合う

分かり合う

学び合う

目指す子どものすがたを表現するための3つのキーワード

小学校1・2年生 外国語体験活動



「英語大好きタイム」 ハンドブック

Ⅲ 小学校1・2年生外国語体験活動「英語大好きタイム」ハンドブック

Ⅰ 外国語体験活動の目的

小学校1・2年生の「外国語体験活動」（「外国語活動・外国語科」に対し、外国語との出会いの時期として「外国語『体験』活動」とします。）は、

外国語によるコミュニケーションの資質・能力の「下地作り」

のために行います。

3・4年生の外国語活動が慣れ親しみの段階であることを踏まえて、外国語体験活動は、その手前の段階であることを意識しましょう。

次のようなことを大切にします。



「英語を学ぶ」より「英語で遊ぶ」

英語の音声に触れ、日本語との違いを感じたり、教員やALTの話す英語を聞いて真似してみたりすることは、3・4年生の外国語活動につながっていきます。決して無理に言わせたり、覚えさせたりすることなく、初めての体験を児童がワクワクした気持ちで楽しめるよう心がけましょう。

そのため、外国語活動や外国語科で示すような学習の「めあて」を児童に示したり、確認したりすることはしなくてよいでしょう。教える、というイメージではなく、子どもたちと一緒に楽しむ姿を見せることが大切です。

支持的な風土のある学級づくり



楽しくワクワクとした気持ちで外国語や異文化に出会えるよう、支持的な風土のある学級づくりを行うことも大切です。また、「英語大好きキッズ」が育つように、**教員も一緒に楽しく活動**しましょう。

2 外国語体験活動の内容、指導者、実施時間等

外国語体験活動の内容、指導者等、実施時間などは次のとおりです。

内 容	補助教材や、歌、絵本を用いた指導など
指導者等	担任等の教員が中心(できる限りALTを活用) ※ALTが指導の中心となる場面があっても問題ないが、担任等の教員が中心となって指導計画を立てる
実施時間	<u>1年生 年間7単位時間</u> (15分×3回を7回 または 45分を7回 実施) <u>2年生 年間8単位時間</u> (15分×3回を8回 または 45分を8回 実施)

児童の実態や指導時期、ALTとのチームティーチングの予定などを鑑み、各学校の実態に合わせて最もよい方法を選ぶようにしてください。

外国語の授業について、担任等の教員に指導の経験がない場合も多く考えられます。校内で、外国語主任等が中心となり教員向けの体験授業などを行い、活動の進め方を確認したり、どんな活動がよいか担当者同士で話し合ってみるなどの研修を計画するとよいでしょう。

3 外国語体験活動での学習評価について

小学校1・2年生の外国語体験活動では、記録に残す評価は行わないこととしています。外国語体験活動はあくまで「体験」であり、知識や技能を習得したり、また既習事項を用いて思考したりすることまでは求めません。しかし、学習が進む段階で、繰り返し楽しく学んだことを児童が使ってみようとすることもあるかと思います。その場合は認め、大いにほめるようにしましょう。

児童が英語を聞いて、「英語で楽しく遊ぶ」ことができているか、温かい雰囲気の中で、前向きに取り組んでいるかなどを確かめ、指導に生かしていくようにしましょう。

4 小学校1・2年生の外国語体験活動における学習到達目標 / TRYリスト形式による年間指導計画

外国語体験活動 全体計画例

外国語体験活動（第1・2学年） 目標
外国語による音声を聞くことや聞いたことをまねて発話したりする活動を通して、コミュニケーションを図る下地づくりとなる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
○外国語の絵本や歌、動作や遊び等を通して、外国語の音声や基本的な語句に親しむようにする。 ○身近で簡単な事柄について、外国語を聞いたり、まねたりすることを通して、外国語の音声に楽しんで触れたり、基本的な語句等と進んで関わろうとしたりする力を養う。 ○外国語による遊びを通して外国語の音声や基本的な語句に親しみ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の下地を養う。

1つの領域別の目標	
聞くこと	・ゆっくりはっきりと話された際に、身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 ・ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な語句の大まかな意味が分かるようにする。

第1学年 外国語体験活動 年間指導計画例

単元における主な活動（補助教材）							学習到達目標 (TRYリスト形式)
	単 元	配時	主な言語材料 (指導者)	主な言語材料 (児童)	関連するゲーム・ 絵本・歌・ダンス等	言語活動例	聞くこと
年間7 時間程度	Unit 1 p10	(15分×2)	Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you.	Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you.	♪Hello Song	英語のあいさつを 知り、先生の言い 方をまねて発話し たり、歌ったりし て楽しむ。	英語と日本語では、 名前の言い方やあ いさつに違いがあ るを感じ取りなが ら、簡単な語句や 表現を聞くように する。
	Unit 2 p14	(15分×2)	How are you? I am ~ happy, good, hungry, sleepy	happy, good, hungry, sleepy	♪Hello Song	状態を表す語句を 聞き、ジェス チャーを交えてま ねて楽しむ。	英語と日本語では、 気持ちを表す言い 方に違いがあるこ とを感じ取りなが ら、簡単な語句や 表現を聞くように する。
	Unit 3 p18	(45分) (15分×3)	How many ? It's ~ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes./No	♪Seven Steps Five Little Monkeys Jumping On the Bed	数の数え方や尋ね 方を聞き、答えた り、歌ったりして 数えることを楽し む。	数の言い方や数の 尋ね方などの簡単 な語句を聞くよう にする。
	Unit 4 p26	(45分) (15分×3)	I like (blue). Do you like (blue)? It's ~. red, yellow, green, pink, brown, black, white	Yes./No. red, yellow, green, pink, brown, black, white	♪Action colors song A beautiful butterfly Color Zoo	色を表す語句を知 り、先生や友達 の好きな色を聞い たり、自分の好き な色を言ったりし て楽しむ。	色の言い方や好み を表したり、好き かどうかを尋ね たりする表現を聞 いて、大体の意味 が分かるようにす る。
	Unit 5 p34	(45分) (15分×3)	Do you like (dogs)? I like (cats).	Yes./No. bear, bird, monkey, gollira, frog, horse	Brown Bear, Brown Bear, What do you see? The Giant Turnip	動物の言い方を 知り、先生や友達 が好きな動物を聞 いたり、自分の好 きな動物を言っ たりして楽しむ。	動物の言い方や好 みを表したり、好 きかどうかを尋 ねたりする表現を 聞いて、大体の意 味が分かるように する。
	Unit 6 p43	(45分) (15分×3)	Do you like (peaches)? I like (apples). banana, melon, peach, apple, orange, grape, strawberry	Yes./No. banana, melon, peach, apple, orange, grape, strawberry	♪What fruits do you like? (歌の変更予定有 準備でき次第新しい ものを掲載) The Very Hungry Caterpillar	果物の言い方を 知り、先生や友達 が好きな果物を聞 いたり、自分の好 きな果物を言っ たりして楽しむ。	果物の言い方や好 みを表したり、好 きかどうかを尋 ねたりする表現を 聞いて、大体の意 味が分かるように する。
	Unit 7 p51	(45分) (15分×3)	What's this? head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose	head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose	♪Head, Shoulders, Knees and Toes ♪Hokey Pokey From head to toe Simon says	体の部位の言い 方を知り、動作を つけながらゲーム をしたり、歌っ たりして楽しむ。	英語での体の部 位の言い方につ いて聞き取り、 ジェスチャーで 示すようにす る。
	Unit 8 p59	(15分×2)	これまでに学習 したあいさつ、 数、色、動物、 くだもの、体 の部位等	これまでに学習 したあいさつ、 数、色、動物、 くだもの、体 の部位等	A Beautiful Butterfly Brown Bear, Brown Bear, What do you see? The Very Hungry Caterpillar From head to toe	これまで聞いた 英語の音声（あ いさつ、数、色、 動物、くだもの、 体の部位等）を 想起しながら、 聞く活動をし て楽しむ。	学習したことを 絵本の読み聞か せで聞き、まね たり、ジェス チャーをしたり して思い出す ようにする。
※目標に向かって指導は行うが、 記録に残す評価は行わない。							

第2学年 外国語体験活動 年間指導計画例

単元における主な活動（補助教材）							学習到達目標 (TRYリスト形式)
	単 元	配時	主な言語材料 (指導者)	主な言語材料 (児童)	関連するゲーム・ 絵本・歌・ダンス等	言語活動例	聞くこと
年間 8時間 程度	Unit 1 p61	あいさつ をしよう (15分×1)	Hello. Hi. I'm (Hinata). How are you? I'm ~. good. (happy, hungry, sleepy, fine) Goodbye. See you.	Hello. Hi. I'm (Hinata). How are you? I'm ~. good. (happy, hungry, sleepy, fine) Goodbye. See you.	♪Hello Song	英語のあいさつを 想起し、先生の言 い方をまねて発話 し合ったり、歌っ たりして楽しむ。	英語と日本語のあい さつや気分の言 い方に違いがある ことを思い出しな がら、簡単な語句 や表現を聞くよう にする。
	Unit 2 p63	アルファ ベットと なかよし (15分×2)	What's this? It's A. A to Zの アルファベットの 名前	A to Zの アルファベットの 名前	📖Eating Alphabet: Fruits and Vegetables from A to Z ♪Alphabet Song	アルファベットの 名前を知り、文字 や絵を見ながら 歌って楽しむ。	アルファベットに は名前があること を感じ取りながら、 簡単な語句を聞く ようにする。
	Unit 3 p68	数で あそぼう (45分) (15分×3)	How many ? 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 It's ~.	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. / No.	♪Seven Steps 📖Spot Can Count	数の数え方や 尋ね方を想起し、 答えたり、歌った りして、数えるこ とを楽しむ。	数の言い方や数の 尋ね方などを思い 出しながら、簡単 な語句を聞くよう にする。
	Unit 4 p76	形で あそぼう (45分) (15分×3)	What's this? It's a triangle. (circle, heart, star)	triangle, circle, heart, star	📖The Goldfish Got Away	形を表す語句を知 り、いろいろな形 の言い方を聞いた り、まねて言った りして楽しむ。	形の言い方を聞い て大体の意味が分 かったり、まねて 言ったりするよう にする。
	Unit 5 p83	天気で あそぼう (45分) (15分×3)	How's the weather? It's sunny. cloudy, rainy, windy, snowy	sunny, cloudy, rainy, windy, snowy	♪The weather song 📖Maisy's Weather Book	天気の言い方を知 り、いろいろな天 気の言い方を聞い たり、 まねて言ったりし て楽しむ。	天気の言い方を聞 いて大体の意味が 分かったり、まね て言ったりするよ うにする。
	Unit 6 p90	曜日で あそぼう (45分) (15分×3)	Today is Monday. What day is it Today? It's ~. Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday	Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday	📖Today is Monday ♪Sunday, Monday, Tuesday	曜日の言い方を知 り、いろいろな曜 日の言い方を聞い たり、 まねて言ったりし て楽しむ。	曜日の言い方を聞 いて大体の意味が 分かったり、まね て言ったりするよ うにする。
	Unit 7 p97	動いて あそぼう (45分) (15分×3)	I'm running. swimming, walking, j umping, skipping	swimming, walking, jumping, skipping	♪Head, Shoulders, Knees and Toes ♪Hokey Pokey 📖From head to toe	動きの言い方を知 り、動作をつけな がらゲームをし たり、歌ったりす ることを楽しむ。	動きの言い方に ついて聞き取り、 ジェスチャーで示 すようにする。
Unit 8 p104		1・2年生 の英語大 好きタイ ムをふり かえろう (45分×2) (15分×6)	これまでに学習し たあいさつ、数、 形、天気、曜日、 動き、アルファ ベット等の語彙	これまでに学習 したあいさつ、 数、形、天気、 曜日、動き、ア ルファベット等 の語彙	♪Hello Song ♪Alphabet Song ♪The weather song ♪Sunday, Monday, Tuesday	これまで聞いた英 語の音声（あいさ つ、数、形、天気 曜日、動き、アル ファベット等）を 想起しながら、聞 いたりまねたりす る活動を楽しむ。	学習したことを 様々なゲームを通 して、まねて言っ たり、歌ったり、 ジェスチャーをし たりして思い出す ようにする。
※目標に向かって指導は行いが、 記録に残す評価は行わない。							

小学校 第1学年 Unit 1 「あいさつをしよう」(Short ①)

<15分の活動> ※1・2年生の「英語大好きタイム」は15分×3回のShort、または45分での実施が可能です。
Unit 1・2の指導案はShortのみとなります。

目標	(聞くこと) 英語と日本語の名前の言い方やあいさつの違いに触れたり親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Hello. Hi, I'm (〇〇). Goodbye. See you.
主な言語材料(児童)	Hello. Hi, I'm (Hinata). Goodbye. See you.
活動例	英語のあいさつに触れ、先生の言い方を真似て言ってみたり、歌ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するように促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを児童と一緒に見ながら、どんな場面だろう?と問いかける。 会話の場面を提示することで、これから始まる活動への親しみをもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) ・児童が絵に注意を向けたところで、会話の場面のセリフを言う。 “Hello. I'm 〇〇.” 笑顔で挨拶する様子を演じる。 ・続いてお別れの場面の絵を見せ、同様にセリフを聞かせ、演じる。 “Goodbye.” “See you.” ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語のあいさつに興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① あいさつの言い方に親しもう	・ジェスチャーをしながら児童に英語であいさつをし、これから始まる活動への親しみをもてるようにする。 Hello. Goodbye. (See you). ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ・指導者が手を振りながら、近くにいる児童など3人くらいに対してあいさつを言う。 (Hello, 〇〇さん。Hello, □□さん。Hello, △△さん。)	あいさつの絵カード (Hello. Goodbye.) (See you.)
5分(14分)	Activity② 音楽が止まったらあいさつゲーム	・まず、指導者がデモンストレーションをする。 音楽をかけ、音楽が止まったら近くの人と“Hello.”とあいさつをする。 (Goodbye. See you.はここでは言わなくてもよい。) ※ ぶつかって怪我をしないよう、テンポの遅い曲にする。	歌の音源 (Pets [Old Mac])
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 1 「あいさつをしよう」(Short ②)

<15分の活動> ※1・2年生の「英語大好きタイム」は15分×3回のShort、または45分での実施が可能です。
Unit1・2の指導案はShortのみとなります。

目標	(聞くこと) 英語と日本語の名前の言い方やあいさつの違いに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Hello. Hi, I'm (○○). Goodbye. See you.
主な言語材料(児童)	Hello. Hi, I'm (Hinata). Goodbye. See you.
活動例	英語のあいさつを知り、先生の言い方を真似て発話したり、歌ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切にし、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いしない。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ALTの先生や児童にHello!と声かけをしながら、ストーリーボードを見せて、前回の内容を想起できるように促す。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) ・児童が絵に注意を向けたところで、会話の場面のセリフを言う。 ・ "Hello. I'm ○○." 笑顔で挨拶する様子を演じる。 ・続いて、お別れの場面の絵を見せ、同様にセリフを聞かせ、演じる。 "Goodbye." "See you." ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の挨拶に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① 名前の言い方に親しもう	・指導者が自分の名前を言って、英語での名前の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみをもてようにする。 ・ "Hello. I'm ○○." 最初はよく聞かせ、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ・手を振りながら、近くにいる3人それぞれに対してあいさつする時間を設定する。 (Hello. I'm ○○." Hello. I'm ○○." Hello. I'm ○○.")	
5分(14分)	Activity② 音楽が止まったらあいさつゲーム	・デモンストレーションを見せる。 ・音楽をかけ、音楽が止まったら近くの人とあいさつをする様子を示す。 ・指導者に続いて、児童もやってみるように促す。 "Hello. I'm ○○." (Goodbye. See you.はここでは言わなくてもよい。) ※ ぶつかって怪我をしないよう、テンポの遅い曲にする。	歌の音源 (Pets [Old Mac])
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 ・ "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



<ピクチャーカード>



		なまえ
ねん	くみ	

どうぶつさんたちもあいさつをしているよ。
 なんていっているのかな？



※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

小学校 第1学年 Unit 2 「ごきげんいかが」(Short ①)

<15分の活動> ※1・2年生の「英語大好きタイム」は15分×3回のShort、または45分での実施が可能です。
Unit1・2の指導案はShortのみとなります。

目標	(聞くこと) 英語と日本語の、気持ちを表す言い方やあいさつの違いがあることに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How are you? I'm happy/good/hungry/sleepy.
主な言語材料(児童)	happy/good/hungry/sleepy
活動例	状態を表す語句を聞き、ジェスチャーを交えて真似て楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と考えるよう促す。可能であればALTの先生と会話の場面をやって見せるなどして、これから始まる活動への親しみをもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) - 児童が絵に注意を向けたところで、指導者が会話の場面のセリフを言う。 "How are you?" "I'm happy." 笑顔でやり取りを演じる。 - 続いて他の感情についてもやり取りを演じる。 "I'm good/hungry/sleepy." ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語で気持ちを表すことに興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① 気持ちを表す言い方に親しもう	- ジェスチャーしながら、気持ちを表す言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみをもてるようにする。 I'm happy/good/hungry/sleepy. - 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 How are you?と児童に尋ね、happyの絵カードを見せ、"I'm happy."の気持ちの児童は挙手で答えるよう促す。他のカードについても同様に行く。	気持ちの絵カード (happy/good/hungry/sleepy)
5分(14分)	Activity② 動作を真似してやってみよう	- 絵カードを一枚ずつ見せ、I'm～。と言いながら動作を示す。 I'm happy/good/hungry/sleepy. - 楽しくジェスチャーをしながら指導者がやって見せることで、児童も真似してみたいようになるようにする。 Let's do the gestures. I'm～. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。動作と一緒に言うなど、気持ちを表す言い方に興味をもつことができればよい。	気持ちの絵カード (happy/good/hungry/sleepy)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 2 「ごきげんいかが」(Short ②)

<15分の活動> ※1・2年生の「英語大好きタイム」は15分×3回のShort、または45分での実施が可能です。
Unit1・2の指導案はShortのみとなります。

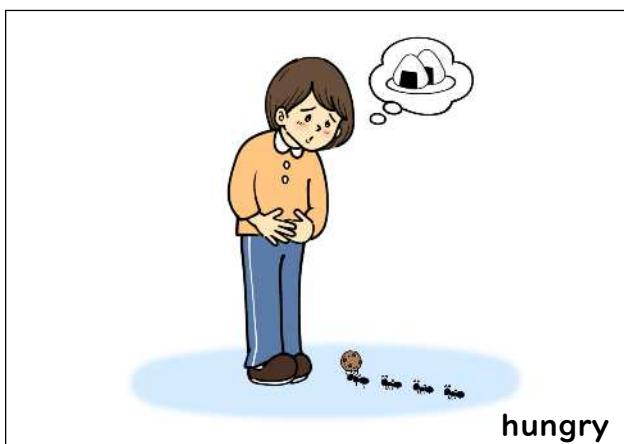
本時のねらい	(聞くこと) 英語と日本語の、気持ちを表す言い方やあいさつの違いがあることに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How are you? I'm happy/good/hungry/sleepy.
主な言語材料(児童)	happy/good/hungry/sleepy
活動例	状態を表す語句を聞き、ジェスチャーを交えて真似て楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- How are you?などと児童に語りかけたり、ALTの先生がいればやり取りをしながら、ストーリーボードを見せて、前回の内容を思い出せるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) - 児童が絵に注意を向けたところで、会話の場面のセリフを言う。 "How are you?" "I'm happy." 笑顔でやり取りを演じる。 - 続いて他の感情についてもやり取りを演じる。"I'm good/hungry/sleepy." ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語で気持ちを表すことに興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① 気持ちの言い方に親しもう	- ジェスチャーをしながら、気持ちを表す言い方を再度紹介し、前時に行ったことを少し思い出せるようにする。 I'm happy/good/hungry/sleepy. - 聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 How are you?と児童に尋ね、happyの絵カードを見せ、"I'm happy."の気持ちの児童は挙手で答えるよう~~に~~促す。他のカードについても同様に行う。	気持ちの絵カード (happy/good/hungry/sleepy)
5分(14分)	Activity② 自分の動作でやってみよう	- 絵カードを一枚ずつ見せ、動作をやってみよう!と促す。 - 指導者がまず自分の気持ちを表す英語を言って、動作をする。慣れてきたらその後、数名の児童や、ALTに気持ちを尋ねる。 Do your own gestures. How are you? I'm~. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。気持ちを表す言い方に興味をもつことができればよい。	気持ちの絵カード (happy/good/hungry/sleepy)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>

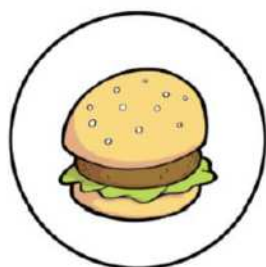


<ピクチャーカード>



		なまえ
ねん	くみ	

いまのきもちに○をして、ジェスチャーをしてみよう。



※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

小学校 第1学年 Unit 3 「かずであそぼう」

<45分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
言語活動例	数の数え方や尋ね方を聞き、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
3分(4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)・少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
3分(7分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と考えるよう促す。 お店に並んだ様々なおいしそうなお食べ物を見せながら、楽しく語りかけることで、これから始まる活動への親しみをもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) How many? One, two, three, four. Four apples. ・他のものも数えて聞かせる。 One, two, three, four, five. Five donuts. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語で数を表すことに興味をもてればよい。	ストーリーボード(この単元ででてくる単語が入った場面図)
5分(12分)	Activity① 数の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、数の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみをもてるようにする。 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	数の絵カード(1~10)
8分(20分)	Activity② 歌に合わせて動こう ♪ 10 steps	・デモンストレーションを見せる。 歌をかけ、指導者が歩き回り、フレーズの切れ目(下線)で立ち止まって見せる。 One two three four five six <u>seven</u> One two three four five six <u>seven</u> Eight nine <u>ten</u> Eight nine <u>ten</u> One two three four five six <u>seven</u>... ・児童にも、やってみよう!と促す。 Let's try.	歌の音源(10 steps)

小学校 第1学年 Unit 3 「かずであそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
5分 (25分)	Activity② 歌に合わせて 動き、口ずさむ ♪ 10 steps	今度は口ずさみながら行うことを伝える。 Let's walk around and sing. 出だしの部分だけ歌ってみせる。 ♪ One two three four five six <u>seven</u>. OK? One two three four five six <u>seven</u> One two three four five six <u>seven</u> Eight nine <u>ten</u> Eight nine <u>ten</u> One two three four five six <u>seven...</u> ※ 口ずさみながら行うことを無理のない範囲で促す。無理強いしない。	歌の音源 (10 steps)
10分 (35分)	絵本タイム “Five Little Monkeys Jumping on the Bed”	・表紙を開き、monkeyに注目するよう促し、何匹いるか尋ねる。 Look. Can you see the monkeys? How many monkeys do you see? ・指導者がmonkeyの絵を指差しながらゆっくり数える。 1, 2, 3, 4, 5. Five little monkeys. ・絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ 指導者がこれらの単語を英語で聞かせるが、児童に発音させる必要はない。児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “Five Little Monkeys Jumping on the Bed”
3分 (38分)	歌 “Five Little Monkeys”	・絵カードを黒板に貼る。 ・音楽をかけ、歌を聞いてみる。その際、内容に合う絵カードを指差しながら聞くようにする。 ※ 児童は絵カードを見ながら聞くだけでよい。口ずさめるようであれば、各々言える箇所を言うように促す。	歌の音源と絵カード (Five Little Monkeys)
5分 (43分)	ワークシート	・ワークシートを配布し、タコ(8本)カニ(10本)の足が何本あるか、英語で数えてみるようにする。How many legs do they have? ・早くできた児童は、色を塗るようにする。	ワークシートGI_U3
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを尋ねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語で行う) 英語の時間を楽しめましたか? 何が一番お気に入りですか? 良く頑張りました! 素晴らしい! ・That's all for today's English time. ♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 3 「かずであそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
活動例	数の数え方や尋ね方を聞き、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 ・お店に並んだ様々なおいしそうな食べ物を見せながら語りかけることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 ・ Look at this! (画面の絵を指さしながら) ・ How many? One, two, three, four. Four apples. ・他のものも数えて聞かせる。 ・ One, two, three, four, five. Five donuts. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の数の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① 数の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、数の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 ・ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	数の絵カード (1~10)
5分(14分)	Activity② 歌に合わせて動こう ♪ 10 steps	・デモンストレーションを見せる。 ・歌をかけ、指導者が歩き回り、フレーズの切れ目(下線)で立ち止まって見せる。 ・ One two three four five six <u>seven</u> ・ One two three four five six <u>seven</u> ・ Eight nine <u>ten</u> ・ Eight nine <u>ten</u> ・ One two three four five six <u>seven</u>... ・児童にも、やってみよう!と促す。 ・ Let's try.	歌の音源 (10 steps)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 3 「かずであそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
活動例	数の数え方や尋ね方を聞き、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せながら語りかけ、前回の内容を想起できるようにする。 ・ Look at this! (画面の絵を指さしながら) ・ How many? One, two, three, four. Four apples. ・他のものも数えて聞かせる。 ・ One, two, three, four, five. Five donuts. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。何のことを言っているのかがわかる程度でよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① 数の言い方に親しもう	・絵カードを示し、数の言い方を再度紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 ・ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	数の絵カード (1~10)
5分 (14分)	Activity② 歌に合わせて動き、ロズもう ♪ 10 steps	・デモンストレーションを示す。 ・歌をかけ、指導者が歌をロズさみながら歩き回り、フレーズの切れ目(下線)で立ち止まる。 ・ One two three four five six <u>seven</u> ・ One two three four five six <u>seven</u> ・ Eight nine <u>ten</u> ・ Eight nine <u>ten</u> ・ One two three four five six <u>seven...</u> ・児童にも、やってみよう!と促す。 ・ Let's walk around and sing. ・完全に歌えなくても、ロズさむ程度でよい。	歌の音源 (10 steps)
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

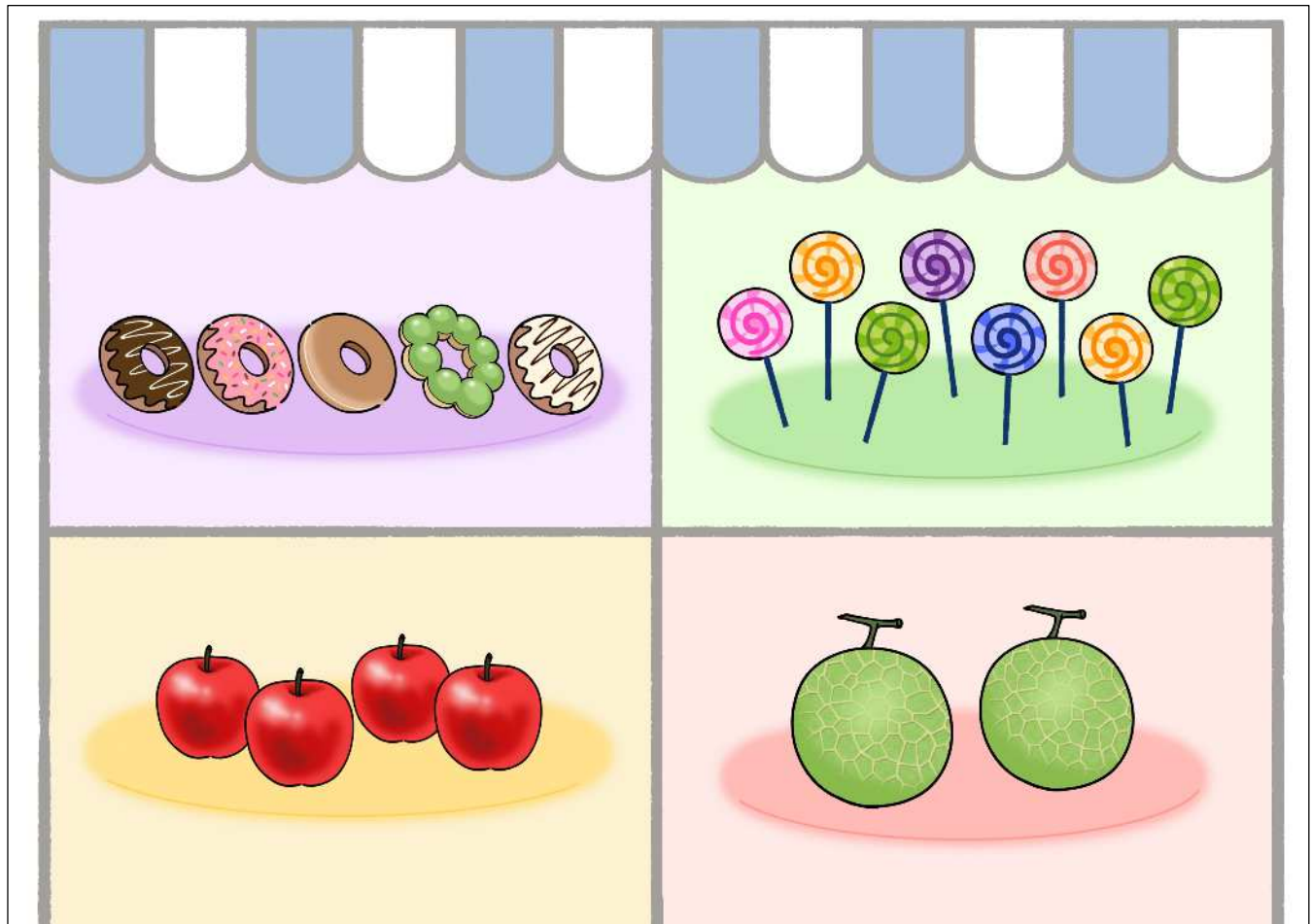
小学校 第1学年 Unit 3 「かずであそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

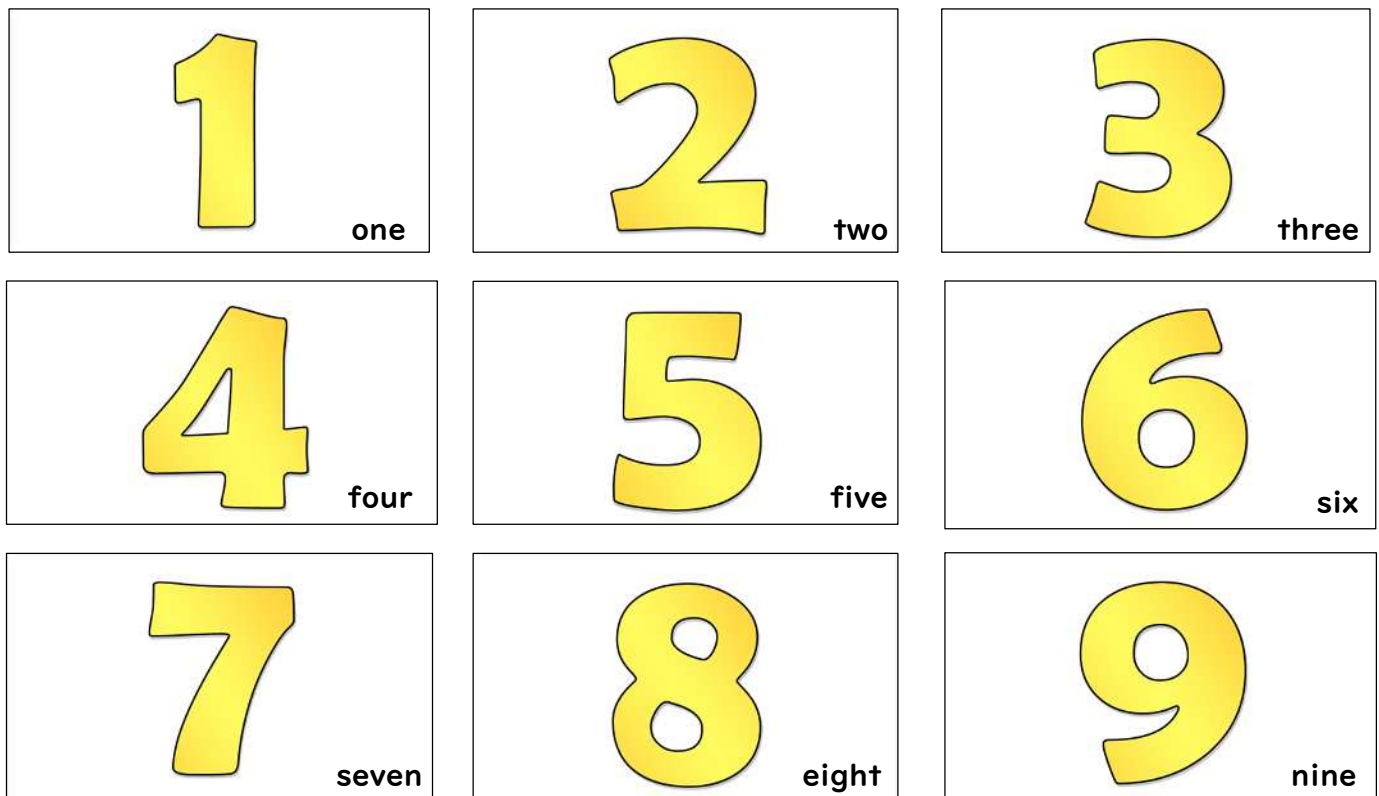
目標	(聞くこと) 英語での数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
活動例	数の数え方や尋ね方を聞き、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	数の言い方に親しむ	・ストーリーボードを見せながら語りかけて、数の言い方を想起させる。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) One, two, three, four, five. Five donuts. ※ 児童に数の言い方を言わせるのが目的ではない。いろいろな数の言い方が出てきた、ということを思い出せるようにする。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
9分 (14分)	絵本タイム Five Little Monkeys Jumping on the Bed	・表紙を見せて、monkeyに注目するよう促し、何匹いるか尋ねる。 Look. Can you see the monkeys? How many monkeys do you see? ・monkeyの絵を指差しながら数える。 1, 2, 3, 4, 5. Five little monkeys. ・絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ <u>自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。</u> ※ 正しく言えるようになることは求めなくてよい。数えることを楽しんだり、数に親しんだりするようにする。	絵本 "Five Little Monkeys Jumping on the Bed"
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



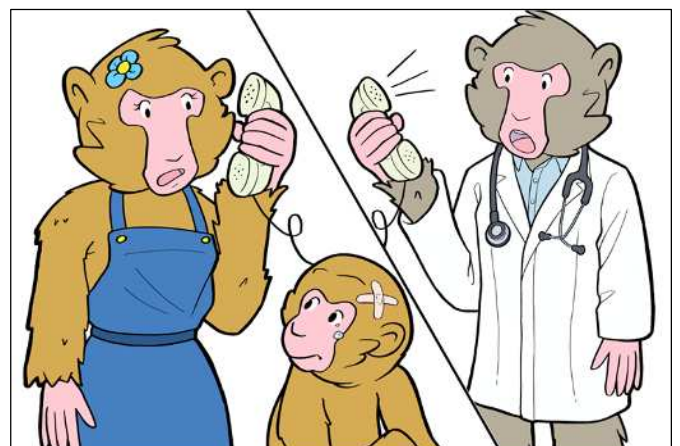
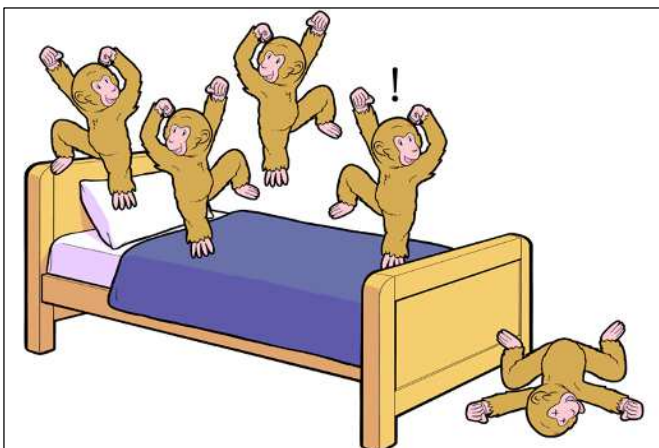
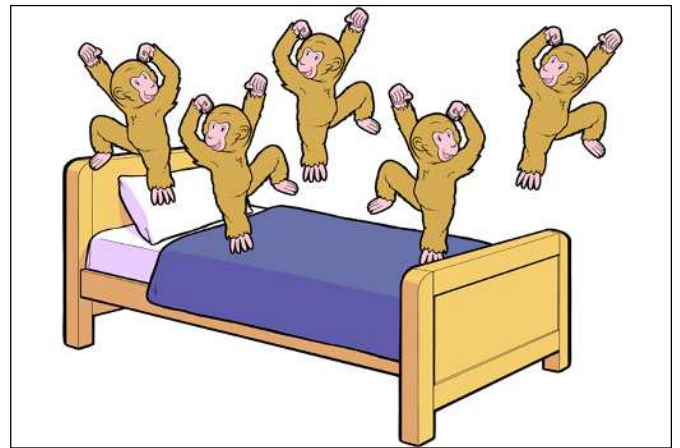
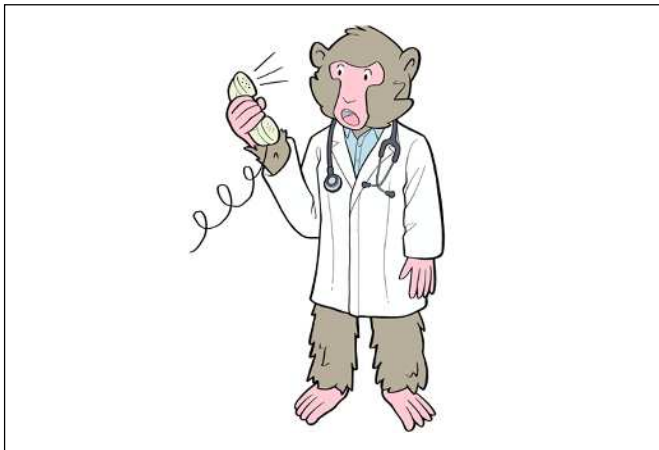
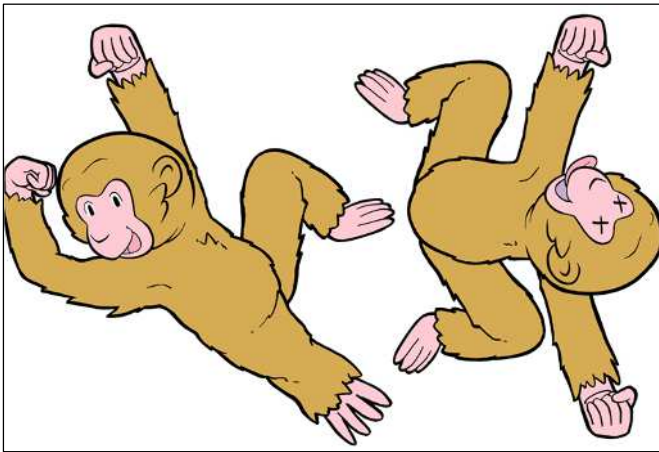
<ピクチャーカード>



<ピクチャーカード>

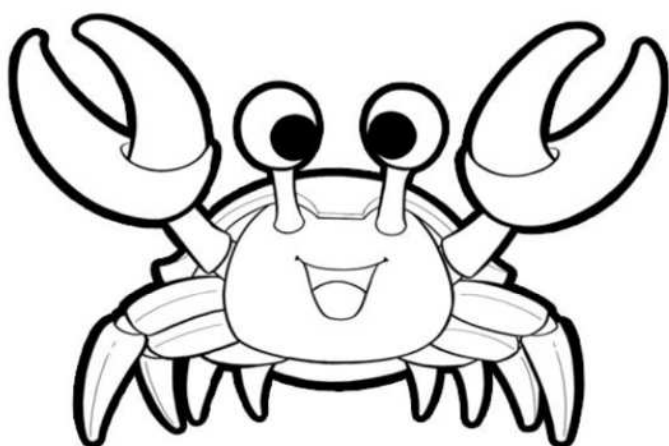
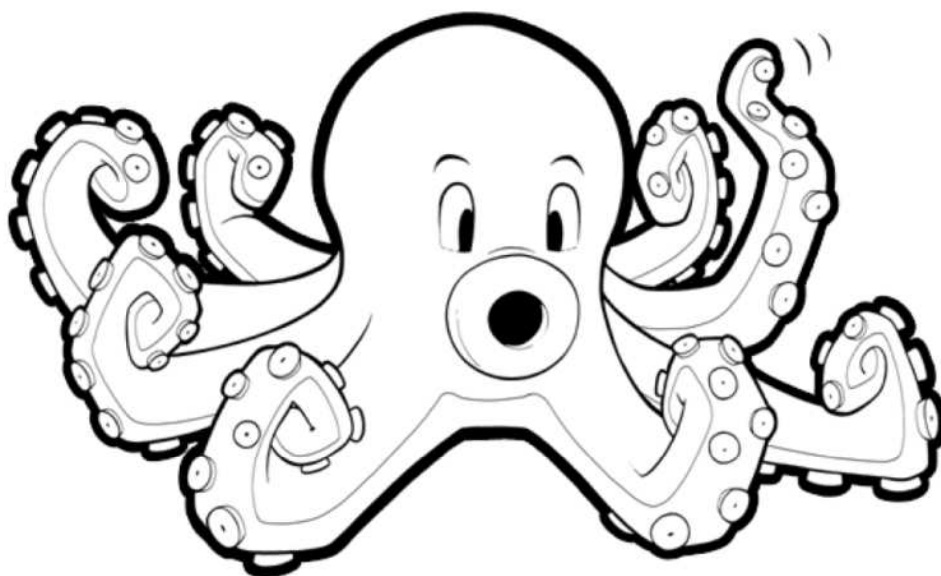


<絵本: Five Little Monkeys>



		なまえ
ねん	くみ	

えいごであしのかずをかぞえてみよう。



※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

小学校 第1学年 Unit 4 「色であそぼう」

<45分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での色の言い方や好みを表したり、好きかどうかを尋ねたりする表現に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	I like (blue). Do you like (blue)? It's ~. red, yellow, green, pink, brown, black, white
主な言語材料(児童)	Yes. / No. red, yellow, green, pink, brown, black, white
活動例	色を表す語句を聞き、先生や友達の好きな色を尋ねたり、自分の好きな色を言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
3分 (4分)	ウォームアップ ソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) ・少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
3分 (7分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 色々な色の風船を見せながら語りかけることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) Do you like (blue)? I like (blue). ・他の色にも言及する。 Do you like (red)? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語での色の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
8分 (15分)	Activity① 色の言い方に 親しもう	・絵カードを見せながら、色の言い方を紹介する。 red, yellow, green, pink, brown, black, white ・一枚ずつ絵カードを見せながら、その色が好きかどうか尋ねる。 自分の好きな色に手を挙げて意思表示をするよう促す。 Do you like green? "I like green." Raise your hands. ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	色の絵カード (red, yellow, green, pink, brown, black, white)
5分 (20分)	Activity② 歌を聴こう "The Rainbow Song"	・黒板に虹を描く。 Look. It's a rainbow. ・歌をかけて、聞いてみる。 Let's listen to the Rainbow song. ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。何度か聞くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (The Rainbow Song)

小学校 第1学年 Unit 4 「色であそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
5分 (25分)	Activity② 歌を聴きながら 色を指さそう “The Rainbow Song”	・黒板にred, yellow, pink, green,の4色の絵カードを貼る。 ・デモンストレーションを行う。 Red and yellow and pink and greenの歌詞に合わせ、黒板に貼った同じ色の絵カードを指差しながらアカペラで歌う。Rainbowの箇所は両手で空中に半円を描き、虹を表すジェスチャーにしても良い。 (全体の歌詞: Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, now.) ・歌をかけ、児童にも歌に合わせて絵カードを指を差すよう促す。 Let's point and listen to the Rainbow song. ・児童は、歌えなくてもよい。何度か聞くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (The Rainbow Song)
10分 (35分)	絵本タイム “A Beautiful Butterfly”	・表紙を見せて、butterflyに注目するよう促す。 Look. It's a butterfly. ・絵をゆっくり見る時間を取りながら、お話を読む。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “A Beautiful Butterfly”
8分 (43分)	ワークシート	・ワークシートを配布し、イラストを好きな色で塗るようにする。 児童は男の子が持っている2つの風船に児童の好きな色を塗る。	ワークシート GI-Unit 4
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかをたずねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語で行う) 英語の時間は楽しめましたか？ 何が一番好きでしたか？ よく頑張りました！素晴らしい！ That's all for today's English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 4 「色であそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での色の言い方や好みを表したり、好きかどうかを尋ねたりする表現に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	I like (blue). Do you like (blue)? It's ~. red, yellow, green, pink, brown, black, white
主な言語材料(児童)	Yes. / No. red, yellow, green, pink, brown, black, white
活動例	色を表す語句を聞き、先生や友達の好きな色を尋ねたり、自分の好きな色を言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 色々な色の風船を見せながら語りかけることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) Do you like (blue)? I like (blue). ・他の色にも言及する。 Do you like (red)? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。何のことを言っているのかがわかる程度でよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① 色の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、色の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 red, yellow, green, pink, brown, black, white ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	色の絵カード (red, yellow, green, pink, brown, black, white)
5分(14分)	Activity② 歌を聴こう "The Rainbow Song"	虹の画像を見せる。 Look. It's a rainbow. 歌をかけ、聴かせる。 Let's listen to the Rainbow song. ・児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (The Rainbow Song)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 4 「色であそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での色の言い方や好みを表したり、好きかどうかを尋ねたりする表現に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	I like (blue). Do you like (blue)? It's ~. red, yellow, green, pink, brown, black, white
主な言語材料(児童)	Yes. / No. red, yellow, green, pink, brown, black, white
活動例	色を表す語句を聞き、先生や友達の好きな色を尋ねたり、自分の好きな色を言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、前回の内容が想起できるようにする。 ・ Look at this! (画面の絵を指さしながら) ・ Do you like (blue)? I like (blue). ・他の色にも言及する。 ・ Do you like (red)? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。何のことを言っているのかがわかる程度でよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	Activity① 色の言い方にしたしむ	・絵カードを見せながら、色の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 ・ red, yellow, green, pink, brown, black, white ・一色ずつ絵カードを見せながら、その色が好きかどうか尋ねる。 ・自分の好きな色に手を挙げて意思表示をするよう促す。 ・ Do you like green? "I like green." Raise your hands. ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	色の絵カード (red, yellow, green, pink, brown, black, white)
5分(14分)	Activity② 歌を聴きながら色を指さそう "The Rainbow Song"	・黒板にred, yellow, pink, green,の4色の絵カードを貼る。 ・デモンストレーションを行う。 - Red and yellow and pink and greenの歌詞に合わせ、指導者は黒板に貼った同じ色の絵カードを指差しながらアカペラで歌う。Rainbowの箇所は両手で空中に半円を描き、虹を表すジェスチャーにしてもよい。 (全体の歌詞: Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, now.) ・歌をかけ、児童にも歌に合わせて絵カードを指を差すよう促す。 ・ Let's point and listen to the Rainbow song. ・児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 (The Rainbow Song)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

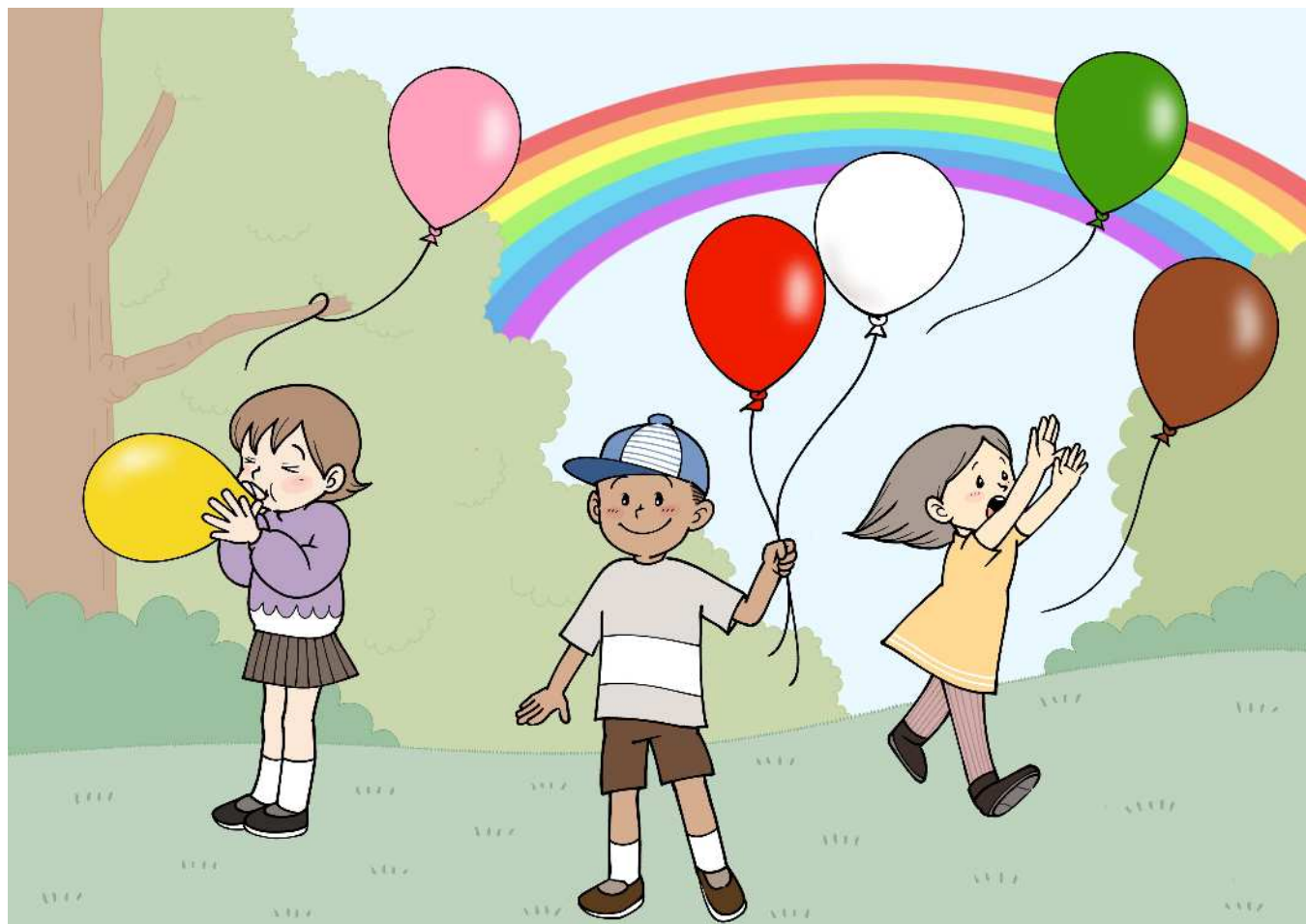
小学校 第1学年 Unit 4 「色であそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

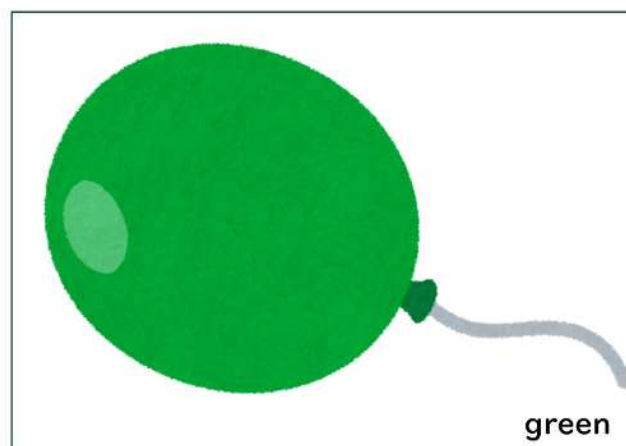
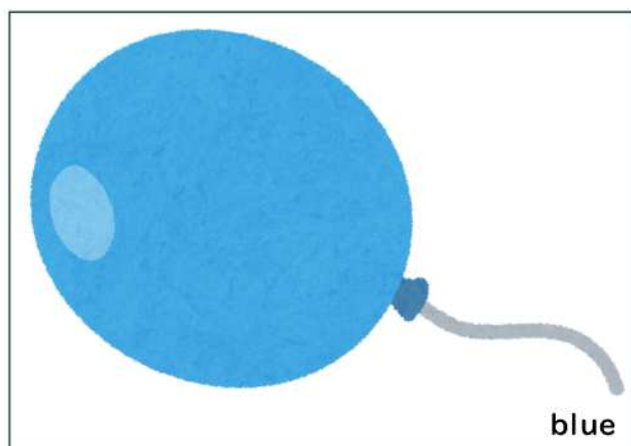
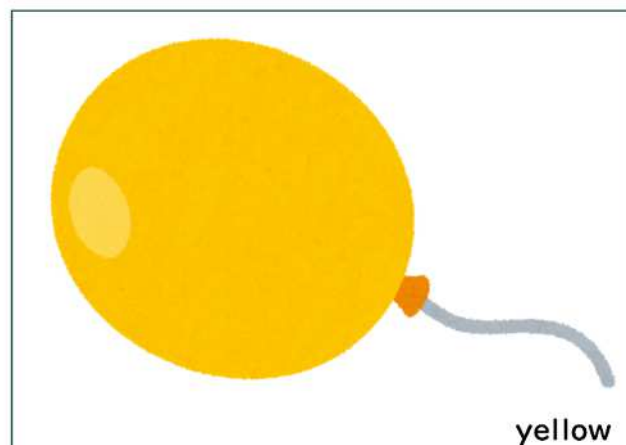
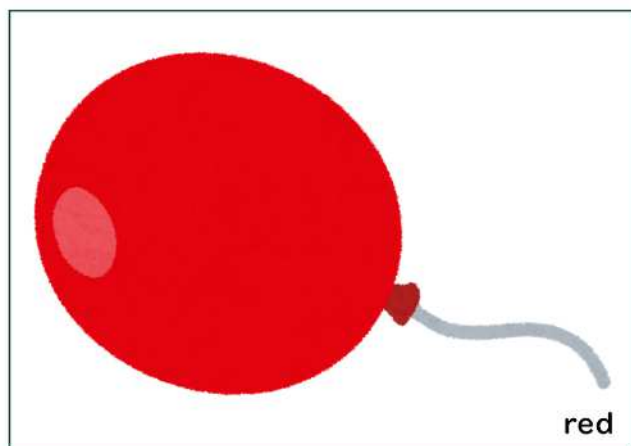
目標	(聞くこと) 英語での色の言い方や好みを表したり、好きかどうかを尋ねたりする表現に触れたり、親したしんだりする。
主な言語材料(指導者)	I like (blue). Do you like (blue)? It's ~. red, yellow, green, pink, brown, black, white
主な言語材料(児童)	Yes. / No. red, yellow, green, pink, brown, black, white
活動例	色を表す語句を聞き、先生や友達の好きな色を尋ねたり、自分の好きな色を言ったりして楽しむ。

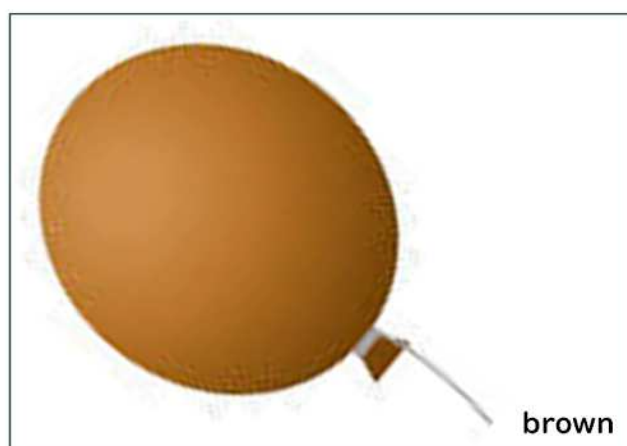
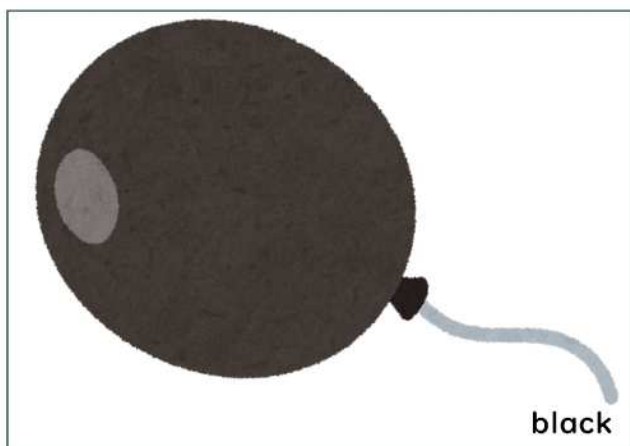
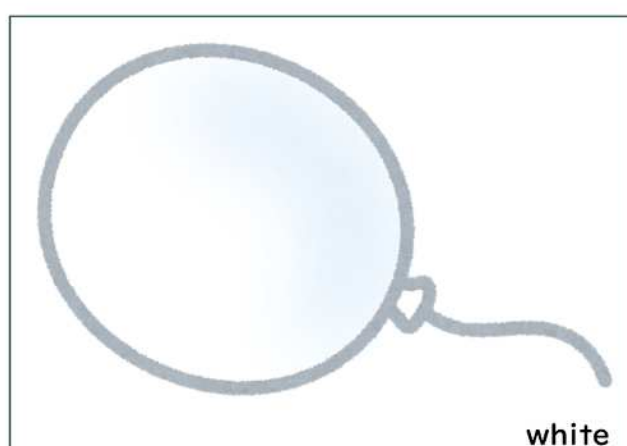
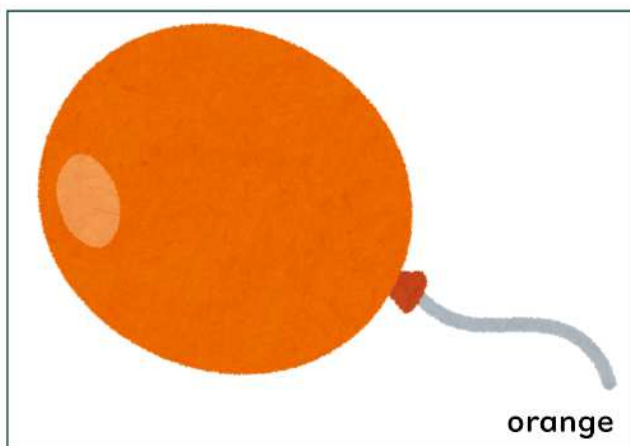
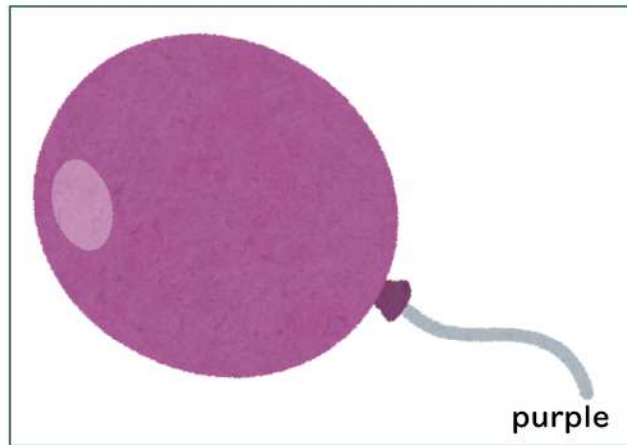
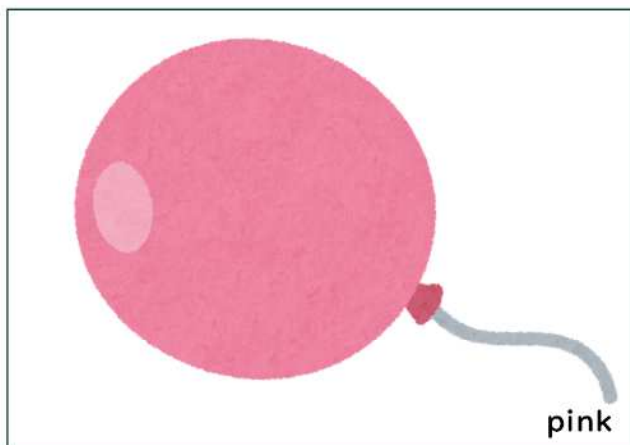
時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言ってみるように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	色の言い方のおさらい	・ストーリーボードを見せて色の言い方を指導者が発話する。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) red, yellow, green, pink, brown, black, white ※ 児童に色の言い方を言わせるのが目的ではない。いろいろな色の言い方が出てきたな、ということを思い出させるようにする。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
9分(14分)	絵本タイム “A Beautiful Butterfly”	・表紙を見せて、butterflyに注目するよう促す。 Look. It's a butterfly. ・絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ <u>自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。</u>	絵本 “A Beautiful Butterfly”
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



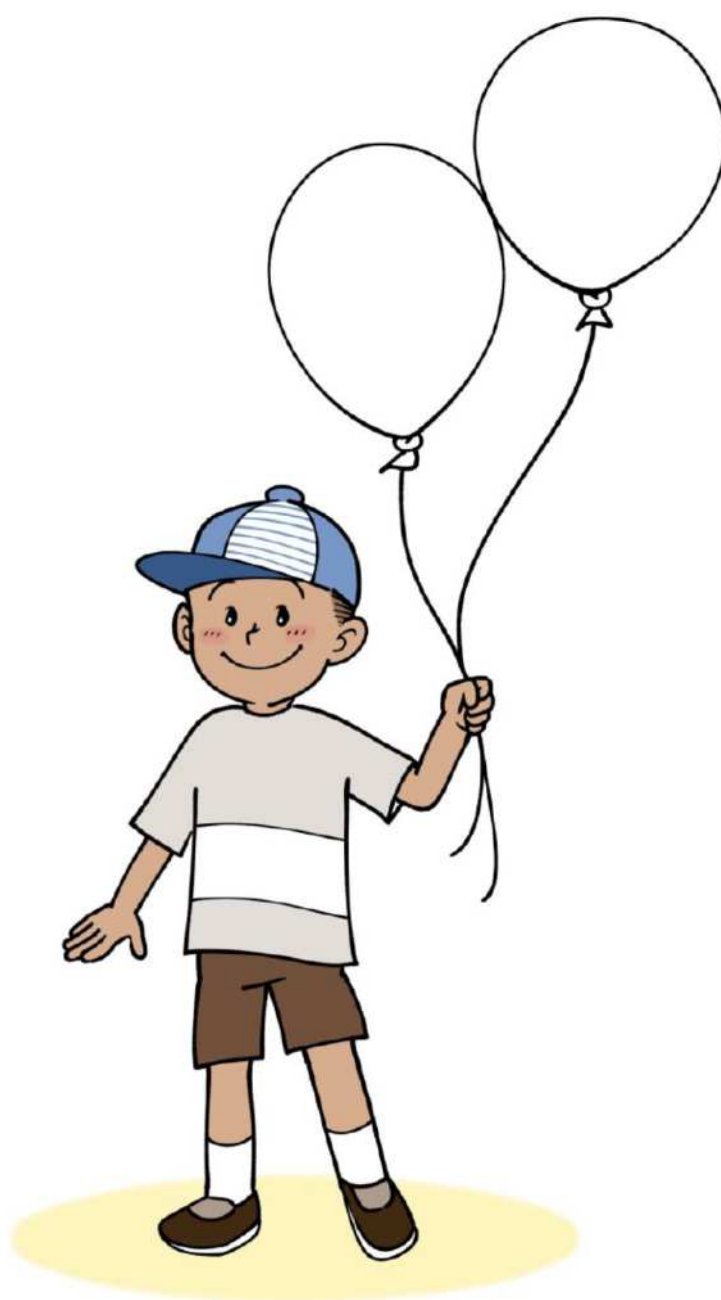
<ピクチャーカード>





	ねん		くみ	なまえ

①ふうせんをすきないろにぬろう。



②ぬれたらすきないろをえいごでいってみよう！

※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

小学校 第1学年 Unit 5 「どうぶつであそぼう」

<45分の活動>

目標	(聞くこと) 動物園で見たことのある動物などの英語での言い方に親しんだり、絵本を楽しんだりする		
主な言語材料(指導者)	What's this? What do you see?		
主な言語材料(児童)	Yes./ No. dog, cat, rabbit, duck, lion, elephant, giraffe, gorilla		
言語活動例	いろいろな動物の英語での言い方や、日本語と英語での鳴き声の違いに触れ、また絵本の読み聞かせを楽しむ		
時間配分	活動	詳細・指導者の英語(児童の状況に合わせて使う英語は変えてもよい)	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・ Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
3分(4分)	ウォームアップ ソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) ・少なくとも2回は音楽をかけて歌う	歌の音源 (Hello Song)
3分(7分)	イントロダク ション	・ストーリーボードを見せて、ここは、どこだろう?と問いかける。 - 動物園の動物だということでこれから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の動物を指さしながら) What's this? ・児童の反応を確認し、答えを言う。 It's an elephant. Elephant. 腕を象の長い鼻に見立ててブルンブルンと振って見せ、象のことを言っていることを推測できるようにする。 ・続いて、いくつかの動物を同様に指差し、What's this? --- (動物の名前)を繰り返す。 (例) ライオン: 両手を顔の横に広げて爪をたてるしぐさをし「roar(ガオー)」と言う。シマウマ: 体にしま模様を書く仕草をする。サル: 片手を顎のした、もう片方の手を頭の上に載せて「screech(キーキー)」と言う。 ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語での動物の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図) 動画コンテンツ
5分 (12分)	動物の言い方に親しむ	- 児童には絵カードを見せながら、動物の言い方を紹介する。 What's this? lion, lion, lion ・指導者は、児童が知っている動物があれば、日本語で言ってもよいことを伝えとともに、最初は英語の言い方を指導者が繰り返す。 ・児童が英語で言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ・やってみたい児童は指導者とともに同じ単語を3回ずつ繰り返して言う。 (elephant, elephant, elephant) ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。 ※ 示された動物全部を紹介する必要はない。児童の興味関心に応じて紹介する動物を選択する。	動物の絵カード (Lion, elephant, giraffe, monkey, goat, tiger, red panda, rabbit)

小学校 第1学年 Unit 5 「どうぶつであそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
8分(20分)	Activity① 動物の動きを やってみよう	・動物の動きを真似してみる。 ・絵カードを示し、それぞれの動物の動きや特徴を示すジェスチャーをみんなで考えてやってみよう促す。 ・児童に絵カードを示し、指導者が動物の名前を言い、児童はジェスチャーを行う。 ・ジェスチャーゲームをする。 elephant, lion, monkeyのジェスチャーをおさらいする。 ・自分が選んだジェスチャーをしながら教室を動きまわって同じジェスチャーをしている友達を探す。 - 見つけたらお互いにジェスチャーを見せ合ってハイタッチする。 - また次の同じジェスチャーをしている友達を探しに行く。 - 指導者が設定した時間いっぱいに行く。	動物の絵カード (elephant, lion, monkey)
5分 (25分)	Activity② 動物の鳴き声を 聞いてみよう	・ウサギの絵カードを見せて、どんなふうに鳴くのか尋ねる(鳴かない) ・ALTに言ってもらるか、動画の音声で象の鳴き声を再生する。 児童にはそれが何の動物かを言ってもらう。 指導者は象の絵カードを見せて、それが象の鳴き声だということを確認する。 ※ この時点で、児童には、英語での動物の鳴き声が自分たちが馴染んでいるものと異なることに気づけるようにする。 同様に、ライオン、さる、やぎの鳴き声を聞かせて、児童と一緒に真似してみる。 次に、象の絵カードを見せて同様に尋ねる。・・・児童には、象の鳴き声を自由に言ってよいことを伝える。	動物の絵カード (elephant, lion, monkey, goat)
3分 (28分)	動物園の動物の 言い方に親しむ	・ストーリーボードを提示し、いろいろな動物の言い方や、鳴き声を言ったり、動きを行ったりする。児童は絵を指差し、その名前や動作、鳴き声など、児童に自由に言ったり、したりする。(できなくてもよい)	ストーリーボード(この単元ででてくる単語が入った場面図)
10分 (38分)	絵本タイム Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?	①Pre-reading ・絵本の見開きを示し、色の言い方を発音し、児童に尋ねる。 What color is this? (brown, red, yellow, blue, green, purple, white, black) ・各ページを開き、どんな動物がでてくるかを一緒に確認する。 What's this? It's a bear, bird, duck, horse, frog, cat, dog, sheep, fish. ・指導者がこれらの単語を英語で発音するが、児童はこれらの動物に出合っていないので、発音する必要はない。児童が言いたいようであれば、言ってもよい。 ②Story Reading ・1ページずつめくり、最初に絵をゆっくり見る時間を設定する。それからお話をよむ。 ここでは、What do you see?という表現が繰り返してくるので、それがどういう意味か示すために、指導者は双眼鏡をもっているジェスチャーや両目に手をあてて「見る」という動作を行う。 児童にも、What do you see?の時に、同じようにしてもよいと言う。 ・1回通して読んだ後、もう一度読む。その時は、児童も一緒に、発音させてもよい。 ページを少しずつめくり、次に出てくる動物がわかれば言わせるなど、児童とやり取りをしながら読む。 ③Post-reading ・どんな動物が出てきたか、どんな色だったかを振り返る。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
5分 (43分)	ワークシート	・ワークシートを配布し、児童はかっみたい動物に○をつける。 ・早くできた児童には、色を塗ってよいことを伝える。	ワークシート
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを尋ねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語で行う) - 英語の時間は楽しかったですか？何が一番お気に入りですか？よく頑張りました！素晴らしい！ ・That's all for today's English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

<Idea Box>

学校行事や生活科の学習などで到津の森公園に行ったときの写真などがあれば、ぜひ活用しましょう。どんな動物がいたか、自分たちの体験と結びつけて想起させることで、英語での活動に親しみをもつことができます。

封筒に動物の絵カードを入れて、少しずつ見せて、ジェスチャーと共に紹介するなどわくわくする気持ちをもって、英語の音声に触れられると楽しいですね。

(企救丘小学校の実践より)



小学校 第1学年 Unit 5 「どうぶつであそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと)動物園で見たことのある動物について、その英語での言い方に親しむ。
主な言語材料(指導者)	What's this?
主な言語材料(児童)	lion, elephant, giraffe, monkey
活動例	動物の特徴や動きと共に、その動物の英語での言い方に触れ、動きを真似て楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語(児童の状況に合わせて使う英語は変えてもよい)	準備物
1分	あいさつ	・指導者が大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 ・Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを示し、ここは、どこだろう?と問いかける。 ・自分たちのまちの動物園だということこれから始まる活動への親しみがもてるようにする。 ・Look at this!(画面の動物を指さしながら)What's this? ・児童の反応を確認し、答えを言う。 ・It's an elephant. Elephant. 腕を象の長い鼻に見立ててブルンブルンと振って見せ、象のことを言っていることを推測できるようにする。 ・続いて、いくつかの動物を同様に指差し、What's this? --- (動物の名前)を繰り返す ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語での動物の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元ででてくる単語が入った場面図) 動画コンテンツ
5分(9分)	動物の言い方に親しむ	・ジェスチャーをしながら、動物の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 ・What's this? ...Elephant, elephant, elephant ・最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ・同じ単語を3回ずつ繰り返して言う。(Lion, lion, lion) ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	動物の絵カード (elephant, giraffe, lion, monkey)
5分(14分)	動物の動きをやってみよう	・動物の動きを真似してみる。 ・絵カードを見せて、それぞれの動物の動きや特徴を示すジェスチャーをみんなで考えてやってみる。 ・学級に絵カードを見せ、指導者が動物の名前を言い、児童はジェスチャーをする。 ・ジェスチャーゲームをする。 - elephant, lion, monkeyのジェスチャーをおさらいする。 ・自分が選んだジェスチャーをしながら教室を動きまわって同じジェスチャーをしている友達を探す。 ・見つけたらお互いにジェスチャーを見せ合ってハイタッチする。 ・また次の同じジェスチャーをしている友達を探しに行く。 ・指導者が設定した時間いっぱいに行く。	動物の絵カード (elephant, lion, monkey)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 5 「どうぶつであそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 動物園で見たことのある動物について、その英語での言い方に親しむ。
主な言語材料(指導者)	What's this?
主な言語材料(児童)	lion, elephant, giraffe, monkey, goat, tiger, red panda, rabbit,
活動例	いろいろな動物の英語での言い方や、日本語と英語での鳴き声の違いに触れて楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語(児童の状況に合わせて使う英語は変えてもよい)	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、前回の内容を想起できるようにする。 - 動物園の動物で、児童は、分かっている動物のことを口々に言いだすので、前回に紹介した動物については、指導者が英語で言ってみる。 - Look at this! (画面の動物を指さしながら) What's this? - 児童の反応を確認し、動物の名前を言う。 It's an elephant. Elephant. 腕を象の長い鼻に見立ててブルンブルンと振って見せ、象のことを言っていることを推測できるようにする。 - 続いて、いくつかの動物を同様に指差し、What's this? --- (動物の名前) を繰り返す ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語での動物の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード(この単元で出てくる単語が入った場面図)
5分(9分)	動物の言い方に親しむ	- ジェスチャーをしながら、動物の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 What's this? goat, goat, goat - 指導者は、児童が知っている動物があれば、日本語で言ってもよいことを伝えるときともに、最初は英語の言い方をよく発話するようにする。 - 児童が英語で言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 - 同じ単語を3回ずつ繰り返して言う。 (red panda, red panda, red panda) ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。 ※ 示された動物全部を紹介する必要はない。児童の興味関心に応じて紹介する動物を調整する。	動物の絵カード (Lion, elephant, giraffe, monkey, goat, tiger, red panda, rabbit)
5分(14分)	動物の鳴き声	- ウサギの絵カードを出し、この動物がどんなふうに鳴くのか尋ねる(鳴かない)。 - ALTに象の鳴き声をしてもらい、児童はそれが何の動物かを答える。 - 指導者は象の絵カードを示し、それが象の鳴き声だということを確認する。 ※ この時点で、児童は、英語での動物の鳴き声が自分たちが馴染んでいるものと異なることに気づく。 - 同様に、ライオン、さる、やぎの鳴き声を聞かせて、一緒に真似してみる。 - 次に、象の絵カードを見せて同様に尋ねる。…児童は、象の鳴き声を自由に言うてよい。	動物の絵カード (elephant, lion, rabbit, monkey, goat)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 5 「どうぶつであそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語の絵本の中に出てくる動物や色に親しみ、絵本を楽しむ。
主な言語材料(指導者)	What's this? What do you see?
主な言語材料(児童)	動物園の動物、絵本に出てくる動物、色
言語活動例	英語でいろいろな動物や色の言い方を聞いたり言ったりして、絵本の読み聞かせを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語(児童の状況に合わせて使う英語は変えてもよい)	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップ ソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(6分)	いろいろな動物 のおさらい	- ジェスチャーをしながら、動物の言い方を再度紹介する。 Look at this! (画面の動物を指さしながら) What's this? - いくつかの動物を同様に指差し、What's this? --- () を繰り返す ※ 児童に動物の名前を言わせるのが目的ではない。いろいろな動物が出てきたな、ということ思い出せるようにする。	ストーリーボード(この 単元ででてくる単語 が入った場面図)
8分 (14分)	絵本タイム Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?	①Pre-reading - 絵本の見開きを示し、色の言い方を聞かせたり、尋ねてみたりする。 What color is this? (brown, red, yellow, blue, green, purple, white, black) - 各ページを見せて、どんな動物が出てくるかを一緒に見ていく。 What's this? It's a bear, bird, duck, horse, frog, cat, dog, sheep, fish - 指導者がこれらの単語を英語で聞かせるが、児童はこれらの動物に出合っていないので、発音させる必要はない。児童が言いたいようであれば、言ってもよい。 ②Story Reading 1ページずつめくり、最初に絵をゆっくり見る時間を設定する。それからお話を読む。 - ここでは、What do you see?という表現が繰り返し出てくるので、それがどういう意味かを示すために、双眼鏡をもっているジェスチャーや両目に手をあてて「見る」という動作をする。 - 児童にも、What do you see?の時に、同じようにしてもよいと言う。 1回通して読んだ後、もう一度読む。その時は、児童も一緒に、発音させてもよい。 - ページを少しずつめくり、次に出てくる動物がわかれば言わせるなど、児童とやり取りをしながら読む。 ③Post-reading - どんな動物が出てきたか、どんな色だったかを振り返る。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?」
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



<ピクチャーカード>



lion



tiger



giraffe



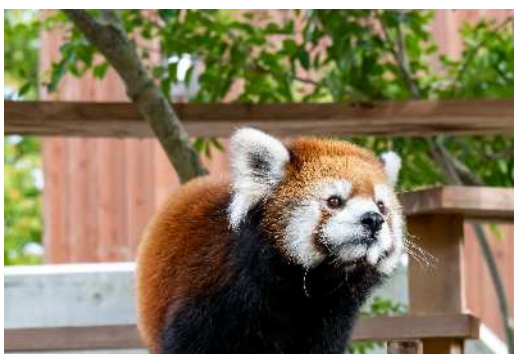
elephant



goat



monkey



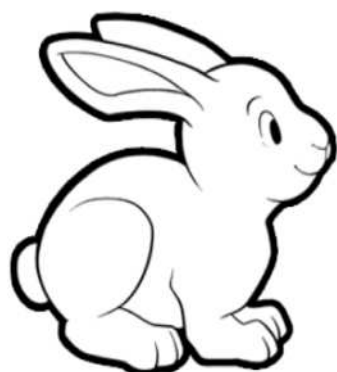
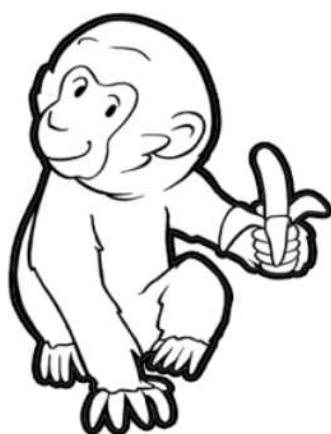
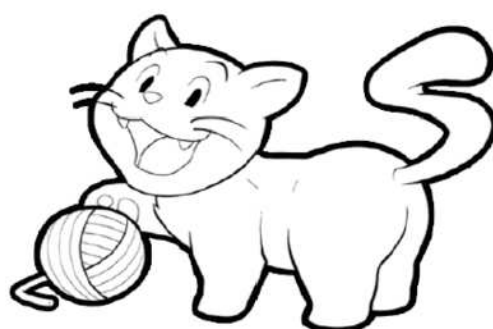
Red panda



rabbit

		なまえ
ねん	くみ	

かってみたいどうぶつに○をしよう。



※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

<45分の活動>

小学校 第1学年 Unit 6 「くだものであそぼう」

目標	(聞くこと)くだものの言い方や数の尋ね方などの簡単な語句や表現に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Do you like (peaches)? I like (apples).
主な言語材料(児童)	banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry Yes. / No.
活動例	くだものの言い方を知り、先生や友達が好きなくだものを聞いたり、自分の好きなくだものを言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) ・少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
3分 (7分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 色々なくだものを提示することで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) Wow, banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry (イラストに応じて複数形にする). They all look delicious. Do you like apples? I like apples. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語でくだものの言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (GI_Unit 6_くだものであそぼう)
8分 (15分)	Activity① くだものの言い方に親しもう	・絵カードや実物、サンプルなどを見せながら、くだものの言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry ・好きな果物に手を挙げるよう促す。まずは指導者の好きなくだものから尋ねる。 I like bananas. Do you like bananas? "I like bananas." Raise your hands. ・他のくだものについても、 "I like bananas." Raise your hands. のパターンで尋ね、手を挙げさせる。(正しい聞き方は "Who likes bananas?" だが、"like ~." の言い方を聞かせる為にこのような尋ね方をする。) ※最初は聞くことを大切にし、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	絵カード (banana, melon, apple, peach, orange, grapes, strawberry)
5分 (20分)	Activity② 歌 "Apples and Bananas"	歌をかけ、聴かせる。動画コンテンツを見せてもよい。 Let's listen to "Apples and Bananas". ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (Apples and Bananas) ← 変更予定
5分 (25分)	Activity③ くだものクイズ	・絵カードを1枚選び、他の絵カードで絵を覆って隠す。覆っているカードを少しずつずらし、何のくだものか当てるようにする。 What's this? Is this a peach? Is this an apple? Yes, It's an apple.	絵カード (banana, melon, apple, peach, orange, grapes, strawberry)

小学校 第1学年 Unit 6 「くだものであそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
10分 (35分)	絵本タイム “The Very Hungry Caterpillar”	・表紙を見せて、イラストに注目するよう促す。 Look. Can you see the caterpillar? ・絵をゆっくり見る時間を取りながら、お話を読む。 - 同じリズムのフレーズが繰り返してくる場面では、児童の耳の残るよう、リズムを意識して読むとよい。 ・読み終わったら、もう一度くだものが出てくるページを開き、それぞれについて好きか尋ねる。児童が英語で言いたそうにしていたら、合図に合わせて“I like ~.”と言わせてもよい。 Do you like apples? OK, let's say “I like apples.” One, two, (児童と) “I like apples.” ※ 児童に言わせる際は、大きな声で正確に言わせる必要はない。誰がどのくだものを好きか、どのくだものが人気か、ということをクラスで共有し、楽しめればよい。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “The Very Hungry Caterpillar”
8分 (43分)	ワークシート	・ワークシートを配布し、好きなくだものに丸をするよう促す。	G1-Unit 6_ワークシート
2分 (45分)	振り返り～終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを尋ねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語で行う) - 英語の時間は楽しめましたか? - 何が一番好きでしたか? - よく頑張りました!素晴らしい! ・That's all for today's English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 6 「くだものであそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと)くだものの言い方や数の尋ね方などの簡単な語句や表現に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Do you like (peaches)? I like (apples).
主な言語材料(児童)	banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry Yes. / No.
活動例	くだものの言い方を知り、先生や友達が好きなくだものを聞いたり、自分の好きなくだものを言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 お皿に並んだ色々なくだものを見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) Wow, banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry (イラストに応じて複数形にする)。 They all look delicious. Do you like apples? I like apples. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語でのくだものの言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (Gl_Unit 6_くだものであそぼう)
5分(9分)	Activity① くだものの言い方に親しもう	・絵カードや本物、サンプルなどを見せながら、くだものの言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	くだものの絵カード (banana, melon, apple, peach, orange, grapes, strawberry)
5分(14分)	Activity② 歌 “Apples and Bananas”	・歌をかけ、聴かせる。動画コンテンツを見せてもよい。 Let's listen to “Apples and Bananas”. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 (Apples and Bananas)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 6 「くだものであそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと)くだものの言い方や数の尋ね方などの簡単な語句や表現に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Do you like (peaches)? I like (apples).
主な言語材料(児童)	banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry Yes. / No.
活動例	くだものの言い方を知り、先生や友達が好きなくだものを聞いたり、自分の好きなくだものを言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを示し、前回の内容が想起できるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) Can you find apples? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語でくだものの言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (Gl_Unit 6_くだものであそぼう)
5分(9分)	Activity① くだものの言い方に親しもう	・絵カードや実物、サンプルなどを見せながら、くだものの言い方を再度紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry ・児童は好きな果物に手を挙げさせる。まずは指導者の好きなくだものから尋ねる。 I like bananas. Do you like bananas? "I like bananas." Raise your hands. ・他のくだものについても、 "I like bananas." Raise your hands. のパターンで尋ね、手を挙げよう促す。(正しい聞き方は "Who likes bananas?" だが、 "like ~." の言い方を聞かせる為にこのような尋ね方をする。) ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	くだものの絵カード (banana, melon, apple, peach, orange, grapes, strawberry)
5分(14分)	Activity② 歌 "Apples and Bananas"	・歌をかけ、聴かせる。動画コンテンツを見せてもよい。 Let's listen to "Apples and Bananas". ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (Apples and Bananas)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

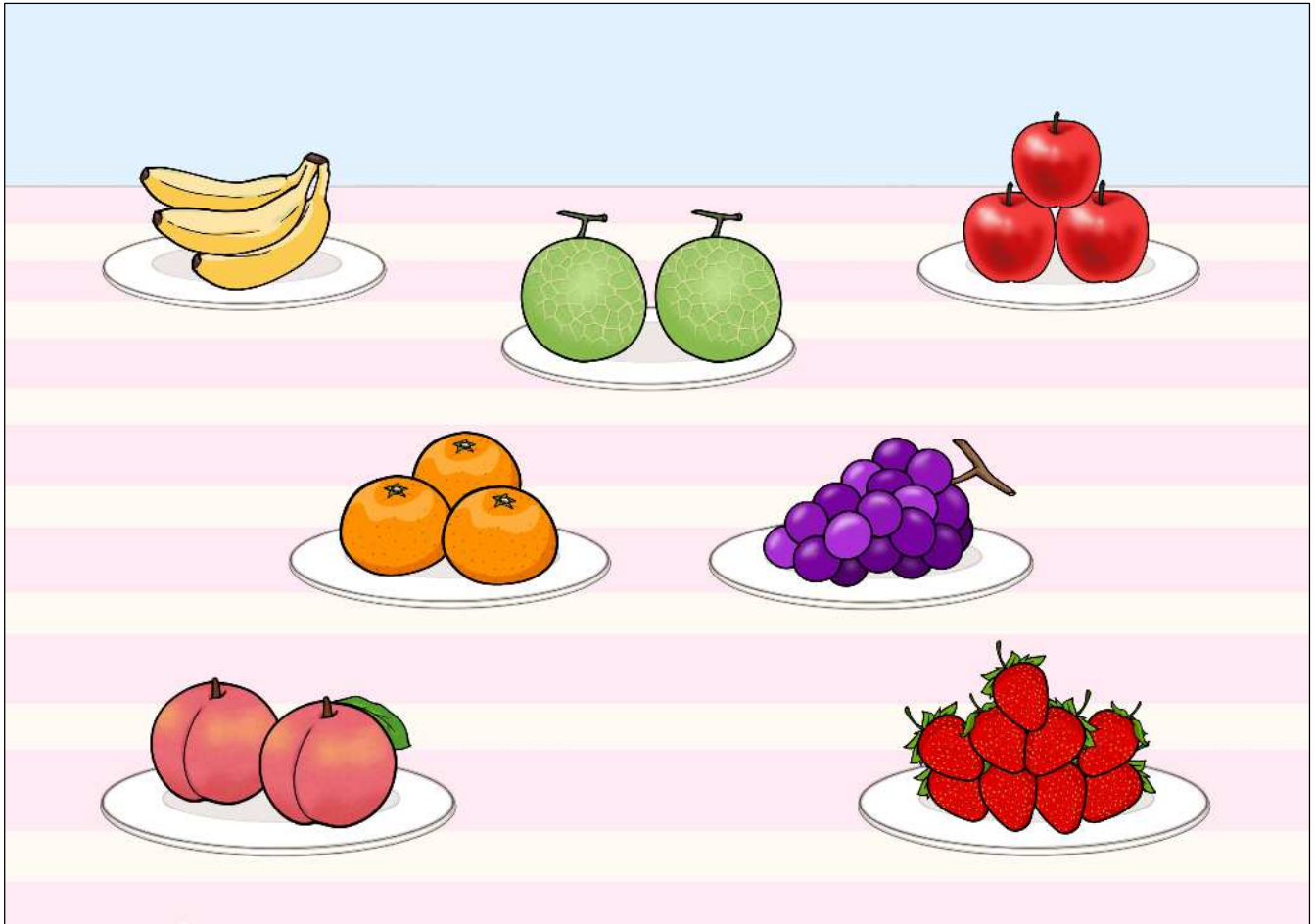
小学校 第1学年 Unit 6 「くだものであそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

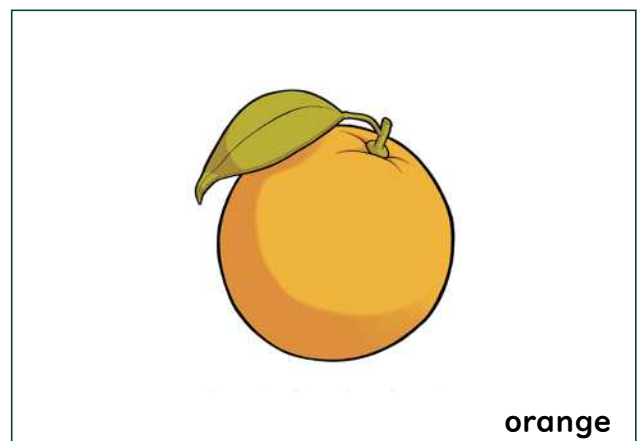
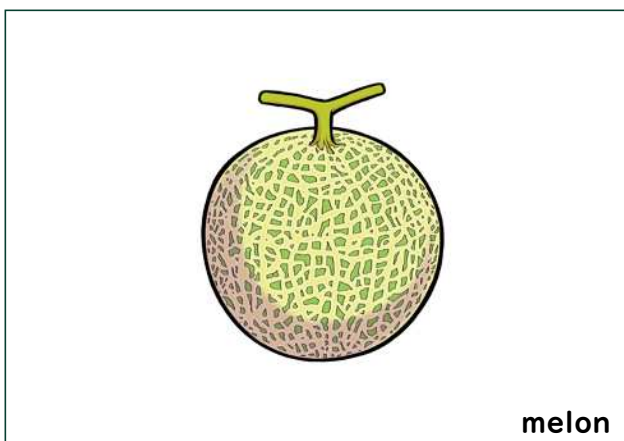
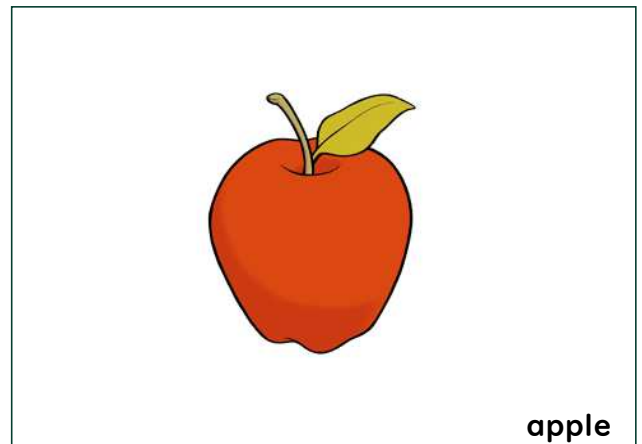
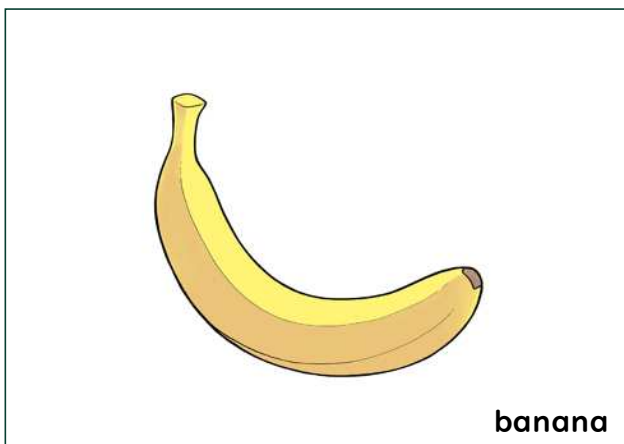
目標	(聞くこと)くだものの言い方や数の尋ね方などの簡単な語句や表現に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Do you like (peaches)? I like (apples).
主な言語材料(児童)	banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry Yes. / No.
活動例	くだものの言い方を知り、先生や友達が好きなくだものを聞いたり、自分の好きなくだものを言ったりして楽しむ。

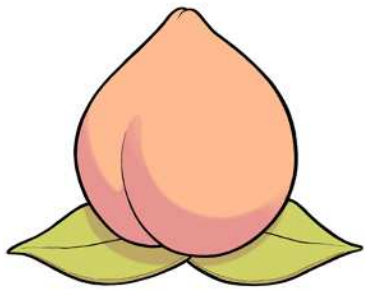
時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	くだものの言い方にし たしむ	- 絵カードや実物、サンプルなどを見せながら、くだものの言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) banana, melon, apple, peach, orange, grape, strawberry ※ 児童にくだものの言い方を言わせるのが目的ではない。いろいろなくだものの言い方が出てきたな、ということを思い出させるようにする。	ストーリーボード (Gl_Unit 6_くだ ものであそぼう)
9分 (14分)	絵本タイム “The Very Hungry Caterpillar”	- 表紙を示し、イラストに注目するよう声をかける。 Look. Can you see the caterpillar? - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 - 同じリズムのフレーズが繰り返して出てくる場面では、児童の耳の残るよう、リズムを意識して読むとよい。 - 読み終わったら、もう一度くだものが出てくるページを開き、それぞれについて好きかどうか尋ねる。児童が英語で言いたそうにしていたら、合図に合わせて“I like ~.”と言わせてもよい。 例) Do you like apples? OK, let's say “I like apples.” One, two, (児童と) “I like apples.” ※ 児童に言わせる際は、大きな声で正確に言わせる必要はない。誰がどのくだものを好きか、どのくだものが人気か、ということをクラスで共有し、楽しめればよい。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “The Very Hungry Caterpillar”
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



<ピクチャーカード>

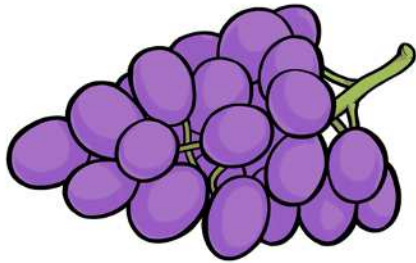




peach



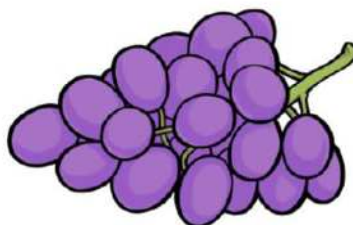
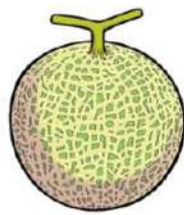
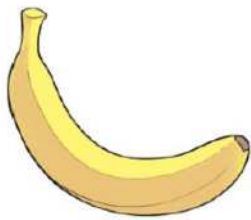
strawberry



grapes

		なまえ
ねん	くみ	

①すきなくだものに○をしよう。



②すきなくだものをえいごでいってみよう!

※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

<45分の活動>

小学校 第1学年 Unit 7 「からだをつかってあそぼう」

本時のねらい	(聞くこと) 英語での体の部位の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
主な言語材料(児童)	head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
活動例	体の部位の言い方を知り、動作をつけながらゲームをしたり、歌ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) - 少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
3分 (7分)	イントロダクション	- ストーリーボードを示し、どんな場面だろう?と問いかける。 - 人間や様々な動物の体の部位のイラストを示すことで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a girl. The girl is touching her head. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語での体の部位の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (Gl_Unit 7_からだをつかってあそぼう)
8分 (15分)	Activity① 体の部位の言い方に親しもう	- ジェスチャーをしたり、自分の体の部位を指差したりしながら、体の部位の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。 - 自分の体の部位をタッチするように伝える。手本を見せる。 "Touch your head."	体の部位の絵カード (head shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose)
5分 (20分)	Activity② 歌 "Head Shoulders Knees & Toes"	- 一回目は歌をかけ、デモンストレーションを見せる。 - 動画コンテンツを見せてもよい。 - 二回目は児童も一緒に動作を行うよう促す。 ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (Head Shoulders Knees & Toes)
5分 (25分)	Activity③ Simon says	- デモンストレーションを行う。動画コンテンツを見せてもよい。 - 児童がやり方ある程度理解したら、やってみよう!と促す。 Let's try. Simon says touch your (arms). ※ 間違えて動いてしまってもペナルティはもうけず、続けて参加するよう促す。 全員が最後まで楽しく参加できればよい。	動画コンテンツ

小学校 第1学年 Unit 7 「からだをつかってあそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
10分 (35分)	Activity④ 絵本タイム “From Head to Toe”	・表紙を見せて、イラストに注目するよう促す。 Look. What's this? Yes, it's a gorilla. ・絵をゆっくり見る時間を取りながら、お話をよむ。 - 同じリズムのフレーズが繰り返して出てくる場面では、児童の耳の残るよう、リズムを意識して読むとよい。 ・読み終わったら、もう一度いくつかのページを開き、それぞれの動作を児童とやってみる。 Can you shake your arms? ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “From Head to Toe”
8分 (43分)	ワークシート	・ワークシートを配布し、指示を聞いてイラストの部位を指差す活動を行う。 Point to the (shoulders). ※ 時間が余ったら色塗りをしてもよい。	GI_Unit 7_ワークシート
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを尋ねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語) - 英語の時間は楽しめましたか? - 何が一番好きでしたか? - 良く頑張りました!素晴らしい! ・That's all for today's English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

<Idea Box>

Head, shoulders, knees and toesの歌を歌う代わりに、タッチングゲームをすることも楽しいですね。指導者の掛け声に合わせて、体の部位の英語表現を言いながら、触るようにします。速くしたり遅くしたり、児童が集中して聞くことができるように調整しながら行ってみましょう。

使用する英語の例) Let's play a touching game. Touch your head!

(光貞小学校の実践より)



小学校 第1学年 Unit 7 「からだをつかってあそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での体の部位の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
主な言語材料(児童)	head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
活動例	体の部位の言い方を知り、動作をつけながらゲームをしたり、歌ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促すが、無理強いはいしない。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 - 人間や様々な動物の体の部位のイラストを提示することで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a girl. The girl is touching her head. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語での体の部位の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (GI_Unit 7_からだをつかってあそぼう)
5分(9分)	Activity① 体の部位の言い方に親しもう	- ジェスチャーをしたり、自分の体の部位を指差したりしながら、体の部位の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 - 自分の体の部位をタッチするように促す。手本を見せる。 "Touch your head."	体の部位の絵カード (head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose)
5分(14分)	Activity② 歌 "Head Shoulders Knees & Toes"	- 一回目は歌をかけ、デモンストレーションを行う。 - 動画コンテンツを見せてもよい。 - 二回目は児童も一緒に動作を行うよう促す。 Let's do the actions. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源(Head Shoulders Knees & Toes)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 7 「からだをつかってあそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語での体の部位の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
主な言語材料(児童)	head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
活動例	体の部位の言い方を知り、動作をつけながらゲームをしたり、歌ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、前回の内容を想起できるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a girl. The girl is touching her head. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語での体の部位の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (GI_Unit 7_からだをつかってあそぼう)
5分(9分)	Activity① 体の部位の言い方に親しもう	- ジェスチャーをしたり、自分の体の部位を指差したりしながら、体の部位の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。 - 自分の体の部位をタッチするように促す。手本を見せる。 "Touch your head."	体の部位の絵カード (head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose)
5分(14分)	Activity② 歌 "Head Shoulders Knees & Toes"	- 歌を聴きながら動作を行うよう促す。 Let's do the actions. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。 - 歌い終わったら、指導者は体の部位をタッチしながら、英語をもう一度ゆっくり発音する。 - 動作を真似するよう促す。Touch your…で少し溜めてから部位を言うことで、聞くことに集中するよう伝える。 Touch your…(数秒おいてから) toes. ※ 体の部位は2～3つ位でよい。歌とは異なる順番にすると、児童がより聞くことに集中するようになる。	歌の音源(Head Shoulders Knees & Toes)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

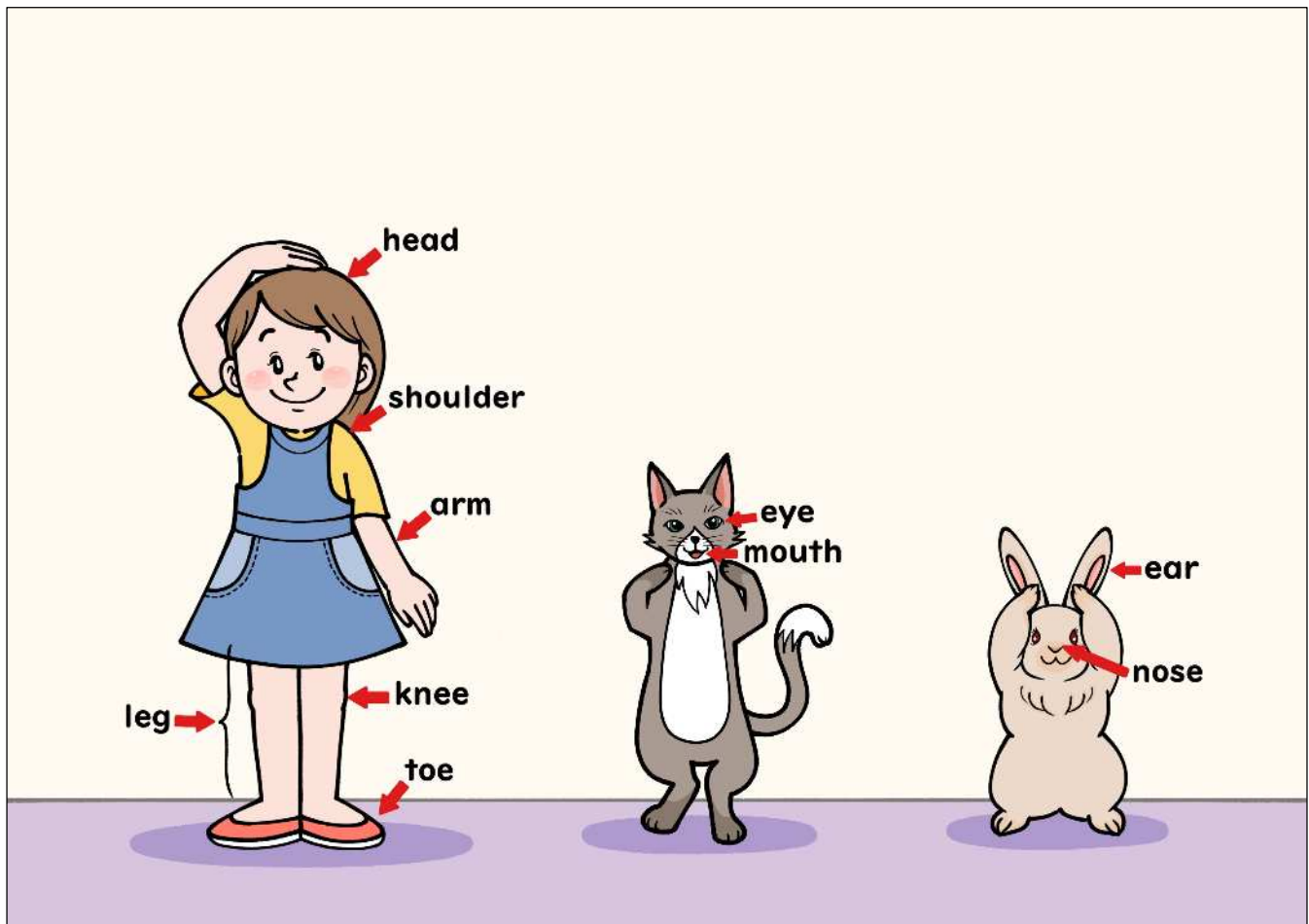
小学校 第1学年 Unit 7 「からだをつかってあそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

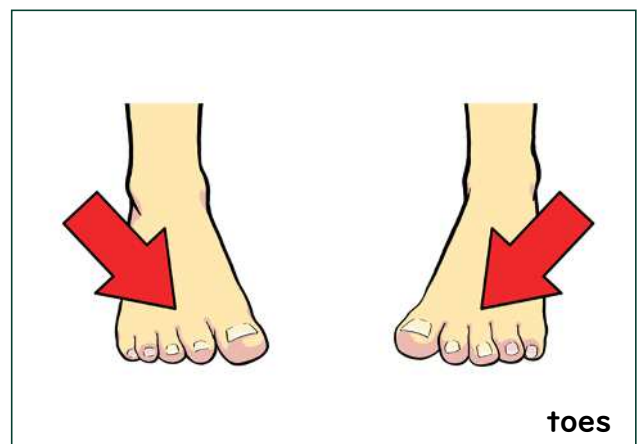
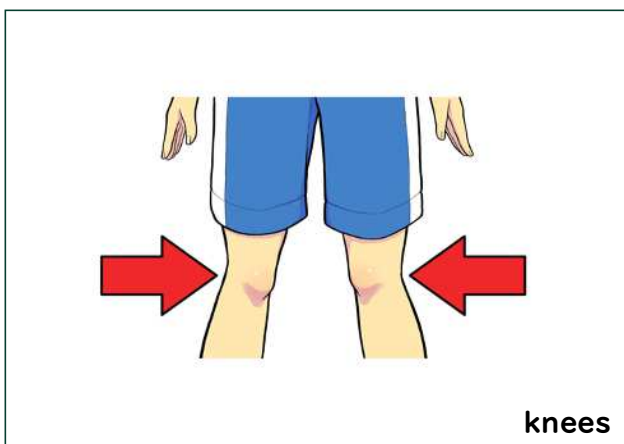
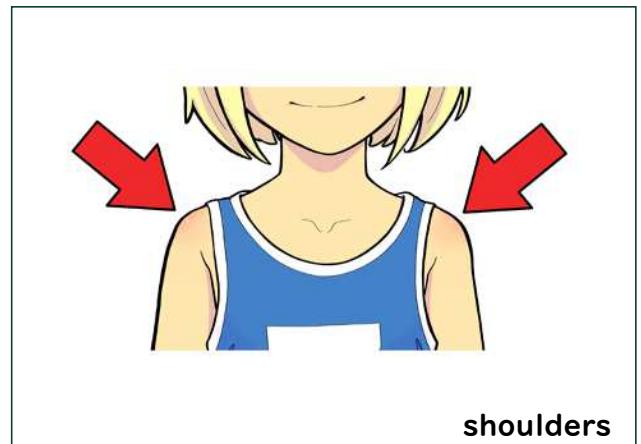
目標	(聞くこと) 英語での体の部位の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
主な言語材料(児童)	head, shoulders, knees, toes, hands, arms, legs, eyes, ears, mouth, nose
活動例	体の部位の言い方を知り、動作をつけながらゲームをしたり、歌ったりして楽しむ。

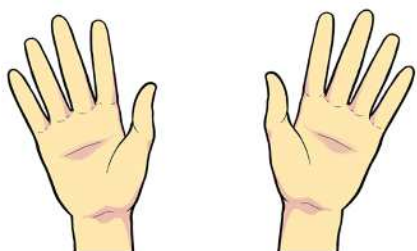
時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、前回の内容が想起できるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a girl. The girl is touching her head. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語での体の部位の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (Gl_Unit 7_からだをつかってあそぼう)
9分 (14分)	Activity① 絵本タイム "From Head to Toe"	- 表紙を見せて、イラストに注目するよう促す。 Look. What's this? Yes, it's a gorilla. - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 - 同じリズムのフレーズが繰り返し出てくる場面では、児童の耳の残るよう、リズムを意識して読むとよい。 - 読み終わったら、もう一度いくつかのページを開き、それぞれの動作を児童とやってみる。 Can you wiggle your arms? ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 "From Head to Toe"
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>

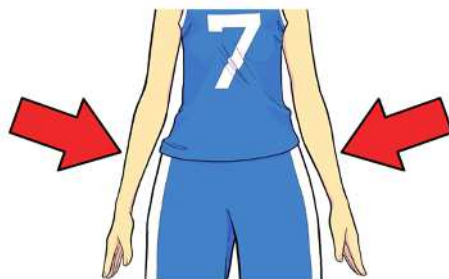


<ピクチャーカード>

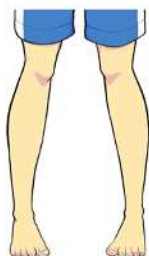




hands



arms



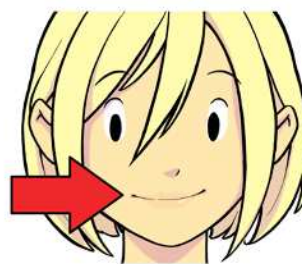
legs



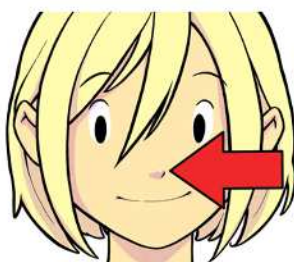
eyes



ears



mouth



nose

	ねん		くみ	なまえ

きこえたところをゆびさしてみよう。



※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

小学校 第1学年 Unit 8 「絵本でふりかえろう」(Short ①)

<15分の活動>

本時のねらい	(聞くこと) 絵本の読み聞かせを通してこれまで親しんできた英語にもう一度ふれて楽しむ。
主な言語材料(指導者)	これまでに学習したあいさつ、数、色、動物、くだもの、体の部位等
主な言語材料(児童)	これまでに学習したあいさつ、数、色、動物、くだもの、体の部位等
活動例	これまでに聞いた英語の音声(あいさつ、数、色、動物、くだもの、体の部位等)を想起しながら、聞く活動を楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
11分 (14分)	絵本タイム	①Pre-reading - 絵本の見開きを見せて、色、数などイラストから読み取れるものを通じておさらいをする。 What's this? What color is this? How many? - 指導者がこれらの単語を英語で発音する。児童が言いたいようであれば、真似して言うよう促す。 ②Story Reading 1ページずつめくり、最初に絵をゆっくり見せる。それからお話を読む。 - 繰り返し出てくる表現は一定のリズムを意識して聞かせると児童の耳に残りやすい。 - ページを少しずつめくり、次に出てくる動物がわかれば言わせるなど、児童とやり取りをしながら読む。 1回通して読んだ後、時間があればもう一度読む。その時は、児童も一緒に、部分的に発音してもよい。 ③Post-reading - どんな動物(くだもの)が出てきたか、どんな色だったかなど所々振り返る。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “A Beautiful Butterfly”, “Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?”, “The Very Hungry Caterpillar”, “From Head to Toe” 等
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第1学年 Unit 8 「絵本でふりかえろう」(Short ②) ※①と流れは同じ

<15分の活動>

本時のねらい	(聞くこと)絵本の読み聞かせを通してこれまで親しんできた英語にもう一度ふれて楽しむ。
主な言語材料(指導者)	これまでに学習したあいさつ、数、色、動物、くだもの、体の部位等
主な言語材料(児童)	これまでに学習したあいさつ、数、色、動物、くだもの、体の部位等
活動例	これまでに聞いた英語の音声(あいさつ、数、色、動物、くだもの、体の部位等)を想起しながら、聞く活動を楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
11分 (14分)	絵本タイム	①Pre-reading - 絵本の見開きを見せて、色、数などイラストから読み取れるものを通じておさらいをする。 What's this? What color is this? How many? - 指導者がこれらの単語を英語で発音する。児童が言いたいようであれば、真似して言うよう促す。 ②Story Reading 1ページずつめくり、最初に絵をゆっくり見せる。それからお話を読む。 - 繰り返し出てくる表現は一定のリズムを意識して聞かせると児童の耳に残りやすい。 - ページを少しずつめくり、次に出てくる動物がわかれば言わせるなど、児童とやり取りをしながら読む。 1回通して読んだ後、時間があればもう一度読む。その時は、児童も一緒に、部分的に発音させてもよい。 ③Post-reading - どんな動物(くだもの)が出てきたか、どんな色だったかなど所々振り返る。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 "A Beautiful Butterfly", "Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?", "The Very Hungry Caterpillar", "From Head to Toe" 等 児童の実態にあわせて前時と同じ絵本を使用してもよいし、違うものを選んでよい。
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again") - 聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit 1 「あいさつをしよう」(Short ①)

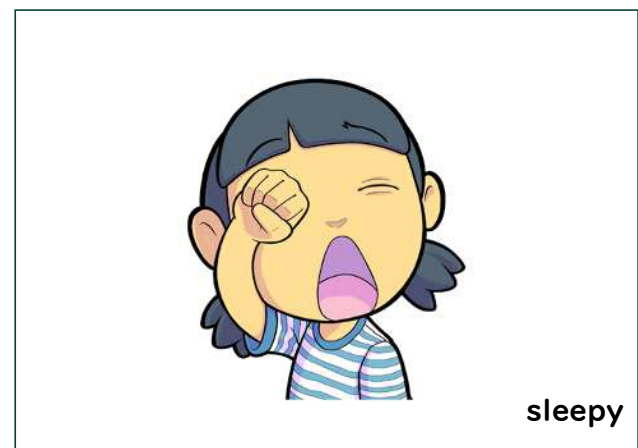
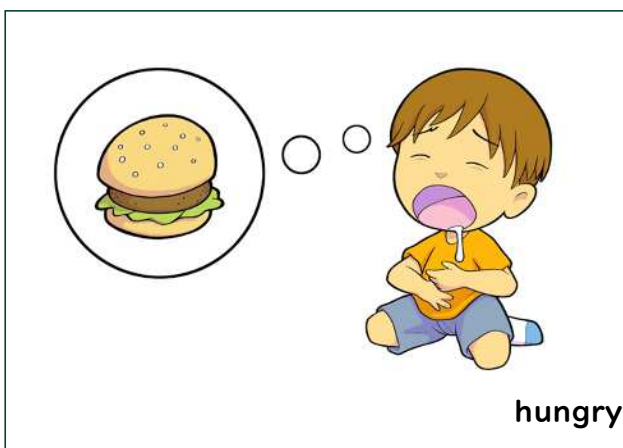
<15分の活動>

目標	(聞くこと) 英語と日本語のあいさつや気分の言い方の違いに触れたり、親しんだりする。		
主な言語材料(指導者)	Hello. Hi, I'm ○○. How are you? I'm good/happy/hungry/sleepy/fine. Goodbye. See you.		
主な言語材料(児童)	Hello. Hi, I'm (Hinata). How are you? I'm good/happy/hungry/sleepy/fine. Goodbye. See you.		
活動例	英語のあいさつを想起し、先生の言い方を真似て発話し合ったり、歌ったりして楽しむ。		
時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	1年生の「あいさつをしよう」①②に出てきた会話のストーリーボードを見せることで、どんな場面だったかな?と思い出すよう促す。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) - 児童が絵に注意を向けたところで、会話の場面のセリフを言う。 "Hello. I'm ○○." 笑顔で挨拶する様子を演じる。 - 続いてお別れの場面の絵を見せ、同様にセリフを聞かせ、演じる。 "Good-bye." "See you." ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語での体の部位の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G1_Unit 2_ごきげんいかが?)
5分(9分)	Activity① 気分の言い方に親しもう	- ジェスチャーをしながら気分の言い方を紹介し、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Hello. How are you? I'm~(good/ happy/ hungry/ sleepy/ fine). - 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。 - カードを一枚ずつ見せながら、当てはまる気分に手を挙げるよう促す。その際、毎回How are you?の質問とセットで聞かせると次の活動の下地となる。 How are you? I'm good. (手を挙げる動作を見せ、当てはまれば挙手することを伝える。)	あいさつの絵カード (good/happy/hungry/sleepy/fine)
5分(14分)	Activity② 音楽が止まったらあいさつゲーム "If You are Happy"	- デモンストレーションを見せる。 - 音楽をかけ、音楽が止まったら近くの人と "Hello. How are you?" "I'm~."とあいさつのやり取りをする。(Good-bye. (See you.)は児童が言えるようであれば言ってもよい。) ※ まだ、まねることができない児童のため、指をさして示すシート(ピクチャーカードの縮小したもの)などを準備しておくことも考えられる。 ※ やり取りするフレーズは文で言えなくてもよい。Happy, good, sleepyなど単語でもよい。 ※ やり取りに必要なフレーズが多い為、歌の歌詞が邪魔にならないよう、音楽は小さめの音量でかけるとよい。	歌の音源 (If You are Happy)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



<ピクチャーカード>



小学校 第2学年 Unit 2 「アルファベットとなかよし」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) アルファベットには名前があることに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? It's A. A to Zのアルファベットの名前
主な言語材料(児童)	A to Zのアルファベットの名前
活動例	アルファベットの名前を知り、文字や絵を見ながら歌って楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、イラストから読み取れる場面について触れ、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! What is he/she doing? She is eating ice cream. (画面の絵を指さしながら) - 次に見たことのある文字があるか考えるよう促す。 Look. What's this? It's an A. Can you find any other letters? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。指をさすなどして、文字に意識を向けることができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 2_アルファベットとなかよし)
5分(9分)	Activity① 歌 "Alphabet Hop"	- 一回目は音楽をかけ、聴く時間を設定する。 Let's listen. - 二回目は、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 Let's sing. ※ 言えるアルファベットだけ口ずさんだり、ただ聞いたりするだけでもよい。	歌の音源 (Alphabet Hop)
5分(14分)	Activity② 体を使って文字を作ろう	- 絵カードを一枚選んで黒板に貼り、指導者が体を使ってその文字を形作って見せる。 What's this? It's a T. (両腕を横に真っすぐ伸ばし、体全体をTの形に似せる。) - 児童にも動作を真似するよう促す。 Let's make a letter. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。動作を一緒に行えばよい。	絵カード (アルファベット)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

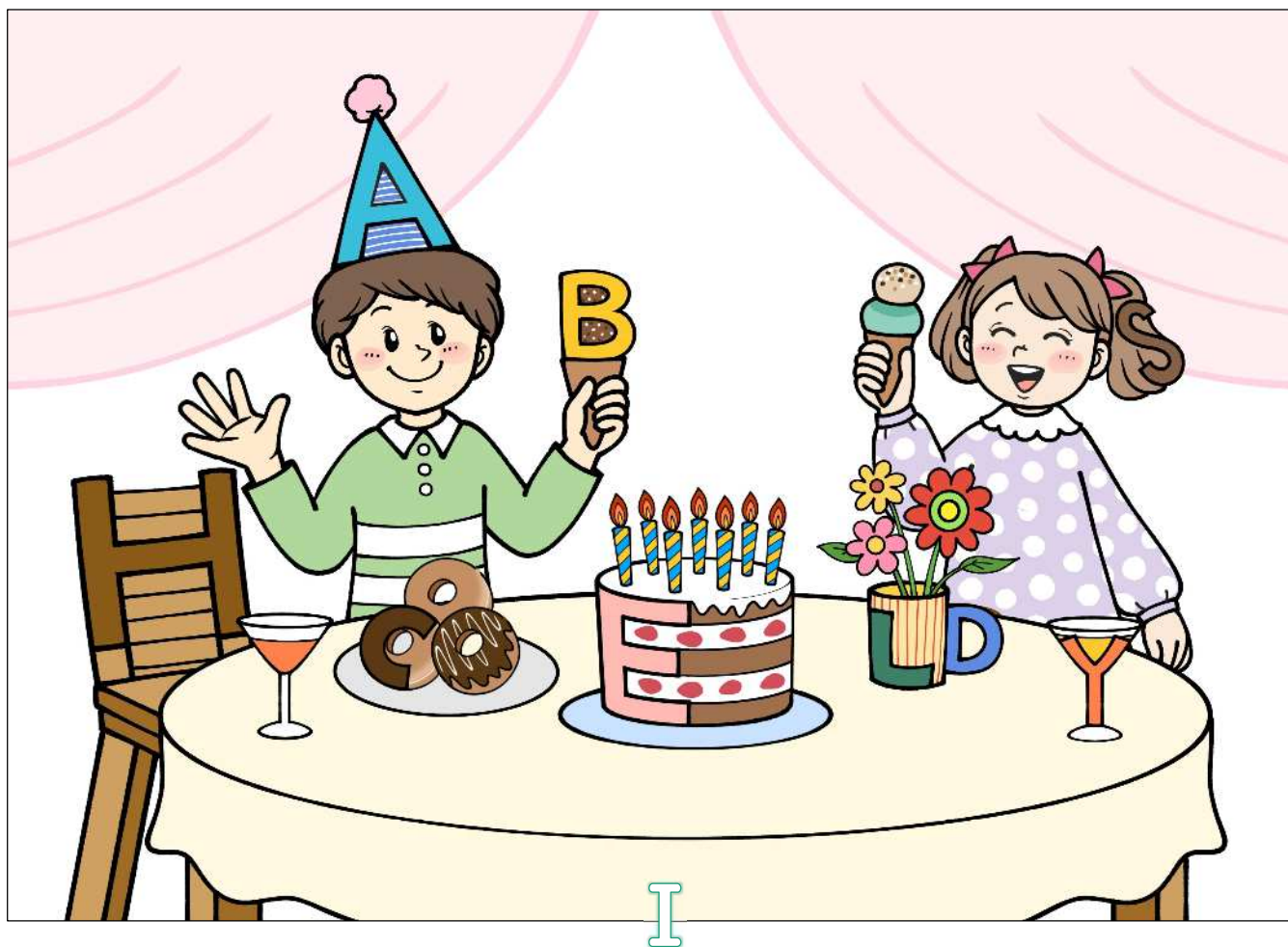
小学校 第2学年 Unit 2 「アルファベットとなかよし」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) アルファベットには名前があることに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? It's A. A to Zのアルファベットの名前
主な言語材料(児童)	A to Zのアルファベットの名前
活動例	アルファベットの名前を知り、文字や絵を見ながら歌って楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、イラストから読み取れる場面について触れ、前回の内容が想起できるようにする。 Look at this! What is he/she doing? She is eating ice cream. (画面の絵を指さしながら) - 次にボードの中の文字を探すように促す。 Look. What's this? It's an A. Can you find any other letters? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。指をさすなどして、文字に意識を向けることができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 2_アルファベットとなかよし)
5分(9分)	Activity① 歌 "Alphabet Hop"	- 一回目は音楽を流す。 - Let's listen. - 二回目は、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 Let's sing. ※ 言えるところだけ口ずさむ程度でよい。	歌の音源 (Alphabet Hop)
5分(14分)	Activity① 絵本タイム "Eating Alphabet: Fruit and Vegetables from A to Z"	- 絵本の表紙を見せて、イラストにあるものについて話す。 Look. What's this? It's ~. ※ 指導者がこれらの単語を英語で聴かせるが、児童に発音させる必要はない。児童が言いたいようであれば、一緒に言うよう促す。 - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらうなどの工夫もできる。	絵本 "Eating Alphabet: Fruit and Vegetables from A to Z"
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!") のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



<ピクチャーカード>

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

Z

	ねん		くみ	なまえ

すきなもじをえらんで、いろをぬろう。

A

B

C

D

※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

<45分の活動> 小学校 第2学年 Unit 3 「数であそぼう」

目標	(聞くこと) 数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
言語活動例	数の数え方や尋ね方を想起して、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) - 少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
3分 (7分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 - お店に並んだ様々な美味しそうな商品を紹介することで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) How many? One, two, three, four. Four apples. - 他のものも数えて聞かせる。 One, two, three, four, five. Five donuts. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語での数え方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (GI_Unit 3_数であそぼう)
5分 (12分)	Activity① 数の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、数の言い方を紹介する。 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 - 最初はよく聞かせ、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	絵カード(1~10)
8分 (20分)	Activity② 歌に合わせて動こう “10 steps”	- デモンストレーションを見せる。 - 歌をかけ、指導者が歩き回り、フレーズの切れ目(下線)で立ち止まって見せる。 One two three four five six <u>seven</u> One two three four five six <u>seven</u> Eight nine <u>ten</u> Eight nine <u>ten</u> One two three four five six <u>seven</u>... - 児童にも、やってみよう!と促す。 Let's try.	歌の音源(10 steps)

小学校 第2学年 Unit 3 「数であそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
5分 (25分)	Activity② 歌に合わせて動き、ロずさもう “10 steps”	・今度はロずさみながら行うことを伝える。 Let's walk around and sing. ・出だしの部分だけ歌ってみせる。 ♪ One two three four five six <u>seven</u>. OK? One two three four five six <u>seven</u> One two three four five six <u>seven</u> Eight nine <u>ten</u> Eight nine <u>ten</u> One two three four five six <u>seven</u>,... ※ 言えるところだけ動きながらロずさむ程度でよい。	歌の音源 (10 steps)
10分 (35分)	絵本タイム “Spot can count”	・表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What's this? Yes, it's a dog. His name is Spot. ・絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ 数が出てくる場面は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に数えてもよい。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “Spot can count”
3分 (38分)	Activity③ 言われた数の分だけ手を叩こう	・絵カードを一枚選び、その数の分だけ、数えながら手を叩く。 Let's clap. (3のカードを見せる) 1, 2, 3. (手を叩く) ・児童にも、やってみるように促す。 Let's clap together. (8のカードを見せる) 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8. ・児童が慣れてきたら、clapの代わりにjump (その場でジャンプ) に変えて行う。 Let's jump together. (5のカードを見せる) 1, 2, 3, 4, 5. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。出された数の分だけ、動作を行う程度でよい。	絵カード(1~10)
5分 (43分)	ワークシート	・ワークシートを配布し、海の生き物の数を足して、英語で数える活動をする。 How many jelly fish? How many dolphins? 2 plus 2 equals? ・早くできた児童には、色を塗るよう促す。	G2_Unit 3_ワークシート
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを尋ねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語でよい) - 英語の時間は楽しめましたか？ どの活動が一番好きでしたか？ 良く頑張りました！素晴らしい！ ・That's all for today's English time. ♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit 3 「数であそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと)数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
活動例	数の数え方や尋ね方を想起して、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 お店に並んだ様々な美味しそうな食べ物を見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) How many? One, two, three, four. Four apples. ・他のものも数える。 One, two, three, four, five. Five donuts. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語での数え方に興味をもつことができればよい。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	ストーリーボード (GI_Unit 3_数であそぼう)
5分(9分)	Activity① 数の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、数の言い方を紹介する。 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 ※ 最初は聞くことを大切にし、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	数の絵カード(1~10)
5分(14分)	Activity② 歌に合わせて動こう “10 steps”	・デモンストレーションを見せる。 歌をかけ、指導者が歩き回り、フレーズの切れ目(下線)で立ち止まる。 One two three four five six <u>seven</u> One two three four five six <u>seven</u> Eight nine <u>ten</u> Eight nine <u>ten</u> One two three four five six <u>seven</u>... ・児童にも、やってみよう!と促す。 Let's try. ※ 言えるところだけ動きながら口ずさむ程度でよい。	歌の音源(10 steps)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit 3 「数であそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと)数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
活動例	数の数え方や尋ね方を想起して、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、前回の内容が想起できるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) How many? One, two, three, four. Four apples. - 他のものも数える。 One, two, three, four, five. Five donuts. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語での数え方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (GI_Unit 3_数であそぼう)
5分(9分)	Activity① 数の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、数の言い方を紹介する。 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	数の絵カード (1~10)
5分(14分)	Activity② 歌に合わせて動き、口ずさもう “10 steps”	- デモンストレーションを見せる。 - 歌をかけ、指導者が歌を口ずさみながら歩き回り、フレーズの切れ目(下線)で立ち止まって見せる。 One two three four five six <u>seven</u> One two three four five six <u>seven</u> Eight nine <u>ten</u> Eight nine <u>ten</u> One two three four five six <u>seven,...</u> - 児童にも、やってみるように促す。 Let's walk around and sing. ※ 拾える箇所だけ動きながら口ずさむ程度でよい。	歌の音源 (10 steps)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

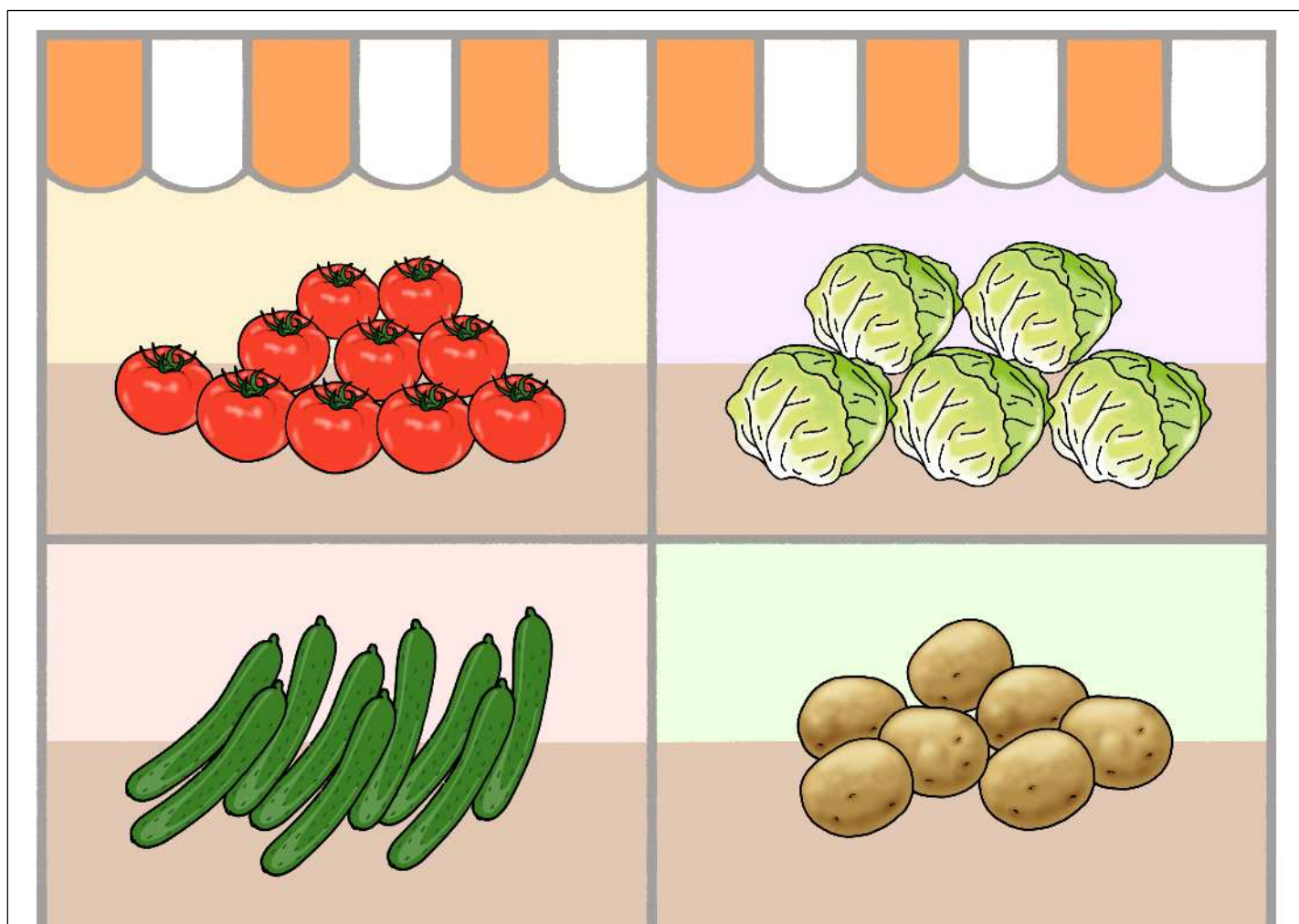
小学校 第2学年 Unit 3 「数であそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

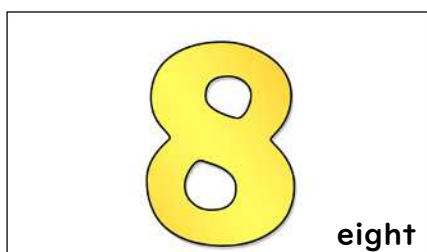
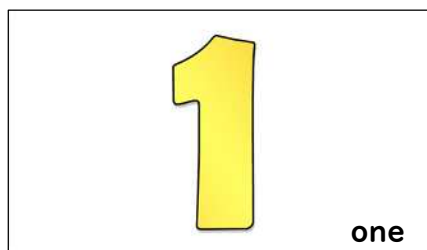
目標	(聞くこと)数の言い方や数の尋ね方などに触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How many? It's ~. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
主な言語材料(児童)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 Yes. No.
活動例	数の数え方や尋ね方を想起して、答えたり、歌ったりして、数えることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動く。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	数の言い方のおさらい	- ストーリーボードを見せて、数の言い方をおさらいする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) One, two, three, four, five. Five donuts. ※ 児童に数の言い方を言わせるのが目的ではない。いろいろな数の言い方が出てきたな、ということを思い出させることが目的。	ストーリーボード (GI_Unit 3_数であそぼう)
9分(14分)	絵本タイム "Spot can count"	- 表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What's this? Yes, it's a dog. His name is Spot. - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ 数が出てくる場面は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に数えてもよい。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 "Spot can count"
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



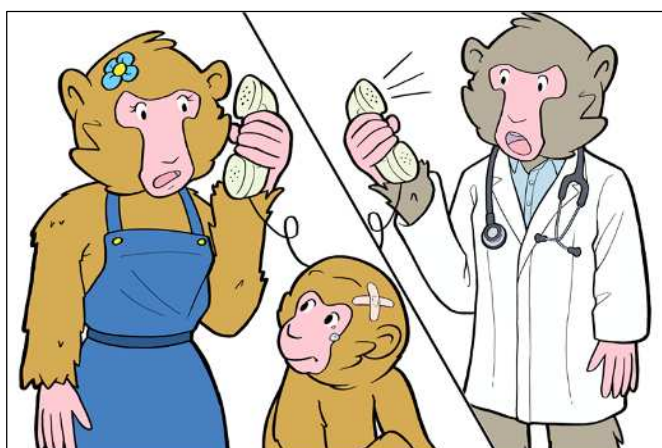
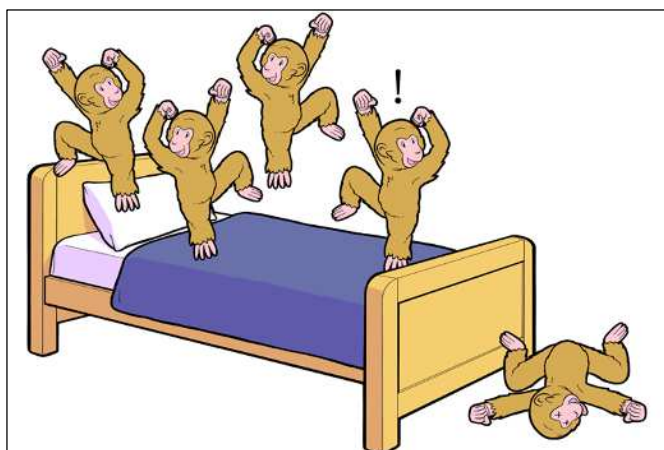
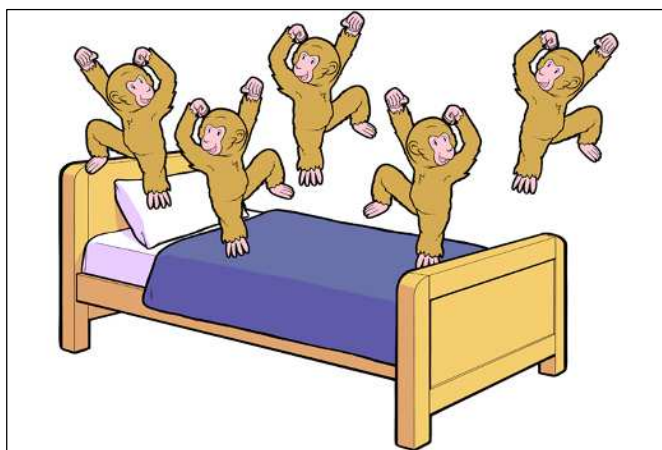
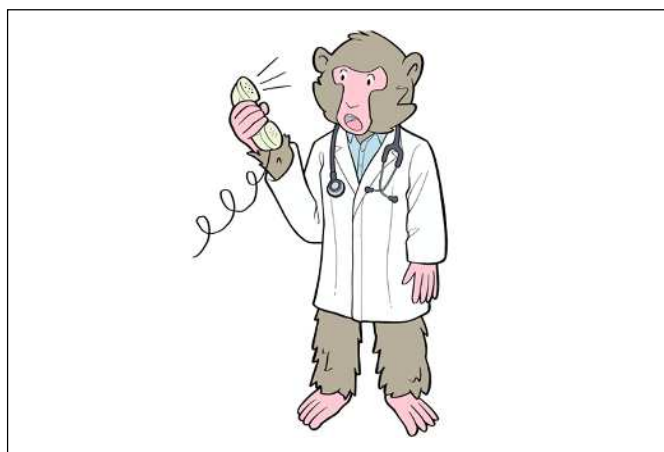
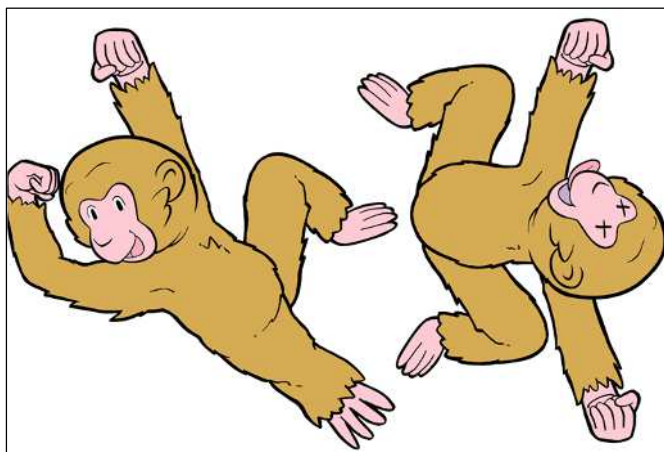
<ピクチャーカード>



<ピクチャーカード>



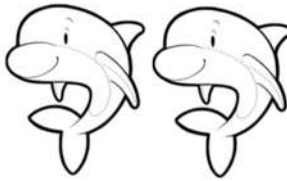
<絵本: Five Little Monkeys>



		なまえ
ねん	くみ	

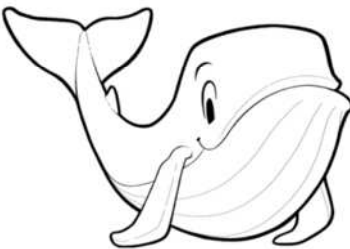
① かずをかぞえて、ぜんぶのかずをえいごでいってみよう。

①


+

=

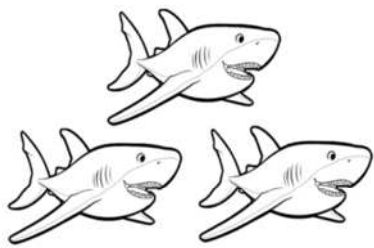
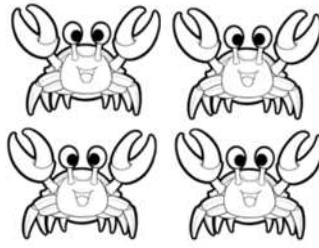
4

②

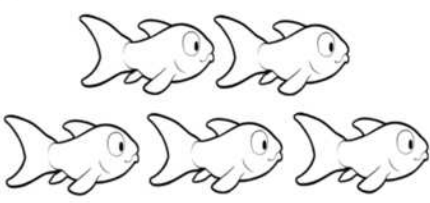
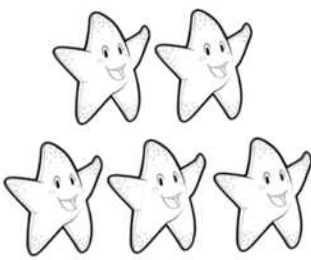

+

=

③


+

=

④


+

=

② いろをぬってみよう。

<45分の活動>

小学校 第2学年 Unit 4 「形であそぼう」

目標	(聞くこと) 形の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? It's triangle/circle/heart/star.
主な言語材料(児童)	triangle/circle/heart/star
言語活動例	形を表す語句を知り、いろいろな形の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも、同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォーム アップソ ング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動く。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) - 少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
3分 (7分)	イントロダ クション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 - 様々な形を見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a triangle. The boy is playing a triangle. - 他の形についても指導者が発音する。 What's this? It's a circle. The girl is playing a tambourine. (「タンバリン」の発音に注意。「タンブリーン」のように、後ろにアクセントがくる。) ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の形の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 4_形であ そぼう)
5分 (12分)	Activity① 形の言い方 に親しもう	- 絵カードを見せながら、形の言い方を紹介する。 triangle/circle/heart/star ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	形の絵カード (triangle /circle/ heart/star)
8分 (20分)	Activity② 歌を聴こう "Twinkle Twinkle Little Star"	- 黒板にいくつか星を描く。 Look. These are stars. - 一回目は曲をかける。 Let's listen. - 児童が聞きたそうであれば、もう一度音楽を流す。 ※ 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 (Twinkle Twinkle Little Star)
5分 (25分)	Activity② 言われた形 を探そう	- 絵カードを一枚見せ、教室内や、衣服にその形のものがあるか、探すよう促す。 Can you find a circle? Point to something circle. - 他の形についても、同様に探して指をさすよう促す。 Can you find a star?	形の絵カード (triangle /circle/ heart/star)

小学校 第2学年 Unit 4 「形であそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
10分 (35分)	絵本タイム “I Can Make a Circle”	- 表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What's this? Yes, it's a~. - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※形の英語は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に言ってもよい。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “The Goldfish Got Away”
3分 (38分)	Activity③ 形あてクイズをしよう	- 空中に形を大きく描き、何の形か問いかける。 What's this? 児童から答えが出ない場合は、Is it a circle? Is it a triangle? のように聞いて、答えを選ばせる。 - 時間がある場合は、絵カードを見せ、児童に空中にその形を描くよう伝える。 Can you draw a heart?	形の絵カード (triangle /circle/ heart/star)
5分 (43分)	ワークシート	- ワークシートを配布し、好きな形を一つ選び、真似して描くように促す。 What shape do you like? Let's draw a shape you like! - 早くできた児童には、選んで描いた形に好きな色を塗ってよいことを伝える。 Let's color the shape you like!	G2_Unit 4_ワーク シート
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを尋ねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語で行う) - 英語の時間は楽しめましたか? - どの活動が一番好きでしたか? - 良く頑張りました!素晴らしい! •That's all for today's English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again”) - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<Idea Box>

ストーリーボードを使う代わりに、本物のトライアングルやタンバリンを使うこともできます。児童が音楽の授業で使った身近な楽器が興味・関心を引き出します。自分たちが知っているはずの「トライアングル」は、triangle、「タンバリン」はcircleと、英語で紹介していくことで、知っているはずの楽器の名前が実は形を表す言葉だったんだ!と驚きや言葉の面白さを感じさせることができます。

(さらに「クッキー」はsquareなど身近なもので形を紹介していきます)

(企救丘小学校の実践より)



小学校 第2学年 Unit 4 「形であそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

本時のねらい	(聞くこと) 形の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? It's triangle/circle/heart/star.
主な言語材料(児童)	triangle/circle/heart/star
活動例	形を表す語句を知り、いろいろな形の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と考えさせる。 - 様々な形を見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a triangle. The boy is playing a triangle. - 他の形についても発話する。 What's this? It's a circle. The girl is playing a tambourine. (「タンバリン」の発音に注意。「タンブリーン」のように、後ろにアクセントがくる。) ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の形の言い方に興味をもつことができればよい。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	ストーリーボード (G2_Unit 4_形であそぼう)
5分(9分)	Activity① 形の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、形の言い方を紹介する。 triangle/circle/heart/star - 最初はよく聞かせ、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	形の絵カード (triangle /circle/ heart/star)
5分(14分)	Activity② 歌を聴こう "Twinkle Twinkle Little Star"	- 黒板にいくつか星を描く。 Look. These are stars. - 一回目は曲をかける。 Let's listen. - 児童が聞きたそうであれば、もう一度音楽を流す。 ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (Twinkle Twinkle Little Star)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit 4 「形であそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 形の言い方に触れたり、親しんだりする。。
主な言語材料(指導者)	What's this? It's triangle/circle/heart/star.
主な言語材料(児童)	triangle/circle/heart/star
活動例	形を表す語句を知り、いろいろな形の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、前回の内容が想起できるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a triangle. What's this? It's a circle. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の形の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 4_形であそぼう)
5分(9分)	Activity① 形の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、形の言い方を紹介する。 triangle, circle, heart, star ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。 - 絵カードを一枚見せ、教室内や、衣服にその形のものがあるか、探すように促す。 Can you find a circle? Point to something circle.	形の絵カード (triangle /circle/ heart/star)
5分(14分)	Activity② 歌を聴こう "Twinkle Twinkle Little Star"	- 黒板にいくつか星を描いて、児童とやり取りを行う。 Look. What's this? Yes, it's a star. Can you draw a star? - 音楽をかける。 Let's listen. - 児童が聞きたそうであれば、もう一度音楽を流す。 ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌って~~わ~~せてもよい。	歌の音源 (Twinkle Twinkle Little Star)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit 4 「形であそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

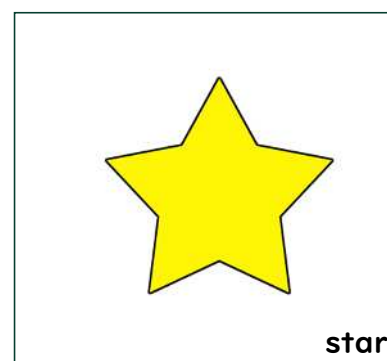
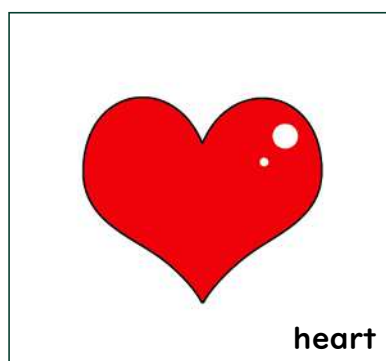
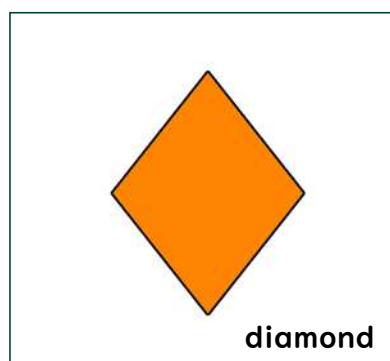
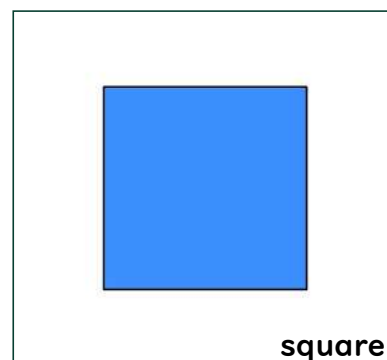
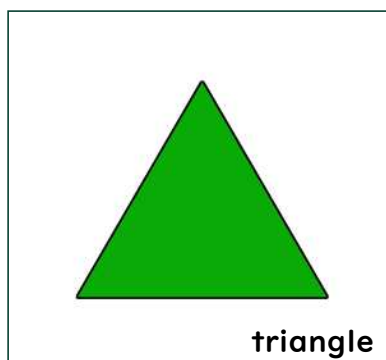
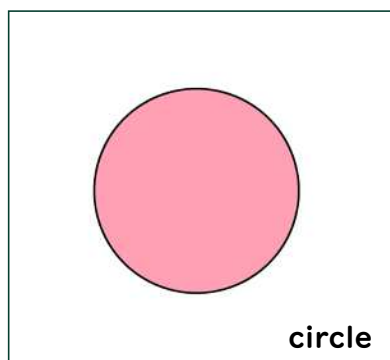
目標	(聞くこと) 形の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	What's this? It's triangle/circle/heart/star.
主な言語材料(児童)	triangle/circle/heart/star
活動例	形を表す語句を知り、いろいろな形の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	Activity① 形の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、形の言い方を紹介する。 triangle/circle/heart/star ・最初はよく聞かせ、児童が言いたそうにしていれば、真似して言ってみようように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	形の絵カード (triangle /circle/ heart/star)
9分 (14分)	絵本タイム “I Can Make a Circle”	・表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What's this? Yes, it's a~. ・絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※形の英語は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に言っ <u>わ</u> せてもよい。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “The Goldfish Got Away”
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで歌う。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>



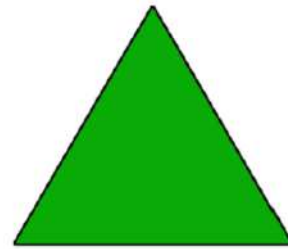
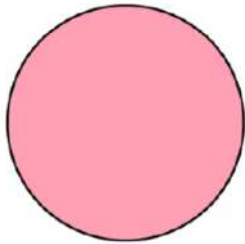
<ピクチャーカード>



<ストーリーボード>

		なまえ
ねん	くみ	

①すきなかたちをえらんで、したに書いてみよう。



すきな かたち

②すきなかたちにいろをぬってみよう。

※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

<45分の活動>

小学校 第2学年 Unit5 「天気であそぼう」

目標	(聞くこと) 天気の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How's the weather? It's sunny/cloudy/rainy/windy/snowy.
主な言語材料(児童)	sunny/cloudy/rainy/windy/snowy
言語活動例	天気の言い方を知り、いろいろな天気の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) - 少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
3分 (7分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 - 雨の日のお天気の様子を見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) It's rainy. How is the weather today? (窓の外を見ながら) Is it rainy? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の天気の言い方に興味をもつことができればよい。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	ストーリーボード (G2_Unit 5_天気であそぼう)
5分 (12分)	Activity① 天気の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、天気の言い方を紹介する。 sunny/cloudy/rainy/windy/snowy ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	天気の絵カード (sunny /cloudy/ rainy/windy/ snowy)
8分 (20分)	Activity② 歌を聴こう The Weather Song	- 一回目は、音楽をかけて、聴かせる。動画コンテンツを見せてもよい。 Let's listen. - 二回目は、動作を真似させる。それぞれの天気を動作で表現するよう促す。 Let's listen and do the gestures. 例) - sunny: 両手で頭の上で円を作り、体を左右に倒してお日様が照っている様子を表す。 - rainy: 両手を広げ、上から下に移動させながら、パラパラと雨が落ちる様子を表す。 - cloudy: 両手を使って、もくもくとした雲の輪郭を描く。 - snowy: 両手を軽くひらいて、上から下に斜めにジグザクに移動させ、雪が降る様子を表す。 ※ 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。歌に合わせて動作を行えばよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 "The Weather Song" 動画コンテンツ

小学校 第2学年 Unit5 「天気であそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
5分 (25分)	Activity② 今日の天気を真似して 言ってみよう	・今日の天気を尋ねる。一枚ずつカードを見せて、答えを引き出す。今日の天気に相当するカードは一番最後に出し、最後にYes.と答えたり、うなずいたり出来るようにする。 How is the weather today? Is it snowy/cloudy/rainy/windy/sunny? Yes, it's sunny. ※ 最初はよく聞かせ、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	天気の絵カード (sunny /cloudy/ rainy/windy/ snowy)
10分 (35分)	絵本タイム “Maisy’s Wonderful Weather Book”	・表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 Who is this? It’s Maisy. What’s this? Can you see a rainbow? ・絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ 天気の英語は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に言わせてもよい。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “Maisy’s Wonderful Weather Book”
3分 (38分)	Activity③ ジェスチャー クイズ	・天気のカードを一つ選び、裏にして黒板に貼る。その天気を想起できるようなジェスチャーをして、どの天気かを考えるよう促す。 How is the weather? (ジェスチャーを見せる。例: rainyなら傘をさす動作、snowyなら寒さで震える動作、というように。) It’s～.と答えを言ってからカードをめくり、表(答え)を見せる。 ※ 答えを明かす時は、いきなりカードを見せず、先に音声で伝える。視覚情報を後から与えることで、児童が音と意味を結びつける時間を確保する。	天気の絵カード (sunny /cloudy/ rainy/windy/ snowy)
5分 (43分)	ワークシート	・ワークシートを配布し、そのお天気に関連するものを線で結ぶよう伝える。 Draw lines. ・早くできた児童には、お天気に色を塗ってよいことを伝える。	G2_Unit 5_ワーク シート
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを尋ねたり、児童が頑張っていた点をほめたりする。(日本語で行う) 英語の時間は楽しめましたか? どの活動が一番好きでしたか? 良く頑張りました!素晴らしい! ・That’s all for today’s English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I’ll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit5 「天気であそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 天気の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How's the weather? It's sunny/cloudy/rainy/windy/snowy.
主な言語材料(児童)	sunny/cloudy/rainy/windy/snowy
活動例	天気の言い方を知り、いろいろな天気の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 - 雨の日のお天気の様子を見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) It's rainy. How is the weather today? (窓の外を見ながら) Is it rainy? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の天気の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 5_天気であそぼう)
5分(9分)	Activity① 天気の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、天気の言い方を紹介する。 sunny/cloudy/rainy/windy/snowy ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	天気の絵カード (sunny /cloudy/ rainy/windy/ snowy)
5分(14分)	Activity② 歌を聴こう “The Weather Song”	- 一回目は、音楽をかける。動画コンテンツを見せるのもよい。 Let's listen. - 二回目は、動作を真似するよう促す。それぞれの天気を動作で表現するよう促す。 Let's listen and do the gestures. - 例) - sunny: 両手で頭の上で円を作り、体を左右に倒してお日様が照っている様子を表す。 - rainy: 両手を広げ、上から下に移動させながら、パラパラと雨が落ちる様子を表す。 - cloudy: 両手を使って、もくもくとした雲の輪郭を描く。 - snowy: 両手を軽くひらいて、上から下に斜めにジグザクに移動させ、雪が降る様子を表す。 ※ 児童は、歌えなくてもよい。歌に合わせて動作を行えばよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 “The Weather Song” 動画コンテンツ
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit5 「天気であそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標		(聞くこと) 天気の言い方に触れたり、親しんだりする。	
主な言語材料(指導者)		How's the weather? It's sunny/cloudy/rainy/windy/snowy.	
主な言語材料(児童)		sunny/cloudy/rainy/windy/snowy	
活動例		天気の言い方を知り、いろいろな天気の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。	
時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、前回の内容を思い出させる。 雨の日のお天気の様子を見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) It's rainy. How is the weather today? (窓の外を見ながら) Is it rainy? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。何のことを言っているのかがわかる程度でよい。	ストーリーボード (G2_Unit 5_天気であそぼう)
5分(9分)	Activity① 天気の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、天気の言い方を紹介する。 sunny/cloudy/rainy/windy/snowy ・今日の天気を尋ねる。一枚ずつカードを見せて、答えを聞き出す。今日の天気に相当するカードは一番最後に出し、最後にYes.と答えたり、うなずいたり出来るようにする。 How is the weather today? Is it snowy/cloudy/rainy/windy/sunny? Yes, it's sunny. ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、英語の天気の言い方に興味をもつことができればよい。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	天気の絵カード (sunny /cloudy/ rainy/windy/ snowy)
5分(14分)	Activity② 歌を聴きながら動作をしよう“The Weather Song”	・音楽をかけて、聴かせる。動画コンテンツを見せてもよい。 それぞれの天気を動作で表現する。 Let's listen and do the gestures. sunny: 両手で頭の上で円を作り、体を左右に倒してお日様が照っている様子を表す。 rainy: 両手を広げ、上から下に移動させながら、パラパラと雨が落ちる様子を表す。 cloudy: 両手を使って、もくもくとした雲の輪郭を描く。 snowy: 両手を軽くひらいて、上から下に斜めにジグザクに移動させ雪が降る様子を表す。 ※ 児童は、歌えなくてもよい。歌に合わせて動作を行えばよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 “The Weather Song” 動画コンテンツ
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聴いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit5 「天気であそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

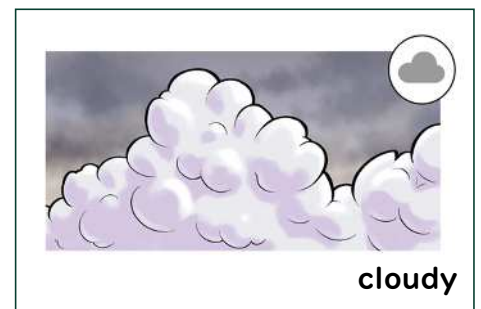
目標	(聞くこと) 天気の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	How's the weather? It's sunny/cloudy/rainy/windy/snowy.
主な言語材料(児童)	sunny/cloudy/rainy/windy/snowy
活動例	天気の言い方を知り、いろいろな天気の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	Activity① 天気の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、天気の言い方をおさらいする。 sunny/cloudy/rainy/windy/snowy ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	天気の絵カード (sunny /cloudy/ rainy/windy/ snowy)
9分 (14分)	絵本タイム “Maisy's Wonderful Weather Book”	- 表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 Who is this? It's Maisy. What's this? Can you see a rainbow? - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ 天気の英語は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に言ってもよい。 ※ 自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “Maisy's Wonderful Weather Book”
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わるようにする。	

<ストーリーボード>

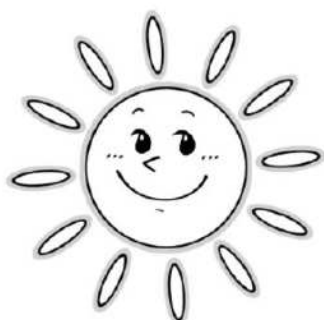


<ピクチャーカード>



	ねん		くみ	なまえ

①それぞれのおてんきとかんけいのあるものを
せんでむすんでみよう。



②おてんきにいろをぬってみよう。

※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

<45分の活動>

小学校 第2学年 Unit6 「曜日であそぼう」

目標	(聞くこと) 曜日の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Today is Monday. What day is it today? It's~. Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
主な言語材料(児童)	Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
言語活動例	曜日の言い方を知り、いろいろな曜日の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分(4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) ・少なくとも2回は音楽をかけて歌う	歌の音源 (Hello Song)
3分(7分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 カレンダーのイラストを見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a calendar. She says, "Today is Saturday. I'm happy." ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の曜日の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 6_曜日であそぼう)
5分(12分)	Activity① 曜日の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、曜日の言い方を紹介する。次の活動の歌の順番に合わせて、日曜始まりにする。 Sunday/Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、英語の天気の良い言い方に興味をもつことができればよい。 ※ 指導者が楽しく繰り返すことで、児童が真似をして言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	曜日の絵カード (Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday)
8分(20分)	Activity② 歌を聴こう "Days of the Week"	・一回目は、音楽をかける。 Let's listen. ・二回目をかける。 Let's listen one more time. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (Days of the Week)
5分(25分)	Activity③ 曜日の会話を見てみよう	・何曜日の英語が聞こえるかを予想しながら、会話の動画コンテンツを見るように促す。 Let's watch the video. ・何曜日の英語が聞こえたかを児童に尋ね、日本語でもよいので言ってみよう促す。	動画コンテンツ

小学校 第2学年 Unit6 「曜日であそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
10分 (35分)	絵本タイム “Today is Monday”	- 表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What is this? It's a cat. It's a black cat. - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※曜日の英語は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に言ってもよい。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。	絵本 “Today is Monday”
3分 (38分)	Activity④ 今日の曜日を真似して 言ってみよう	- 絵カードを見せながら、曜日の言い方を日曜日～土曜日まで再度紹介する。 - 今日が何曜日か尋ねる。答えは例の中から、Yes. と言ったりうなずいたりしながら選ぶように促す。 What day is it today? Is it Monday? Is it Tuesday? ※ 最初は聞くことを大切にし、児童が言いたそうにしていれば、真似して言ってみるように促す。	曜日の絵カード (Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday Saturday/Sunday)
5分 (43分)	ワークシート	- ワークシートを配布し、好きな曜日に○をするよう伝える。 - 早くできた児童には、好きな曜日の絵を描いて色を塗ってよいことを伝える。	G2_Unit 6_ワークシート
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを確認し、児童が頑張っていた点をほめる。 - 英語の時間は楽しめましたか？ - どの活動が一番好きでしたか？ - 良く頑張りました！素晴らしい！ ・That's all for today's English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit6 「曜日であそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 曜日の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Today is Monday. What day is it today? It's~. Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
主な言語材料(児童)	Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
活動例	曜日の言い方を知り、いろいろな曜日の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 カレンダーのイラストを見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What's this? It's a calendar. She says, "Today is Saturday. I'm happy." ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせる必要はない。英語の曜日の言い方に興味をもつことができればよい。 ※ 指導者が楽しく繰り返すことで、児童が真似をして言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	ストーリーボード (G2_Unit 6_曜日であそぼう)
5分(9分)	Activity① 曜日の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、曜日の言い方を紹介する。次の活動の歌の順番に合わせて、日曜始まりにする。 Sunday/Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	曜日の絵カード (Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday)
5分(14分)	Activity② 歌を聴く "Days of the Week"	・一回目、音楽をかける。 Let's listen. ・児童の様子を見ながら、二回目をかける。 Let's listen one more time. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (Days of the Week)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

小学校 第2学年 Unit6 「曜日であそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

目標	(聞くこと) 曜日の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Today is Monday. What day is it today? It's~. Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
主な言語材料(児童)	Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
活動例	曜日の言い方を知り、いろいろな曜日の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、前回の内容が想起できるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) She says, "Today is Saturday. I'm happy." ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。英語の曜日の言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 6_曜日で あそぼう)
5分(9分)	Activity① 曜日の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、曜日の言い方を再度紹介する。 Sunday/Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday ・今日が何曜日か確認し、英語でどのように言うのか発音する。 What day is it today? It's ~. ・何曜日の英語が聞こえるかを予想しながら、会話の動画コンテンツを見せる。 Let's watch the video. ・何曜日の英語が聞こえたかを児童に尋ね、日本語でもよいので言うように促す。 ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	曜日の絵カード (Monday/Tuesday/ Wednesday/ Thursday/Friday Saturday/Sunday) 動画コンテンツ
5分 (14分)	Activity② 歌を聴こう "Days of the Week"	・一回目、音楽をかける。 Let's listen. ・児童の様子を見ながら、二回目をかける。 Let's listen one more time. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 (Days of the Week)
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わるようにする。	

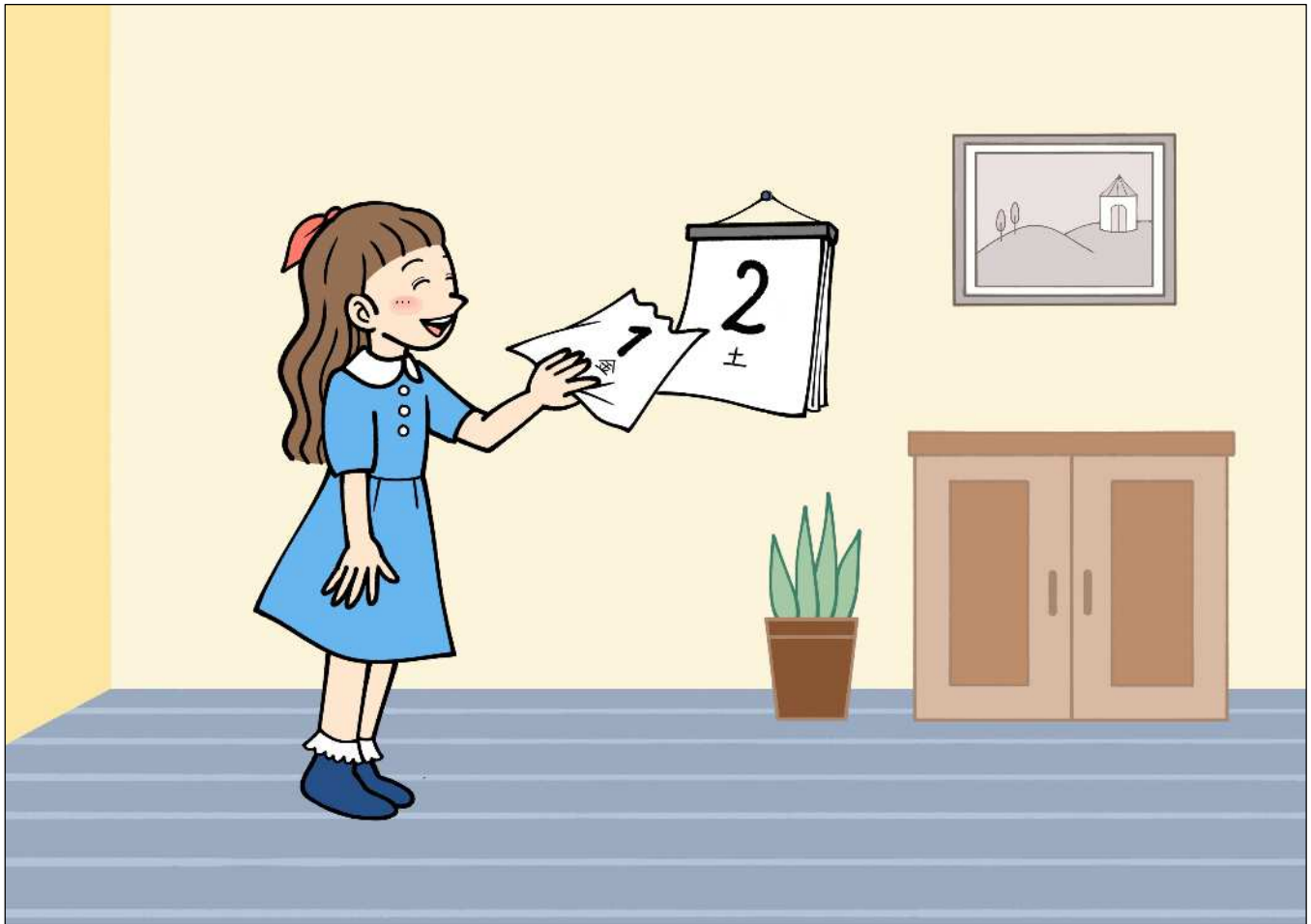
小学校 第2学年 Unit6 「曜日であそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

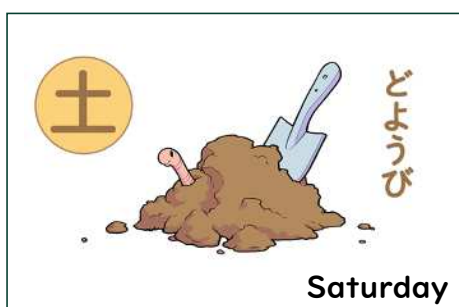
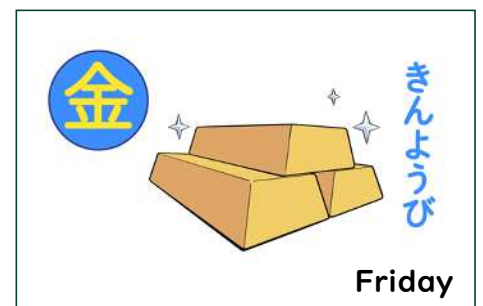
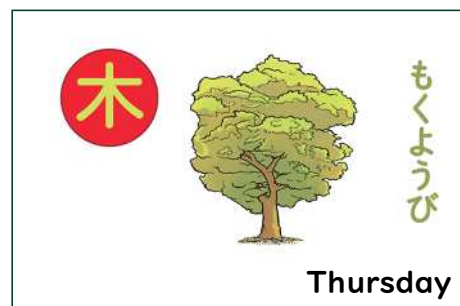
目標	(聞くこと) 曜日の言い方に触れたり、親しんだりする。
主な言語材料(指導者)	Today is Monday. What day is it today? It's~. Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
主な言語材料(児童)	Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday
活動例	曜日の言い方を知り、いろいろな曜日の言い方を聞いたり、真似て言ったりして楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	Activity① 曜日の言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、曜日の言い方をおさらいする。 Sunday/Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday ・今日が何曜日か尋ねる。答えは例の中から、Yes. と言ったりうなずいたりしながら選ぶように促す。 What day is it today? Is it Monday? Is it Tuesday? ※最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	曜日の絵カード (Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday)
9分(14分)	絵本タイム "Today is Monday"	・表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What is this? It's a cat. It's a black cat. ・絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※ 曜日の英語は、児童が言いたそうにしていれば、一緒に言ってもよい。 ※ <u>自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。</u>	絵本 (Today is Monday)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わらせる。	

<ストーリーボード>



<ピクチャーカード>



	ねん		くみ	なまえ

①すきなようびを言ってみよう。

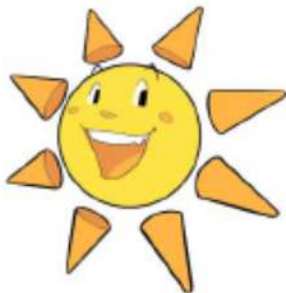
②すきなようびにまるをしよう。

月



げつようび

日



にちようび

火



かようび

土



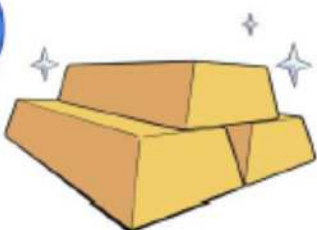
どようび

水



すいようび

金



きんようび

木



もくようび

<45分の活動> 小学校 第2学年 Unit7 「動いてあそぼう」

本時のねらい	(聞くこと) 動きの言い方に触れ、実際に動作してみるなど親しむ。
主な言語材料(指導者)	I'm running. (dancing, walking, jumping, skipping)
主な言語材料(児童)	running, dancing, walking, jumping, skipping
活動例	動きの言い方を知り、ジェスチャーをつけながらゲームをしたり、歌ったりすることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) - 少なくとも2回は音楽をかけて歌う	歌の音源 (Hello Song)
3分 (7分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 - 様々な動きのイラストを見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What is the boy doing? Dancing! Can you dance? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。動作を表す言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 7_動いてあそぼう)
6分 (13分)	Activity① 動きの言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、動きの言い方を紹介する。 running, dancing, walking, jumping, skipping - 絵カードを一枚ずつ見せ、その場で動作をやってみよう!と促す。 Let's do the actions. I'm ~. ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	動きの絵カード (running, dancing, walking, jumping, skipping)
10分 (23分)	Activity② 歌を聴いて動こう "Walking Walking"	- 一回目は、音楽をかけて、動作の例を示す。 Please watch. - 二回目をかけ、教室の中を歩き回りながら児童にもやってみよう!と促す。 Let's try! ※ 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 (Walking Walking)

小学校 第2学年Unit7 「動いてあそぼう」

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
10分 (33分)	絵本タイム “From Head to Toe”	- 表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What is this? It's a gorilla. The gorilla is touching his head. - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。 - 読み終わった後に、ページを遡り、いくつかの動作を児童とやってみる。 Can you touch your knees?	絵本 “From Head to Toe”
5分 (38分)	Activity④ 言われた動作をやってみよう	- 動作の英語を言いながら、その場でその動作を示す。児童も真似するよう促す。 Do as I do. I'm running. (その場で走る動作を見せる。) - 続けて他の動作も同様に行う。 I'm jumping. - 児童が慣れてきたら、指導者は動作は示さず、音声のみを聞かせて児童に動作を行わせる。 I'm walking.	
5分 (43分)	ワークシート	- ワークシートを配布し、自分ができるところを選び、○をするよう伝える。 「できること」のジェスチャー(動き)をやってみよう伝える。	G2_Unit 7_ワークシート
2分 (45分)	振り返り～終わりの挨拶	1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを確認し、児童が頑張っていた点をほめる。 Did you enjoy the English time? What did you like the best? You did a good job! Good work! Excellent! That's all for today's English time. ♪Goodbye Song (♪“Happy birthday to you!”のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わらせる。	

<Idea Box>

動作をやってみる場面で、Simon says game (サイモンさんが言いました) をするのも楽しいですね。命令文にする部分を “I'm walking, walking!” などと置き換えるとよいでしょう。
(光貞小学校の実践より)

(通常のやり方)

1. リーダーを決める: 1人がリーダー (Simon) になります。
2. 指示を出す: リーダーは「Simon says, touch your nose (サイモンが言うには、鼻を触って)」のように指示を出します。
3. 指示に従う: プレイヤーは「Simon says」と言われた指示にだけ従います。「Touch your nose (鼻を触って)」だけだと従ってははいけません。
4. 間違えたらアウト: 間違えたプレイヤーはアウトになります。最後まで残ったプレイヤーが勝ちです。



小学校 第2学年 Unit7 「動いてあそぼう」(Short ①)

<15分の活動>

本時のねらい	(聞くこと) 動きの言い方に触れ、実際に動作してみるなど親しむ。
主な言語材料(指導者)	I'm running. (dancing, walking, jumping, skipping)
主な言語材料(児童)	running, dancing, walking, jumping, skipping
活動例	動きの言い方を知り、ジェスチャーをつけながらゲームをしたり、歌ったりすることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	- ストーリーボードを見せて、どんな場面だろう?と問いかける。 - 様々な動きのイラストを見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What is the boy doing? Dancing! Can you dance? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。動作を表す言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 7_動いてあそぼう)
5分(9分)	Activity① 動きの言い方に親しもう	- 動画コンテンツを見せた後、絵カードを見せながら、動きの言い方を紹介する。 running, dancing, walking, jumping, skipping - 絵カードを一枚ずつ見せ、その場で動作をやってみよう!と促す。 Let's do the actions. ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ※ 指導者が楽しくジェスチャーをしながら繰り返すことで、児童が真似をしてジェスチャーをしたり、言ってみたりしたいと思う雰囲気にする。	動画コンテンツ 絵カード (running, dancing, walking, jumping, skipping)
5分(14分)	Activity② 歌を聴いて動こう "Walking Walking"	- 一回目は、音楽をかけて、動作の例を示す。 Please watch. - 二回目をかけ、教室の中を歩き回りながら児童にもやってみよう!と促す。 Let's try! ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 (Walking Walking)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わらせる。	

小学校 第2学年 Unit7 「動いてあそぼう」(Short ②)

<15分の活動>

本時のねらい	(聞くこと) 動きの言い方に触れ、実際に動作してみるなどして親しむ。
主な言語材料(指導者)	I'm running. (dancing, walking, jumping, skipping)
主な言語材料(児童)	running, dancing, walking, jumping, skipping
活動例	動きの言い方を知り、ジェスチャーをつけながらゲームをしたり、歌ったりすることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
1分(4分)	イントロダクション	・ストーリーボードを見せて、前回の内容が想起できるようにする。 様々な動きのイラストを見せることで、これから始まる活動への親しみがもてるようにする。 Look at this! (画面の絵を指さしながら) What is the girl doing? Jumping! Can you jump? ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。動作を表す言い方に興味をもつことができればよい。	ストーリーボード (G2_Unit 7_動いてあそぼう)
5分(9分)	Activity① 動きの言い方に親しもう	・絵カードを見せながら、動きの言い方を再度紹介する。 running, dancing, walking, jumping, skipping ・絵カードを一枚ずつ見せ、その場で動作をやってみよう!と促す。 Let's do the actions. I'm ~. ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	絵カード(running, dancing, walking, jumping, skipping)
5分(14分)	Activity② 歌を聴いて動こう "Walking Walking"	・音楽をかけ、教室の中を歩き回りながら動作をやってみよう!と促す。 Let's do the actions. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌っても良い。	歌の音源 (Walking Walking)
1分(15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わらせる。	

小学校 第2学年 Unit7 「動いてあそぼう」(Short ③)

<15分の活動>

本時のねらい	(聞くこと) 動きの言い方に触れ、実際に動作してみるなどして親しむ。
主な言語材料(指導者)	I'm running. (dancing, walking, jumping, skipping)
主な言語材料(児童)	running, dancing, walking, jumping, skipping
活動例	動きの言い方を知り、ジェスチャーをつけながらゲームをしたり、歌ったりすることを楽しむ。

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
2分(3分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。)	歌の音源 (Hello Song)
2分(5分)	Activity① 動きの言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、動きの言い方を再度紹介する。 running, dancing, walking, jumping, skipping - 絵カードを一枚ずつ見せ、その場で動作をやってみよう!と促す。 Let's do the actions. I'm ~. ※最初はよく聞かせ、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	絵カード(running, dancing, walking, jumping, skipping)
9分 (14分)	絵本タイム "From Head to Toe"	- 表紙を見せて、イラストを通して児童とやり取りを行う。 What is this? It's a gorilla. The gorilla is touching his head. - 絵をゆっくり見せる時間を取りながら、お話を読む。 ※自校のALTによる読み聞かせ動画を事前に撮影して見せながら聞かせたり、ALTの配置日であれば、直接読み聞かせをしてもらったりするなどの工夫もできる。 - 読み終わった後に、ページを遡り、いくつかの動作を児童とやってみる。 Can you bend your knees?	絵本 "From Head to Toe"
1分 (15分)	おわりの歌	♪ Goodbye Song (♪ "Happy birthday to you!" のメロディで。 "Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.") - 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 - 楽しい気持ちで終わらせる。	

<ストーリーボード>



<ピクチャーカード>



		なまえ
ねん	くみ	

①「できること」にまるをしよう。



②「できること」をやってみよう。

※前時の振り返りや時間のある時にこのワークシートを活用することもできます。

小学校 第2学年 Unit 8 「1・2年生の英語大好きタイムをふりかえろう」①

<45分の活動>

本時のねらい	(聞くこと) 学習したことを様々なゲームを通して、まねて言ったり、歌ったり、ジェスチャーをしたりしてより英語に親しむ。
主な言語材料(指導者)	これまでに学習したあいさつ、数、形、天気、曜日、動き、アルファベット等の語彙 *本時は「数、形、天気」がメイン
主な言語材料(児童)	これまでに学習したあいさつ、数、形、天気、曜日、動き、アルファベット等の語彙 *本時は「数、形、天気」がメイン
言語活動例	これまでに聞いた英語の音声(あいさつ、数、形、天気、曜日、動き、アルファベット等)を想起しながら、聞いたりまねしたりする活動を楽しむ。 *本時は「数、形、天気」がメイン

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	・大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! ・児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! ・最初に、指導者がアカペラで身振りをつけて歌って動いてみせる。 ・次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 ・音楽をかけ、身振りをつけて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) ・少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
7分 (11分)	Activity① 丸のある数はジャンプして言ってみよう	・絵カードを見せながら、数の言い方を確認する。 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ・黒板に1～10までの数字を横一列に書き、いくつかの数字に丸をする。丸のある数字はジャンプしながら言ってみよう!と促す。最初に例としてデモンストレーションを見せるとよい。 例) (2, 5, 9に丸をする。) 1, 2(ジャンプ), 3, 4, 5(ジャンプ), 6, 7, 8, 9(ジャンプ)...	数の絵カード (1～10)
6分 (17分)	Activity② 歌に合わせて動き、口ずさもう “Ten Steps”	・活動内容を思い出せるように、出だしの部分だけデモンストレーションを見せる。 歌をかけ、歌を口ずさみながら歩き回り、フレーズの切れ目(下線)で立ち止まって見せる。 One two three four five six <u>seven</u> One two three four five six <u>seven</u> Eight nine <u>ten</u> Eight nine <u>ten</u> One two three four five six <u>seven...</u> ・児童にも、やってみよう!と促す。 Let's walk around and sing. ※ 児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。言えるところを口ずさんでもよい。	歌の音源 (Ten Steps)

小学校 第2学年Unit 8 「1・2年生の英語大好きタイムをふりかえろう」①

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
7分 (24分)	Activity③ 言われた形を探して指さそう	・絵カードを見せながら、形の言い方をおさらいする。 triangle, circle, heart, star ※ 最初はよく聞かせ、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。 ・絵カードを一枚見せ、教室内や、衣服にその形のものがあるか、探すよう促す。 Can you find a circle? Point to something circle.	形の絵カード (triangle, circle, heart, star)
6分 (30分)	Activity④ 歌を聴こう “Twinkle Twinkle Little Star”	・黒板にいくつか星を描く。 Look. These are stars. ・歌をかける。 Let's listen. ・児童にも空中に星を描いてみよう!と促す。 Can you draw a star in the air? Can you draw a little/big star? (little/bigの意味は、ジェスチャーで伝える。) ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 (Twinkle Twinkle Little Star)
7分 (37分)	Activity⑤ 天気のスチャークイズ	・絵カードを見せながら、天気の言い方をおさらいする。 sunny, cloudy, rainy, windy, snowy ・天気のカードを一つ選び、裏にして黒板に貼る。その天気を想起させるジェスチャーをして、どの天気を考えるように促す。 How is the weather? (ジェスチャーを見せる。 例: rainyなら傘をさす動作、snowyなら寒さで震える動作、というように。) It's~.と答えを言ってからカードをめくり、表(答え)を見せる。 ※ 答えを明かす時は、いきなりカードを見せず、先に音声を与える。視覚情報を後から与えることで、児童が音と意味を結びつける時間を確保する。 ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	天気の絵カード (sunny, cloudy, rainy, windy, snowy)
6分 (43分)	Activity⑥ 歌を聴いて動作をしよう “The Weather Song”	・音楽をかけて、動作を真似させる。音源の代わりに動画コンテンツを使ってよい。動作を真似するよう促す。それぞれの天気を動作で表現する。 Let's do the gestures. 例) sunny: 両手で頭の上で円を作り、体を左右に倒してお日様が照っている様子を表す。 rainy: 両手を広げ、上から下に移動させながら、パラパラと雨が落ちる様子を表す。 cloudy: 両手を使って、もくもくとした雲の輪郭を描く。 snowy: 両手を軽くひらいて、上から下に斜めにジグザクに移動させ、雪が降る様子を表す。 ※ 児童は、歌えなくてもよい。歌に合わせて動作を行えばよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌ってもよい。	歌の音源 “The Weather Song” 動画コンテンツ
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを確認し、児童が頑張っていた点をほめる。 Did you enjoy the English time? What did you like the best? You did a good job! Good work! Excellent! That's all for today's English time. ♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わらせる。	

小学校 第2 Unit 8 「1・2年生の英語大好きタイムをふりかえろう」②

<45分の活動>

本時のねらい	(聞くこと) 学習したことを様々なゲームを通して、まねて言ったり、歌ったり、ジェスチャーをしたりして思い出させるようにする。
主な言語材料(指導者)	これまでに学習したあいさつ、数、形、天気、曜日、動き、アルファベット等の語彙 ＊本時は「曜日、動き、アルファベット」がメイン
主な言語材料(児童)	これまでに学習したあいさつ、数、形、天気、曜日、動き、アルファベット等の語彙 ＊本時は「曜日、動き、アルファベット」がメイン
言語活動例	これまでに聞いた英語の音声(あいさつ、数、形、天気、曜日、動き、アルファベット等)を想起しながら、聞いたりまねしたりする活動を楽しむ。＊本時は「曜日、動き、アルファベット」がメイン

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	- 大きな身振りで元気に英語であいさつをする。 Hello! Good morning! Let's enjoy English! - 児童にも同様に英語でのあいさつを真似するよう促す。	
3分 (4分)	ウォームアップソング	♪ Hello Song Now, let's sing a song! - 最初に、指導者がアカペラで身振りを付けて歌って動いてみせる。 - 次に、児童にも身振りを真似するよう促す。 - 音楽をかけ、身振りを付けて歌う。(児童は聞いているだけでよい。) - 少なくとも2回は音楽をかけて歌う。	歌の音源 (Hello Song)
7分 (11分)	Activity① 曜日の言い方に親しもう	- 絵カードを見せながら、曜日の言い方をおさらいする。次の活動の歌の順番に合わせて、日曜始まりにする。 Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday - 今日が何曜日が尋ねる。答えは例の中から、Yes. と言ったりうなずいたりしながら選ぶよう促す。 What day is it today? Is it Monday? Is it Tuesday? ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	曜日の絵カード (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
6分 (17分)	Activity② 歌を聴いて ロズさもう “Sunday, Monday, Tuesday”	- 音楽をかけて、聴かせる。音源の代わりに動画コンテンツを使ってもよい。 Let's listen. - 二回目は、歌えるところだけロズさんでみよう!と促す。 Let's sing! ※ 児童は、完璧に歌えなくてもよい。言えるところをもごもごとロズさむ程度でよい。	歌の音源 (Days of the Week) 動画コンテンツ

小学校 第2学年Unit 8 「1・2年生の英語大好きタイムをふりかえろう」②

時間配分	活動	詳細・指導者の英語	準備物
7分 (24分)	Activity③ 言われた動きを動作で示そう	・絵カードを見せながら、動きの言い方をおさらいする。 running, walking, skipping, dancing, jumping ・動作の英語を言いながら、その場でその動作を示す。児童も真似するよう促す。 Do as I do. I'm running. (その場で走る動作を見せる。) ・続けて他の動作も同様に行う。 I'm walking. ・児童が慣れてきたら、指導者は動作は示さず、音声のみを聞かせて児童に動作を行うように促すわせる。 I'm skipping. ※ 最初は聞くことを大切に、児童が言いたそうにしていれば、真似して言うように促す。	絵カード (running, walking, skipping, dancing, jumping)
6分 (30分)	Activity④ 歌を聴いて動こう “Walking Walking”	・音楽をかけ、「教室の中を歩き回りながら動作をやってみよう!」と促す。 Let's do the actions. ※ 児童は、歌えなくてもよい。何度か聴くうちに口ずさむようであれば、言えるところを歌わせてもよい。	歌の音源 “Walking Walking”
7分 (37分)	Activity⑤ 歌 “Alphabet Song”	・一回目は音楽をかける。 Let's listen. ・二回目は、真似して言うように促す。 Let's sing. ※ 児童は拾えるところだけ口ずさめればよい。	歌の音源 “Alphabet Song”
6分 (43分)	Activity⑥ 体を使って文字を作ろう	・絵カードを一枚選んで黒板に貼り、体を使ってその文字を形作る。 What's this? It's a T. (両腕を横に真っすぐ伸ばし、体全体をTの形に似せる。) ・児童にも動作を真似してやってみよう!と促す。 Let's make a letter. Let's make “A”. ※ ここでは、無理に児童に繰り返して言わせたりする必要はない。動作を一緒に行えればよい。	アルファベットの絵カード (A~Z)
2分 (45分)	振り返り～ 終わりの挨拶	・1時間の活動を振り返って、どんなことが楽しかったかを確認し、児童が頑張っていた点をほめる。 Did you enjoy the English time? What did you like the best? You did a good job! Good work! Excellent! That's all for today's English time. ♪ Goodbye Song (♪ “Happy birthday to you!” のメロディで。 “Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.”) ・児童は、聞いているだけで歌えなくてもよい。 ・楽しい気持ちで終わらせる。	

1・2年のまとめには、これまでの英語大好きタイムで取り扱った絵本の読み聞かせを適宜取り入れることで、児童が、その絵本のフレーズを聞いたり、真似したりするなど、より楽しく学習の振り返りを行うという方法も考えられます。

英語大好きタイムのまとめは、単に出てきた語彙などを思い出させるだけでなく、各学校の実情に合わせて、工夫しながら英語の楽しさに気付かせることを大切にしましょう。



6 動画・音源データのリスト

1年生用 動画

01_G1Unit1_表現 (Hello!)	12_G1Unit5_対話 (What's this?)
02_G1Unit2_語彙 (Hello, Goodbye)	13_G1Unit5_語彙 (動物)
03_G1Unit1_歌 Hello Song	14_G1Unit5_表現 (動物の動き)
04_G1Unit2_対話 (How are you?)	15_G1Unit5_表現 (動物の鳴き声)
05_G1Unit2_表現 (気分)	16_G1Unit6_対話 (Do you like bananas?)
06_G1Unit3_対話 (How many?)	17_G1Unit6_語彙 (果物)
07_G1Unit3_語彙 (数)	18_G1Unit7_表現 (女の子の様子)
08_G1Unit3_歌 Ten Steps	19_G1Unit7_語彙 (体の部位)
09_G1Unit4_対話 (Do you like red?)	20_G1Unit7_動作 (Touch your head)
10_G1Unit4_語彙 (色)	21_G1Unit7_ゲーム (Simon Says)
11_G1Unit4_歌 Rainbow Song	22_歌 Head, Shoulders, Knees and Toes

2年生用 動画

23_G2Unit2_語彙 (アルファベット)
24_G2Unit4_対話 (It's a triangle.)
25_G2Unit4_語彙 (形)
26_G2Unit5_対話 (How's the weather?)
27_G2Unit5_語彙 (天気)
28_G2Unit6_対話 (What day is it today?)
29_G2Unit6_語彙 (曜日)
30_G2Unit7_表現 (I'm running.)
31_G2Unit7_語彙 (動作)

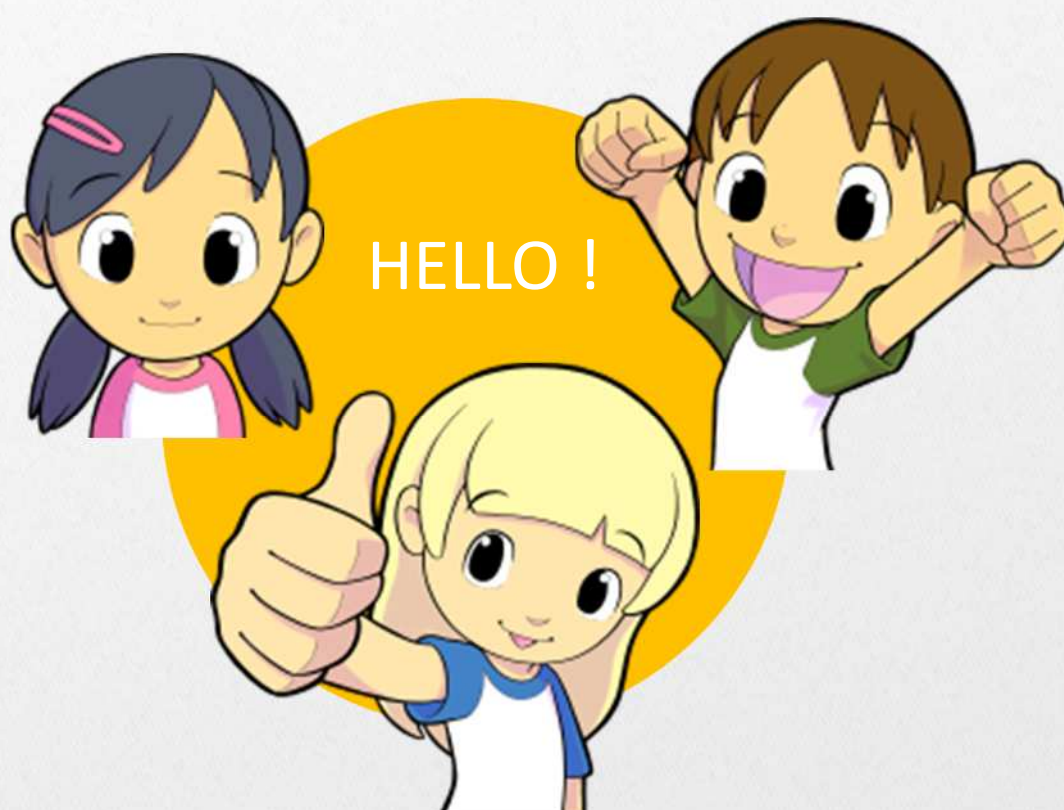
	曲名	歌詞
1	Hello Song	Hello. Hello. Hello, how are you? I'm fine. I'm fine. I'm fine, thank you. And you? (Next, I'm great.) Hello. Hello. Hello, how are you? I'm great. I'm great. I'm great, thank you. And you? (How are you today? I'm good!) Hello. Hello. Hello, how are you? I'm good. I'm good. I'm good, thank you. And you?
2	Pets (Old Mac Melody)	My old grandpa had some pets E-I-E-I-O And in his home he had some <u>dogs</u> E-I-E-I-O With a <u>woof woof</u> here And a <u>woof woof</u> there Here a <u>woof</u>, there a <u>woof</u> Everywhere a <u>woof woof</u> My old grandpa had some pets E-I-E-I-O (※二重下線部に動物名、下線部にその鳴き声を入れて同様に6回繰り返す) [動物名 - 鳴き声] cats - meow, birds - tweet, mice - squeak, snakes - hiss, frogs - ribbit, goldfish - pop
3	Ten Steps	One, two, three, four, five, six, seven. ×2 Eight, nine, ten, eight, nine, ten. One, two, three, four, five, six, seven. Eight, nine, ten, eight, nine, ten. One, two, three, four, five, six, seven
4	Five Little Monkeys	Five little monkeys jumping on the bed. One fell off and bumped his head. Mama called the doctor and the doctor said: "No more monkeys jumping on the bed!" Four little monkeys jumping on the bed. One fell off and bumped his head. Mama called the doctor and the doctor said: "No more monkeys jumping on the bed!" Three little monkeys jumping on the bed. One fell off and bumped his head. Mama called the doctor and the doctor said: "No more monkeys jumping on the bed!" Two little monkeys jumping on the bed. One fell off and bumped his head. Mama called the doctor and the doctor said: "No more monkeys jumping on the bed!" One little monkey jumping on the bed. He fell off and bumped his head. Mama called the doctor and the doctor said: "No more monkeys jumping on the bed!" No more monkeys jumping on the bed, Mama got on and jumped instead. The monkeys called the doctor and the doctor said, "No more mamas jumping on the bed."

	曲名	歌詞
5	The Rainbow Song	Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, now.
6	What fruits do you like? (Chants) ※Chantsを歌に変更予定有 準備で き次第反映	What fruits do you like? (What fruits do you like?) I like apples. (I like apples.) I like grapes. (I like grapes.) I like apples and grapes. (I like apples and grapes.) What fruits do you like? (What fruits do you like?) I like melons. (I like melons.) I like peaches. (I like peaches.) I like melons and peaches. (I like melons and peaches.)
7	Head, Shoulders, Knees & Toes	Head, shoulders, knees and toes, knees and toes.×2 Eyes and ears and mouth and nose. Head, shoulders, knees and toes, knees and toes. (※全体5回繰り返し)
8	If You're Happy	If you're happy happy happy, clap your hands. If you're happy happy happy, clap your hands. If you're happy happy happy, clap your hands, clap your hands. If you're happy happy happy, clap your hands. If you're angry angry angry, stomp your feet. If you're angry angry angry, stomp your feet. If you're angry angry angry, stomp your feet, stomp your feet. If you're angry angry angry, stomp your feet. If you're sleepy sleepy sleepy, take a nap. If you're sleepy sleepy sleepy, take a nap. If you're sleepy sleepy sleepy, take a nap, take a nap. If you're sleepy sleepy sleepy, take a nap.
9	Alphabet Hop	A, B, C, D, E, F, G H, I, J, K, L, M, N O, P, Q, R, S, T, U V, W, X, Y, Z
10	Twinkle Twinkle Little Star	Twinkle, twinkle, little star. How I wonder what you are. Up above the world so high, Like a diamond in the sky. Twinkle, twinkle, little star. How I wonder what you are. (※全体もう一回繰り返し)
11	Days of the Week	Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again. Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, There are seven days in a week.
12	Walking Walking	(Wake up! It's time to go!) [Walking walking. Walking walking. Hop hop hop. Hop hop hop. Running running running. Running running running. Now let's stop. Now let's stop.]×2 Tiptoe tiptoe. Tiptoe tiptoe. Tiptoe tiptoe. Tiptoe tiptoe. Jump jump jump. Jump jump jump. Swimming swimming swimming. Swimming swimming swimming. Now let's sleep. Now let's sleep.



小学校3・4年生

外国語活動



「ファンタイム」
ハンドブック

IV 小学校3・4年生 外国語活動「ファンタイム」ハンドブック

I 外国語体験活動を踏まえた外国語活動の目的

外国語活動の目標は、

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、
外国語による、聞くこと、話すことの言語活動を通して、
コミュニケーションを図る「素地」となる資質・能力を育成すること

となっています。

北九州市型外国語教育では、小学校1・2年生の外国語体験活動（英語大好きタイム）を設定しています。英語大好きタイムで、英語の音声に触れたり、外国人の先生との交流や、異文化体験を行ったりすることで、子どもたちは英語に興味をもち、楽しもうとする姿勢ができています。

3・4年生では、次のようなことを大切にしましょう。



「外国語体験活動」を踏まえた「外国語活動」

外国語活動では、外国語体験活動の下地を生かして、児童が友達や学校のことなど身近な事柄について自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行い、英語で聞いたり話したりすることに積極的に取り組めるようにします。

体験的に英語に触れてきたことが、外国語活動で生かされるように、これまで触れてきた言葉に繰り返し出会わせていくことが大切です。



適切なコミュニケーションの目的・相手意識

児童が自分の考えや気持ちを伝え合うことに積極的に取り組むことができるように、興味・関心をもつことのできるコミュニケーションの目的や相手意識を大切にしましょう。

言語活動を充実させ、低学年での大好きタイムに引き続き、英語大好きキッズを育成していきましょう。

2 外国語活動におけるファンタイムの内容、指導者、実施時間等

ファンタイムの内容、指導者等、実施時間などは次のとおりです。

内 容	慣れ親しみを基本とした体験的な言語活動 ※ごっこ遊びなど、体験的で楽しい活動を行う (ハンドブックには各学年に5つの活動を準備しているため、児童や学校の実態に合わせて選択)
指導者等	担任教員や専科教員等が中心(できる限りALTを活用) ※生きた英語や異文化に触れられるように配慮する
実施時間	学期に1回 2時間程度 ※年間35単位時間の中で、ハンドブックで設定されているファンタイムを取り入れる

指導者については、担任教員や専科教員等を中心として、できる限りALTを活用し、生きた英語や異文化に触れられるように配慮してください。また、休み時間等にALTの先生と触れ合うなど、外国語活動の時間以外での交流も大切です。

また、授業を行う際には、児童がコミュニケーションを行うための目的意識や相手意識をもちやすくするために、小道具を活用するのもよいでしょう(たとえばフードコートの店員をイメージした紙製のサンバイザーなど)。

3 外国語活動での学習評価について

特に記録に残す評価を行わなかった低学年とは異なり、記録に残す評価も行います。外国語活動は、一つの単元の授業時数が外国語科に比べて少ないため、できるだけ第1時から言語活動に取り組む児童の様子を観察し、気づいたことはメモするなど指導につながる評価を心がけましょう。単元の最後、ゴールの活動を行う1単位時間だけで見取るのではなく、単元末の時間の手前で見取りを行い、指導に生かすことで、最後の時間に全員が目標に到達するように工夫しましょう。

4 外国語体験活動(英語大好きタイム)との違い、外国語科への接続について

外国語体験活動と外国語活動におけるファンタイムとの違いは、次のとおりです。

1・2年生 外国語体験活動「英語大好きタイム」

- 初めて英語の音やリズムに触れる
- 「友達や先生と一緒に英語を聞いたり、歌ったりすることは楽しいな、好きだな」との思いをもつ
- 英語大好きキッズになる



3・4年生 外国語活動「ファンタイム」

- 「聞くこと」と「話すこと(やり取り)」・「話すこと(発表)」の「言語活動」に実際に取り組み、自分の考えや気持ちを表現することに挑戦

ファンタイムでは、楽しい活動をとおして自分の考えや気持ちを英語に慣れ親しみながら表現し、5・6年生の外国語科で、より詳しく自分の考えや気持ちを表したり、一対一でALTの先生とやり取りをしたりする活動につなげていきます。



CAN DOとTRY

外国語活動は、あくまで聞いたり、話したりすることへの「慣れ親しみ」の段階です。そのため、学習到達目標も「can do(できる)」リスト形式ではなく「try(やってみる)」リスト形式としていることに留意しましょう。



ファンタイム 活動一覧



学年	Fun Time 番号	内容	頁
3	1-①	数えてみよう! (Part 1)	117
	1-②	数えてみよう! (Part 2)	119
	2-①	アート・ギャラリーを開こう (Part 1)	122
	2-②	アート・ギャラリーを開こう (Part 2)	129
	3-①	クイズ大会をしよう (Part 1)	131
	3-②	クイズ大会をしよう (Part 2)	133
	4-①	人気投票をしよう (ペット)	135
	4-②	人気投票をしよう (アイスクリーム)	138
	5-①	一年間のありがとうを伝えよう (Part 1)	141
	5-②	一年間のありがとうを伝えよう (Part 2)	144
4	1-①	1週間の予定をつくろう (Part 1)	147
	1-②	1週間の予定をつくろう (Part 2)	151
	2-①	オリジナルフードコートを楽しもう (Part 1)	153
	2-②	オリジナルフードコートを楽しもう (Part 2)	157
	3-①	動物園に行こう! Let's go to the zoo! (Part 1)	159
	3-②	動物園に行こう! Let's go to the zoo! (Part 2)	164
	4-①	マルシェ開店! (Part 1)	166
	4-②	マルシェ開店! (Part 2)	170
	5-①	自分のことを話そう! (Part 1)	173
	5-②	自分のことを話そう! (Part 1)	176

※各学年において、5種類の活動から選択して年に3回実施

小学校3年生 “Fun” Time 1-①

Plan 1	数えてみよう! (Part 1)
目標	慣れ親しんだ英語表現 (1~20の数) を聞いたり言ったり、いくつあるかを想像したりして伝える。
主な言語材料	Hello, how are you? I'm (happy, good, great, fine), 1-20, How many?
準備物・教材	・1~20までの数字のカード(黒板掲示用)、 ・ビー玉かおはじき(その代替物) 30~40個、・それを入れる袋・封筒3枚 ・ビンゴシート(画用紙に印刷) ・色鉛筆・鉛筆
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物																
1分	あいさつ	“Hello! Let's have a Fun Time!”																	
4分 (5分)	数のおさらい	・黒板に1枚ずつ貼っていきながら、児童と一緒に数の英語をおさらいする。 ・うまく言えないような場合は、数回繰り返して言うようにする。 ・20枚を黒板に貼ったら、ランダムに指しながら、学級全員に言うようにする。	1~20の数字のカード																
15分 (20分)	How many?	(事前に、3つの袋にランダムにビー玉を入れておく。それぞれの数がバラバラになるように、多いもの、少ないものを作る。1袋には20個以上入れない) “Look at these.” ・3つの袋を児童に見せ、振って中身の音を聞かせたりして、中に何が入っているかを想像させる。1つの袋の中からビー玉を1つ取り出して見せ、それらがいくつか入っていることを知らせる。 “How many?”と言いながら、一つの袋を振ってみせる。 “One, two, three? How many?” と言って、児童に、中身のビー玉の数を当てさせようとしていることに気づかせる。児童がロクに数を言い出すので、いくつかの班に分かれて、班で考えて数を言うようにする。 ・1袋ごとに “How many?” で想像した数を、班ごとに言わせて、黒板に書いておく。1袋ずつ、中からビー玉を取り出して、児童と一緒に数えていき、正解の数を板書する。 ・3つの袋で同様に行い、答えを確認し、よくできたことを褒める。	・ビー玉かおはじき ・それを入れる袋・封筒3枚																
20分 (40分)	Number Bingo	“Okay, Let's play BINGO!” ・児童に鉛筆か色鉛筆を出させ、ビンゴシートを配布する。 ・1から20までの数をランダムにビンゴシートに書くように言う。 ・全員が書き終わったのを確認して、“Okay, let's play number BINGO!” ・1~20までのカードを見えないようにして、担任やALTなどが1枚引き、その数を大きな声で言う。児童は聞こえた数を繰り返して言い、その数に○をつけるように言う。何の数字だったかを尋ねて確認する。(“What number?”) 児童の言った数を確認してカードを黒板に貼る。 ・順にやっけていき、ビンゴが出るまで続けるが、もし、ビンゴが出ても10枚カードを引いていなければ10枚のカードを引く(こうして、最大で10個の○がビンゴシートについているようにする。) ・ビンゴがでなくても、一旦、ここで活動を終わらせて、それぞれのカードにいくつ○がついたかを尋ねる。 <table border="1" data-bbox="909 1736 1204 1971"> <tr> <td>1</td><td>14</td><td>③</td><td>8</td></tr> <tr> <td>⑨</td><td>20</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr> <td>2</td><td>④</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr> <td>18</td><td>15</td><td>10</td><td>⑦</td></tr> </table> (児童は、右記のようなシートを持っている) ・手で○を作りながら “How many circle?” と尋ね一緒に数える。数の英語が言えたこと、活動に積極的に参加できたことなどに “Well-done!” “Good job” “Fantastic!” などの英語を使ってほめる。	1	14	③	8	⑨	20	11	12	2	④	5	6	18	15	10	⑦	・1~20までの数字のカード(Activity 1で使用したもの) ・ビンゴシート(画用紙に印刷)
1	14	③	8																
⑨	20	11	12																
2	④	5	6																
18	15	10	⑦																
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入するようにする。 ・今日使ったビンゴカードは、次回も使用することを伝え、裏に名前を書かせて集める。																	

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time I-①



「数えてみよう(パートI)」

1～20の数を聞いたり言ったり、いくつあるかを想像したりして伝えよう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

</

あなたのラッキーナンバーはいくつ？



3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time I-②



「数えてみよう(パート2)」

自分と同じラッキーナンバーの友達を見つけるために、ラッキーナンバーを伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校3年生 “Fun” Time 2-①

Plan 2	アート・ギャラリーを開こう (Part 1)
目標	友達とアートギャラリーでお互いの好きな色や形を使った絵を紹介し合うために、ほしいものを探ねたり答えたりして伝え合う。
主な言語材料	red, blue, yellow, green, orange, purple, pink, brown, black, white, circle, triangle, square, heart, star, diamond, rectangle, oval, big, small
準備物・教材	・使用する色と形のカード(黒板掲示用)、 ・ワークシート ・Secret art card ・Secret art cardをいれる封筒(A4角2サイズ) ・色鉛筆・鉛筆(児童)
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
4分 (5分)	色のおさらい	・黒板に色のカードを1枚ずつ貼っていきながら、児童と一緒に色の英語をおさらいする。うまく言えないような場合は、数回繰り返して言うようにする。 ・10枚の色のカードを黒板に貼り、ランダムに指し、学級全員に言わせる。	色のカード
7分 (11分)	形のおさらい	① 黒板に形のカードを1枚ずつ貼っていき、児童と一緒に形の英語を確認する。うまく言えないような場合は、数回繰り返して言うようにする。 ・8枚の形のカードを黒板に貼り、ランダムに指し、学級全員で言うようにする。 ② 次に、色と形を合わせて確認する(red circle, blue triangle, yellow square, green heart, orange star, purple diamond, pink rectangle, brown oval) ・ランダムに指しながら、学級全員で言うようにする。 ③ big と small の意味を確認する。カードだけでなく、身振りをしたり、黒板に描いたりして大・小を理解するようにする。 big red circle, small blue triangle, big blue square, ---	形のカード big/smallのカード
7分 (18分)	何ができるかな？	指導者⇒学級全体 ・Secret art cardの家の絵を使って実施(カードは児童に見せない) (ALTがいる場合は、ALTが指示を言い、担任も児童と一緒に聞きながら黒板に絵を描く) ①まず、指導者とALTで白紙の形(big/small)をもらうやり取りをする。 What do you want? Big rectangle, please. How many? Two, Please. Here you are. Thank you. など ②集まったカードの形から何ができそうか想像するようにする。 <指示語> Please listen carefully and draw picture on your worksheet. ・One big rectangle ・One small rectangle ・4 small square ・One rectangle and 2 triangles 児童が色や形を見て何の絵ができるか推測できるよう、形の部品を黒板に貼りながら、数回くりかえして聞くようにする。 “What’s this?”と児童に尋ねる。児童は、自分が考えたものを発表した、前に出て組み合わせたりする。(言えない場合もあるので強制しない)。 ・Secret art cardを見せて答え合わせをする。 もう一度、指示語を言(ってもらい)、形をなぞって見せる。	
5分 (23分)	めあての設定	・「自分たちでも好きな絵を形を組み合わせて作ってみよう」ともちかけ、「友達がどんな部品でどんな絵をつくるかも楽しみだね。」と付け加えて、めあてを設定する。 友達と部品のやり取りをしてその部品でアートをつくり、お互いにアートを紹介し合おう。	・ワークシート ・色鉛筆(児童) ・Secret art cards

小学校3年生 “Fun” Time 2-①

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
22分 (40分)	自分の アート作品 を描こう!	・これからペアでほしい形をやり取りしてアートづくりの部品を集めることをデモンストレーションで行う。 ・次の時間で、自分の「アート(絵)」を学級の友達に伝えあう活動をするため、自分の「アート(絵)」を描いてもらう。 ※白紙に大・小のそれぞれの形を印刷して切り抜き、やり取りで自分のアートに必要な部品を集める。 - What do you want? Small circle, please. - How many? Three, please. - Here you are. Thank you. ・部品を組み合わせてアートをつくり、それぞれに色を塗る。 ※アートを作り出して、部品が足りない時は、指導者やALTのところでやり取りをして集めるようにする。 ・友達に伝えるときには、先ほどの活動のように、順に「色」「形」「数」「大きさ」の英語を使って伝えることを説明する。 ・ワークシートを配布し、部品組み合わせてアートを作り、を貼り付けておく。 ・黒板に、Secret art cardを全部貼り、児童が参考にできるようにする。 ・指導者は、机間指導をしながら、児童の描いた絵を確認し、描かれている絵のパーツを「A red circle」「Two blue squares」などのように、声に出して確認する。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・児童が作成した「アート」は次回、使用することを伝え、裏に名前を書かせて集める。	

<Idea Box>

好きな形や色を使って英語で活動をするアイデアとして、絵描き歌を作る活動はどうでしょうか。Let's TryのUnit7のChantを参考にしてもよいでしょう。

ワークシートにあるアートの参考例などから指導者が一つ絵を選び、Chantのように形を組み合わせて絵描き歌ができないか、児童に問いかけてみましょう。児童と一緒に考えながら、必要な形を歌で表現するようにします。ペアやグループで考えてオリジナルChantを作ってみましょう。

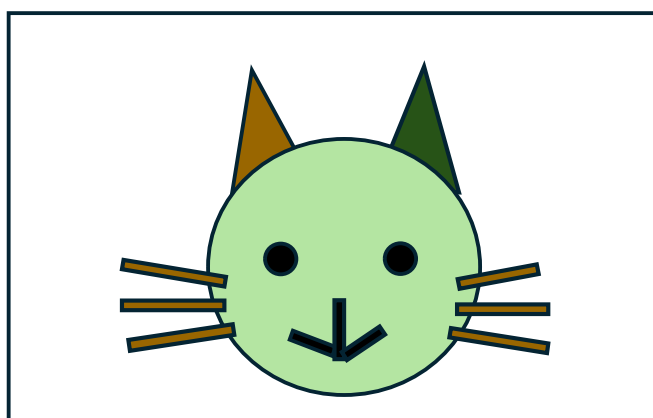
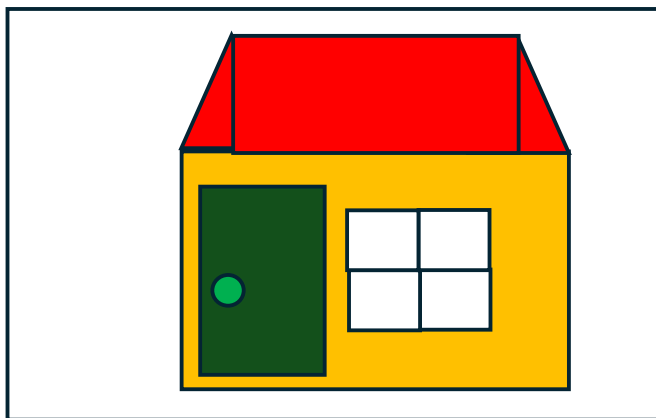
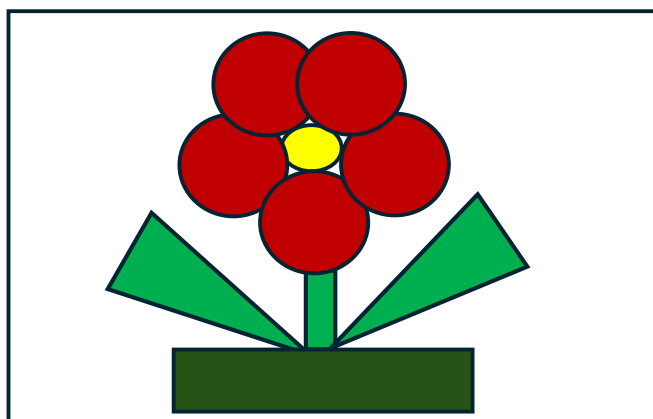
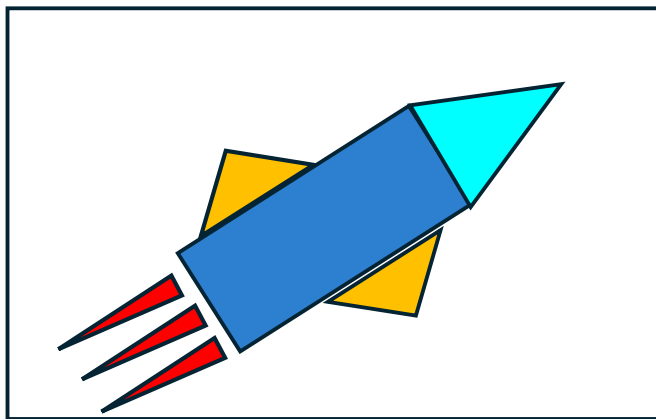
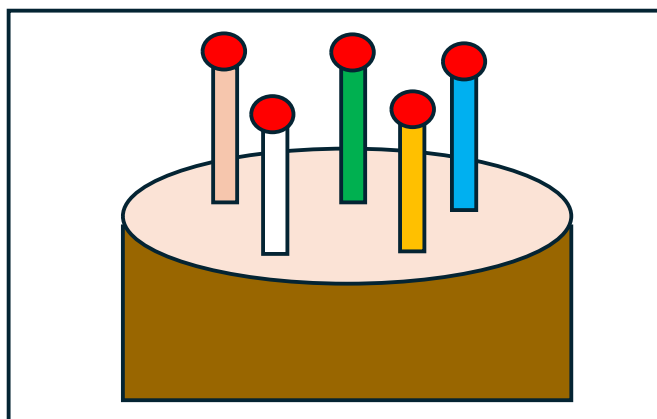
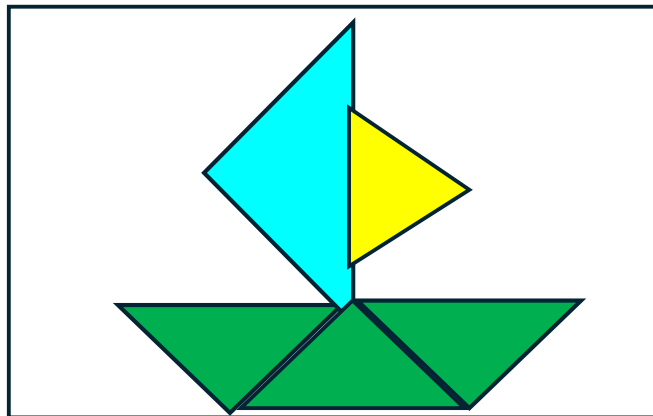
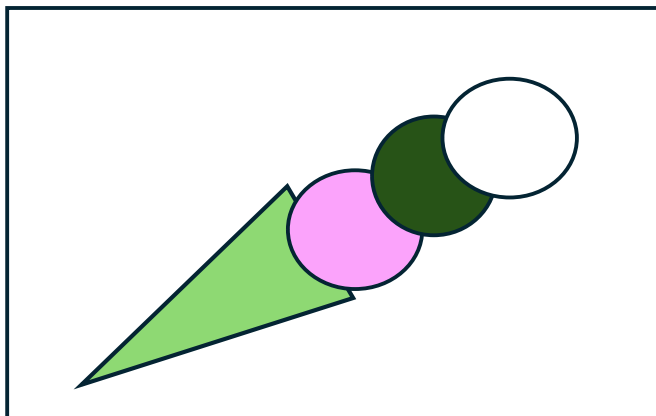
イラスト自体はあまり複雑にせず、例えば、「長方形1つと三角形3つと星1つでクリスマスツリー」のように事前に共有した簡単な形だけを使って描くようにすると、児童が英語で表現することができると良いでしょう。



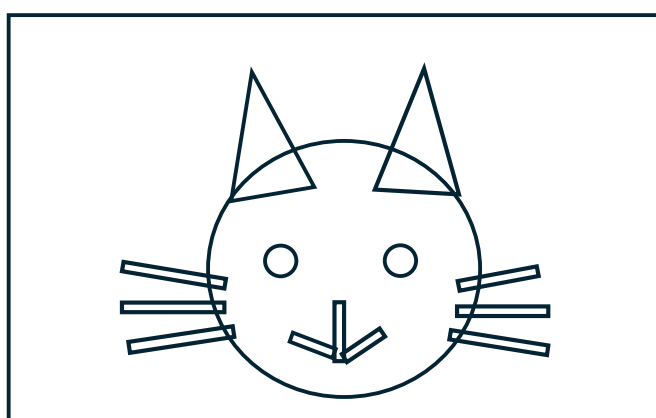
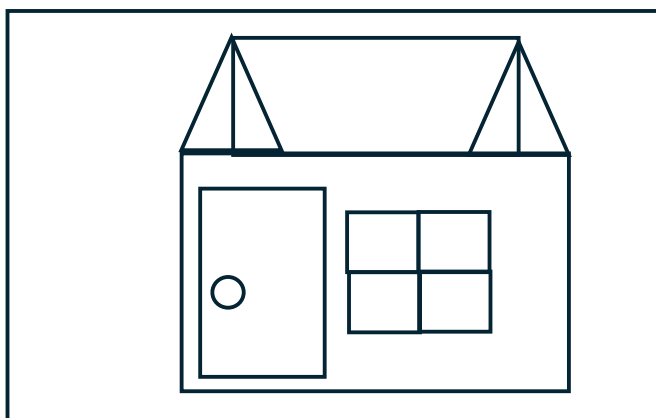
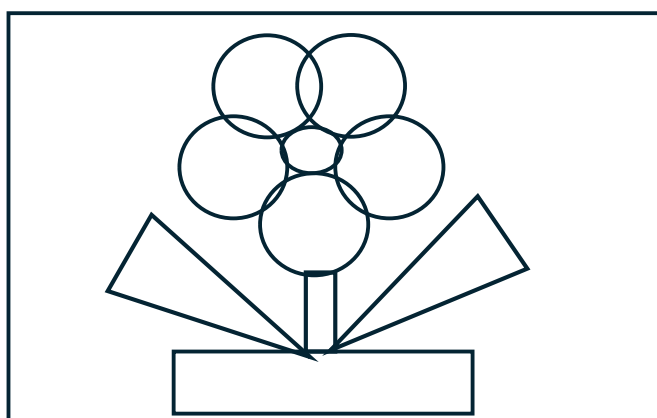
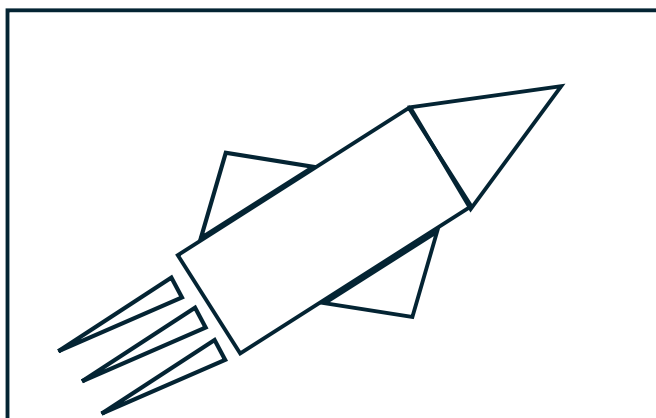
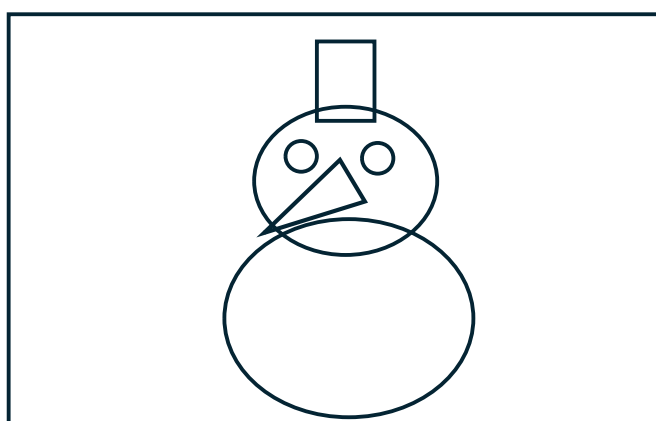
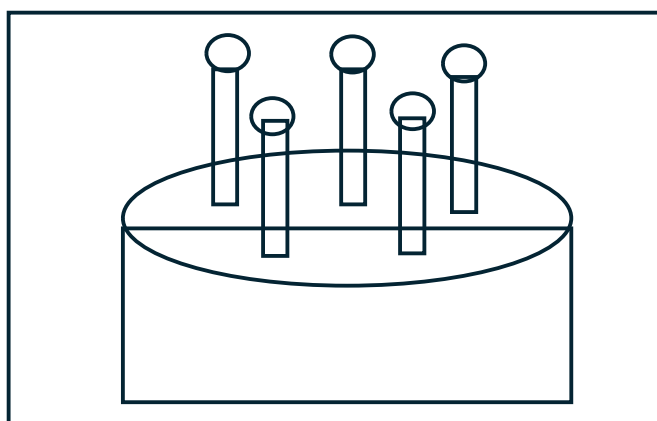
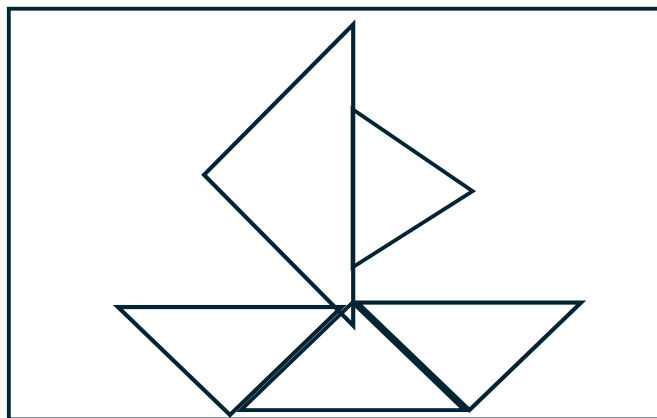
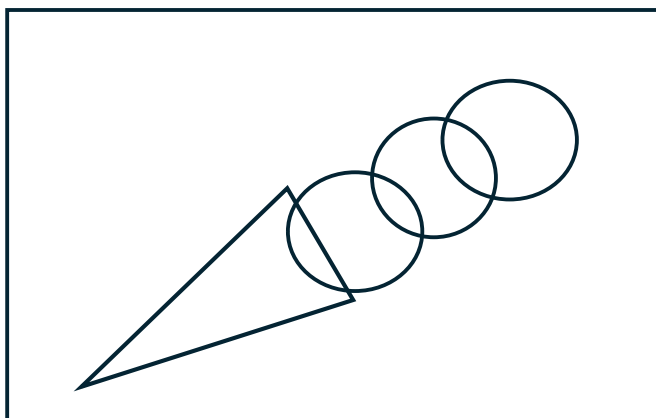
アート ギャラリー

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

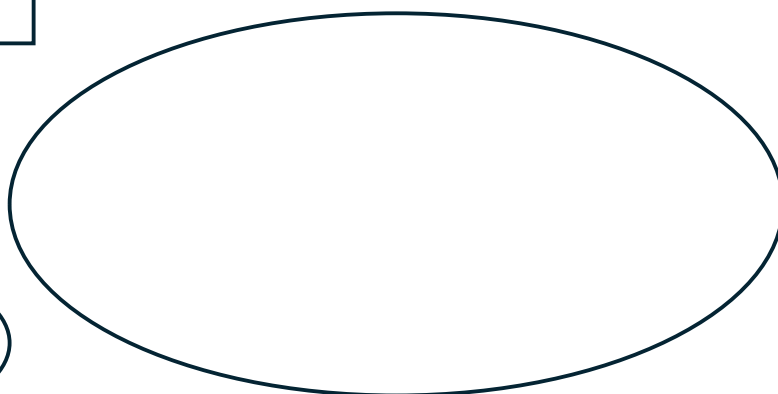
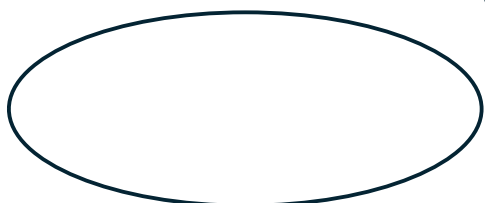
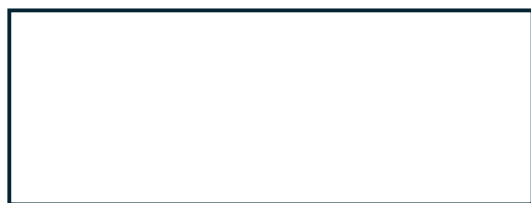
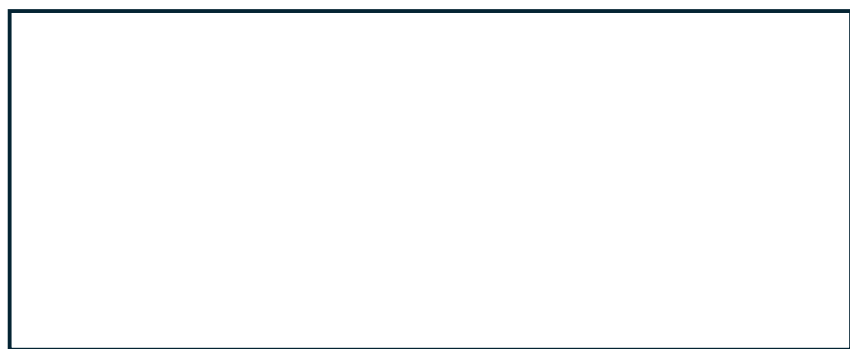
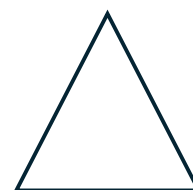
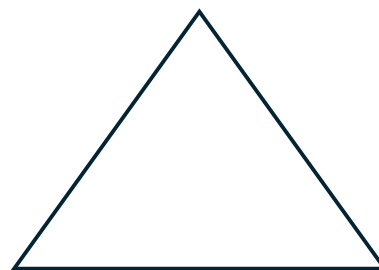
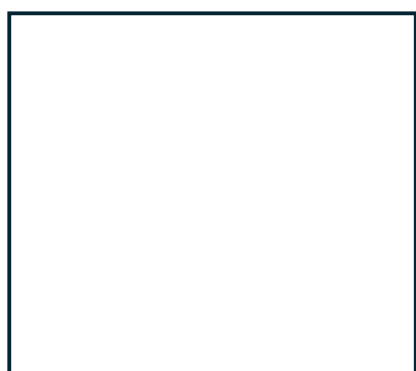
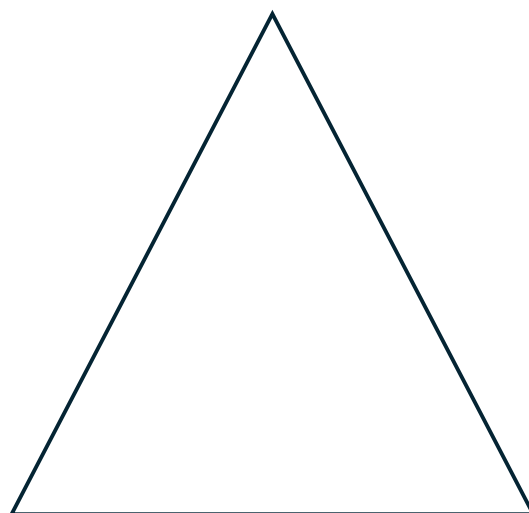
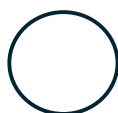
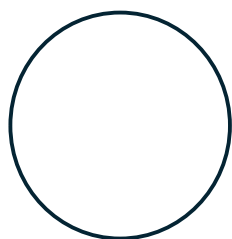
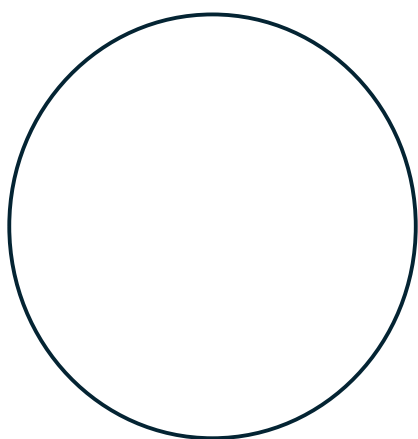
<Secret art cards>



<Secret art cards>



<Secret art cards>



3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 2-①



「アートギャラリーを開こう(パート1)」

友達とアートギャラリーでお互いの好きな色や形を使った絵を紹介し合うために、ほしいものをたずねたり答えたりしよう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校3年生 “Fun” Time 2-②

Plan 2	アート・ギャラリーを開こう (Part 2)		
目標	友達とアートギャラリーでお互いの好きな色や形を使った絵を紹介し合うために、絵のタイトルや使ったパーツの色と形を伝え合う。		
主な言語材料	red, blue, yellow, green, orange, purple, pink, brown, black, white, circle, triangle, square, heart, star, diamond, rectangle, oval, big, small		
準備物・教材	・使用する色と形のカード(黒板掲示用)、 ・ワークシート ・Secret art cards		
活動場所	教室		
配時	45分		
時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
14分 (15分)	色と形のおさらい めあての確認	① 黒板に色のカードを貼り、児童と一緒に色の英語を確認する。 ② 形のカードを貼り、色と形の英語をおさらいをする。 red square, blue triangle, yellow circle, green rectangle, pink heartなど。 ③ 前時に児童が描いた絵を配り、それぞれ机の上に置くようにする。 ・「red circle」「yellow square」「green triangle」「blue rectangle」など、色と形を組み合わせで言い、児童の描いた絵の中に、同じ組み合わせの形があれば指差すように指示する。 ・いろいろな組み合わせで数回繰り返す。 友達と部品のやり取りをしてその部品でアートをつくり、お互いにアートを紹介し合う。	・色のカード ・形のカード ・児童の描いた絵
7分 (22分)	誰のアートかな？	① 前時で使用したSecret art cardを1枚黒板に貼り、その絵がどんな色と形からできているかを考えて言うようにする。 ・最初は、指導者が例として1つ trying してみる。 ・その後、児童に挙手させて意見を言ってもらう。 ② 指導者とALTがそれぞれ描いてきた絵を黒板に貼る。 ・指導者とALTが、発表のデモンストレーションを行い、自分の絵について話す。両方の説明を聞いて、どちらが誰の絵かを当てる。	・Secret art card ・指導者とALTが描いてきた絵
18分 (40分)	Art Gallery	<説明> ・自分たちが描いた絵を使ってクラスのアートギャラリーを完成させることを伝える。 ・自分が描いた絵にタイトルをつける。(EX: My house, dream car, happy flower など) 日本語のタイトルでもよい。 ・日本語で名前を書いて、クラスの前で紹介する。 ・4～6人の班に分かれ、机をつけて活動する。 ・全員が自分の描いた絵を机において、お互いの絵を見せ合う。 My name is XXXX YYYY. This is (絵のタイトル). Yellow triangle, blue circle, pink rectangle. Thank you. ・班全員の紹介が終わったところから、教室に掲示する。 ・全員分の絵を教室に掲示し、どんな絵が描けたかをみんなで鑑賞する。色や形や大きさの英語を、たくさん聞いたり話したりして活動をできたことを褒める。	・児童の描いた絵
5分 (45分)	Closing	・振り返りシートを記入させる。 ・何人かの児童に発表してもらう。 “That’s all for today.”	

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 2-②



「アートギャラリーを開こう (パート2)」

友達とアートギャラリーでお互いの好きな色や形を使った絵を紹介し合うために、絵のタイトルや使った色や形を伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校3年生 “Fun” Time 3-①

Plan 3	クイズ大会をしよう (Part 1)
目標	友達の好きなものを知るために、自分の好きな動物、果物や野菜などについて、クイズを出して伝え合おう。
主な言語材料	色、形、big, small, long, short, Unit 5で学習した単語、Unit 8で学習した単語
準備物・教材	・紹介する語彙のカード
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
24分 (25分)	クイズの導入 めあての設定	・今回のFun Timeのgoalを話し合う。 <デモンストレーション> ・「みなさんに、先生のこと (ALTの先生でもよい) の好きなものを知ってもらいたい」ので、指導者の好きな野菜や果物、動物などについてクイズを出す。 ・下記の①②③のうちのどれかをデモンストレーションで行う。 ・みんなに先生の好きなものを当ててもらってうれしかったことを伝えるとともに、クイズを出しながら、お互いの好きなものを知ることができると楽しいことを感じさせ、児童からめあてを引き出す。 お互いの好きなものを知るために、自分の好きなものをクイズにして伝え合おう。 ・はじめのデモンストレーションで行っていないものを二つ全体に出題し、出したいクイズの形式を体験させる。 <クイズ例> ① のぞき見クイズ ・絵カードを一部だけが見えるようにして見せ「What’s this?」と尋ね児童に考えさせる。少しずつ見える部分を増やしていき、児童に当てさせる。 ・答えがでたら、ALTに発音してもらい、児童にも言うようにする。 ・同様にいくつかやってみる。 ・何人かの児童に出てきてもらい、先生役をやらせよう。 ② お絵描きクイズ ・指導者が、絵カード (児童には見せない) を見て、その絵を黒板に描く。描きながら、What’s this?と尋ね、児童に考えさせる。 ・同様にいくつかやってみる。 ・何人かの児童に出てきてもらい、先生役をやらせよう。 ③ スリーヒントクイズ ・指導者が、絵カード (児童には見せない) を見て、それに関する3つのヒントを出す。 Ex: 象 (Elephant) animal, big, gray など ・3つのヒントで当ててもらうのが基本だが、もし、答えが出ないようであれば、「Hint, please.」と言っていいことを伝える。 ・同様にいくつかやってみる。 ・何人かの児童に出てきてもらい、先生役をやらせよう。 ※この活動は、これまでに触れ合った語彙や単語のおさらいも兼ねているので、新しい語彙や難しいものは出さない。	・絵カード ・クイズのためのカード
15分 (40分)	クイズを作ろう!	・次の時間に、学級でクイズ大会を行うために、GIGA端末や必要な材料を使って自分でクイズを考えるようにする。 ・外国語活動の中でのクイズなので、知っている英語を使うこと、習っていないものについては鳴き声、ジェスチャーや簡単な日本語も入れてよいことを確認する。 ・時間があれば、クイズは1つだけでなく、複数考えてもいい。 ・クイズができたなら、どんな英語を使うかも考えて個人や友達と練習する。 ※ 指導者は、机間指導し、児童の活動の様子を観察する。必要に応じて支援する。	・絵カード ・クイズのためのカード
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・次回は、本時に考えたクイズで、クイズ大会を行うことを伝える。	

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 3-①



「クイズ大会をしよう(パート1)」

友達の好きなものを知るために、自分の好きな動物、果物や野菜などについて、クイズを出して伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校3年生 “Fun” Time 3-②

Plan 3	クイズ大会をしよう (Part 2)
目標	友達の好きなものを知るために、自分の好きな動物、果物や野菜などについて、クイズを出して伝え合う。
主な言語材料	色、形、big, small, long, short, Unit 5で学習した単語、Unit 8で学習した単語
準備物・教材	・紹介する語彙のカード
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!” ・今日は、前回、みんなが考えたクイズでクイズ大会を行うことを伝える。	
4分 (5分)	クイズの めあてと やり方の 確認	・めあてを確認する。 お互いの好きなものを知るために、自分の好きなものをクイズにして伝え合おう。 ・指導者がデモンストレーションで、クイズを出し、全体でやり方を確認する。 ・相手を見つけてクイズを出すときや答えるときのポイントを話し合う。 ※できるだけ習った英語を使うこと、コミュニケーションポイントなど クイズの始まりや終わりの挨拶： Hello! Thank you. See you. クイズで使用する英語： What’s this? Hint, please. That’s right! Sorry, no.	指導者が用意したクイズ <Hint> 児童がクイズを出すにあたって、語彙が足りず、日本語やカタカナ語などが混じることがあります。そのことを過度に規制せず、英語を使おうとする気持ちを大切にしましょう。
15分 (20分)	クイズ大会 ラウンド①	・最初、1班～4班（全部で6班の場合は、1班～3班）の人がクイズを出題する担当となる。 ・出題する人が座っている友達のところに行き、クイズを出題する。 ・1問出したら、違う友達のところに行き、同じ問題を出題する。 ・出題しない人は、席に座って待ち、やってきた友達のクイズに挑戦していく。 ※ 指導者は3分経ったら、次の人のところへ移動するように伝える。 ※ 指導者は、教室を巡回し、様子を観察。英語やジェスチャーを使って楽しくコミュニケーションできているかどうかを見て回り、めあてに沿って、習った英語やジェスチャーを使ってクイズを出したり答えたりしているペアを見つけ、全体で紹介するなど、必要に応じて中間指導を行う。	個人に必要な 絵カードや端 末など
15分 (35分)	クイズ大会 ラウンド②	・ラウンド①で出題する担当でなかった班が出題する。 ※ 指導者は3分経ったら、次の人のところへ移動するように伝える。	個人に必要な 端末やカード など
10分 (45分)	振り返り	・難しかったクイズ、面白かったクイズや友達のことがよくわかったクイズなどを紹介するようにする。 ・時間があれば、準備したけれど、まだ出題していないクイズがあれば、そこで、披露するようにする。 ・たくさん英語を使って活動ができたことを褒める。 ・振り返りカードに記入させる。	

スリーヒントクイズの例①

- ・ヒント1: food (食べもの)
 - ・ヒント2: red (赤い)
 - ・ヒント3: fruit (果物)
- 答え: apple (りんご)

スリーヒントクイズの例②

- ・ヒント1: animal (動物)
 - ・ヒント2: big (大きい)
 - ・ヒント3: sea (海)
- 答え: whale (クジラ)

スリーヒントクイズの例③

- ・ヒント1: Australia (オーストラリア)
 - ・ヒント2: boxing (ボクシング)
 - ・ヒント3: jump (ジャンプ)
- 答え: kangaroo (カンガルー)

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 3-②



「クイズ大会をしよう(パート2)」

友達の好きなものを知るために、自分の好きな動物、果物や野菜などについて、クイズを出して伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



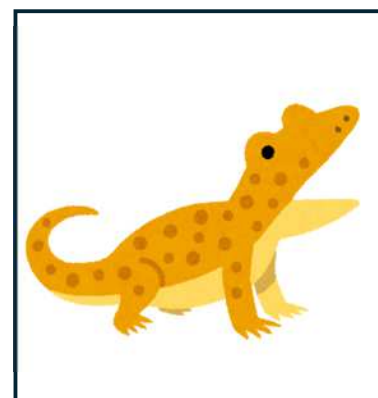
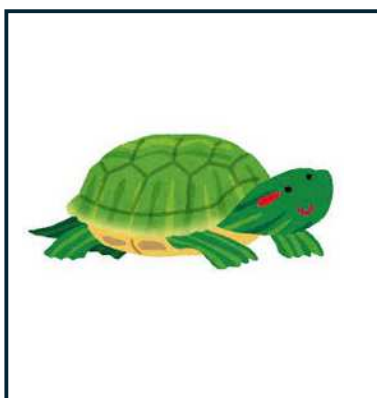
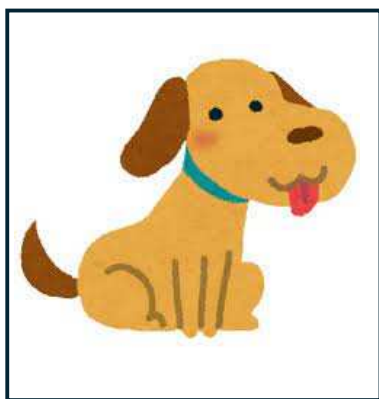
2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校3年生 “Fun” Time 4-①

Plan 4	人気投票をしよう (ペット)
目標	友達の好きなペットやALTの先生の好きなペットを知ったり、クラスで一番人気のあるペットを知ったりするために、好きなペットについて、尋ねたり答えたりして伝え合う
主な言語材料	What do you like? pet, dogs, cats, rabbits, hamsters, birds, fish, turtles, snakes
準備物・教材	紹介する語彙のカード、インタビューシート①
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
14分 (15分)	イントロダクション めあての設定	担任が、自分のペットについて話す。ALTがそれを聞いて、自分もペットが欲しいという。児童の好きなペットについて教えてほしい、このクラスで一番人気のペットを知りたいということを伝える。 会話例: 担任: This is my pet cat. (写真などを見せる) Her name is Kitty. (ALTに) Do you have a pet? ALT: No, I don't. I want a pet. 担任: What do you like? Do you like cats? ALT: Yes, I like cats, I like dogs, I like rabbits too. 担任: (児童に向かって) ALTの先生はペットが欲しいようだけど、何がいいか、決め切れていないようですね。 「みんなの好きなペットを教えてください。」 以上の会話をもとに、めあてを設定する。 友達や先生の好きなペットを知ったり、クラスで一番人気のあるペットを知らせたりするために、好きなペットについて、尋ね合おう ・児童に向かって、「どんなペットがいるかな?」と日本語で尋ねてみる。 児童から、意見を募る。 ・犬、猫、うさぎ、ハムスター、鳥(インコ、文鳥など)、魚(金魚、メダカなど)、カメ、ヘビ等、絵カードを用意している分は、順次カードを黒板に掲示する。 ・出てきたペットの英語の言い方をALTに教えてもらって、発話してみるようにする。	・絵カード
15分 (30分)	インタビュー	<説明> 各自、インタビューシートに自分が好きなペットのTop3を描(書)き、自分が好きな動物には○をつけておく。友達5人に選んだ3つのペットが好きかを尋ねて、回答をOXで記入する。 担任とALTで、以下の会話例を参考にデモンストレーションを行う。 会話例: A: Hello! B: Hello! A: Do you like dogs? B: Yes. Do you like ----? A: Yes. Do you like cats? B: Yes. Do you like ----? A: No. Do you like turtles? B: No. Do you like ----? A: Yes. Thank you. B: Thank you. See you.	・インタビューシート①
10分 (40分)	一番人気のあるペット	・全員のインタビューが終わったら、班で、結果を紹介し合う。 ・ALTのところに行って自分の好きなペットを伝える。 “I like (好きなペット). Do you like (好きなペット)?” ・ALTは、児童たちから聞いたペットの動物を確認し、黒板に貼った動物の絵カードの下にしるしをつけて、一番人気のある動物を見つける。 ・ALTからのお礼とフィードバックを伝える。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。	

小学校3年生 “Fun” Time 4-① ワークシート



<インタビューシート①>

名前	すきなペット①	すきなペット②	すきなペット③
自分			
合計			

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 4-①



「人気とうひょうをしよう(ペット)」

友達や先生の好きなペットを知ったり、ALTの先生にクラスで一番人気のあるペットを知らせたりするために、自分の好きなペットについて、たずねたり答えたりして伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校3年生 “Fun” Time 4-②

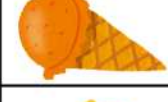
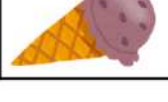
Plan 4	人気投票をしよう (アイスクリーム)
目標	友達やALTの先生の好きなアイスクリームの味を知ったり、クラスで一番人気のあるアイスクリームの味を知ったりするために、好きなアイスクリームについて、尋ねたり答えたりして伝え合う
主な言語材料	What do you like? ice cream, vanilla, chocolate, strawberry, cookie and cream, orange, pineapple, matcha, azuki
準備物・教材	紹介する語彙のカード、インタビューシート②
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
14分 (15分)	イントロダクション 		

小学校3年生 “Fun” Time 4-② ワークシート



<インタビューシート②>

アイスクリーム フレーバー	①予想ランキング (順位をつけよう)	②好きな人の数 (正の字で書こう)	③自分の好きな味 (順位をつけよう)
 バニラ vanilla			
 チョコレート chocolate			
 ストロベリー strawberry			
 クッキー& クリーム cookie and cream			
 オレンジ orange			
 パイナップル pineapple			
 まっ茶 matcha			
 あずき azuki			

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 4-②



「人気とうひょうをしよう(アイスクリーム)」

友達や先生の好きなアイスクリームの味を知ったり、ALTの先生にクラスで一番人気のアイスクリームの味を知らせたりするために、好きなアイスクリームを尋ね合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

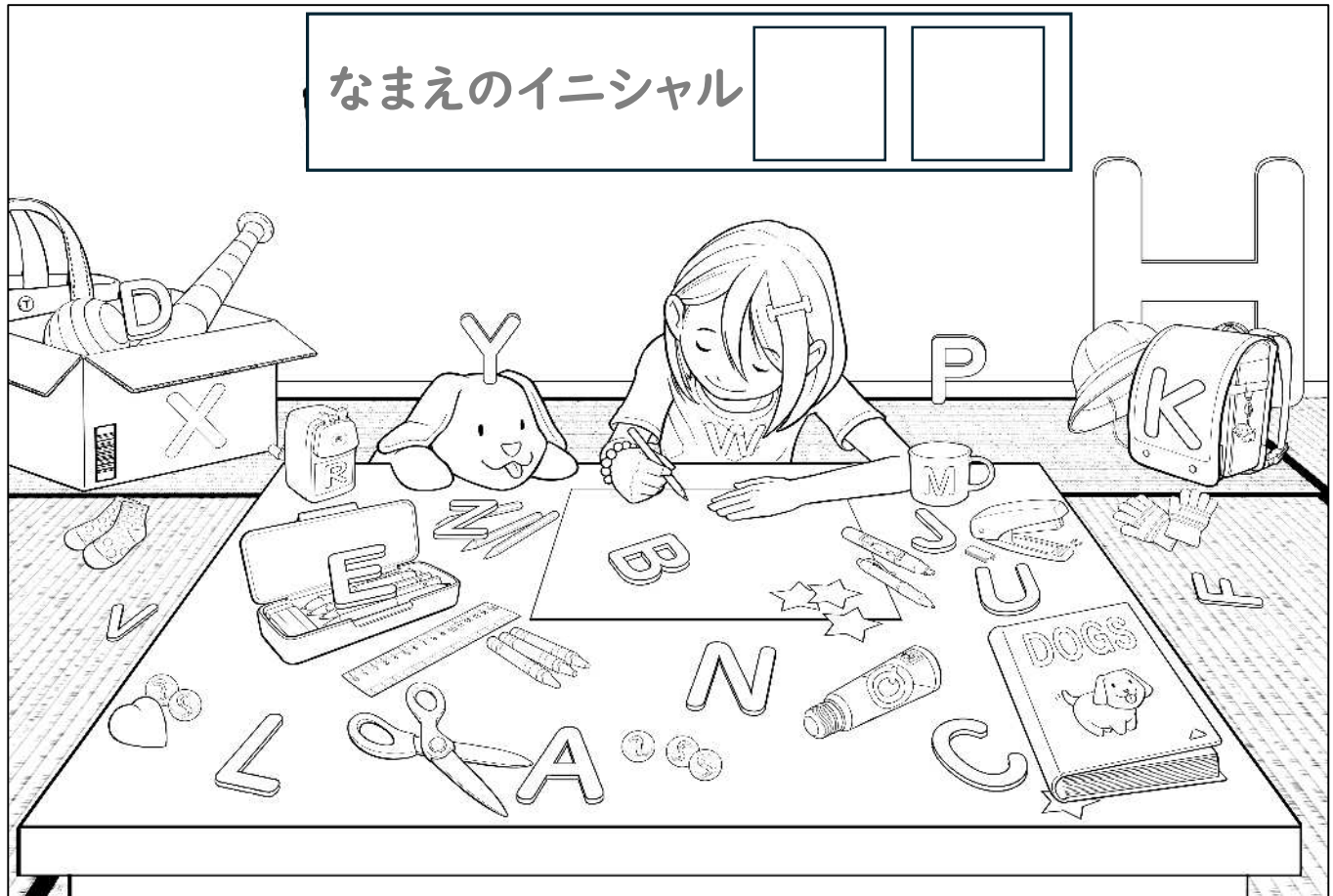
小学校3年生 “Fun” Time 5-①

Plan 5	一年間のありがとうを伝えよう (Part 1)
目標	名前のイニシャルや好きなものを尋ね合い、「ありがとうカード」を作って、クラスメートやALTの先生に1年間のありがとうの思いを伝え合う。
主な言語材料	アルファベット大文字、What do you like? I like ----.
準備物・教材	アルファベット探しのワークシート、色鉛筆、インタビューシート
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	"Hello! Let's have a Fun Time!"	
4分 (5分)	Let's Sing!	Let's sing "ABC Song." Let's Try! I, Unit 6のABC Songと一緒に歌う。(2回歌う)	
15分 (20分)	アルファベット探し	・「アルファベット探し(白黒)」のワークシートを配布し、児童は色鉛筆を出す。 ・ALT(指導者)が、順にアルファベットの文字と色を言い、児童は、それに従って、見つけた文字に色を塗っていく。 <サンプル> ALT: Find "A" and color it red. (「A」を見つけて、赤で塗りなさい。) 児童: OK! Aから順にZまで見つけて、色を塗ってもらう。 ※ 指導者は机間指導をしながらか、児童の様子を確認する。 ※ 言われた文字を見つけられない児童がいれば、支援する。 ・すべての文字に色を塗り終わったら、最後に、自分の名前のイニシャルを□の中に書かせる。(姓・名の順で書かせる) ※ イニシャルがわからない児童がいれば、支援する。	・「アルファベット探し(白黒)」のワークシート
20分 (40分)	インタビュー めあての設定	・3年生での外国語活動を振り返り、楽しかったことなどを児童から引き出す。 ・指導者も楽しかったことを伝え、ALTの先生にお礼をしたいという希望を伝えることからめあてを設定する。 名前<i>i</i>のイニシャルや好きなものを尋ねて「ありがとうカード」を作り、クラスメートやALTに1年間のありがとうの思いを伝えよう。 <説明> 1年間一緒に過ごしたクラスメートやALTに、「ありがとう」を伝えるカードを作ります。そのために、伝えたい相手に英語でインタビューして、イニシャルと好きな物を聞き取っていきます。 会話例: A: Hello! B: Hello! A: Initial, please. B: Y. H. A: Thank you. What do you like? B: I like soccer. A: Thank you. See you. B: See you. ・1枚のインタビューシートには、5人分、書けるようになっているので、5人にインタビューして、記入する。 ・聞き取った好きな物は、日本語で書く。 ・インタビューを始める前に、ペアでやりとりをする時間を設ける。 ※ となりの班の友達に順にインタビューを行い、聞き取ったことをメモしておく。インタビューされない児童が出ないように指導者が意識して支援を行う。 ※ 「好きなもの」はなんでもよい、スポーツ、動物、食べ物、色など、好きなものを1つだけ教えてもらう。これは、次回の活動で使う、ありがとうカードに記入する。 ・次の時間には、ALTの先生と友達に「ありがとうカード」づくりをして、やりとりすることを伝える。	インタビューシート
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる	

小学校3年生 “Fun” Time 5-① ワークシート

<アルファベットさがし>



<インタビューシート>

あいての名前	イニシャル	すきなもの (にほんごで書いてよい)

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 5-①



「一年間のありがとうを伝えよう①」

名前のイニシャルや好きなものを尋ね合い、「ありがとうカード」を作って、クラスメートやALTの先生に1年間のありがとうの思いを伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校3年生 “Fun” Time 5-②

Plan 5	一年間のありがとうを伝えよう (Part 2)
目標	名前のイニシャルや好きなものを尋ね合い、「ありがとうカード」を作って、クラスメートやALTの先生に1年間のありがとうの思いを伝え合う。
主な言語材料	アルファベット大文字、This is for you. Thank you.
準備物・教材	Thank you card、色鉛筆
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
4分 (5分)	Let’s Sing!	Let’s sing “ABC Song.” Let’s Try! 1, Unit 6のABC Songと一緒に歌う。(2回歌う)	
15分 (20分)	めあての 確認 Thank you card づくり	・めあてを確認し、本時の活動について見通しをもたせる。 名前のイニシャルや好きなものを尋ねて「ありがとうカード」を作り、クラスメートやALTに1年間のありがとうの思いを伝えよう。 ・前回のインタビューシートを基に、「ありがとう」を伝えたい相手への「ありがとうカード」を作って贈ります。 左上の□には相手のイニシャルを書き、右下の□には自分のイニシャルを書きます。大きな□には、聞き取った相手の好きなものを絵で描きます。吹き出しには一言メッセージを書きます。 5名分のカードができて、まだ、時間があれば、色を塗ったり、空いたスペースに絵を描いたりしてよいです。 ・児童に「ありがとうカード」を1枚配る。 ・中央に書かれている文字と一緒に読んでみる。 「T. H. A. N. K. Y. O. U」これが何を意味するかを想像したり、発表したりするようにする。 ・指導者が「Thank you」と発音し、児童は音を聞いて一緒に発音するようにする。 ・担任とALTが事前に用意したカードを見せ、やり方を説明し、ありがとうカードづくりを始める。 ※ 一人分できたら、指導者に見せに行き、新しいカードをもらう。 ※ 時間が来るまで続けるが、5人分できていない場合は、そこまでにする。	・Thank you card
20分 (40分)	This is for you.	・作ったカードを相手に贈る。 最初に、担任とALTでデモンストレーションする。 会話例： A: Hello! A: This is for you. A: Thank you. See you. B: Hello! B: Thank you. B: See you. ※ 「ありがとう」という気持ちで伝え合うことが大切なので、相手とアイコンタクトをして話すこと、きちんと両手で渡すこと、を示し、児童に理解させる。 ※ 最初に1枚目を渡す時間をつくり、きちんとコミュニケーションできている児童を取り上げてほめ、全体に紹介する。それから、2枚目、3枚目、と時間を区切って行う。 ※ たくさんもらえたかどうかポイントではないので、もらった数を問うことはしない。指導者は、事前に、もらえない児童がいないように渡す相手を確認しておく。 ※ 気持ちよいコミュニケーションができたことを褒める。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる ・数名に感想を発表してもらう。	

<Thank you card>

●	さんへ
THANK YOU!	
<すきなもの>	<ひとことメッセージ> ● より

A B C D E F G H I J
K L M N O P Q R S
T U V W X Y Z

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time 5-②



「一年間のありがとうを伝えよう②」

名前のイニシャルや好きなものを尋ね合い、「ありがとうカード」を作って、クラスメートやALTに1年間のありがとうの思いを伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time I-①

Plan I		I 週間の予定をつくろう (Part I)							
目標		指導者やALTの一週間の過ごし方を予想したり、友達の一週間の遊びを知ったりするために尋ねたり答えたりする。							
主な言語材料		sunny, cloudy, rainy, snowy, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday, play video games, play cards, dance, play dodgeball / soccer, draw, watch TV など							
準備物・教材		使用言語材料の絵カード、ワークシート①、ワークシート②							
活動場所		教室							
配時		45分							
時間	活動	詳細・指導者の英語						準備物	
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”							
10分 (11分)	いろいろな表現	・曜日のカードといろいろな遊びのカードを順に見せながら、児童に英語で発話してもらい、黒板の右側に貼っていく。発話が出ない(出にくいような)場合は、ALTや指導者が言い方を示す。 ・天気のカードを見せ、英語での言い方を確認し、黒板の左側に貼る。 ・児童に、天気とやりたい遊びについて尋ねる。 「It’s sunny. Let’s play dodgeball! Okay?」 「It’s cloudy. Let’s play cards! Okay?」 「It’s rainy. Let’s dance! Okay?」 「It’s snowy. Let’s make a snowman! Okay?」 ※ 答えは様々ではない。いろいろな意見があってもよい。							
14分 (25分)	ALTの1週間	・ALTから指導者の先週の遊びを尋ねてもらい、答えた後で、指導者は「ALTの先週一週間のやりたい遊びを予想して聞いてみよう」と児童にもちかけ、ワークシート①を配布する。 ・指導者は、予め、先週の天気を記入しておき、児童は、空欄の遊びを想像して、埋めていく。(約3分) ※日本語で書く。							
		曜日	Sun.	Mon.	Tue..	Wed	Thu.	Fri.	Sat.
		天気							
		遊び		ビデオゲーム	カード		ダンス	ドッジボール	イラスト
		・ALTは自分のワークシートに書いてあることを児童に聞かせる。 「Sunday. It’s sunny. Let’s play video games.」 ・児童は、自分のワークシートで予想が合っていたら○をする。 ※ALTが言った遊び以外の予想をした児童には、どんな遊びかを尋ねて発表してもらう。							
15分 (40分)	ぼくのわたしの1週間めあての設定	・「みんなも友達の一週間で、やりたい遊びを知ろう」ともちかけ、めあてを設定する。							
		友達の好きな遊びを知るために、一週間のことを尋ねたり、遊びに誘ったりするやりとりをしよう。 ・先週の曜日と天気を記入したワークシート②を配布する。 ・次に、その曜日にやった遊びややりたかった遊びを書く(絵でも日本語でもよい)。 ・指導者のデモンストレーションの後、ワークシートをもって、学級内を回り、ペアで以下のような会話をする。							
A: Hello!B: Hello! A: How are you ?B: I'm good. How are you? A: I'm great. (Rock, scissors, paper, one, two, threeをして、勝った方が自分のワークシートを見ながら話す) A: (自分のワークシートを見て) It's Monday. It's sunny. Let's dance. B: (自分のワークシートを見ながら、同じ曜日に同じ遊びがあったら) Okay. (その曜日に同じ遊びがなかったら) Sorry.									

小学校4年生 “Fun” Time I-①

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
(40分)	ぼくのわたしの1週間	異なる相手を探し、先ほどの流れで会話をする。異なる相手とは、違う曜日の内容で会話をしていく。 ・時間内に複数の相手と、いくつかの曜日のことについて対話できるようにする。 ※ 指導者は、学級内を巡回し、児童の対話の様子を観察し、必要があれば支援したり、よいペアを全体に紹介するなどの中間指導を行ったりする。 ※ 最初や別れるときの挨拶までしっかりやっている様子を称賛する。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・ワークシート①②を集める。	

小学校4年生 “Fun” Time I-① ワークシート

ワークシート①							
4年 組 番 名前							
曜日	日曜日 Sunday	月曜日 Monday	火曜日 Tuesday	水曜日 Wednesday	木曜日 Thursday	金曜日 Friday	土曜日 Saturday
天気							
遊び		ビデオ ゲーム	カード		ダンス	ドッジ ボール	イラスト

ワークシート②							
4年 組 番 名前							
曜日	日曜日 Sunday	月曜日 Monday	火曜日 Tuesday	水曜日 Wednesday	木曜日 Thursday	金曜日 Friday	土曜日 Saturday
天気							
遊び							

ワークシート③							
4年 組 番 名前							
曜日	日曜日 Sunday	月曜日 Monday	火曜日 Tuesday	水曜日 Wednesday	木曜日 Thursday	金曜日 Friday	土曜日 Saturday
天気							
遊び							

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time I-①



「一週間の予定をつくろう①」

先生やALTが先週した遊びを予想したり、友達の一週間の遊びを知ったりするためにたずねたり答えたりする。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time I-②

Plan I	I 週間の予定をつくろう (Part2)		
目標	友達がどんな一週間を過ごしたいのかを知るために、自分の習い事やしたいことを中心にした夢の1週間をについて、尋ねたり答えたりする。		
主な言語材料	sunny, cloudy, rainy, snowy, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday, play tag, play cards, play dodgeball / soccer, watch TV など		
準備物・教材	使用言語材料の絵カード、ワークシート①、ワークシート②		
活動場所	教室		
配時	45分		
時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
2分	あいさつ	ALTが英語であいさつをする。 - What day is it today? - How's the weather today? - Let's have a FUN time!	
10分 (12分)	天気と遊びを伝え合おう	・前回使用したワークシート②を配布する。 ・指導者(もしくはALT)が曜日のカードから1枚をひき、引いたカードを例えば「It's (Monday) !」等と言う。 ・児童は、隣同士か前後でペアになって、その曜日のことについて、自分の作成したワークシートに書いてあることを伝えあう。 (EX: It's rainy. Let's play cards. 相手は、それに対して、「よい」と思えば「Okay!」気が進まない場合は「Sorry!」と答える ・次に、引いた曜日のカードを児童に見せ、学級全体で「It's XX day.」と言うようにする。そして、同様にペアで伝え合う。 ・同様に全部の曜日で行う。 ※ 最初に指導者がモデルを見せるとよい。	前回作成したワークシート②
13分 (25分)	夢の一週間を伝えよう (準備) めあての設定	・ALTと指導者の「夢の一週間」を紹介し、みんなの夢の一週間も知りたと思うような発問をして、児童からめあてを引き出す。 友達がどんな一週間を過ごしたいのかを知るために、夢の一週間について、尋ねたり答えたりしよう。 こんな1週間だったら、という夢の一週間を自分で考える。それを友達と発表し合う。 ・夢の理由も(日本語でいいので)考えて言えるようにする。 ・曜日ごとの活動とそれに適した天気を考えて、ワークシートに絵や日本語で書く。 ・活動や天気は、これまでにでてきたものだけでなくよい。必要に応じて支援するようにする。 ・準備ができたなら、発表の練習をする。	
15分 (40分)	夢の一週間を伝えよう (発表)	・友達を見つけて、お互いの夢の一週間を紹介し合う。 ・発表するときには、夢の理由も伝えてもらう。 <発表の例>漫画家になりたい自分の夢の一週間。 Sunday, it's rainy, Let's watch TV. Monday, it's cloudy. Let's draw cartoons. Tuesday, it's rainy. Let's read books. Wednesday, it's cloudy. Let's draw cartoons. Thursday, it's sunny. Let's go for a walk. Friday, it's sunny. Let's go shopping. Saturday, it's cloudy, Let's draw cartoons. ※ 発表が終わったら、お互いに感想や意見を伝え合う。 ALTからもペアでの活動について全体に向けてフィードバックをもらう。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる ・活動の感想を発表する。	

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time I-②



「一週間の予定をつくろう②」

友達がどんな一週間を過ごしたいのかを知るために、夢の一週間について、たずねたり答えたりして伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 2-①

Plan 2	オリジナルフードコートを楽しもう (Part I)		
目標	オリジナルメニューを作り、友達のオリジナルメニューを知るために注文したり注文を受けたりして伝え合う。		
主な言語材料	Hello! What do you want? I want ---, please. What's this? How many? (number) please. Here you are. Thank you. See you.		
準備物・教材	・フードコートやレストランの写真やチラシ、・食べ物・料理の絵カード、・サンプルメニューカード (表に料理、裏にデザートと飲み物を示したもの)×児童数の半分 ・食券(料理の名前が書いているもの)・児童用メニューテンプレート×児童数分		
活動場所	教室		
配時	45分		
時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	"Hello! Let's have a Fun Time!"	
6分 (7分)	いろいろな料理	・フードコートやレストランの写真やチラシを見せて、児童に、どんなものを食べたいかを尋ねる。 "Look at this. This is a food court. What do you want?" ・ALTがいれば、ALTとフードコートでどんなものが欲しいかを尋ねあう。 "I want spaghetti. What do you want?" ・児童にも質問し、児童から出てきた料理や食べ物が、絵カードにあれば、黒板に貼る。なければ、黒板に書く(日本語でもよい)。	・フードコートやレストランの写真やチラシ ・料理の絵カード
13分 (20分)	デモンストレーション～ペアでやりとり	・指導者が用意したサンプルメニューカードを使って、ALT(もしくは児童)と注文するやり取りのデモンストレーションをする。 A: Hello! B: Hello! A: (メニューを見せて) We have many foods. What do you want? B: (メニューを見ながら考えて) What's this? A: This is Yaki Curry (焼きカレー). B: Oh, I want this. I want Yaki curry, please. A: How many? B: One! Do you have dessert? A: Yes. This is the dessert menu. (デザートのメニューを見せる) What do you want? B: I want ice cream, please. A: OK. Here you are (食券を渡す). B: Thank you. A: Thank you. See you. ・欲しいものを尋ねたり答えたりする場合: "What do you want?" "I want ---, please." ・メニューに示された料理がわからない場合: "What's this?" ・他に何か欲しいものがある場合: "Do you have ----?" ・注文が終わったかどうかを尋ねる時: "That's all?" ・最初の挨拶と最後の挨拶もきちんとすることを確認する。 ・児童にサンプルメニューカードを配布し、ペアでやり取りをさせる。	・メニューカード ・食券
20分 (40分)	自分のオリジナルメニューを作ろう! めあての設定	・指導者やALTの好きなメニューがないことを取り上げ、オリジナルメニューを作ることを提案・例示し、児童からめあてを引き出す。 ・作成したメニューカードを使って、全員のオリジナルメニューを知るには、フードコートを作るとよいことに気付かせる。 友達のオリジナルメニューを知るためにフードコートで、注文したり注文を受けたりしよう。 ・児童にメニューカードのテンプレートを配布し、自分のオリジナルメニュー(販売したいもの)を書く。 絵を描くことができればよいが、難しい場合は、日本語で書いておく。 児童が英語での言い方がわからない場合は、支援する。 ・メニューが完成したら、それぞれの料理の英語を確認したり、指導者と友達とやり取りの練習をさせたりする。(メニューは日本語でもよい)	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 次回はみんなでフードコートでのやり取りをすることを伝え、裏に名前を書かせて集める。	

<サンプルメニューカード>

MENU



curry and rice



pizza



spaghetti



takoyaki



niku udon



yaki curry

デザート



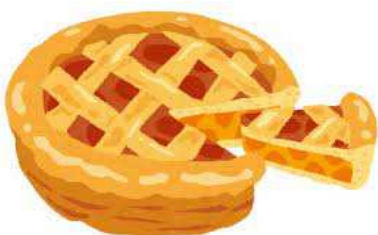
matcha ice cream



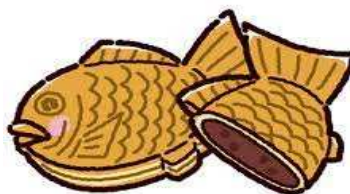
fruit parfait



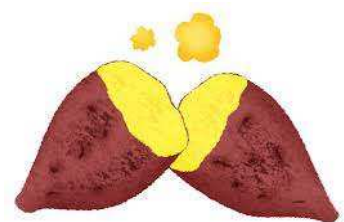
chocolate cake



apple pie



taiyaki



yaki-imo

4年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

<メニューテンプレート>

MENU

<食券>

カレーライス	ピザ	スパゲッティ
たこやき	肉うどん	焼きカレー
まっ茶アイス	フルーツパフェ	チョコレートケーキ
アップルパイ	たい焼き	焼きいも

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 2-①



「オリジナルフードコートを楽しもう①」

オリジナルメニューを作り、友達のオリジナルメニューを知るために、注文したり注文を受けたりして伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 2-②

Plan 2	オリジナルフードコートを楽しもう (Part2)
目標	友達のオリジナルメニューを知るために、フードコートで、注文したり注文を受けたりするやり取りをして伝え合う。
主な言語材料	Hello! What do you want? I want ---, please. What's this? How many? (number) please. Here you are. Thank you. See you.
準備物・教材	・フードコートやレストランの写真やチラシ、・食べ物・料理の絵カード、・サンプルメニューカード (表に料理、裏にデザートと飲み物を示したもの)×児童数の半分 ・食券 (料理の名前が書いているもの)・児童用メニューテンプレート×児童数分
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	"Hello! Let's have a Fun Time!"	
7分 (8分)	導入～ デモンストレーション めあての確認	・フードコートやレストランの写真やチラシを見せて、前回の内容を思い出させたり、黒板に料理の絵カードを貼り、料理の言い方を確認したりする。 ・めあてを確認する。 友達のオリジナルメニューを知るためにフードコートで、注文したり注文を受けたりしよう。 ・前回使ったサンプルメニューで、ALTとデモンストレーションする A: Hello! B: Hello! A: (メニューを見せて) We have many food. What do you want? B: (メニューを見ながら考えて) What's this? A: This is yaki curry (焼きカレー). B: Oh, I want this. I want yaki curry, please. A: How many? B: One! Do you have dessert? A: Yes. This is the dessert menu. (デザートメニューを見せる) What do you want? B: I want ice cream, please. A: OK. Here you are (食券を渡す). B: Thank you. A: Thank you. See you.	・フードコートやレストランの写真やチラシ ・料理の絵カード ・メニューカード、食券
32分 (40分)	フードコート買い物体験	・前回児童が作成したメニューカードと食券用のカードを配る。児童は食券をハサミで切る。 ・児童を半分に分け、最初にフードコートの店員になるグループと、客になるグループを決める。 最初に店員になる児童は、自分のメニューと食券用のカード、筆箱を机に用意してスタンバイする。店員になる児童は、客の児童が注文したもの名前を食券に書いて、“Here you are.”と言ってわたす。 ・お客になる児童は、何も持たずに、教室内のフードコートの児童の席を周り、時間内なるべく多くの異なるお店を訪問し、買い物をします。 ・コミュニケーションの約束として ＊できるだけ英語を使うこと ＊最初と最後の挨拶は、きちんとアイコンタクトすること ＊笑顔で接客すること などを確認する ・最初の5分間の様子を見て、中間評価を入れ、よい例を紹介し、注意した方がよい点があれば指摘する。 ・同じ役割のまま活動を再開し、5分間続ける。 ・店員と客の役割を交代して、活動を再開。10分間続ける。 ・時間が来たら全員、席に戻り、振り返りをする。 ・どんな料理が人気があったか、どんな珍しい料理があったか、感想を発表させる。	・メニューカード ・食券
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる ・活動の感想を発表してもらう	

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 2-②



「オリジナルフードコートを楽しもう②」

友達のオリジナルメニューを知るために、フードコートで、注文したり注文を受けたりして伝え合おう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 3-①

Plan 3	動物園に行こう! Let's go to the zoo! (Part 1)		
目標	低学年の児童に「いとうづの森公園」の楽しさを知らせるために、学習した簡単な英語を使って「動物園に行こう」の劇をつくろう。		
主な言語材料	How's the weather? sunny, cloudy, rainy, Let's go to (the zoo, the restaurant), Let's go home. What do you like? I like (lion, elephant, red panda, tiger, monkey). What do you want? I want (spaghetti, curry and rice, hamburger, ice cream). How are you? I'm (hungry, tired, sleepy) ほか		
準備物・教材	天気のカード、到津の森公園と動物の絵カード、レストランのメニュー、時計の絵カード		
活動場所	教室		
配時	45分		
時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let's have a Fun Time!”	
9分 (10分)	イントロダクション ～ おさらい	・これまでに活動で学んだ英語を使って劇遊びをすることを説明する。 - GI Unit5のストーリーボード(到津の森公園の図)を見せながら、場面を考えるよう促す。 ・次の表現を、これまでの活動で使用した絵カードやデジタル教材などを使ってALTと一緒に発話練習をする。 ①How's the weather? -sunny, cloudy, rainy ②What time is it? -It's 10AM, 12 Lunch time, 3PM, 5 PM ③What do you like? --I like elephant. ④What do you want? -- I want a hamburger, ice cream	・使用表現の絵カード
5分 (15分)	デモンストラーション めあての設定	担任とALTで、サンプルシナリオを使って、シーン1～5までの一部を実演する。児童からの感想を聞く。 ※ 児童から「おもしろそう」「やってみたい」といった感想や「1・2年生に見せたい」などの意見を引き出し、めあてを設定する。 1・2年生に「いとうづの森公園」の楽しさを知らせるために、「動物園に行こう!」の劇をつくろう。 ※ 使っている英語は、既に、何度も活動でやったことのある簡単な英語を使ったものだということを、理解させる。 ※ 学習参観や学習発表会で保護者に見せるなど、相手や目的を変更して取り組むこともできる。	・使用表現の絵カード
25分 (40分)	やってみよう!(準備)	・以下のシーンを紹介し、班ごとにどのシーンを担当するかを話し合う。 - シーン① 出発前の会話 - シーン② 動物園での最初の会話 - シーン③ お昼の会話 - シーン④ 動物園での2回目の会話 - シーン⑤ 帰る前の会話 ※ 児童数が多い場合は、動物園の会話のシーンを増やしたり、1グループの人数を増やしてもよい。 ・班ごとに担当するシーンが決まったら、班の中で、誰が何を話すかを決める。 ※ 教材の案はあるが、自分たちで、動物や食べものの絵を描いたりして準備させてもよい。 ・発話の練習をする ※ 担任とALTが班を巡回し、会話の相手をして児童に発話させる。 ※ 場面に応じて、自分の考えや思いを伝えることができるよう、児童がアレンジしてよいことを伝える。 ※ 児童は完璧に覚える必要はない。できるだけ、児童が「言いたい」と思えることが自然に言えるようにする。	・使用表現の絵カード
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・次回は、1・2年生に見せるために、みんなで劇をつなぎ、動画づくりをすることを伝える。	

Let's go to the zoo!

<サンプルシナリオ>

(Scene 1) At home.

A & B: Good morning !
 C & D: Good morning. How are you?
 A & B: Great / Good /Happy. How are you?
 C & D: Great / Good /Happy.
 A & B: How's the weather?
 C & D: Sunny! Let's go to the zoo!
 A & B: Okay!

シーンごとにグループを交代し、グループの中での役をきめる。

“How are you”に対する答え方は、児童が選ぶようにする。

(Scene 2) At the zoo.

A & B: Let's go!
 C & D: Let's go! (動物園の中に入る)
 A & B: What do you like ?
 C & D: I like elephants.
 A & B: Okay, let's go! (象の前に来る)
 A, B, C & D: It's big!
 C & D: What do you like ?
 A & B: I like lions.
 A & B: Okay, let's go! (ライオンの前に来る)
 A, B, C & D: It's cool!

“What do you like?”に対する答えは、児童が選ぶようにする。その児童が選んだ動物の絵を用意する。その動物についての感想は、ふさわしいものにする。

(例)ライオン:cool、
 象:big、トラ:scary(怖い)、
 レッサーパンダ:cute、
 ウサギ:cute、サル:funny
 など

(Scene 3) Lunch time.

A & B: I'm hungry.
 C & D: What time is it?
 A & B: It's 12 AM. It's lunch time!
 C & D: Let's go to the restaurant!
 A & B: Okay, Let's go!
 C & D: What do you want?
 A: I want (pizza). (Bさんへ) What do you want?
 B: I want (spaghetti). (Cさんへ) What do you want?
 C: I want (curry and rice). (Dさんへ) What do you want?
 D: I want (salad).

“What do you want?”に対する答えは、児童が選ぶようにする。一人一人の児童が、自分の食べたいものを言う。

(Scene 4)

A & B: Let's go to the zoo.
 C & D: Okay. What do you like?
 A & B: I like red panda.
 C & D: Okay, let's go! (レッサーパンダの前に来る)
 A, B, C & D: It's cute!
 A & B: What do you like?
 C & D: I like monkeys.
 A & B: Okay, let's go! (サルの前に来る)
 A, B, C & D: It's funny!

“What do you like?”に対する答えは、児童が選ぶようにする。その児童が選んだ動物の絵を用意する。その動物についての感想は、ふさわしいものにする。
 (上記参照)

(Scene 5)

A & B: What time is it?
 C & D: It's 5 PM.
 A & B: Okay. How are you?
 C: I am tired. (Dさんへ) How are you?
 D: I am sleepy. (Aさんへ) How are you?
 A: I am hungry. (Bさんへ) How are you?
 B: I am okay.
 C & D: Let's go home!
 A & B: Okay. Let's go home!
 A, B, C & D: See you!

“How are you?”に対する答え方は、児童が選ぶようにする。
 一人一人の児童が、自分の気分を言う。



Steak



Curry and rice



Spaghetti



Pizza



Sandwich



Salad



Ice cream



Cake



Pudding



3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 3-①



動物園に行こう! ①

1・2年生に「到津の森」の楽しさを知らせるために、学習した簡単な英語を使って「動物園に行こう」の劇をつくろう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 3-②

Plan 3	動物園に行こう! Let's go to the zoo! (Part2)		
目標	低学年の児童に「到津の森」の楽しさを知らせるために、学習した簡単な英語を使って「動物園に行こう」の劇をつくろう。		
主な言語材料	How's the weather? sunny, cloudy, rainy, Let's go to (the zoo, the restaurant), Let's go home. What do you like? I like (lion, elephant, red panda, tiger, monkey). What do you want? I want (spaghetti, curry and rice, hamburger, ice cream). How are you? I'm (hungry, tired, sleepy) ほか		
準備物・教材	天気のカード、動物園と動物の絵カード、レストランのメニュー、時計の絵カード、児童が作成したオリジナル教材など		
活動場所	教室		
配時	45分		
時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分 2分 (3分)	あいさつ めあての確認	“Hello! Let's have a Fun Time!” さあ、今日は、「動物園に行こう!」の劇をつないで動画にとる活動です。 ・何のために劇づくりをするのか、めあてを確認する。 1・2年生に「到津の森」の楽しさを知らせるために、「動物園に行こう!」の劇をつくろう。 ※1・2年生にわかりやすくするために、留意することを出し合い、ポイントを確認する。 例) ジェスチャー、表情、はっきりした声、など	
7分 (10分)	準備・練習	・教室の机を移動させてスペースを作る（もしくは、空き教室などを利用する）。 ・班に分かれて、自分たちのシーンの準備と練習をさせる。 ・指導者は、班を巡って、必要な支援をしたり、会話の相手になるなどする。 ※ 場面に応じて、自分の考えや思いを伝えることができるよう、児童がアレンジしてよいことを伝える。 ※ 児童は完璧に覚える必要はない。できるだけ、児童が「言いたい」と思えることが自然に言えるようにする。	・使用表現の絵カード
20分 (35分)	Let's go to the zoo!	・シーン①のグループから順に、スタンバイをさせておく。 ・順番の来ない児童は、座って待つようにする。 ・指導者の合図で、開幕する。 ・1シーンごとに全員で拍手をし、入れ替わるようにする。 ※ 指導者は、端末を使用して動画を撮り、1・2年生に渡せるようにしておく。	・使用表現の絵カード
5分 (40分)	振り返り	・児童から感想を発表してもらう。 ・1・2年生に動物園の楽しさなどを伝えるために、うまくできたこと、できなかったこと、本当はこう言いたかった、など、自分についての振り返りとともに、友達の「よかったところ」や「真似したいところ」などを発表してもらう。 ・ALT（または指導者）から講評をもらう。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・みんなで楽しく頑張れたことを褒める。	

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 3-②



「動物園に行こう!②」

1・2年生に「到津の森公園」の楽しさを知らせるために、学習した簡単な英語を使って「動物園に行こう」の劇をつくろう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 4-①

Plan 4	マルシェ開店！(PartⅠ)
目標	お互いの好きなものを知るために、自分の好きなもののお店を出してALTや友達に売ったり、友達の好きなもののお店に買い物に行ったりする。
主な言語材料	いろいろな文房具、いろいろな果物、いろいろな野菜、いろいろな飲み物、アイスクリームフレーバー、Do you have ---? I want ---, please. How many? Here you are.
準備物・教材	お店の看板、商品の絵カード
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	"Hello! Let's have a Fun Time!"	
9分 (10分)	イントロダクション ～おさらい	担任とALTでアイスクリームショップの会話をデモンストレーション 会話例: 店: Hello! 客: Hello! 店: Welcome to Ice Cream Stand. 客: Do you have matcha ice cream? 店: Sorry, no. 客: Do you have strawberry ice cream? 店: Yes! 客: I want strawberry ice cream, please. 店: How many? 客: 2, please. 店: Here you are. 客: Thank you. 店: Thank you. 客: See you. ・どんな場面での会話だったかを、児童に発表してもらう。 ・今回のFun Timeでは、友達と協力して、好きなもの売るいろいろなお店を作って学級を「マルシェ(=市場)」のようにして楽しもうともちかける。 お互いの好きなものを知るために、自分の好きなもののお店を出してALTや友達に売ったり、買い物に行ったりしよう。	
	めあての設定		
5分 (15分)	どんなお店があるかな？	Ice cream shop アイスクリームショップ、Fruits shop 果物屋、Vegetable shop 八百屋、Sweets shop お菓子屋、Stationery shop 文房具屋、Drink shop ドリンクショップ ・絵カードを見せながら、内容を確認する。 ・そのお店で売っているものについて想起させる。 ※ 何点かは用意しておくが、児童の自由な発想(こういうものがあつたらいいな)を取り上げていく。児童の主体性やオリジナリティを生かしたい。	絵カード
15分 (30分)	お店を作ろう！	・いくつかのお店を出し、同じ店を出したい人でグループをつくったり、班ごとにお店を決めたり、学級の実態に合わせて活動を行うが、自分の好きなものを売る店をつくるができるようにする。 ・出したいお店が一人しかいなくても、できるだけ認める。 ・英語の表現がわからないときは、ALTに尋ねてみる。 ・お店の名前を決め、自分たちのお店で販売するものを考える。 使用表現例: This is a fruits shop. Welcome to "Happy Fruits World"! ・ワークシートに看板と販売する商品を描く。上手に絵を描くことが目的ではないので、コミュニケーションの助けになる程度のものでよい。	
10分 (40分)	開店準備	・もう一度、担任・ALTのデモを紹介し、どんな会話ができるかを確認する。 ・挑戦したい児童とALTが、会話の実演を試みる。 ・他の児童も、グループの中で練習する。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・次回は、みんなでマルシェを開店することを伝える。	



<お店の看板>

お店の名前：

<販売する商品>

4年 _____ 組 _____ 番 名前： _____

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 4-①



「マルシェ開店!①」

お互いの好きなものを知るために、自分の好きなもののお店を出してALTや友達に売ったり、買い物に行ったりしよう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 4-②

Plan 4	マルシェ開店！(Part2)
目標	お互いの好きなものを知るために、自分の好きなもののお店を出してALTや友達に売ったり、友達の好きなもののお店に買い物に行ったりする。
主な言語材料	いろいろな文房具、いろいろな果物、いろいろな野菜、いろいろな飲み物、アイスクリームフレーバー、Do you have ---? I want ---, please. How many? Here you are.
準備物・教材	お店の看板、商品の絵カード、買い物ワークシート
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
14分 (15分)	めあての確認 イントロダクション～練習	お互いの好きなものを知るために、自分の好きなもののお店を出してALTや友達に売ったり、買い物に行ったりしよう。 ・めあてを確認し、前半と後半で分かれて買ったり、売ったりすることを伝える。 ・指導者もしくはALTと児童で、児童の班のお店での会話をデモンストレーションしてみる。 各グループから1名ずつ出てきてもらい、すべての班 (=ショップ) での会話の事例を紹介する。 会話例: 店: Hello!	

小学校4年生 “Fun” Time 4-② ワークシート

<買い物ワークシート>

ショップの名前	買ったもの

4年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

ワークシートを使用せず、やり取りのみの活動としてもよい。

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 4-②



「マルシェ開店!②」

お互いの好きなものを知るために、自分の好きなもののお店を出してALTや友達に売ったり、買い物に行ったりしよう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 5-①

Plan 5	自分のことを話そう！(Part I)
目標	ALTの先生や友達に自分のことをもっとよく知ってもらうために、英語で簡単な自己紹介をしたり、質問をし合ったりする。
主な言語材料	名前、アルファベット、I like ---. What --- do you like? Do you like ---?
準備物・教材	児童の自己紹介カード
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
9分 (10分)	イントロダクション	担任とALTがそれぞれ自己紹介のデモンストレーションを行う。 例： Hello, My name is Peter. P, e, t, e, r, Peter. I like basketball. I like ramen. I like rabbits. Thank you. Do you have any questions? 自己紹介に対して、質問を募る。(英語でも日本語でもよいとする) 例： Q1: Do you like baseball? Q2: Do you like ice cream? Q3: Do you have a rabbit? など、児童を指名して自由に質問させる。	
10分 (20分)	めあての設定 自己紹介準備	・4年生の外国語活動を振り返り、指導者とALTでがんばりを称賛するとともに、ALTから、みんなのことをもっとよく知りたいので、習った英語を使って、自己紹介をしてほしいことを伝える。 ・指導者は、「友達同士ももっと相手のことを知ることができるといいね。」などの声かけをしてめあてを設定する。 ALTの先生や友達に自分のことをもっとよく知ってもらうために、英語で簡単な自己紹介をしたり、質問をし合ったりしよう。 ・自己紹介シートを配布し、各自、自己紹介で話す内容を考えて記入する。 ・好きなものは、どんなジャンルから選んでもよい。 例) くだもの、スポーツ、食べ物、野菜、動物など ・3つ選び、英語での言い方がわからないときは、ALTに相談する。 ・ワークシートには、日本語で書いても、絵を描いてもいい。 ・シートができれば、発表の練習をする。	
20分 (40分)	自己紹介	・やりたい児童から指名して前に出て自己紹介をさせる。 ・発表が終わったら、質問をするように促す。(質問が出ない場合は、指導者やALTが質問をする) ・質問は、発表内容に関連していなくてもよい。 大体、1名あたり質問まで入れて2分程度とする。(この時間は10～15名程度の発表とする) ・発表するだけでなく、聞き方についても指導する。 ※ 指導者やALTからの一言コメントをする。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・今回、できなかった児童は、次回発表してもらう。	

<自己紹介シート>

名前：

好きなもの①

好きなもの②

好きなもの③

4年 _____ 組 _____ 番 名前： _____

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 5-①



「自分のことを話そう①」

ALTの先生や友達に自分のことをもっとよく知ってもらうために、英語で簡単な自己紹介をしたり、質問をし合ったりしよう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校4年生 “Fun” Time 5-②

Plan 5	自分のことを話そう! (Part2)
目標	ALTの先生や友達に自分のことをもっとよく知ってもらうために、英語で簡単な自己紹介をしたり、質問をし合ったりする。
主な言語材料	名前、アルファベット、I like ---. What --- do you like? Do you like ---?
準備物・教材	児童の自己紹介カード
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・指導者の英語	準備物
1分	あいさつ	“Hello! Let’s have a Fun Time!”	
4分 (5分)	イントロダクション	前回の復習も兼ねて、指導者とALTがそれぞれ自己紹介の再度デモンストレーションを行う。 例: Hello, My name is Peter. P, e, t, e, r, Peter. I like basketball. I like ramen. I like rabbits. Thank you. Do you have any questions?	
	めあての確認	・めあてを確認する。 ALTの先生や友達に自分のことをもっとよく知ってもらうために、英語で簡単な自己紹介をしたり、質問をし合ったりしよう。 ・話し方や聞き方について、児童から引き出し確認する。 ※前時でよかったところを伝えたり、質問を積極的にしたりするよう伝える。	
35分 (40分)	自己紹介	・やりたい児童から順に指名して前に出て自己紹介をするようにする。 ※前時にしなかった児童の発表順を決めておくなど、全員が発表できるように時間配分する。 ・発表が終わったら、質問をするように促す。(質問が出ない場合は、担任やALTが質問をする) ・質問は、発表内容に関連していなくてもよい。 大体、1名あたり質問まで入れて2分以内とする。(15～20名程度) ※担任やALTからの一言コメントをする。	
5分 (45分)	Closing	・振り返りカードに記入させる。 ・数名の児童に、1年間の感想を話してもらう。	

3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校4年生 “Fun” Time 5-②



「自分のことを話そう②」

ALTの先生や友達に自分のことをもっとよく知ってもらうために、英語で簡単な自己紹介をしたり、質問をし合ったりしよう。

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



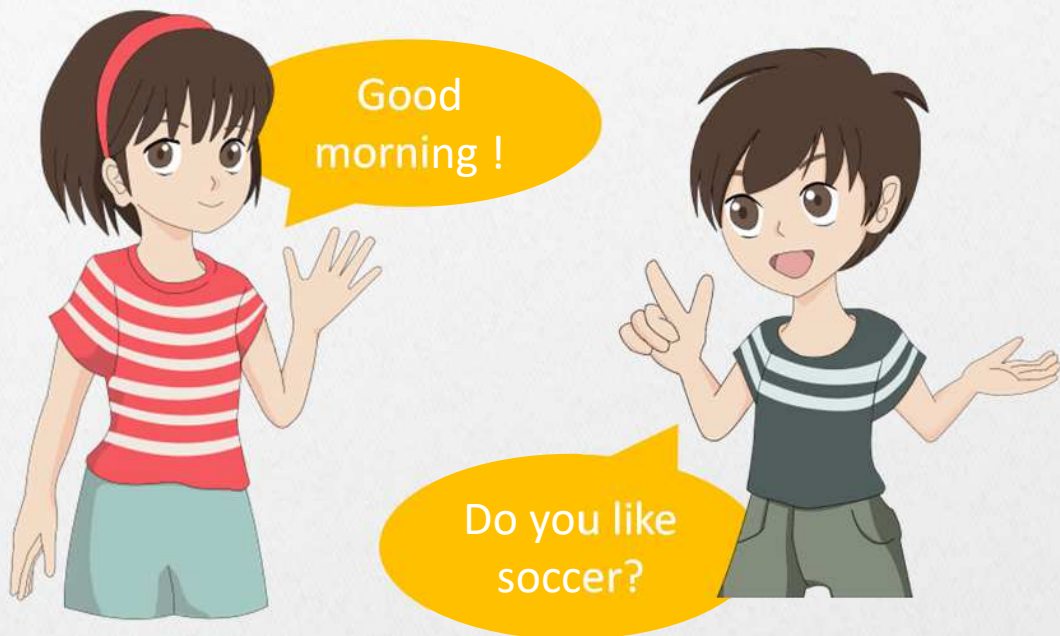
今日の活動の中で、友達や先生などに習った英語を使って、伝えることができましたか。



2. 友達や先生などと英語を使って話して、楽しかったこと、がんばったこと、学んだこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことなどを書きましょう。

小学校5・6年生

外国語科



「パフォーマンスタイム」

ハンドブック

V 小学校5・6年生外国語科パフォーマンスタイムハンドブック

I 小学校5・6年生の外国語科の目的

小学校5・6年生の外国語科の目標は、

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による、
聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る
「基礎」となる資質・能力を育成すること

となっています。

その目標を踏まえ、外国語科では、自分のことや身近な事柄だけではなく、日本や外国のことについても英語で伝え合うなど、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて自分の考えや気持ちを工夫して伝え合うことができるようにします。



教科としての外国語学習

5・6年生の外国語科では、知識や基礎的な技能の定着を目指し、系統性を意識した「教科」としての学習を行います。外国語活動で慣れ親しんできた「聞くこと」「話すこと」をさらに充実させ、それに加え、「読むこと」「書くこと」にも児童が楽しみながら慣れ親しむようにしましょう。

また、自分の考えや気持ちを伝え合うことについては、既習事項を生かしながら、より具体的に、分かりやすく伝えられるよう工夫していきます。児童の工夫が促されるような、適切なコミュニケーションの目的や場面、状況を設定した言語活動を目指しましょう。



文構造と文法

小学校の外国語科では、「文法」は取り扱いません。授業で学んだ「文構造」を生かして自分の考えや気持ちを伝えることが基本であることに留意し、何度も繰り返し聞いたり言ったりする中で、英語の語順の特徴に気づくようにします。

2 小学校5・6年生の外国語科におけるパフォーマンスタイムの 内容、指導者、実施時間等

パフォーマンスタイムの内容、指導者、実施時間などは次のとおりです。

内 容	アウトプットが中心となる言語活動 (ALT等との1対1のコミュニケーションが中心) ※学んだ語句や表現を生かして、自分の考えや気持ちを表す活動を行う。 (ハンドブックには各学年に5つの活動を準備している為、児童や学校の実態に合わせて選択)
指導者等	担任教員や専科教員等が中心(できる限りALTを活用) ※生きた英語や異文化に触れられるように配慮する。 (休み時間にALTの先生と触れ合うなど、外国語科の授業以外での交流を行うことも可)
実施時間	学期に1回 3時間程度 (パフォーマンスタイムに向かう時間[1時間]を含む) ※年間70単位時間の中で、学期ごとの「まとめ」(スタンダードカリキュラム年間指導計画例参照)の時間等にハンドブックで設定されているパフォーマンスタイムを取り入れる。

各学期に1回程度、数単元で学んだことを生かしながら学期ごとの「まとめ」の時間を使い、児童や学校の実態により教科書の活動と合わせて選択してください。

パフォーマンスタイムでは、原則としてALT(や担当の先生、地域の外国の方等)との1対1のやり取りや発表を行います。特に、小学校外国語科の後半(6年生など)においては、中学校との接続に配慮し、学級全員の前で発表する活動だけでなく、ALT(や担当の先生等)と1対1でやり取りや発表を行う機会を大切にしましょう。

例えば、ALTの先生等と1対1で直接英語を使って対話をすることで、英語を話す楽しさ、伝えることの難しさや、コミュニケーションの大切さを知るとともに、多様な考え方や文化に触れることができます。異文化に触れることで、我が国の文化や地域のことなどにも一層興味が深まると考えられます。

パフォーマンスタイムで児童がやり取りをしたり発表をしたりする相手として、地域の外国の方に、「地域のおすすめを教えてほしい」とメッセージを話してもらったり、中学校の生徒や先生に、「中学校に入ってやりたいことを教えてほしい」とメッセージを話してもらったりするなど、撮影した動画を活用して、コミュニケーションを行う目的や場面、状況の設定をすることも有効です。オンラインでやり取りをすることも児童の興味・関心を大いに引くことでしょう。

3 小学校5・6年生外国語科での学習評価について

小学校5・6年生の外国語科の学習評価においても、外国語活動と同様に、指導に生かす評価を行うことが大切です。設定した評価規準を意識し、目標を達成できるように指導と評価を繰り返していきます。「聞くこと」「話すこと」などは「書くこと」のように、記述したものが残るわけではないので、小学校外国語科の評価の難しさを感じることもあるかと思います。このハンドブックを用いたパフォーマンスタイムを実施することで、次の指導に生かす指導と評価の一体化を一層進めることができるようにしましょう。

4 外国語活動との違い、中学校への接続について

外国語活動と外国語科との違いについては次のように考えます。

3・4年生 外国語活動「ファンタイム」

- 「聞くこと」と「話すこと（やり取り）」・「話すこと（発表）」の「言語活動」に実際に取り組み、自分の考えや気持ちを表現することに挑戦



5・6年生 外国語活動「パフォーマンスタイム」

- より具体的に自分の考えや気持ちを英語でアウトプットする
(既習事項を生かし、使う英語や内容を工夫する)
- ALTと1対1で話す機会をもつ

パフォーマンスタイムでは、自分の考えや気持ちをALT等に1対1で伝える活動を行い、英語へのコミュニケーションに意欲をもたせ、中学校でのパフォーマンステストにつなげていきます。



1対1のパフォーマンスタイムの価値

パフォーマンスタイムでALTと1対1で話す機会は、児童にとって自分の考えが英語で伝わるのかどうかを試すことのできる貴重な体験です。

「英語を話せた」「英語を使って自分の考えや気持ちが伝わった」という喜びが学習意欲の一層の向上につながります。

また、教員が児童の学習の到達状況を把握するとともに、児童も自分の学びを振り返ることができ、よりよく英語で表現できるようになることにつながります。

児童にとって、外国語体験活動（英語大好きタイム）、外国語活動で育んできた英語を学ぶことへの興味・関心を一層高め、引き続き英語大好きキッズの育成を心がけましょう。

また、中学校へとつなぐ大切な時期となります。自信をもって英語を聞いたり話したり、また、意欲をもって読んだり書いたりすることにも取り組めるように、ハンドブックを活用し、適切なコミュニケーションの目的や場面、状況を設定した言語活動を行いましょう。

5 小中の接続を意識した授業や学校行事について

このハンドブックには、小中が連携した授業や学校行事のプランも掲載しています。異学年の児童生徒との交流は、コミュニケーションを中心に学ぶ科目である外国語活動・外国語科の授業において効果的な取組となります。

プランを参考にした授業や学校行事を行い、中学校での学習イメージを膨らませて、憧れをもったり、下学年との交流を楽しんだりすることができるよう工夫しましょう。

6 パフォーマンスタイムに関するQ&A



Q パフォーマンスタイムを行うことについて児童にどう伝えたらよいでしょうか。

A パフォーマンスタイムは、児童にとってはプレッシャーを感じたり、緊張したりすることもあります。「テスト」という呼び方はせず、これまでの学習を生かして、ALTの先生等と英語でのコミュニケーションを楽しむ場という捉えで、児童にその目的や、実施方法などを伝えるようにしましょう。





Q 1対1のパフォーマンスタイムを行っている間待っている児童への指示はどうしたらいいですか。

A 例えば、話すことのパフォーマンスタイムを行っている間は、待っている児童にはパフォーマンスタイムのための準備をさせたり、ハンドブックのワークシート（アルファベット迷路など）に取り組ませたりすることができます。

パフォーマンスタイムを行う順番については、出席番号順などにせずに、希望する児童からとするなど、児童が不公平感をもつことがないように配慮しましょう。教員側で決める場合は、いつも同じ順番にはしないなどの工夫があるとよいでしょう。



Q ALTが主体となって行った場合、学習評価は誰がどのように行えばよいですか。

A ALTが主体となってパフォーマンスタイムを行うことがあるかと思いますが、学習評価はあくまで担任等の教員が行います。ALTと児童の対話などの様子を見取り、その場で評価していく方法や、一旦録画したものをみて評価する方法などがあるでしょう。どちらの方法でも、ALTにも評価のヒントになるメモをとってもらい、評価材料の補助とすることが考えられます。

ALTはあくまでもアシスタントの先生です。ALTと児童だけでパフォーマンスタイムを行い、評価をALTに任せる、といったことがないようにしてください。



Q やりたがらない児童がいたらどうすればいいでしょうか。

A 英語を使って話すことなどは、児童にとって容易なものとは限りません。自信をもてないこともあるでしょう。英語などの言語学習においては、誤りはつきものであり、誤りながら、学んでいくものであるということを日頃から指導の中で伝えていくことが大切です。担任等の教員が、まずはロールモデルとなり、（流暢でなくとも）英語を話すことを楽しんでいる様子や、ときには誤りをALTに直してもらいながら挑戦している様子を児童に積極的に見せていくことで、「間違ってもよい」「自分の言葉で表すことが大切なんだ」などの気持ちを児童がもてるよう指導しましょう。あくまで無理に対応させることなく、辛抱強く働きかけ、繰り返し、何度もやり取りなどをしていく中で、だんだんと言えることが増えていくように指導していきましょう。





パフォーマンスタイム 活動一覧



学年	時期	領域	内容	頁
5	6～7月頃	話すこと【やり取り】	自分のことについて伝え合おう	185
		話すこと【発表】	自分のことについてみんなに伝えよう	191
	11～12月頃	話すこと【やり取り】	自分や身近な人の得意なことを伝え合おう	195
	2～3月頃	話すこと【やり取り】	自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう	203
		話すこと【発表】	私たちのまちのよさを自まんしよう	211
6	6～7月頃	話すこと【やり取り】	週末の過ごし方について伝え合おう	215
		話すこと【発表】	「日本に住むわたし」を紹介しよう	227
	11～12月頃	話すこと【やり取り】	夏休みの思い出と夢の旅行について伝え合おう	231
	2～3月頃	話すこと【やり取り】	小学校生活の思い出について伝え合おう	239
		話すこと【発表】	将来の夢について紹介しよう	247

※各学年において、5種類の活動から教科書の「まとめ」の時期に1つずつ選択して実施

自分のことについて伝え合おう



【目標】ALT(または担当)の先生とお互いのことをもっと知るために、自分のたん生日や好きな食べ物、教科、スポーツ、色などについて伝え合うことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	月日の言い方や、自分の好きな食べ物・教科・スポーツ・色を表す語句、“My birthday is～”“I like～”“What ○○ do you like?”“Do you like～”等を中心にUnit1～Unit3の既習事項等を正しく用いて、 <u>言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。</u>	ALT(または担当)の先生とお互いのことをもっと知るために、自分の誕生日や好きな食べ物・教科・スポーツ・色などについて、 <u>情報を加えて内容を深めながら話したり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</u>	ALT(または担当)の先生とお互いのことをもっと知るために、自分の誕生日や好きな食べ物・教科・スポーツ・色などについて、 <u>情報を加えて内容を深めながら話したり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</u>
b	<u>時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが</u> 、月日の言い方や、自分の好きな食べ物・教科・スポーツ・色を表す語句、“My birthday is～”“I like～”“What ○○ do you like?”“Do you like～”等を中心にUnit1～Unit3の既習事項等を用いて、考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALT(または担当)の先生とお互いのことをもっと知るために、自分の誕生日や好きな食べ物・教科・スポーツ・色などについて、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	ALT(または担当)の先生とお互いのことをもっと知るために、自分の誕生日や好きな食べ物・教科・スポーツ・色などについて、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
C	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

自分のことについて伝え合おう

【目標】ALT(または担当)の先生とお互いのことをもっと知るために、
自分のたん生日や好きな食べ物、教科、スポーツ、色について伝え合うことができる。

実施時間	1分～1分半程度	
表現	When is your birthday? My birthday is (月日). What food /subject/sport/color do you like? I like (食べ物・教科・スポーツ・色).	
配時	児童の活動	指導のポイント
1時目 (パフォーマンスタイムに向かう時間)	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように目的や相手、目標を全体で考え、共有します。 2. ワークシートやGIGA端末などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。 3. 友達と実際に「自分のたん生日や好きな食べ物、教科スポーツ、色など」についてやり取りをします。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達とやり取り」、「先生とやり取り」、「自分のやり取りを録画」、「録画したものを視聴」することなどから自分で選んで学習を行います。ワークシートの内容も整理します。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を児童共有します。ALTの先生等から児童へ「みんなのことが知りたい」等とお願いしてもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者とALT等で、実際にやり取りを行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 友達とやり取りをする際には、実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2・3時目 (パフォーマンスタイム)	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどしたやり取りを生かして、ALT(または担当)の先生とやり取りを行います。できるだけ自分から相手に伝えたり、尋ねたりするようにします(ワークシートを見せながら話してもよい)。 4. 終わったら、自分のやり取りを振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画し、振り返ることができるようにしておくともよいでしょう。 ● ALT(または担当)の先生は、児童の発話に応答したり、さらに質問したりしますが、自分から話すのが難しい児童に対しては、初めのうちは先生から話しかけても問題ありません。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。

会話例(個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)

- 児童: Hello. ○○先生. Look here (ワークシートを見せながら). My birthday is December 2nd. How about you?
- ALT: (先生も準備したワークシートを見せながら) My birthday is September 21st.
- 児童: September 21st. Nice. Look here. This is pizza. I like pizza. Do you like pizza?
- ALT: Yes, I do. I like pepperoni pizza. And I also like curry and rice.
- 児童: Oh, curry and rice! Me, too. I like curry and rice very much. Look here. I like music. What subject do you like?
- ALT: I like P.E. I like sports.
- 児童: Oh, what sports do you like?
- ALT: I like dodgeball. Let's play dodgeball after lunch.



5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

ワークシート①

自分のことについて伝え合おう

ALT (または担当) の先生はクラスのみなさんのことをもっと知りたいと考えています。おたがいのことをより理解するために、自分自身のことについて伝え合いましょう。

【目標】ALT (または担当) の先生とお互いのことをもっと知るために、
自分のたん生日や好きな食べ物、教科、スポーツ、色などについて伝え合おう。



1. あなたのたん生日を書きましょう。

(月) _____	(日) _____

2.好きなものについて、マッピングでイメージを広げたり、日本語でメモをしたりしましょう。



3. 上の内容をもとに、自分のたん生日や、好きなものなどについて友達や先生と伝え合ってみましょう。

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

アルファベット迷路

アルファベットを正しい順番でたどってみましょう。
声に出しながら、えんぴつで、線を引いてたどりましょう。



START



GOAL

1

A	Q	K	W	Y	W	S	I
B	C	D	D	L	M	R	L
Y	G	E	H	I	J	K	O
A	K	F	G	Q	A	L	V
C	L	J	E	W	M	M	E
S	W	K	S	C	V	N	R
Z	F	H	I	Q	P	O	I
X	O	A	O	R	B	T	N
V	U	B	T	S	X	F	K
G	T	C	U	V	W	X	A
T	E	D	Z	U	Z	Y	I

2

F	B	D	Z	E	C	B	A
I	A	F	Y	X	I	E	L
N	D	U	Z	W	V	A	P
D	R	N	Y	M	U	R	H
A	D	K	L	M	T	S	A
W	O	J	I	N	A	R	B
A	O	D	H	O	P	Q	E
Y	F	F	G	Y	W	X	T
A	B	E	T	O	N	E	Q
W	C	D	G	R	A	N	D
A	S	G	O	O	D	A	S

3

a	p	p	l	e	a	n	d
y	c	i	n	e	g	o	o
a	b	u	t	m	n	t	y
d	c	j	k	l	o	e	o
e	v	i	z	m	p	q	u
f	g	h	g	q	y	r	l
r	e	a	d	b	t	s	i
c	a	m	e	l	u	v	k
d	r	e	a	m	w	w	e
w	h	e	n	z	y	x	i
s	h	a	k	e	z	n	t

4

k	g	f	d	m	e	y	i
i	h	e	b	a	c	o	h
j	k	d	c	n	h	u	a
a	l	v	b	t	a	m	v
n	m	w	e	t	n	u	e
o	p	z	f	o	g	s	n
g	q	r	g	s	e	t	o
q	t	s	t	e	y	b	i
b	y	x	u	e	o	e	d
h	z	w	v	o	u	t	e
h	o	p	e	k	w	h	a

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

アルファベット迷路を作ろう

アルファベット迷路作りにチャレンジしてみましょう。

大文字迷路でも、小文字迷路でもOK！

いくつ作れるかな？



START



GOAL

1

2

3

4

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

自分のことについて伝え合おう

【目標】ALT(または担当)の先生とお互いのことをもっと知るために、自分のたん
生日や好きな食べ物、教科について伝え合おう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



先生が話したことを理解することができましたか。



2. やり取りをして、ALT(または担当)の先生について分かったことや感想を書きましょう。

3. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどのような工夫をしましたか。

4. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、
外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 5年生 6～7月頃 話すこと[発表]

自分のことについてみんなに伝えよう



【目標】クラスの友達や先生ともっと仲良くなるために、好きなものやこと、自分のたん生日やたん生日にほしいものについて話することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	月日の言い方や、自分の好きなものやことを表す語句、“My birthday is～” “I like～” “I want～”等を中心にUnit1～Unit3の既習事項等を正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて話している。	友達や先生ともっと仲良くなるために、自分の好きなものやこと、誕生日に欲しいものなどについて、 <u>情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして</u> 、自分の考えや気持ちなどを話している。	友達や先生ともっと仲良くなるために、自分の好きなものやこと、誕生日に欲しいものなどについて、 <u>情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして</u> 、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。
b	<u>時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが</u> 、月日の言い方や、自分の好きなものやことを表す語句、“My birthday is～” “I like～” “I want～”等を中心にUnit1～Unit3の既習事項等を用いて、考えや気持ちなどを含めて話している。	友達や先生ともっと仲良くなるために、自分の誕生日や好きな食べ物・教科について、自分の考えや気持ちなどを話している。	友達や先生ともっと仲良くなるために、自分の誕生日や好きな食べ物・教科について、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

自分のことについてみんなに伝えよう

クラスの友達や先生とずっと仲良くなるために、自分のことについてみんなに伝えましょう。

【目標】クラスの友達や先生とずっと仲良くなるために、好きなものやこと、自分のたん生日やたん生日にほしいものについて話することができる。

実施時間	発表：1分 質問：1分（児童の実態に応じて調整）
表現	I like（食べ物・スポーツ・教科など） My birthday is（月日）. I want ____ for my birthday.

配時	児童の活動	指導のポイント
1時目（パフォーマンスタイムに向かう時間）	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように目的や相手、目標を全体で考え、共有します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。（GIGA端末を用いてもよい） 3. 友達と実際に「好きなものやこと、自分の誕生日や誕生日に欲しいもの」について互いに発表します。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいかを考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達と発表」、「先生に発表」、「自分の発表を録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を全体で共有します。 ● 指導者やALT等が、実際に発表を行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童の発表の内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2・3時目（パフォーマンスタイム）	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます（必要に応じてワークシート①やGIGA端末をもっていく）。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどした発表を生かして、ALT（または担当）の先生に発表を行います。（ワークシートを見せながら話してもよい）。 4. 終わったら、自分の発表を振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します（録画を見ながら振り返るのもよい）。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画し、振り返ることができるようにしておくといでしょう。 ● ALT（または担当）の先生は、児童の発表に感想を伝えたり、質問したりします。児童の発話に対し、リキャスト（正しい英語で言い換え暗示的に指導すること）を行い、振り返りに役立てることもできます。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。

発表例

Hello! My name is（名前）. ○-○-○-○-○（スペリング）.

I like table tennis. Do you like table tennis?

I can play table tennis well.

My birthday is July 1st.

I play table tennis every day. So, I want a new racket for my birthday.

コメント例・質問例

・Who is your favorite player?

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

自分のことについてみんなに伝えよう

クラスの友達や先生はあなたともっと仲良くなりたいと思っています。
友達や先生ともっと仲良くするために、自分のことについて伝えましょう。

【目標】クラスの友達や先生ともっと仲良くなるために、好きなものやこと、
自分のたん生日やたん生日にほしいものについて話そう。



1. 好きなものやことのイラストまたは写真を入れましょう。

(好きなものやこと)

例(食べ物):
フライドチキン、
カレーライス、プリンなど

例(スポーツ):
たっ球、サッカー、
バスケットボールなど

例(教科):
算数、理科、体育など

2. あなたのたん生日を書きましょう。

(月)

(日)

たん生日にほしいもののイラストまたは写真を入れましょう

(たん生日にほしいもの)

例:
ケーキ、花、ぼうしなど

3. 上の内容をもとに、友達と、自分のたん生日や、好きな食べ物、教科についてのお互いの発表を聞き合いましょう。

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

自分のことについてみんなに伝えよう

【目標】クラスの友達や先生ともっと仲良くなるために、好きなものやこと、自分のたん生日やたん生日にほしいものについて話そう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

友達や先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



友達や先生が話したことを理解することができましたか。



2. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどのような工夫をしましたか。

3. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、
外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 5年生 11～12月頃 話すこと [やり取り]

自分や身近な人の得意なことを
伝え合おう

【目標】 ALT(または担当)の先生に自分のことをよりよく知ってもらうために自分の得意なことなどについてALT(または担当)の先生と伝え合うことができる。
また、自分の身近な人をしょうかいし、その人の得意なことについても伝え合うことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	得意なことを表す語句や、“I can～” “This is～” “He/She can～” 等を中心にUnit1～Unit6の既習事項等を正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALT(または担当)の先生に自分や友達のことをよりよく知ってもらうために、自分の得意なことや友達の得意なことなどについて、情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	ALT(または担当)の先生に自分や友達のことをよりよく知ってもらうために、自分の得意なことや友達の得意なことなどについて、情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
b	時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが、自分の得意なことや、身近な人の得意なことの言い方、“I can～” “This is～” “He/She can～” 等を中心にUnit1～Unit6の既習事項等を用いて考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALT(または担当)の先生に自分や友達のことをよりよく知ってもらうために、自分の得意なことや友達の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	ALT(または担当)の先生に自分や友達のことをよりよく知ってもらうために、自分の得意なことや友達の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

自分や身近な人の得意なことを伝え合おう

【目標】ALT (または担当) の先生に自分や友達のことをよりよく知ってもらうために
自分の得意なことなどについてALT (または担当) の先生と伝え合うことができる。また、
自分の身近な人をしょうかいし、その人の得意なことについても伝え合うことができる。

実施時間		1分～1分半程度
表現		I can _____. Can you _____? Yes, I can. No, I can't This is (名前). He / She is _____. He / She can _____.
配時	児童の活動	指導のポイント
1 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム に 向 か う 時 間)	- パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように目的や相手、目標を全体で考え、共有します。 - ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。(GIGA端末を使ってもよい) - 友達と実際に「自分の得意なことや身近な人の得意なこと」についてやり取りをします。 - 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 - さらに、目標をよりよく達成するために、「友達とやり取り」、「先生とやり取り」、「自分のやり取りを録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 - 振り返りをします。	- 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を児童と共有します。ALTの先生等から児童へ「みんなのことが知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 - 指導者とALT等で、実際にやり取りを行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 - 友達とやり取りをする際には、実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 - 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 - 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 - 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2・3 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム)	- 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 - 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 - 順番になったら、1時目に友達と行うなどしたやり取りを生かして、ALT (または担当) の先生とやり取りを行います。できるだけ自分から相手に伝えたり、尋ねたりするようにします(ワークシートを見せながら話してもよい)。 - 終わったら、自分のやり取りを振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 - 振り返りシートを先生に提出します。	- パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 - 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画し、振り返ることができるようにしておくとい良いでしょう。 - ALT (または担当) の先生は、児童の発話に回答したり、さらに質問したりしますが、自分から話すのが難しい児童に対しては、初めのうちは先生から話しかけても問題ありません。 - ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。
会話例(個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)		
児童:	Hi, ○○先生。I like jogging. I can run fast. How about you?	
ALT:	I like swimming. I can swim fast. (ワークシートにイラストを描いて準備しておいてもよい)	
児童:	You can swim. Cool. I like swimming. But I can't swim fast. This is Minato. He can play soccer well.	
ALT:	Is Minato your friend?	
児童:	No, he is my brother. He is 6年生.	
ALT:	Oh, he is your brother. Your brother is cool. Do you like soccer, too?	
児童:	Yes. I like soccer, too. I can play soccer.	

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

自分や身近な人の得意なことを伝え合おう

ALT (または担当) の先生は自分の得意なこと、そして身近な人のことをみなさんにしょうかいしたいと思っています。あなたやあなたの身近な人の得意なことについても聞きたいと考えています。おたがいに伝え合いましょう。

【目標】ALT (または担当) の先生に自分や友達のことをよりよく知ってもらうために自分の得意なことなどについてALT (または担当) の先生と伝え合おう。また、自分の身近な人をしょうかいし、その人の得意なことについても伝え合おう。



1. あなたの得意なことは何ですか。日本語でメモしましょう。

(あなたの得意なこと)

例:
縄とび、けん玉、
絵をかくことなど

2. あなたの身近な人をしょうかいしましょう。

(名前) 英語

(名前) 日本語

(あなたとの関係)

例) 友達、〇〇の先生など

(似顔絵などを描いてもよい)

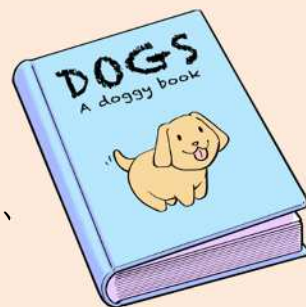
(その人の得意なことなど)

3. 上の内容をもとに、自分の得意なことや身近な人の得意なことなどについて友達や先生と伝え合ってみましょう。

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

身の回りのもののさがし

身の回りにあるものをたて、横、ななめでさがして丸で囲みましょう。
全部で8問。最後のチャレンジクイズは、3つのヒントからその物は何か
考えて、名前を丸で囲みましょう。



c	l	a	o	d	f	a	m	k	s	y	c
u	a	u	m	b	r	e	l	l	a	o	u
a	p	y	b	a	r	a	c	a	p	o	p
x	m	a	a	n	q	u	a	f	e	g	r
m	a	g	g	r	h	k	k	z	n	g	z
n	s	c	i	s	s	o	r	s	c	f	p
g	f	t	a	b	l	a	l	w	i	k	f
o	o	k	a	n	i	k	a	n	l	k	h
s	o	z	w	p	o	u	t	t	i	w	i
t	o	w	a	b	l	d	o	o	k	z	p
t	a	b	h	p	z	e	h	i	i	p	z
v	o	b	o	o	k	e	r	e	t	y	a



bag



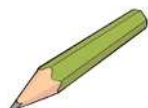
book



cap



cup



pencil



scissors



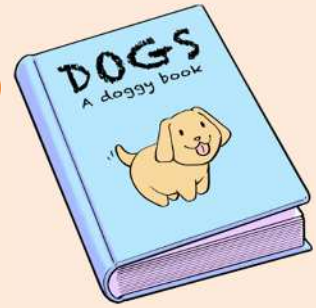
stapler

チャレンジ!

スリーヒントクイズ

- ヒント① 長い
ヒント② 押すと開く
ヒント③ 雨の日を使う

身の回りのもののさがし(答え)



c	l	a	o	d	f	a	m	k	s	y	c
u	a	u	m	b	r	e	l	l	a	o	u
a	p	y	b	a	r	a	c	a	p	o	p
x	m	a	a	n	q	u	a	f	e	g	r
m	a	g	g	r	h	k	k	z	n	g	z
n	s	c	i	s	s	o	r	s	c	f	p
g	t	t	a	b	l	a	l	w	i	k	f
o	o	k	a	n	i	k	a	n	l	k	h
s	o	z	w	p	o	u	t	t	i	w	i
t	o	w	a	b	l	d	o	o	k	z	p
t	a	b	h	p	z	e	h	i	i	p	z
v	o	b	o	o	k	e	r	e	t	y	a



bag



book



cap



cup



pencil



scissors



stapler



umbrella

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

動物さがし

動物の名前をたて、横、ななめでさがして丸で囲みましょう。
全部で8問。最後のチャレンジクイズは、3つのヒントからその物は何か考えて、名前を丸で囲みましょう。



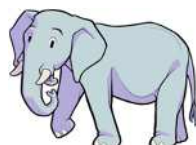
r	a	b	a	c	a	t	h	t	t	o	m
f	e	d	d	a	c	d	d	a	v	c	o
r	a	c	c	b	a	r	r	t	n	m	n
o	r	c	a	e	e	t	t	f	v	t	k
g	o	l	a	a	r	r	h	j	a	r	e
v	c	x	x	r	w	a	a	o	c	c	y
c	o	r	b	e	e	r	y	y	r	c	e
n	d	o	l	p	h	i	n	t	h	s	e
q	h	h	e	g	g	l	x	x	q	t	e
p	o	f	t	l	i	o	n	h	h	t	k
e	w	r	e	g	d	b	q	p	n	m	e
e	l	e	p	h	a	n	t	o	o	u	r



cat



dolphin



elephant



frog



bear



horse



monkey

チャレンジ!

スリーヒントクイズ

ヒント① 長いたてがみ
ヒント② アフリカの動物
ヒント③ ○○○○キング

動物さがし(答え)



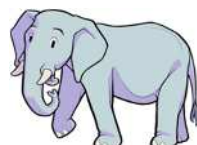
r	a	b	a	c	a	t	h	t	t	o	m
f	e	d	d	a	c	d	d	a	v	c	o
r	a	c	c	b	a	r	r	t	n	m	n
o	r	c	a	e	e	t	t	f	v	t	k
g	o	l	a	a	r	r	h	j	a	r	e
v	c	x	x	r	w	a	a	o	c	c	y
c	o	r	b	e	e	r	y	y	r	c	e
n	d	o	l	p	h	i	n	t	h	s	e
q	h	h	e	g	g	l	x	x	q	t	e
p	o	f	t	l	i	o	n	h	h	t	k
e	w	r	e	g	d	b	q	p	n	m	e
e	l	e	p	h	a	n	t	o	o	u	r



cat



dolphin



elephant



frog



bear



horse



monkey



lion

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

自分や身近な人の得意なことを伝え合おう

【目標】ALT（または担当）の先生に自分や友達のことをよりよく知ってもらうために
自分の得意なことなどについてALT（または担当）の先生と伝え合おう。
また、自分の身近な人をしょうかいし、その人の得意なことについても伝え合おう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



先生が話したことを理解することができましたか。



2. やり取りをして、ALT（または担当）の先生について分かったことや感想を書きましょう。

3. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどのような工夫をしましたか。

4. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、 外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 5年生 2～3月頃 話すこと [やり取り]

自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう



【目標】ALTの先生に北九州市のことをもっと知ってもらうために、自分のまちのお気に入りの場所やそこでできることについて伝え合うことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	まちの中にある建物を表す語句や自然を表す語句、“welcome to ～” “We have ～” “You can ～”等を中心にUnit1～Unit8の既習事項等を正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALTの先生に北九州市のことをもっとよく知ってもらうために、自分のまちのお気に入りの場所やその場所でできることについて、情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALTの先生に北九州市のことをもっとよく知ってもらうために、自分のまちのお気に入りの場所やその場所でできることについて、情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
b	時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが、まちの中にある建物を表す語句や自然を表す語句、“welcome to ～” “We have ～” “You can ～”等を中心にUnit1～Unit8の既習事項等を用いて考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALTの先生に北九州市のことをもっとよく知ってもらうために、自分のまちのお気に入りの場所やその場所でできることについて自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALTの先生に北九州市のことをもっとよく知ってもらうために、自分のまちのお気に入りの場所やその場所でできることについて自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう

【目標】ALTの先生に北九州市のことをもっと知ってもらうために、
自分のまちのお気に入りの場所やそこでできることについて伝え合うことができる。

実施時間	2分程度	
表現	We have (場所・施設). You can _____. It's (感想).	
配時	児童の活動	指導のポイント
1 時目 (パフォーマンス タイムに向かう 時間)	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように目的や相手、目標を全体で考え、共有します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。(GIGA端末を使ってもよい) 3. 友達と実際に「自分のまちのお気に入りの場所やそこでできること」についてやり取りをします。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達とやり取り」、「先生とやり取り」、「自分のやり取りを録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を見通し共有します。ALTの先生等から児童へ「北九州の市のことがもっと知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者とALT等で、実際にやり取りを行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 友達とやり取りをする際には実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2・3 時目 (パフォーマンス タイム)	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じてワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどしたやり取りを生かして、ALT(または担当)の先生とやり取りを行います。できるだけ自分から相手に伝えたり、尋ねたりするようにします(ワークシートを見せながら話してもよい)。 4. 終わったら、自分のやり取りを振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画し、振り返ることができるようにしておくともよいでしょう。 ● ALT(または担当)の先生は、児童の発話に応答したり、さらに質問したりしますが、自分から話すのが難しい児童に対しては、初めのうちは先生から話しかけても問題ありません。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。
会話例会話例(個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)		
児童:	Hello, ○○先生. This is my town, Kitakyushu City. In Kitakyushu City, we have Itozunomori Park. It's nice.	
ALT:	Wow, Itozunomori Park. That sounds cool. What can you do in Itozunomori Park?	
児童:	You can see many animals.	
ALT:	I like elephants.	
児童:	Oh, you like elephants! Me, too. Elephants are so big. Your turn, OK?	
ALT:	This is my town, Maplewood. (ワークシートにイラストを描いて準備しておいてもよい) In Maplewood, we have a big library. You can read many books. I like the library very much.	
児童:	Do you like books?	
ALT:	Yes, I like reading books.	

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう

このまちに住んでいるALTの先生は、もっと北九州市のことを知りたいと思っています。
まちのことを知ってもらうために、お気に入りの場所について伝え合いましょう。

【目標】ALTの先生に北九州市のことをもっと知ってもらうために、
自分のまちのお気に入りの場所やそこでできることについて伝え合おう。



1. 自分のまちのお気に入りの場所を書きましょう。

2. お気に入りの場所について、マッピングでイメージを広げたり、日本語でメモをしたりしましょう。



3. 上の内容をもとに、自分のまちのお気に入りの場所やそこでできることなどについて友達や先生と伝え合ってみましょう。

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

国名さがし



国の名前をたて、横、ななめで探して丸で囲みましょう。
全部で8問。最後のチャレンジクイズは、3つのヒントからその国は何か考えて、名前を丸で囲みましょう。

A	C	I	F	A	A	N	I	N	D	I	A
N	A	T	A	O	M	E	T	S	A	E	B
D	L	A	C	K	E	N	A	Y	I	M	R
T	A	L	R	W	R	Y	Y	S	A	V	A
D	T	Y	E	C	I	W	Z	Q	B	V	Z
C	U	L	T	A	C	A	N	A	F	R	I
X	A	N	A	T	A	U	S	M	E	C	L
A	U	N	A	Z	E	A	C	H	I	N	A
N	E	U	A	Q	F	R	A	N	C	E	Q
E	K	A	C	D	H	P	T	E	E	B	J
W	E	D	G	H	A	P	L	J	A	E	A
F	I	N	A	U	S	T	R	A	L	I	A



America



Australia



Brazil



Canada



China



France



Italy

チャレンジ!

スリーヒントクイズ

ヒント① 人口 13億人

ヒント② 世界7番目の面積

ヒント③ 首都デリー

国名さがし(答え)



A	C	I	F	A	A	N	I	N	D	I	A
N	A	T	A	O	M	E	T	S	A	E	B
D	L	A	C	K	E	N	A	Y	I	M	R
T	A	L	R	W	R	Y	Y	S	A	V	A
D	T	Y	E	C	I	W	Z	Q	B	V	Z
C	U	L	T	A	C	A	N	A	F	R	I
X	A	N	A	T	A	U	S	M	E	C	L
A	U	N	A	Z	E	A	C	H	I	N	A
N	E	U	A	Q	F	R	A	N	C	E	Q
E	K	A	C	D	H	P	T	E	E	B	J
W	E	D	G	H	A	P	L	J	A	E	A
F	I	N	A	U	S	T	R	A	L	I	A



America



Australia



Brazil



Canada



China



France



Italy



India

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

果物と野菜の名前さがし

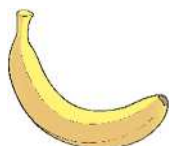
果物と野菜の名前をたて、横、ななめでさがして丸で囲みましょう。
全部で8問。最後のチャレンジクイズは、3つのヒントからその果物
または野菜は何か考えて、名前を丸で囲みましょう。



a	c	c	f	d	r	b	a	n	a	n	a
o	r	a	b	p	e	a	c	h	m	o	l
w	r	t	a	b	a	n	n	c	o	a	s
a	a	q	o	c	e	t	s	n	n	n	t
q	u	t	e	m	e	l	o	w	i	n	r
t	e	w	e	y	a	c	c	f	o	f	a
a	p	o	t	e	w	t	o	e	n	d	w
e	p	e	a	x	b	c	o	r	f	f	b
f	d	p	t	t	c	a	r	r	o	t	e
d	c	r	l	e	m	o	a	p	p	e	r
y	o	i	x	e	j	h	o	e	v	w	r
z	w	a	t	e	r	m	e	l	o	n	y



apple



banana



carrot



onion



peach



strawberry



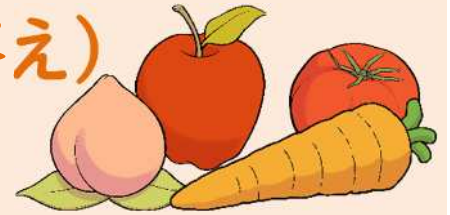
tomato

チャレンジ!

スリーヒントクイズ

- ヒント① 野菜の仲間
ヒント② 夏に食べる
ヒント③ ○○○割り

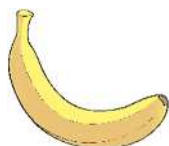
果物と野菜の名前さがし(答え)



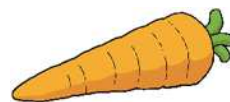
a	c	c	f	d	r	b	a	n	a	n	a
o	r	a	b	p	e	a	c	h	m	o	l
w	r	t	a	b	a	n	n	c	o	a	s
a	a	q	o	c	e	t	s	n	n	n	t
q	u	t	e	m	e	l	o	w	i	n	r
t	e	w	e	y	a	c	c	f	o	f	a
a	p	o	t	e	w	t	o	e	n	d	w
e	p	e	a	x	b	c	o	r	f	f	b
f	d	p	t	t	c	a	r	r	o	t	e
d	c	r	l	e	m	o	a	p	p	e	r
y	o	i	x	e	j	h	o	e	v	w	r
z	w	a	t	e	r	m	e	l	o	n	y



apple



banana



carrot



onion



peach



strawberry



tomato



watermelon

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう

【目標】ALTの先生に北九州市のことをもっと知ってもらうために、
自分のまちのお気に入りの場所やそこで行えることについて伝え合おう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

ALTの先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



ALTの先生が話したことを理解することができましたか。



2. やり取りをして、ALTの先生について分かったことや感想を書きましょう。

3. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどのような工夫をしましたか。

4. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、
外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 5年生 2～3月頃 話すこと [発表]

私たちのまちのよさを自まんしよう



【目標】 ALTの先生に北九州市の魅力（みりよく）を知ってもらうために、まちのおすすめの場所やそこでできることについて伝えることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	まちの中にある建物を表す語句や自然を表す語句、“welcome to ～” “We have ～” “You can～”等を中心にUnit1～Unit8の既習事項等を正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて話している。	ALTの先生に北九州市の魅力を知ってもらうために、自分のまちのおすすめの場所やその場所のできることに <u>ついて、情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを話している。</u>	ALTの先生に北九州市の魅力を知ってもらうために、自分のまちのおすすめの場所やその場所のできることに <u>ついて、情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを話そうとしている。</u>
b	<u>時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが、まちの中にある建物を表す語句や自然を表す語句、“welcome to ～” “We have ～” “You can～”等を中心にUnit1～Unit8の既習事項等を用いて考えや気持ちなどを含めて話している。</u>	ALTの先生に北九州市の魅力を知ってもらうために、自分のまちのおすすめの場所やその場所のできることに <u>ついて自分の考えや気持ちを話している。</u>	ALTの先生に北九州市の魅力を知ってもらうために、自分のまちのおすすめの場所やその場所のできることに <u>ついて自分の考えや気持ちを話そうとしている。</u>
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

私たちのまちのよさをALTの先生に自まんしよう

【目標】ALTの先生に北九州市の魅力(みりょく)を知ってもらうために、まちのおすすめの場所やそこのできる
ことについて伝えることができる。

実施時間	発表:1分 質問:1分(児童の実態に応じて調整)	
表現	We have (場所・施設). You can _____. It's (感想).	
配時	児童の活動	指導のポイント
1 時目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム に 向 か う 時 間)	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように目的や相手、目標を全体で考え、共有します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。(GIGA端末を使ってもよい) 3. 友達と実際に「まちのおすすめの場所やそこのできること」について互いに発表します。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達と発表」、「先生に発表」、「自分の発表を録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を見童と共有します。ALTの先生等から児童へ「北九州の市のことがもっと知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者とALT等が、実際に発表を行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童の発表の内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2・3 時目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム)	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じてワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどした発表を生かして、ALT(または担当)の先生に発表を行います。(ワークシートを見せながら話してもよい)。 4. 終わったら、自分の発表を振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画し、振り返ることができるようにしておくともよいでしょう。 ● ALT(または担当)の先生は、児童の発表に感想を伝えたり、質問したりします。児童の発話に対し、リキャスト(正しい英語で言い換え暗示的に指導すること)を行い、振り返りに役立てることもできます。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。
発表例会話例(個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)		
Hello! My name is (名前). Welcome to Kitakyushu City. We have Kokura Castle. It's cool. I like history. Do you like history? And you can see beautiful cherry blossoms. I like cherry blossoms. I like Kitakyushu. Thank you.		
コメント例・質問例		
Great! I like Japanese castles. / I want to see cherry blossoms, too! / Is Kokura Castle big? / Do you like cherry blossoms?		

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

私たちのまちのよさを自まんしよう

北九州市は、世界中の人々に知ってもらいたいみ力にあふれています。地元の行事、美しい自然、おいしい食べ物など、自分のまちのおすすみをALTの先生にしょうかいしましょう。

【目標】ALTの先生に北九州市の魅力（みりよく）を知ってもらうために、まちのおすすめの場所やそこでできることについて伝えよう。



1. 自分のまちのおすすめの場所を書きましょう。

2. お気に入りの場所について、マッピングでイメージを広げたり、日本語でメモをしましょう。

[illegible]

3.上の内容をもとに、友達と、まちのおすすめの場所やそこでできることについてのお互いの発表を聞き合しましょう。

5年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

私たちの町のよさをALTの先生に自まんしよう

【目標】ALTの先生に北九州市の魅力（みりょく）を知ってもらうために、町のおすすめの場所やそこでできることについて伝えよう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

ALTの先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



ALTの先生が話したことを理解することができましたか。



2. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどんな工夫をしましたか。

3. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

小学校6年生 6～7月頃 話すこと [やり取り]

週末の過ごし方について伝え合おう



【目標】ALT（または担当）の先生と、お互いのことをもっと知るために、起きる時刻と寝る時刻、週末の過ごし方について伝え合うことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	時刻を表す表現や、ふだんの生活ですることを表す表現、“I get up at～” “I go to bed at～” “Do you～?” 等を中心に Unit1～Unit3の既習事項等を正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALT（または担当）の先生と、お互いのことをもっとよく知るために、起きる時間や寝る時間、週末の生活などについて、 <u>情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。</u>	ALT（または担当）の先生と、お互いのことをもっとよく知るために、起きる時間や寝る時間、週末の生活などについて、 <u>情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。</u>
b	時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが、時刻を表す表現や、ふだんの生活ですることを表す表現、“I get up at～” “I go to bed at～” “Do you～?” 等を中心に Unit1～Unit3の既習事項等を用いて考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALT（または担当）の先生と、お互いのことをもっとよく知るために、起きる時間や寝る時間、週末の生活などについて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALT（または担当）の先生と、お互いのことをもっとよく知るために、起きる時間や寝る時間、週末の生活などについて、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

小学校6年生1学期 話すこと [やり取り]

週末の過ごし方について伝え合おう

【目標】ALT(または担当)の先生と、お互いのことをもっと知るために、週末の過ごし方について伝え合うことができる。

実施時間	2分程度	
表現	I get up / go to bed at _____ (時刻) . I always / usually / sometimes _____ .	
配時	児童の活動	指導のポイント
1 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム に 向 か う 時 間)	1. パフォーマンスタイム全体的見通しがもてるように、目的や、相手、目標を全体で考え確認します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。(GIGA端末を使ってもよい) 3. 友達と実際に「週末の過ごし方」についてやり取りをします。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達とやり取り」、「先生とやり取り」、「自分のやり取りを録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を児童と確認します。ALTの先生等から児童へ「みんなのことが知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者とALT等で、実際にやり取りを行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 友達とやり取りをする際には、実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2 ・ 3 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム)	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じてワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどしたやり取りを生かして、ALT(または担当)の先生とやり取りを行います。できるだけ自分から相手に伝えたり、尋ねたりするようにします(ワークシートを見せながら話してもよい)。 4. 終わったら、自分のやり取りを振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画することで、実際のやり取りの映像を基に、パフォーマンスタイムについて振り返ることができるようにしておくといでしょう。 ● ALT(または担当)の先生は、児童の発話に応答したり、さらに質問したりしますが、自分から話すのが難しい児童に対しては、初めのうちは先生から話しかけても問題ありません。 ● 発話に困っている児童に対しては、既習の表現を引き出したり、簡単な質問をしたりするなど、その場に応じて支援をするといでしょう。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。
会話例会話例(個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)		
児童:	Hello, ○○先生. This is my weekend. I get up at 7:30. I go to bed at 10:00. How about you? What time do you get up?	
ALT:	<u>I get up at 6:30.</u> (ワークシート見せながら話してもよい)	
児童:	6:30. Wow! You get up early. What time do you go to bed?	
ALT:	<u>I go to bed at 11:00.</u>	
児童:	At 11:00. OK. I sometimes play baseball on Saturday. What do you do on Saturday?	
ALT:	<u>I always cook on Saturday and Sunday.</u>	
児童:	You cook. Very nice. What do you cook?	
ALT:	I cook curry and rice.	

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

週末の過ごし方について伝え合おう

ALT(または担当)の先生はみなさんが休日にどのような時間を過ごしているか知りたいと考えています。先生との共通点や違いを発見できるかもしれませんね。週末の過ごし方を伝え合いましょう。

【目標】ALT(または担当)の先生と、お互いのことをもっと知るために、週末の過ごし方について伝え合おう。



1. 自分の起きる時刻と寝る時刻を書きましょう。

:



:



2. 先生と共有したい週末にすることを1つ選んで、日本語のメモやイラストをかきましょう。

(例)

always
usually
sometimes

always
usually
sometimes

3. 上の内容をもとに、週末の過ごし方について友達や先生と伝え合ってみましょう。

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

県名探し①

(北海道・東北・関東地方)

北海道、東北地方、関東地方の県名を縦、横、ななめで探して丸で囲みましょう。



北海道、青森(例)、宮城、秋田、神奈川、山形、岩手、福島、千葉、東京、群馬、栃木、埼玉、

S	t	n	j	F	o	x	i	e	A	o	s	a	q	F
h	n	x	z	S	b	b	K	H	s	o	x	o	j	v
j	n	N	g	a	K	g	u	f	v	k	m	m	d	H
w	l	p	r	l	l	M	i	y	a	g	i	o	m	s
F	l	C	l	b	M	C	F	x	e	M	j	h	r	n
u	i	h	q	T	q	q	M	b	A	k	i	t	a	i
k	M	i	o	C	h	v	E	c	p	o	i	Y	c	y
u	S	b	T	k	K	a	n	a	g	a	w	a	k	a
s	a	a	o	H	o	k	k	a	i	d	o	m	i	g
h	i	r	c	a	G	a	u	F	u	w	h	a	l	a
i	t	A	h	j	u	T	i	q	b	A	r	g	k	i
m	a	l	i	k	n	o	C	d	c	T	u	a	l	y
a	m	u	g	s	m	k	v	C	o	H	v	t	x	a
F	a	d	i	w	a	y	a	m	a	g	a	a	a	g
I	w	a	t	e	i	o	t	I	b	a	r	a	k	i

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

県名探し②

(中部地方)

中部地方の県名を縦、横、ななめで探して
丸で囲みましょう。



新潟、長野、富山、石川、福井、愛知(例)、静岡、山梨、岐阜

q	R	d	f	Y	G	u	A	z	u	A	i	c	h	i
j	f	q	T	q	N	n	j	N	c	g	S	e	k	N
N	c	T	Y	C	x	a	n	u	i	v	w	G	e	a
I	n	o	n	m	K	v	g	l	r	i	e	e	q	E
s	m	y	F	u	T	p	y	a	n	G	g	z	F	a
h	r	a	c	i	N	o	h	z	n	s	i	a	o	m
i	b	m	a	Y	a	d	G	a	o	o	i	f	t	g
k	o	a	g	a	a	S	y	n	x	h	n	y	u	a
a	n	m	i	m	p	r	h	n	F	u	k	u	i	A
w	k	f	f	a	B	q	f	i	x	k	M	t	d	i
a	i	A	t	n	r	T	O	k	z	q	k	S	h	q
u	W	a	k	a	T	o	e	m	N	u	e	n	n	j
t	s	e	g	s	o	t	C	z	f	z	o	p	z	d
w	q	b	q	h	b	q	x	o	M	F	v	k	j	e
F	u	n	q	i	d	f	q	h	f	i	o	r	a	a

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

県名探し③

(近畿・中国地方)

近畿地方、中国地方の県名を縦、横、ななめで探して丸で囲みましょう。



大阪、京都、兵庫、和歌山、三重、鳥取、島根、岡山、広島(例)、山口

R	n	j	F	u	b	s	q	r	C	p	u	W	h	l
h	b	e	H	i	r	o	s	h	i	m	a	O	l	w
v	O	s	o	A	w	n	r	a	o	r	j	k	w	a
k	K	o	h	p	o	n	W	H	v	a	r	a	d	M
u	y	t	g	i	e	u	a	o	C	j	g	y	v	t
s	T	b	k	h	G	i	k	q	t	y	y	a	q	y
K	y	o	t	o	x	a	a	l	s	H	o	m	g	N
E	y	o	t	o	u	r	y	u	z	i	y	a	i	a
v	l	l	c	t	a	y	a	l	p	c	S	o	j	r
e	e	r	K	s	o	m	m	w	l	r	h	m	g	a
O	s	a	k	a	r	r	a	n	H	s	i	h	y	o
c	i	p	r	M	i	e	i	h	g	x	m	a	j	a
m	d	E	o	x	r	d	u	e	q	j	a	g	w	y
r	l	Y	a	m	a	g	u	c	h	i	n	x	i	p
D	h	f	c	G	b	k	z	b	n	c	e	z	u	a

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

県名探し④

(四国・九州地方)

四国地方、九州地方の県名を縦、横、ななめで探して
丸で囲みましょう。



香川、徳島、愛媛、高知、福岡、熊本、佐賀(例)、大分、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄

Y	n	N	j	K	o	g	f	y	i	d	N	a	O	A
v	a	t	a	T	a	K	v	u	i	b	b	t	k	i
d	r	z	a	g	o	g	a	d	K	j	i	S	w	v
a	y	O	e	r	a	k	o	g	e	u	t	t	x	v
K	i	i	a	m	y	s	u	s	a	x	o	r	w	K
q	u	t	c	W	F	u	a	s	h	w	x	k	l	a
T	m	s	p	d	p	Y	y	k	h	i	a	d	a	s
i	v	a	F	s	O	K	a	p	i	i	m	v	E	w
z	w	g	f	e	n	k	u	o	i	g	m	a	h	o
M	i	y	a	z	a	k	i	m	l	i	f	a	i	S
O	p	o	a	x	u	K	u	n	a	a	b	w	m	a
l	r	w	o	t	O	o	b	l	a	m	u	b	e	g
i	y	i	l	j	i	c	r	a	m	w	o	e	f	a
S	a	f	w	j	t	h	u	n	M	h	a	t	j	u
o	z	c	n	j	a	i	w	s	b	m	x	o	o	i

県名探し① (答え)

(北海道・東北・関東地方)



北海道、青森、宮城、秋田、神奈川、山形、岩手、福島、千葉、東京、群馬、栃木、埼玉、

S	t	n	j	F	o	x	i	e	A	o	s	a	q	F
h	n	x	z	S	b	b	K	H	s	o	x	o	j	v
j	n	N	g	a	K	g	u	f	v	k	m	m	d	H
w	l	p	r	l	l	M	i	y	a	g	i	o	m	s
F	l	C	l	b	M	C	F	x	e	M	j	h	r	n
u	i	h	q	T	q	q	M	b	A	k	i	t	a	i
k	M	i	o	C	h	v	E	c	p	o	i	Y	c	y
u	S	b	T	k	K	a	n	a	g	a	w	a	k	a
s	a	a	o	H	o	k	k	a	i	d	o	m	i	g
h	i	r	c	a	G	a	u	F	u	w	h	a	l	a
i	t	A	h	j	u	T	i	q	b	A	r	g	k	i
m	a	l	i	k	n	o	C	d	c	T	u	a	l	y
a	m	u	g	s	m	k	v	C	o	H	v	t	x	a
F	a	d	i	w	a	y	a	m	a	g	a	a	a	g
I	w	a	t	e	i	o	t	I	b	a	r	a	k	i

県名探し②(答え)

(中部地方)



新潟、長野、富山、石川、福井、愛知、静岡、山梨、岐阜

q	R	d	f	Y	G	u	A	z	u	A	i	c	h	i
j	f	q	T	q	N	n	j	N	c	g	S	e	k	N
N	c	T	Y	C	x	a	n	u	i	v	w	G	e	a
I	n	o	n	m	K	v	g	l	r	i	e	e	q	E
s	m	y	F	u	T	p	y	a	n	G	g	z	F	a
h	r	a	c	i	N	o	h	z	n	s	i	a	o	m
i	b	m	a	Y	a	d	G	a	o	o	i	f	t	g
k	o	a	g	a	a	S	y	n	x	h	n	y	u	a
a	n	m	i	m	p	r	h	n	F	u	k	u	i	A
w	k	f	f	a	B	q	t	i	x	k	M	t	d	i
a	i	A	t	n	r	T	O	k	z	q	k	S	h	q
u	W	a	k	a	T	o	e	m	N	u	e	n	n	j
t	s	e	g	s	o	t	C	z	f	z	o	p	z	d
w	q	b	q	h	b	q	x	o	M	F	v	k	j	e
F	u	n	q	i	d	f	q	h	f	i	o	r	a	a

県名探し③(答え)

(近畿・中国地方)



大阪、京都、兵庫、和歌山、三重、鳥取、島根、岡山、広島、山口

R	n	j	F	u	b	s	q	r	C	p	u	W	h	l
h	b	e	H	i	r	o	s	h	i	m	a	O	l	w
v	O	s	o	A	w	n	r	a	o	r	j	k	w	a
k	K	o	h	p	o	n	W	H	v	a	r	a	d	M
u	y	t	g	i	e	u	a	o	C	j	g	y	v	t
s	T	b	k	h	G	i	k	q	t	y	y	a	q	y
K	y	o	t	o	x	a	a	l	s	H	o	m	g	N
E	y	o	t	o	u	r	y	u	z	i	y	a	i	a
v	l	l	c	t	a	y	a	l	p	c	S	o	j	r
e	e	r	K	s	o	m	m	w	l	r	h	m	g	a
O	s	a	k	a	r	r	a	n	H	s	i	h	y	o
c	i	p	r	M	i	e	i	h	g	x	m	a	j	a
m	d	E	o	x	r	d	u	e	q	j	a	g	w	y
r	l	Y	a	m	a	g	u	c	h	i	n	x	i	p
D	h	f	c	G	b	k	z	b	n	c	e	z	u	a

県名探し④(答え)

(四国・九州地方)



香川、徳島、愛媛、高知、福岡、熊本、佐賀、大分、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄

Y	n	N	j	K	o	g	f	y	i	d	N	a	O	A
v	a	t	a	T	a	K	v	u	i	b	b	t	k	i
d	r	z	a	g	o	g	a	d	K	j	i	S	w	v
a	y	O	e	r	a	k	o	g	e	u	t	t	x	v
K	i	i	a	m	y	s	u	s	a	x	o	r	w	K
q	u	t	c	W	F	u	a	s	h	w	x	k	l	a
T	m	s	p	d	p	Y	y	k	h	i	a	d	a	s
i	v	a	F	s	O	K	a	p	i	i	m	v	E	w
z	w	g	f	e	n	k	u	o	i	g	m	a	h	o
M	i	y	a	z	a	k	i	m	l	i	f	a	i	S
O	p	o	a	x	u	K	u	n	a	a	b	w	m	a
l	r	w	o	t	O	o	b	l	a	m	u	b	e	g
i	y	i	l	j	i	c	r	a	m	w	o	e	f	a
S	a	f	w	j	t	h	u	n	M	h	a	t	j	u
o	z	c	n	j	a	i	w	s	b	m	x	o	o	i

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

週末の過ごし方について伝え合おう

【目標】ALT(または担当)の先生と、お互いのことをもっと知るために、週末の過ごし方について伝え合おう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



先生が話したことを理解することができましたか。



2. やり取りをして、ALT(または担当)の先生について分かったことや感想を書きましょう。

3. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどのような工夫をしましたか。

4. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 6年生 6～7月頃 話すこと [発表]

「日本に住むわたし」を紹介しよう



【目標】ALTの先生（または留学生や、ALTの先生の友達など）に日本について知ってもらうために、自分のことや日本について話することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	日本の季節の行事を表す語句や、“This is～” “We live in～” “We have”等を中心にUnit1～Unit3の既習事項等を正しく用いて、 <u>言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて話している。</u>	ALTの先生（または留学生やALTの先生の友達など）に知ってもらうために、自分のことや、自分が住む日本について、 <u>情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを話している。</u>	ALTの先生（または留学生やALTの先生の友達など）に知ってもらうために、自分のことや、自分が住む日本について、 <u>情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを話そうとしている。</u>
b	<u>時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが、</u> 日本の季節の行事を表す語句や、“This is～” “We live in～” “We have”等を中心にUnit1～Unit3の既習事項等を用いて考えや気持ちなどを含めて話している。	ALTの先生（または留学生やALTの先生の友達など）に知ってもらうために、自分のことや、自分が住む日本について、自分の考えや気持ちを話している。	ALTの先生（または留学生やALTの先生の友達など）に知ってもらうために、自分のことや、自分が住む日本について、自分の考えや気持ちを話そうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

「日本に住むわたし」を紹介しよう

【目標】ALTの先生（または留学生や、ALTの先生の友達など）に
日本について知ってもらうために、自分のことや日本について話することができる。

実施時間	発表：1分 質問：1分（児童の実態に応じて調整）	
表現	I like _____. I can _____. I'm good at _____. We have _____. You can _____.	
配時	児童の活動	指導のポイント
1時目 （パフォーマンスタイムに向かう時間）	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように、目的や、相手、目標を全体で考え確認します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。（GIGA端末を使ってもよい） 3. 友達と実際に「日本に住むわたし」について互いに発表をします。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達と発表」、「先生に発表」、「自分の発表を録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を見通しを確認します。ALTの先生等から児童へ「日本のことが知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者とALT等が、実際に発表を行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 友達と発表をし合う際には、実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2・3時目 （パフォーマンスタイム）	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます（必要に応じてワークシート①やGIGA端末をもっていく）。 3. 順番になったら、1時目に友達で行うなどした発表を生かして、ALT（または担当）の先生に発表を行います。（ワークシートを見せながら話してもよい）。 4. 終わったら、自分の発表を振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します（録画を見ながら振り返るのもよい）。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画し、振り返ることができるようにしておくのもよいでしょう。 ● ALT（または担当）の先生は、児童の発表に感想を伝えたり、質問したりします。児童の発話に対し、リキャスト（正しい英語で言い換え暗示的に指導すること）を行い、振り返りに役立てることもできます。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。

発表例会話例（個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい）

Hello. This is me. My name is (名前). I can play badminton.
This is my school. I like social studies.
This is my town. We have beautiful cherry blossoms.
This is my prefecture. Mentaiko is delicious.
This is my country, Japan. We have many onsen. Do you know onsen?
Please enjoy Japan.

コメント例・質問例

I like hot springs. That sounds great! / I'm good at badminton! Let's play together.
Do you like cherry blossoms, too? / What is your favorite event in Fukuoka?

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

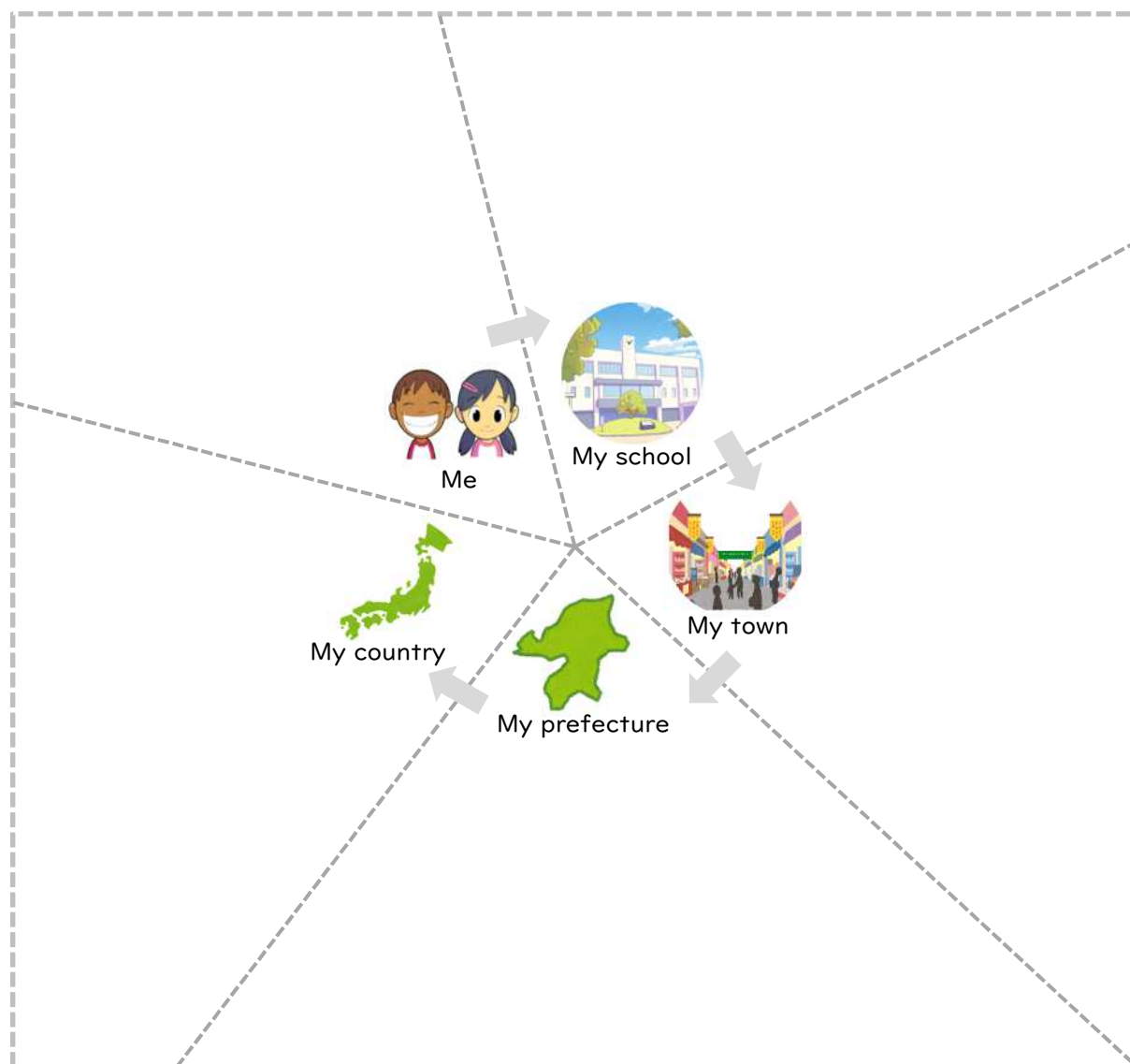
「日本に住むわたし」を紹介しよう

ALTの先生に知ってもらうために、自分のことや自分が住む日本のことについて紹介しましょう。

【目標】ALTの先生（または留学生や、ALTの先生の友達など）に
日本について知ってもらうために、自分のことや日本について話そう。



1. 紹介したい内容について日本語のメモやイラストをかいてイメージをふくらませましょう。



3. 上の内容をもとに、自分のことや日本について友達とお互いの発表を聞き合いましょう。

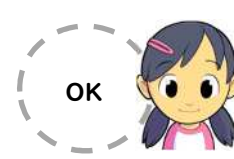
6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

「日本に住むわたし」を紹介しよう

【目標】ALTの先生（または留学生や、ALTの先生の友達など）に日本について知ってもらうために、自分のことや日本について話そう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

相手に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



相手が話したことを理解することができましたか。



2. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどんな工夫をしましたか。

3. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 6年生 11月～12月頃 話すこと [やり取り]

夏休みの思い出と夢の旅行について伝え合おう



【目標】ALT(または担当)の先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの楽しい体験や、将来行きたい国などについて伝え合うことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	国名や、動作を表す語句、感想を表す語句、“I went to～” “I want to go to～” “I want to～(したいこと)”等を中心にUnit1～Unit6の既習事項等を正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALT(または担当)の先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの体験や、将来行きたい国などについて、 <u>情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。</u>	ALT(または担当)の先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの体験や、将来行きたい国などについて、 <u>情報を加えて内容を深めたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。</u>
b	時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが、国名や、動作を表す語句、感想を表す語句、“I went to～” “I want to go to～” “I want to～(したいこと)”等を中心にUnit1～Unit6の既習事項等を考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALT(または担当)の先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの体験や、将来行きたい国などについて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALT(または担当)の先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの体験や、将来行きたい国などについて、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

夏休みの思い出と夢の旅行について伝え合おう

【目標】ALT (または担当) の先生に行ってみたいと思ってもらうために、
夏休みの楽しい体験や、将来行きたい国について伝え合うことができる。

実施時間	2分程度	
表現	What did you do in summer? I went to/ate/saw/enjoyed _____. Where do you want to go? I want to go to (国). I want to _____.	
配時	児童の活動	指導のポイント
1 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム に 向 か う 時 間)	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように、目的や、相手、目標を全体で考え確認します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。(GIGA端末を使ってもよい) 3. 友達と実際に「夏休みの思い出と夢の旅行」について互いに発表をします。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達とやり取り」、「先生とやり取り」、「自分のやり取りを録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を見えを確認します。ALTの先生等から児童へ「みんなの体験や行きたい国が知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者とALT等で、実際にやり取りを行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 友達とやり取りをする際には、実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2 ・ 3 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム)	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じてワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどしたやり取りを生かして、ALT (または担当) の先生とやり取りを行います。できるだけ自分から相手に伝えたり、尋ねたりするようにします(ワークシートを見せながら話してもよい)。 4. 終わったら、自分のやり取りを振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画することで、実際のやり取りの映像を基に、パフォーマンスタイムについて振り返ることができるようにしておくともよいでしょう。 ● ALT (または担当) の先生は、児童の発話に応答したり、さらに質問したりしますが、自分から話すのが難しい児童に対しては、初めのうちは先生から話しかけても問題ありません。 ● 発話に困っている児童に対しては、既習の表現を引き出したり、簡単な質問をしたりするなど、その場に応じて支援をするとよいでしょう。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。
会話例会話例 (個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)		
児童:	Hi, ○○先生. This is my summer vacation I went to Kumamoto in summer. I enjoyed a barbecue. It was delicious. How about you? What did you do?	
ALT:	I went to the beach. I enjoyed swimming.	
児童:	The beach? It's very good.	
ALT:	I saw fireworks, too. It was great.	
	I like fireworks, too. Nice!	
児童:	I want to go to the U.S.. I want to watch baseball games there. How about you? Where do you want to go?	
ALT:	I want to go to Egypt. I want to see the pyramids there.	
児童:	Oh, the pyramids. That's cool!	

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

夏休みの思い出と夢の旅行について伝え合おう

ALTの先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの楽しい体験や将来行きたい国について伝え合いましょう。

【目標】ALT(または担当)の先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの楽しい体験や、将来行きたい国について伝え合おう。



1. 夏休みの体験についてマッピングでイメージを広げたり、日本語でメモをしましょう。

(夏休みの楽しい体験)

例:
水族館、海、
花火、祭りなど



2. 行きたい国や、そこでしたいことについて、マッピングでイメージを広げたり、日本語でメモをしましょう。

(行きたい国や、そこでしたいこと)

例:
アメリカ
野球観戦

イタリア
パスタを食べる

オーストラリア
コアラを見る
など



3. 上の内容をもとに、夏休みの体験や、行きたい国などについて友達や先生と伝え合ってみましょう。

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

クロスワード 食べ物

例にならって、下にあるキーワードから選んで、□に合う単語を書いてみましょう。



太い枠のマスは、同じアルファベットが入るワン!



キーワード

(例) pizza

(例) tomato

apple

spaghetti

lemon

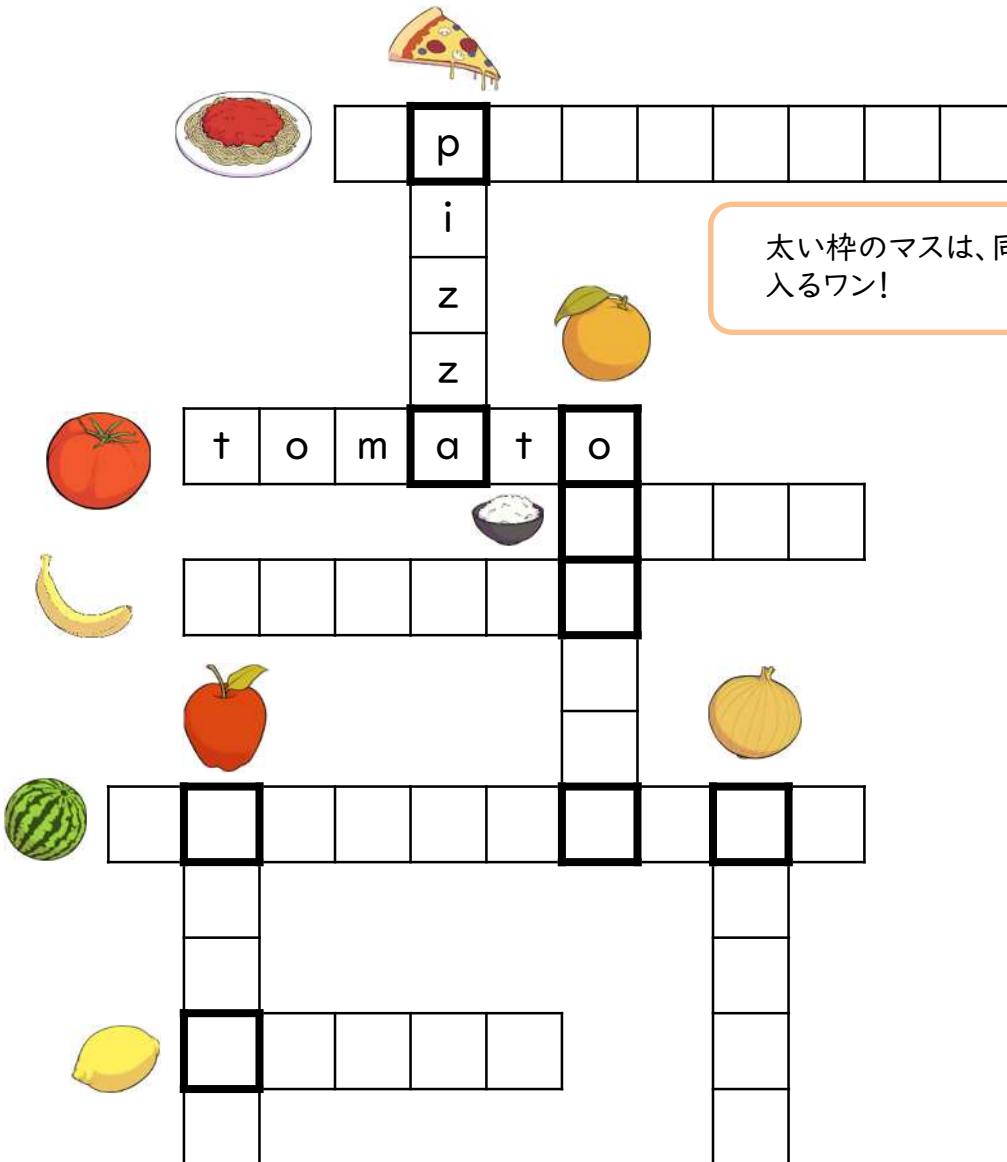
banana

onion

watermelon

orange

rice



クロスワード 食べ物 (答え)



太い枠のマスは、同じアルファベットが入るワン!



キーワード

(例) pizza

(例) tomato

apple

spaghetti

lemon

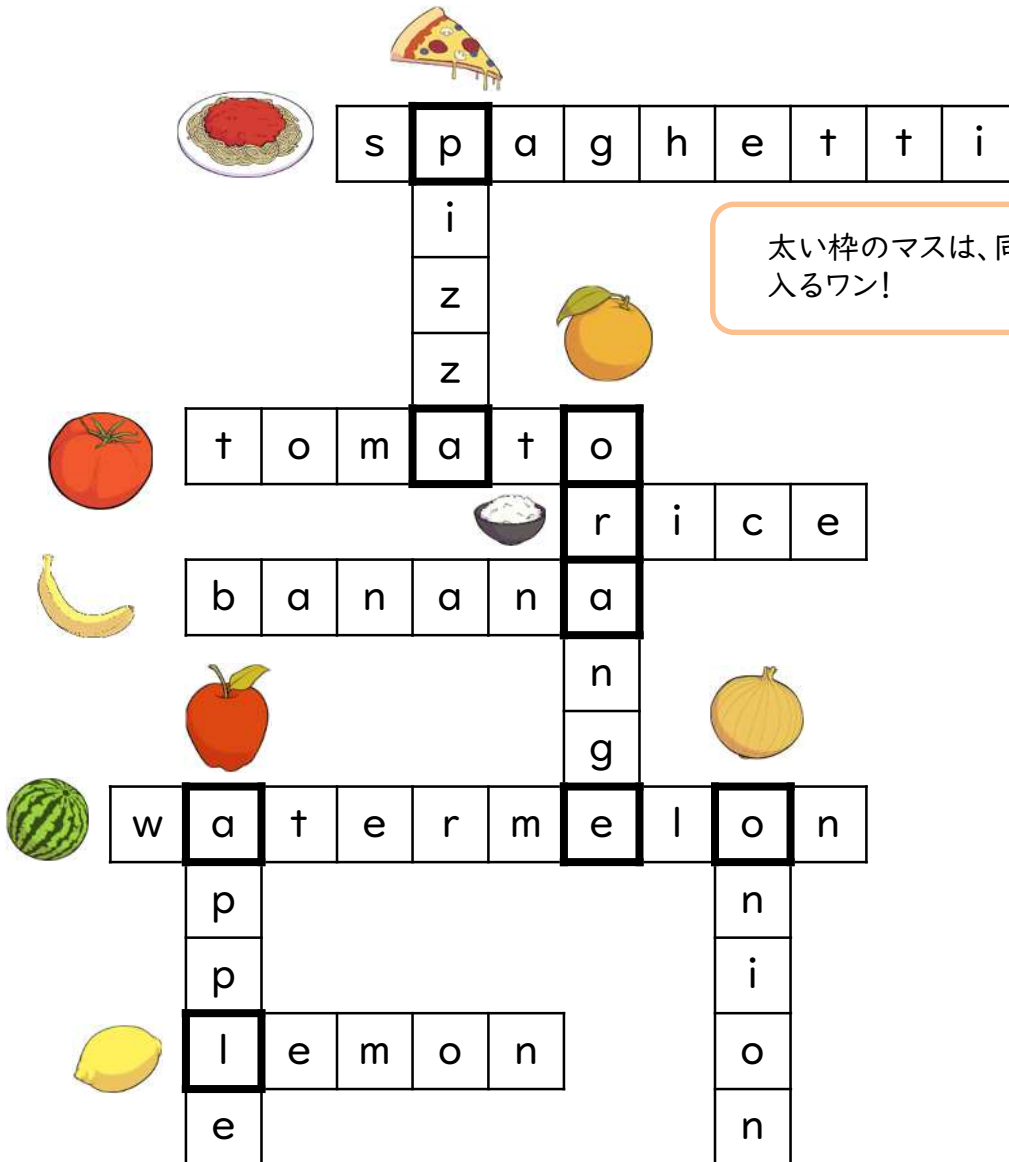
banana

onion

watermelon

orange

rice



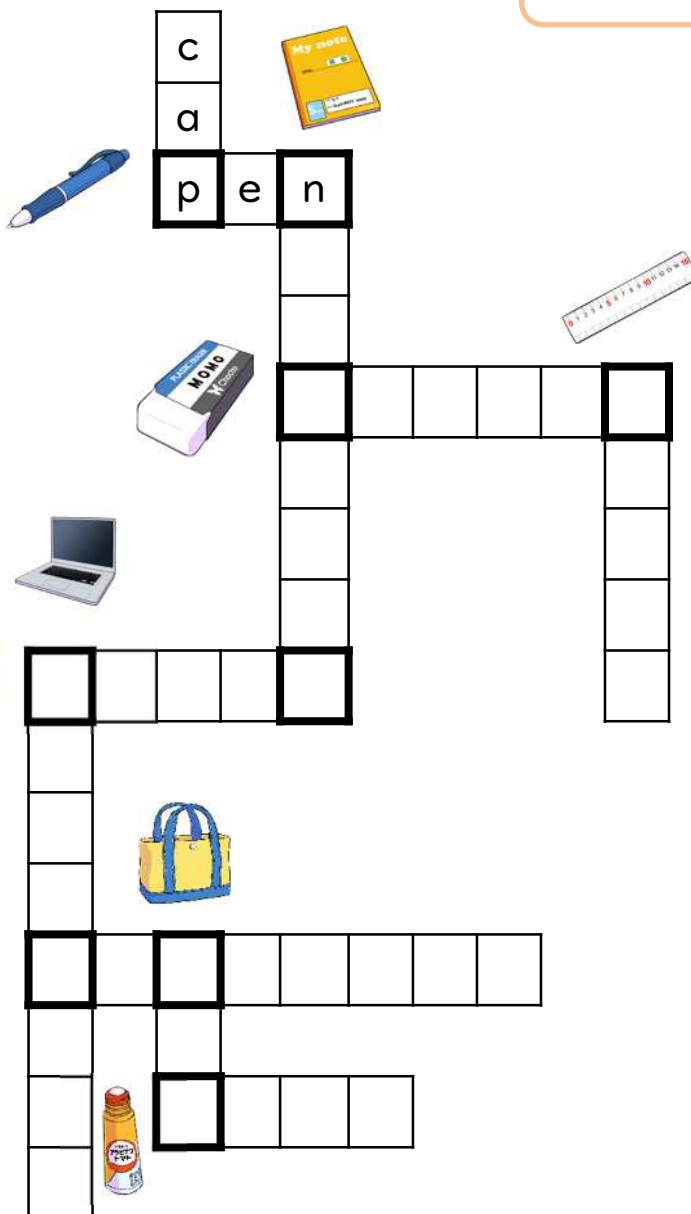
6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

クロスワード 身の回りの物

例にならって、下にあるキーワードから選んで、□に合う単語を書いてみましょう。



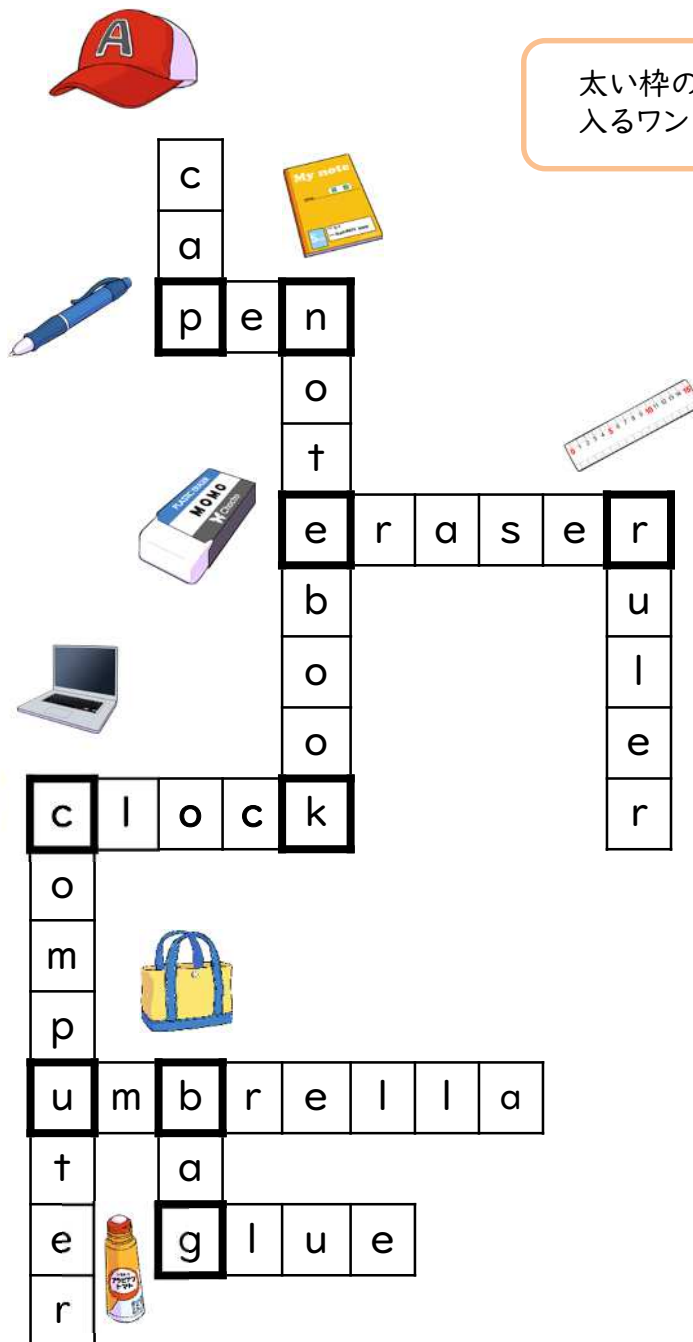
太い枠のマスは、同じアルファベットが入るワン!



キーワード

(例) cap
(例) pen
bag
clock
computer
eraser
glue
notebook
ruler
umbrella

クロスワード 身の回りの物 (答え)



太い枠のマスは、同じアルファベットが入るワン!



キーワード

(例) cap
(例) pen
bag
clock
computer
eraser
glue
notebook
ruler
umbrella

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

夏休みの思い出と夢の旅行について伝え合おう

【目標】ALT（または担当）の先生に行ってみたいと思ってもらうために、夏休みの楽しい体験や、将来行きたい国について伝え合おう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



先生が話したことを理解することができましたか。



2. やり取りをして、ALT（または担当）の先生について分かったことや感想を書きましょう。

3. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどのような工夫をしましたか。

3. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 6年生 2月～3月頃 話すこと [やり取り]

小学校生活の思い出について伝え合おう



【目標】ALTの先生に、自分の小学校生活での成長について知ってもらったり、ALTの先生の小学校生活について知ったりするために、思い出に残った学校行事とその理由や感想などについて伝え合うことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	学校行事の言い方や、“What’s your (best) memory?” “My best memory is～” “We enjoyed(played)～” “It was ～” 等を中心にUnit1～Uni8の既習事項等を <u>正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。</u>	ALTの先生に自分の小学校生活での成長について知ってもらうために、小学校生活の思い出について、より詳しく伝わるよう複数の思い出について伝えたり、既習の表現を加え相手に質問をしたりしながら、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALTの先生に自分の小学校生活での成長について知ってもらうために、小学校生活の思い出について、より詳しく伝わるよう複数の思い出について伝えたり、既習の表現を加え相手に質問をしたりしながら、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
b	時折言いよんだり、一部に間違いが見られたりするが、学校行事の言い方や、“What’s your (best) memory?” “My best memory is～” “We enjoyed(played)～” “It was ～” 等を中心にUnit1～Uni8の既習事項等を用いて考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。	ALTの先生に自分の小学校生活での成長について知ってもらうために、小学校生活の思い出について、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALTの先生に自分の小学校生活での成長について知ってもらうために、小学校生活の思い出について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

小学校生活の思い出について伝え合おう

【目標】ALTの先生に、自分の小学校生活での成長について知ってもらったり、
ALTの先生の小学校生活について知ったりするために、
思い出に残った学校行事とその理由や感想などについて伝え合うことができる。

実施時間	2分程度	
表現	What's your best memory? My best memory is _____. We went to / saw / played _____.	
配時	児童の活動	指導のポイント
1 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム に 向 か う 時 間)	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように、目的や、相手、目標を全体で考え確認します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。(GIGA端末を使ってもよい) 3. 友達と実際に「小学校生活の思い出」についてやり取りをします。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいか考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達とやり取り」、「先生とやり取り」、「自分のやり取りを録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を児童と確認します。ALTの先生等から児童へ「みんなの思い出が知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者とALT等で、実際にやり取りを行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 友達とやり取りをする際には、実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2・3 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム)	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組みます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどしたやり取りを生かして、ALT(または担当)の先生とやり取りを行います。できるだけ自分から相手に伝えたり、尋ねたりするようにします(ワークシートを見せながら話してもよい)。 4. 終わったら、自分のやり取りを振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画することで、実際のやり取りの映像を基に、パフォーマンスタイムについて振り返ることができるようにしておくともよいでしょう。 ● ALT(または担当)の先生は、児童の発話に応答したり、さらに質問したりしますが、自分から話すのが難しい児童に対しては、初めのうちは先生から話しかけても問題ありません。 ● 発話に困っている児童に対しては、既習の表現を引き出したり、簡単な質問をしたりするなど、その場に応じて支援をするとよいでしょう。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。
会話例会話例(個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)		
児童:	Hi, ○○先生. This is my best memory. My best memory is our school trip.	
ALT:	Oh, your best memory is the school trip! Where did you go?	
児童:	We went to Oita.	
ALT:	Oita? It's a nice place. What did you do there?	
児童:	We saw many animals. Monkeys, dolphins, other fish.... I like dolphins. What's your best memory?	
ALT:	My best memory is our sports day. We played many games. It was so exciting.	
児童:	Me, too. Sports day is fun.	

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校生活の思い出について伝え合おう

もうすぐ中学生になります。小学校6年間で楽しかったことについて、ALTの先生と一緒に振り返りましょう。思い出に残った学校行事や出来事について、感想をそえて伝え合いましょう。

【目標】ALTの先生に、自分の小学校生活での成長について知ってもらったり、ALTの先生の小学校生活について知ったりするために、思い出に残った学校行事とその理由や感想などについて伝え合おう。



1. 思い出に残った学校行事について、マッピングでイメージを広げたり、日本語でメモをしたりしましょう。

(思い出に残った学校行事)

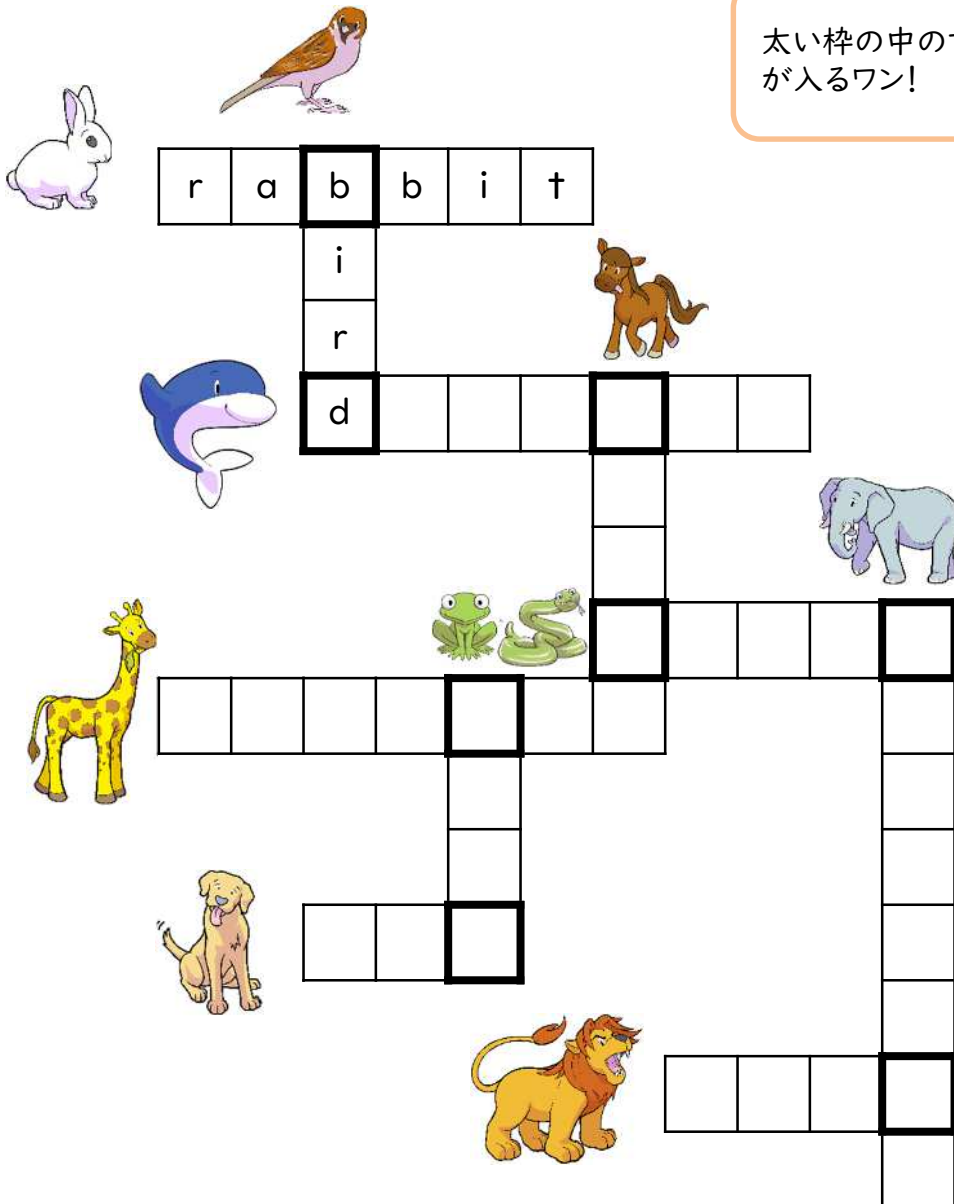
例：
入学式、
運動会、
学習発表会、
遠足、
修学旅行など

2. 上の内容をもとに、思い出に残った学校行事について友達や先生と伝え合ってみましょう。

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

クロスワード 動物

例にならって、下にあるキーワードから選んで、□に合う単語を書いてみましょう。



太い枠の中のマスは、同じアルファベットが入るワン!

キーワード

(例) rabbit

(例) bird

dog

dolphin

elephant

frog

giraffe

horse

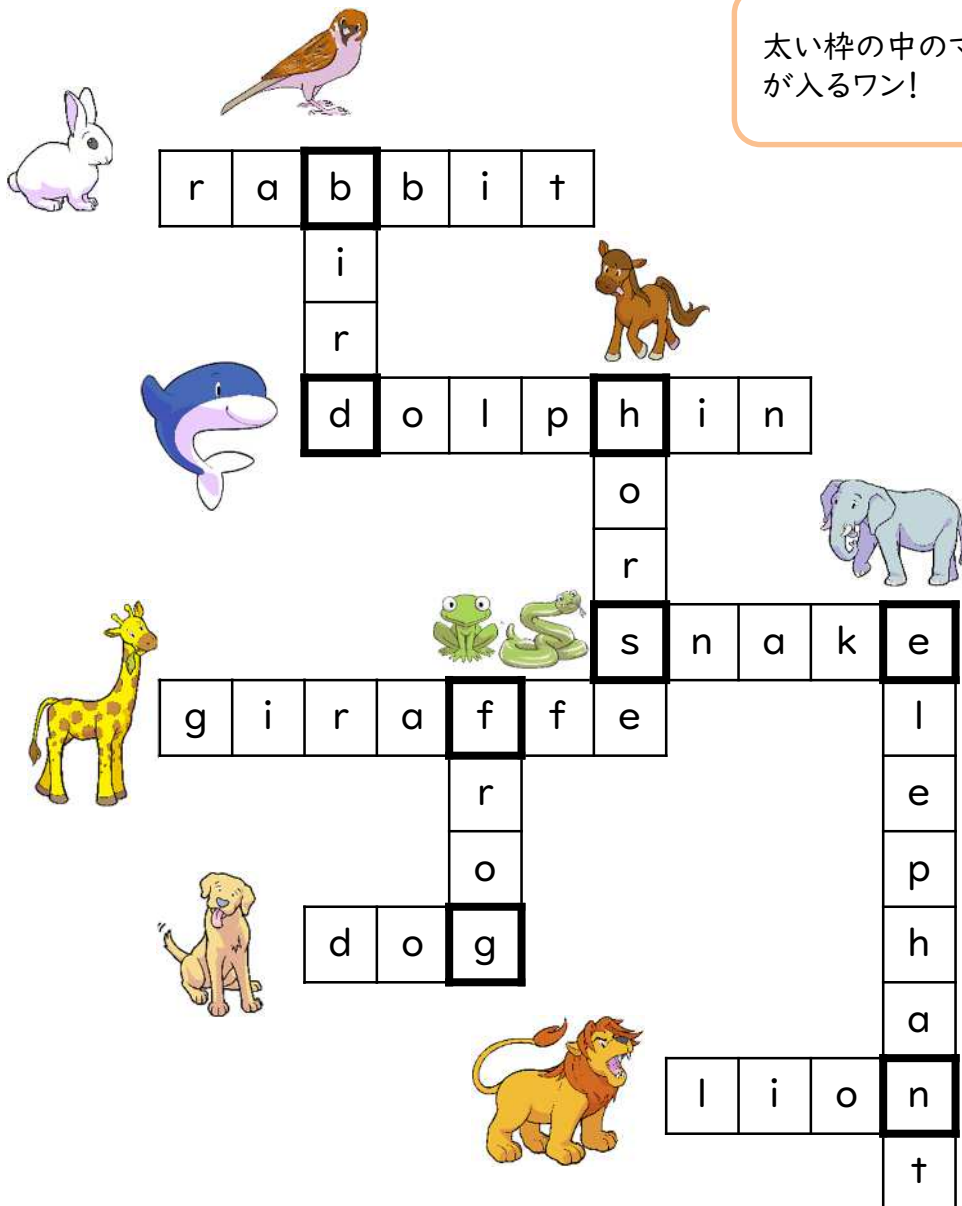
lion

snake

クロスワード 動物 (答え)



太い枠の中のマスは、同じアルファベットが入るワン!



キーワード

(例) rabbit

(例) bird

dog

dolphin

elephant

frog

giraffe

horse

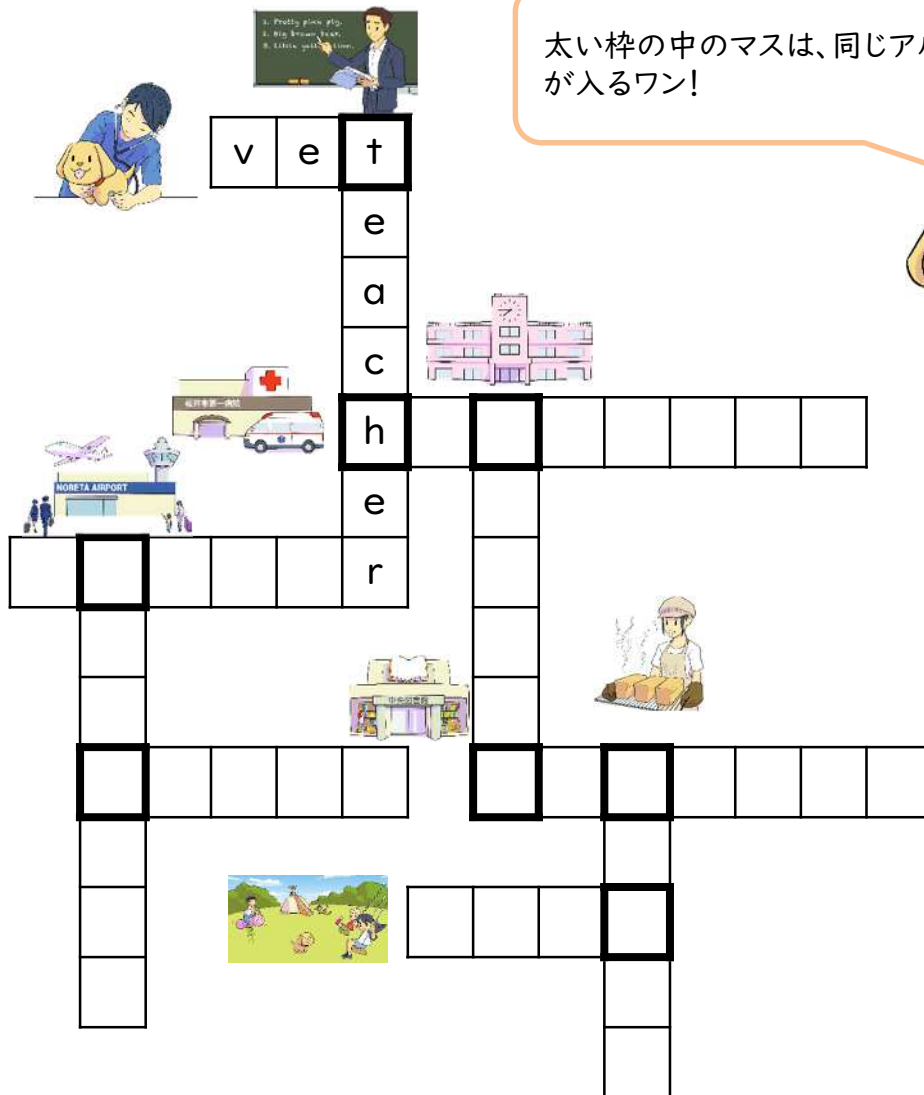
lion

snake

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

クロスワード 仕事と施設

例にならって、下にあるキーワードから選んで、□に合う単語を書いてみましょう。



太い枠の中のマスは、同じアルファベットが入るワン!



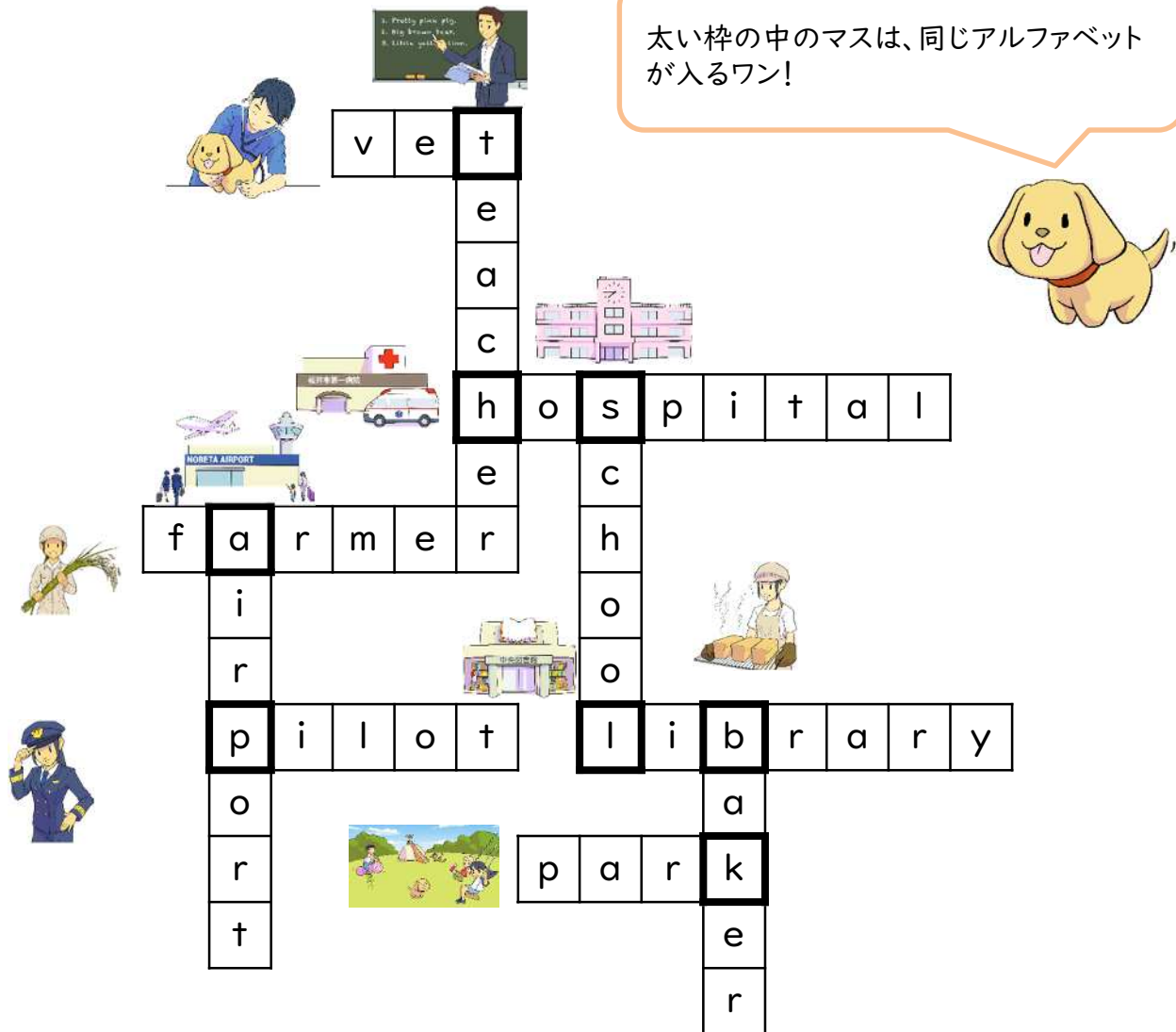
キーワード

(例) vet	(例) teacher	airport	baker	farmer
hospital	library	park	pilot	school

クロスワード 仕事と施設 (答え)



太い枠の中のマスは、同じアルファベットが入るワン!



キーワード

(例) vet	(例) teacher	airport	baker	farmer
hospital	library	park	pilot	school

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校生活の思い出について伝え合おう

【目標】ALTの先生に、自分の小学校生活での成長について知ってもらったり、ALTの先生の小学校生活について知ったりするために、思い出に残った学校行事とその理由や感想などについて伝え合おう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

ALTの先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



ALTの先生が話したことを理解することができましたか。



2. やり取りをして、ALTの先生について分かったことや感想を書きましょう。

3. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどんな工夫をしましたか。

4. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。

パフォーマンスタイム 6年生 2月～3月頃 話すこと [発表]

将来の夢について紹介しよう



【目標】ALTの先生（または担当の先生や中学校の先生）などに
今の自分のことをよく知ってもらうために、
自分の将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなど
について伝えることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	職業を表す語句や、“I want to be a～.” “I can～.” “I’m good at～.” “I want to～.” 等を中心にUnit1～Unit8の既習事項等を正しく用いて、言いよどむことなく、考えや気持ちなどを含めて話している。	ALTの先生（または担当の先生や中学校の先生）などに今の自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなどについて、 <u>情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを話している。</u>	ALTの先生（または担当の先生や中学校の先生）などに今の自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなどについて、 <u>情報を整理して内容を分かりやすくしたり聞き手に質問するなど工夫したりして、自分の考えや気持ちを話そうとしている。</u>
b	<u>時折言いよどんだり、一部に間違いが見られたりするが、</u> 職業を表す語句や、“I want to be a～.” “I can～.” “I’m good at～.” “I want to～.” 等を中心にUnit1～Unit8の既習事項等を考えや気持ちなどを含めて話している。	ALTの先生（または担当の先生や中学校の先生）などに今の自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなどについて、自分の考えや気持ちを話している。	ALTの先生（または担当の先生や中学校の先生）などに今の自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなどについて、自分の考えや気持ちを話そうとしている。
c	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない	「b」基準まで達していない

※このシートは指導者用であり、児童には配布しません。

将来の夢について紹介しよう

【目標】ALTの先生(または担当の先生や中学校の先生)などに今の自分のことをよく知ってもらうために、自分の将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなどについて伝えることができる。

実施時間	発表: 1分 質問: 1分 (児童の実態に応じて調整)	
表現	I want to join (部活動) . I want to be (職業) .	
配時	児童の活動	指導のポイント
1 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム に 向 か う 時 間)	1. パフォーマンスタイム全体の見通しがもてるように、目的や、相手、目標を全体で考え確認します。 2. ワークシート①などを用いて、自分が伝えたい内容を想起します。(GIGA端末を使ってもよい) 3. 友達と実際に「将来の夢」について互いに発表をします。 4. 伝えたいけれど伝えられなかったことについて、友達や先生と既習の表現などを使ってどのように伝えたらよいかを考えます。 5. さらに、目標をよりよく達成するために、「友達と発表」、「先生に発表」、「自分の発表を録画」、「録画したものを視聴」することなどから選んで学習を行います。 6. 振り返りをします。	● 今回のパフォーマンスタイムの目的・場面・状況を児童と確認します。ALTの先生等から児童へ「みんなの夢が知りたい」等と依頼してもらったり、録画しておいたビデオレターを見せたりするのもよいでしょう。 ● 指導者やALT等が、実際に発表を行い、ゴールのイメージをもたせることもできます。 ● 友達と発表をする際には、実際のパフォーマンスタイムでの相手を想定するようにします。 ● 言語活動と中間指導を組み合わせることで、既習の表現を振り返ったり、知っている英語で工夫してコミュニケーションを図る力を引き出します。 ● 学び方の例を伝えるなど、一人ひとりが自分で学び方を選択できるようにサポートします。 ● 机間指導を行い、児童のやり取りの内容や使っている英語、学び方などのよいところを見付け、学級全体に聞こえるように実況中継するのもよいでしょう。
2 3 時 目 (パ フ ォ ー マ ン ス タ イ ム)	1. 順番を待っている間は、ワークシート②などに取り組めます。 2. 自分の順番の少し前に、待機場所にいきます(必要に応じてワークシート①やGIGA端末をもっていく)。 3. 順番になったら、1時目に友達と行うなどした発表を生かして、ALT(または担当)の先生に発表を行います。(ワークシートを見せながら話してもよい)。 4. 終わったら、自分の発表を振り返り、行った工夫や、これから話してみたいことなどについて振り返りシートに記入します(録画を見ながら振り返るのもよい)。 5. 振り返りシートを先生に提出します。	● パフォーマンスタイムを行う順番については、児童の意思を尊重して決めるなど、いつも同じにならないように配慮しましょう。 ● 児童がそれぞれのGIGA端末で、パフォーマンスタイムを録画し、振り返ることができるようにしておくといでしょう。 ● ALT(または担当)の先生は、児童の発表に感想を伝えたり、質問したりします。児童の発話に対し、リキャスト(正しい英語で言い換え暗示的に指導すること)を行い、振り返りに役立てることもできます。 ● ALTによるパフォーマンス評価は評価の補助とし、指導を担当する教員が評価を行います。

発表例会話例(個々の児童の実態によってALTから会話を始めてもよい)

Hello! This is my dream. (ワークシートやプレゼンなどを見せてもよい)
I'm good at sports. I like volleyball very much.
So, I want to join the volleyball team.
Do you like sports?
And I want to be a scientist. I want to help people.

コメント例・質問例

That's great! Good luck. / I like science, too. / Why do you want to join the volleyball team? / What subjects do you like?

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

将来の夢について紹介しよう

自分の将来の夢をクラスの友達に紹介しましょう。互いの夢を共有することで、新たな発見があるかもしれません。中学校での生活や、将来つきたい職業について伝えましょう。

【目標】ALTの先生（または担当の先生や中学校の先生）などに今の自分のことをよく知ってもらうために、自分の将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなどについて伝えよう。



1. 将来の夢や興味のあること、中学校で挑戦したいことなどについて、マッピングでイメージを広げたり、日本語でメモをしたりしましょう。

例：
英語の学習
友達作り
サイエンス部
剣道部
美術部
サッカーチーム
野球チーム
など

例：
ロボット開発者
獣医
農家
料理人
消防士
など

2. 上の内容をもとに、について友達とお互いの発表を聞き合いましょう。

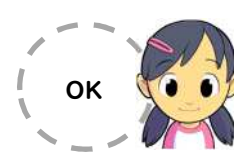
6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

将来の夢について紹介しよう

【目標】ALTの先生（または担当の先生や中学校の先生）などに今の自分のことをよく知ってもらうために、自分の将来の夢や興味のあることや中学校で挑戦したいことなどについて伝えよう。

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

ALTの先生に自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



ALTの先生が話したことを理解することができましたか。



2. 自分の考えや気持ちを伝えるために、あなたはどのような工夫をしましたか。

3. これから、自分の考えや気持ちをよりくわしく伝えるために、外国語の学習でもっとがんばりたいなと思ったことについて書きましょう。



中学校 外国語科



パフォーマンステスト ハンドブック

VI 中学校 外国語科 パフォーマンステスト ハンドブック

I 小学校外国語科を踏まえた中学校外国語科の目的

中学校の外国語科の目標は、

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成すること

となっています。その目標を踏まえ、外国語科では、小学校での外国語体験活動（英語大好きタイム）や、外国語活動・外国語科で培った基礎を生かして、一層幅広いコミュニケーションの目的や場面、状況を適切に設定しましょう。



中学校外国語科でのコミュニケーションの目的や場面、状況

小学校での学習を経て、生徒は自分のことや、友達、学校のことなど身近なことについて、自分の考えや気持ちを表現できるようになっています。中学校では、生徒の実態に合わせて、日常的な話題に加えて社会的な話題についても取り扱うようにし、短いやり取りだけでなく、自分の考えをまとめた英語でも表現できる力を育成していきましょう。

中学校のパフォーマンステストは、小学校における学習の基礎の上にあるということを常に意識し、これまでに学んだことを生かしながら表現を広げられるようにします。小学校で学んだことを繰り返し活用することも大いに認めましょう。表現したいけれどもできないことをどのように表したらよいかクラスの友達や先生と考えて工夫し、新たな表現を積極的に使えるようにしましょう。Enjoy Making Mistakes!

2 中学校外国語科のパフォーマンステストの内容、指導者、実施時間等

パフォーマンステストの内容、指導者等、実施時間などは次のとおりです。

内 容	単元のゴールを生かして設定したパフォーマンステスト ※ゴールに至るまでの過程で学習した語句や表現を生かして、自分の考えや気持ちを話したり、書いたりすることができるような活動 （ハンドブックには単元ごとのパフォーマンス課題を準備しているため、生徒の実態に合わせて活用）
指導者等	外国語科教員が中心（できる限りALTが参画するが、ALTが参画しなくても実施は可能） ※生きた英語や異文化に触れられるように配慮する （休み時間にALTの先生と触れ合うなど、外国語科の授業以外での交流を行うことも大切）
実施時間	単元に1回 1～2時間程度 ※年間140単位時間の中で、ハンドブックで設定されているパフォーマンステストを取り入れる

中学校では、「話すこと（やり取り・発表）」に加え、「書くこと」のパフォーマンステストも実施できます。また、ALTが参画したパフォーマンステストだけでなくALTが参画しないパフォーマンステストも含めて計画的に実施しましょう。ALTはいつもパフォーマンステストだけに入り、授業に入っていない、という状況は好ましくありません。

ALTとの交流は、生徒の英語学習への意欲付けや異文化理解の面などで有効です。配置日の中で、できる限り授業に参画してもらうようにしましょう。

3 中学校外国語科の学習評価について

学習評価においては、指導に生かす評価を行うことが大切です。設定した評価規準を意識し、目標を達成できるよう指導と評価を繰り返していきます。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動をバランスよく実施した上で、定期考査の実施内容を工夫したり、パフォーマンステストでルーブリックを活用したりして適切に見取ったりしていきます。

パフォーマンステストでは、基本的に全員がb評価を得られるように指導していきます。よって、評価については、bよりも優れているものをa、bに満たないものをcとします。例えば、思考・判断・表現の評価においては、学習した言語材料の使用に加え、つながりを意識する、自分の経験や体験について述べるといったことに加え、相手の意向に沿ったり、他者の言葉を引用したりしながら、自分の考えや気持ちを伝えている場合などにa評価とすることが考えられます。また、知識・技能の評価においては、コミュニケーションに支障がない誤りについて過度に減点することは望ましくありません。

パフォーマンステストを単元ごとに行うことで、学習評価の機会を十分に確保し、評価の妥当性と信頼性を高めましょう。

4 小学校外国語科との違い、高等学校への接続について

小学校外国語科と中学校外国語科との違いについては、次のように考えます。

5・6年生 小学校外国語科「パフォーマンスタイム」

- 具体的に自分の考えや気持ちを英語でアウトプットする
(既習事項を生かし、使う英語や内容を工夫する)
- ALTと一対一で話す機会をもつ



中学校外国語科「パフォーマンステスト」

- 日常的な話題に加えて、社会的な話題についても自分の考えや気持ちを発信する。
- 内容面、言語面の両面で自分の使う英語を工夫したり、振り返ったりして、まとまりのある英語で適切に発信する。
- 「書くこと」のパフォーマンステストも行う(1年生の1学期は「話すこと」が中心)。

小学校5・6年生の外国語科では、外国語活動とは異なり、知識や基礎的な技能の定着を目指し、系統性を意識した「教科」としての学習を行っています。「聞くこと」「話すこと」に加え、「読むこと」「書くこと」にも取り組み(「読むこと」「書くこと」は慣れ親しみの段階)、自分の住む地域や町のことについて英語で伝え合うなどの活動も行っています。よって、小学校で学習したことの土台の上に、中学校の学習があるということ意識した指導を行うことが大切です。



文法と文構造

小学校では、「文法」の学習はしていません。同じ構造の文を何度も聞いたり、話したりする中で英語の語順の特徴に気づき、「文構造」として認識します。さらに英文を書き写したり、その一部を自分の言いたいことに置き換えたりなどの学習を行っています。

そのことを踏まえ、中学校では、言語活動の中で様々な表現に触れ、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしながら、文法の知識を言語活動の中で自然に身に付け、表現の幅を広げていくようにしましょう。

高等学校では、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えを「的確に」理解したり、「適切に」表現したり伝え合ったりするように指導していきます。中学校でも、無理のない範囲で、聞いたことについて話す、読んだことについて書くなどの領域を統合した活動や、より自分の考えを適切に表現するための（教師による、または生徒自身・生徒相互による）フィードバックを行うなどの工夫をしましょう。

5 小中の接続を意識した授業や学校行事について

このハンドブックには、小中が連携した授業や学校行事のプランも掲載しています。異学年の児童生徒との交流は、コミュニケーションを中心に学ぶ科目である外国語科の授業においては効果的な取組となります。プランを参考にした授業を行い、小学生に伝えるという目的意識を持って言語活動を行ったり、小学生との交流を楽しんだりできるように工夫しましょう。

6 パフォーマンステストに関するQ&A



Q パフォーマンステストの意義について生徒にどう伝えるか。

A 話すことについては定期考査の時間内では評価できません。しかし、授業では言語活動を中心とした話すことの学習を行っており、その力が身についているかどうかを評価し、学習に生かしていくことが大切であるということを伝えます。また、話すことのパフォーマンステストを、ALTの先生等と英語を使って1対1で話す貴重な機会と捉え、それ自体を楽しむことができるよう促します。ALTにも事前にその意義について伝え、生徒の頑張りを賞賛してもらうようにしましょう。そのことによって、その後の学習や次のパフォーマンステストへの意欲が高まっていきます。パフォーマンステスト後のフィードバックも大切です。





Q パフォーマンステストを行っている間待っている生徒への指示は。

A 例えば、話すことのパフォーマンステストを行っている間は、待っている生徒にはや、パフォーマンステストの準備や、振り返りシートの記入（録画や先生からのコメントを参考に）、単元に関連した学習をさせることもできます。また、GIGA端末を活用し、個別の学習を行うこともできます。

パフォーマンステストを行う順番については、いつも同じ順番にはしないなどの工夫をしましょう。小学校では希望順にしている学校もあります。



Q ALTがやり取りや発表の相手としてテストを行った場合、学習評価は誰がどのように行えばよいか。

A 学習評価はあくまで外国語科の教員が行います。ALTと生徒がやり取りなどを行っている様子を見取り、その場で評価していく方法や、一旦録画したのを見て評価する方法などがあります。どちらにしても、ALTにも評価のヒントになるメモをとってもらい、評価材料の補助とすることが考えられます。ALTと生徒だけでパフォーマンステストを行い、評価をALTに任せる、といったことがないようにしてください。また、パフォーマンステスト中に、生徒の発話に誤った表現や、分かりにくい部分などがあった場合は、必要に応じ、その場でリキャストしたり、問い返したりするのも一つの方法です。その様子を録画しておいて生徒自身に振り返らせるとより一層学びが深まります。



Q 原稿を書いて覚えて話そうとする生徒に対しての指導の工夫は。

A 実際に話すことのコミュニケーションは、原稿を見ながら行うことはなく、その場で行うものということを生徒に認識させることが大切です。授業中に、スモールトークなどのやり取りを積み重ね、即興的に話すことに慣れさせましょう。発表のテストについても、ALTや教員が発表した内容について問い返したり、質問したりすることで、その場での発話に挑戦させてみるようにしましょう。





パフォーマンステスト 内容一覧



学年	Unit	内容	頁
1	1	自分のことを伝えよう【話すこと(やり取り)】	259
	2	自分のことをもっと詳しく伝えよう【話すこと(やり取り)】	261
	3	夏休みの過ごし方について伝えよう【話すこと(やり取り)】	263
	4	自分の推しを紹介しよう【話すこと(発表)】	265
	5	おすすめスポットを紹介しよう【話すこと(やり取り)】	267
	6	中学校の様子について紹介しよう【話すこと(発表)】	269
	7	日本の伝統的なお正月文化を紹介しよう【話すこと(発表)】	271
	8	1年間の思い出を伝えよう【書くこと】	273
2	1	春休みの思い出を紹介しよう【書くこと】	275
	2	好きなことやしたいことを紹介しよう【話すこと(やり取り)】	277
	3	夏休みのおすすめプランを紹介しよう【話すこと(発表)】	279
	4	行ってみたい国についてプレゼンしよう【話すこと(発表)】	281
	5	防災バッグの中身を考えよう【話すこと(やり取り)】	283
	6	自分の将来について伝えよう【話すこと(やり取り)】	285
	7	自分の考えや気持ちを伝えよう【書くこと】	287
	8	修学旅行の思い出について伝えよう【話すこと(発表)】	289
3	1	記事を読んで自分の考えを伝えよう【書くこと】	291
	2	日本の観光名所を紹介しよう【話すこと(発表)】	293
	3	自分のことをもっと詳しく伝えよう【話すこと(やり取り)】	295
	4	AIについて自分の考えを伝えよう【書くこと】	297
	5	世界の課題について意見を伝えよう【話すこと(発表)】	299
	6	お気に入りの人や物を紹介しよう【話すこと(やり取り)】	301
	7	3年間の思い出を伝えよう【話すこと(やり取り)】	303

自分のことを伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】新しく出会ったALTの先生に自分のことをより知ってもらうために、興味のあることや得意なことを紹介できる。

実施時期 4月～5月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】I'm ~ / 【Part2】I like ~ / I don't like ~ / 【Part3】I can ~ / I can't ~ など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 単元の扉のページで、ALTの先生に自分のことをより知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 2. 自己紹介を行う上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	1. 単元の扉のページで、ALTの先生に自分のことをより知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が実際に自己紹介を行い(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 2. 自己紹介を行う上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ 小学校とのスムーズな連携を行うため、「書くこと」に関しては視写程度に留めましょう。	
	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ この単元では、待機中に自己紹介カードを作成させることもできます。	
パフォーマンステスト終了後 	1. 返却された振り返りシートに目を通します。 ※ 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、表現方法や表現内容について振り返り、次の単元へ見通しをもつこともできます。 2. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 ※ 何人かの生徒のパフォーマンスビデオを見せ、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせることもできます。 2. 次の単元へ進み、Unit2のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Do you (like/play/watch/have) _____?
- ☐ What _____ do you like?

- ☐ Who is your favorite _____?
- ☐ How many _____ do you have?

会話例

ALT/JTE:	Hello. I want to know more about you. Please tell me.
生徒:	Hello. I'm ~. Please call me ~. I like sports. Do you like sports?
ALT/JTE:	Yes. I can play basketball well. How about you?
生徒:	Sorry, I can't play basketball, but I can play volleyball because I practice volleyball everyday.
ALT/JTE:	Wow, that's great. Who is your favorite volleyball player?
生徒:	My favorite player is Mr. Nishida. Do you know he?
ALT/JTE:	Do you know him? (正しい語をリキャスト) Yes, I do. He is a very famous volleyball player.

自分のことを伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】新しく出会ったALTの先生に自分のことをより知ってもらうために、興味のあることや得意なことを紹介できる。

☐【条件①】ALTの先生の知りたいことに合わせて自己紹介をすることができる。

☐【条件②】自分の興味のあることなどを理由とともに述べるすることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

自分のことをもっと詳しく伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、自分が夢中になっている(はまっている)ことを詳しく紹介できる。

実施時期 5月～6月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】Are you～? / 【Part2】Do you～? / 【Part3】Can you～?など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 単元の扉のページで、ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。	1. 単元の扉のページで、ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が夢中になっていることなどを紹介し(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。	
	2. 自分が夢中になっていることを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	2. 自分が夢中になっていることを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ 小学校とのスムーズな連携を行うため、「書くこと」に関しては視写程度に留めましょう。	
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。	
	2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。	2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。	
パフォーマンステスト終了後	3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。		
	4. 先生から出された課題に取り組みます。		
	1. 返却された振り返りシートに目を通します。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。	
	2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。	2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。	
	3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	3. 次の単元へ進み、Unit3のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例	
☐ Are you (a) _____? / Are you in(on) the _____ club(team)? ☐ Do you like / play _____?	☐ Can you _____? ☐ How often do you _____?
会話例	
ALT/JTE:	Hello, ~. You like volleyball, right? (前回のパフォーマンステストからのつながり) Please tell me more.
生徒:	Yes. I like playing volleyball. So, I'm in the volleyball club.
ALT/JTE:	Wonderful. How often do you play it?
生徒:	I play volleyball on Monday, Tuesday, Thursday, Friday and Saturday.
ALT/JTE:	You practice volleyball almost everyday.
生徒:	Yes. I can play volleyball a little. By the way, you like basketball. How often do you play basketball?
ALT/JTE:	Now? I don't play it. I played basketball 10 years ago.

自分のことをもっと詳しく伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、自分が夢中になっている(はまっている)ことを詳しく紹介できる。

□【条件①】相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら、対話を継続することができる。

□【条件②】夢中になっていることなどを具体的に紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

夏休みの過ごし方について伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に夏休みの過ごし方を知ってもらうために、おすすめの過ごし方を紹介できる。

実施時期 6月～7月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】What～? / 【Part2】I like ～ing / 【Part3】I want to ～など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 単元の扉のページで、ALTの先生に夏休みの過ごし方を知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。	1. 単元の扉のページで、ALTの先生に夏休みの過ごし方を知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が夏休みの過ごし方について質問するなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。	
	2. 夏休みの過ごし方を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	2. 夏休みの過ごし方を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ 「書くこと」に関しては、これまで学習したことに感想や自分の考えを一文加えるなど段階的に増やしていきます。	
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。	
	2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 本Unitのパフォーマンステストは6月下旬から7月上旬になることが想定されるため、3学期制の場合、評価は2学期に入れることも可能です。	
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。	
	2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 3. 次の単元へ進み、Unit4のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ What do you ____? / What do you want to do?
☐ Do you like / play ____?

- ☐ Can you ____?
☐ How often do you ____?

会話例

ALT/JTE:	Hello. I came to Japan last month. So I want to know your summer vacation.
生徒:	Sure. I like summer festivals. Do you know "Wasshoi" Summer Festival? You can enjoy the summer festival in August in Kokura. I like eating.
ALT/JTE:	What can you eat at "Wasshoi" Summer Festival?
生徒:	You can eat candy apples. I always eat candy apples with my friends. You can see "Mikoshi," too. It is cool. Do you want to try "Mikoshi"?

夏休みの過ごし方について伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に夏休みの過ごし方を知ってもらうために、おすすめの過ごし方を紹介できる。

□【条件①】ALTの先生に、夏休みのおすすめの過ごし方を伝えることができる。

□【条件②】自分のしたいことや好きなことを具体的に紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

自分の推しを紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に自分のおすすめの人物について知ってもらうために、自分の興味のあることを紹介できる。

実施時期 9月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】This is～ / She(He) is～ / 【Part2】Who is～? / 【Part3】Is this ～? など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生に自分のおすすめの人物について知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 - 自己の推しを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページでALTの先生に自分のおすすめの人物について知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が自分の推しなどを紹介し(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 - 自己の推しを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ 「書くこと」に関しては、これまで学習したことに感想や自分の考えを一文加えるなど段階的に増やしていきます。	
パフォーマンステスト(2時間) 	- 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 - パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 - 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 - 先生から出された課題に取り組めます。	- 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 - 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。)	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	- 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 - いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 - 次の単元へ進み、Unit5のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Who is _____? / Who is your favorite _____?
☐ Is this _____?

- ☐ What _____ do you like?
☐ How many _____ do you have?

会話例

ALT/JTE: Hello. Who is your favorite person?

生徒: My favorite person is "Ikura." She is a famous singer. Do you know this singer?

ALT/JTE: No, I don't. Please tell me more.

生徒: I like listening to music. So, I listen to "Yoasobi" songs. I want to go to the concert, but I can't get the ticket. I'm very very sad. Look at this picture? Do you know this anime? It is "Oshinoko." "Yoasobi" sings the song. Maybe you know "Idol." It is very popular.

自分の推しを紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】 ALTの先生に自分のおすすめの人物について知ってもらうために、自分の興味のあることを紹介できる。

☐【条件①】ALTの先生におすすめする理由を説明することができる。

☐【条件②】紹介する人物の性格や個性などを詳しく説明することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

おすすめスポットを紹介しよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生の家族に地元や日本のよさを知ってもらうために、おすすめスポットを紹介できる。

実施時期 10月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】Don't ~ / Let's ~ / 【Part2】Where ~? / 【Part3】When ~? など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生の家族に地元や日本のよさを知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 - 地元や日本のおすすめスポットを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生の家族に地元や日本のよさを知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が日本のおすすめの場所について質問するなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 - 地元や日本のおすすめスポットを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。や	
パフォーマンステスト(2時間) 	- 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 - パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 - 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 - 先生から出された課題に取り組みます。	- 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 - 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	- 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 - いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 - 次の単元へ進み、Unit6のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Where is ____? / Where do you ____?
☐ When is ____? / When do you ____?

- ☐ Is this ____?
☐ Have you ____? (1年生の言語材料ではありませんが、生徒の実態や単元の流れによって、指導するとも可能です。)

会話例

ALT/JTE:	Hello. My family is coming to Japan during the winter vacation. Please give me some advice.
生徒:	Sure. Your family is interested in nature. So, I want to recommend "Hiraodai" Park.
ALT/JTE:	Where is it? What can we do there?
生徒:	It's in Kokura. You can enjoy climbing and a cave. But it's very cold in winter. Don't go there in winter.
ALT/JTE:	Oh, thank you. So where should we go?
生徒:	I also recommend autumn leaves in Kyoto.
ALT/JTE:	Can we see them?

おすすめスポットを紹介しよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生の家族に地元や日本のよさを知ってもらうために、おすすめスポットを紹介できる。

- 【条件①】ALTの先生の家族の好きなことに合わせて、紹介することができる。
- 【条件②】おすすめの場所で有名なものや何ができるかなど、詳しく紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

中学校の様子について紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生や入学してくる小学生6年生に中学校のことをよく知ってもらうために、先生や部活動などについて紹介できる。

実施時期 11月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】She likes ~ / 【Part2】Does she have ~? / 【Part3】She doesn't go to~など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 扉のページで、ALTの先生や入学してくる小学生6年生に中学校のことをよく知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 2. 中学校の様子を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	1. 扉のページで、ALTの先生や入学してくる小学生6年生に中学校のことをよく知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTの先生や小学生が中学校のことについて質問するなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 2. 中学校の様子を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト (2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せたり、小学校(の専科、担任、児童)と共有したり工夫することもできます。 2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。)	
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。 2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 3. 次の単元へ進み、Unit7のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Do you ____? / Does he(she) ____?
☐ Is this ____? / Is he(she) ____?

- ☐ Where is ____? / Where do you ____?
☐ When is ____? / When do you ____?

会話例

生徒: Hello. First, I will talk about my favorite teacher. This is my English teacher. His (Her) name is ~. His (Her) class is fun and he (she) is very kind. I want to speak English well.

ALT/JTE: I'm happy because you like English.

生徒: Second, I will talk about my club. Our school has many clubs. For example, soccer, basketball, volleyball, judo, kendo, art and so on. What club are you interested in? I'm in the volleyball club. We practice volleyball almost every day. We have a practice game this Saturday.
Third, I will talk about our mascot character. We have a mascot character. His name is "Kukitan." It is a monkey. He wears school uniform, and he has a broom. Maybe he likes cleaning.

中学校の様子について紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】 ALTの先生や入学してくる小学生6年生に中学校のことをよく知ってもらうために、先生や部活動などについて紹介できる。

□【条件①】ALTの先生や小学生の興味のあることに合わせて、紹介することができる。

□【条件②】ALTの先生や小学生の言葉を引用するなどして、紹介するものや理由等を詳しく伝えることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

日本の伝統的なお正月文化を紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の伝統的な行事を知ってもらうために、お正月文化について紹介できる。

実施時期 12月～1月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】I went to ～ / 【Part2】Did you ～? / I didn't～ / 【Part3】was / wereなど	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生に日本の伝統的な行事を知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 - お正月文化を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生に日本の伝統的な行事を知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTの先生が自国のお正月文化について紹介し(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 - お正月文化を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(2時間) 	- 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 - パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 - 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 - 先生から出された課題に取り組みます。	- 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 - 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。)	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	- 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 - いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 - 次の単元へ進み、Unit8のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

❑ Did you ____?

❑ Was it ____? / Were they ____?

❑ What is ____?

❑ Where was ____? / Where did you ____?

❑ When was ____? / When did you ____?

会話例

生徒:

Hello. I will talk about Japanese traditional culture. Do you know "Toshikoshisoba"? It is a Japanese traditional food. They are noodles and it's a sign of long life. We eat soba on New Year's Eve. Next, We eat "Osechi." It has many meanings. For example, "Kurikinton" is a sign of riches.

ALT/JTE:

Wow. I have to eat it!

生徒:

We go to a shrine on New Years Day. You can buy an omamori. It's a good luck charm. It has many colors and designs. What omamori do you want? You can ring a big bell at a temple, too. But it is on New Year's Eve. Be careful.

ALT/JTE:

I want to try it! Thank you!

日本の伝統的なお正月文化を紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の伝統的な行事を知ってもらうために、お正月文化について紹介できる。

- ☐【条件①】ALTの先生の興味のあることに合わせて、紹介することができる。
- ☐【条件②】日本のお正月文化について、詳しく紹介することができる。
- ☐【条件③】自分の経験や体験などを伝えることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)		月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。		
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。		

Class No. Name

1年間の思い出を伝えよう【書くこと】



【目標】ALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、1年間の思い出について紹介できる。

実施時期 2月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】I am ~ing / 【Part2】What are you doing? / 【Part3】What were you doing?など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、「書く」パフォーマンステスト(3コマのイラストとそれを説明する英文で1年間の思い出を伝える)を行うという単元のゴールを確認します。 1年間の思い出を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、「書く」パフォーマンステスト(3コマのイラストとそれを説明する英文で1年間の思い出を伝える)を行うことを伝えます。 1年間の思い出を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(1時間)	- 単元のゴールを確認して、1時間でパフォーマンステストを受けます。(下の6つのトピックの中から3つ選択します。) ※ Google classroomの課題機能などを活用して、電子データで提出することも可能です。 - パフォーマンステスト終了後は、振り返り用紙を記入します。記入後、先生に提出します。	- 単元のゴールを確認し、1時間でパフォーマンステストを行います。(下書きの持ち込みなどはしないようにします。) - パフォーマンステストが終了した生徒は、開始後30分後を目安に教師が回収し、振り返りの記入を促します。	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 返却されたテスト用紙を見直します。	「書く」パフォーマンステストは、「話すこと」のものに比べ、評価に時間がかかることから、次の時間に返却する必要はありません。 - 返却する際には、内容面・言語面でよいところを中心にフィードバックをしながら、返却するようにします。	

パフォーマンステスト記述例

What are you doing in this picture?

【Topic】

①春・夏・冬・GWについて

②授業について

③給食について

④部活動について

⑤学校行事について

⑥その他(習い事や趣味など)

①のイラスト

【タイトル】

I am staying at my grand parents' house during the winter vacation.

I went to Oita. I enjoyed "Mochitsuki" there. I ate a lot of rice cake. They were delicious. My grandmother made them.

④のイラスト

【タイトル】

I am practicing volleyball.

I'm in the volleyball club. So I practice it almost every day. My coach is very kind. He plays volleyball with us. He can teach it very well.

⑥のイラスト

【タイトル】

I am playing a game.

I like playing games. So I play games with my friends every day. It's interesting. My favorite game is a shooting game. I want to play a new game.

1年間の思い出を伝えよう【書くこと】



【目標】ALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、1年間の思い出について紹介できる。

□【条件①】1つ1つのイラストが何を説明しているのか、紹介することができる。

□【条件②】自分の経験や体験などを詳しく紹介することができる。

□【条件③】つなぎ言葉を使って、まとまりのある英文で紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で書くことができる	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いている	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書こうとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で書くことができる	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書いている	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書こうとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【1年間の振り返り・次の学年への見通し】 1年間のパフォーマンステストを通じて、どのようなことができるようになりましたか。 また、2年生では、さらにどのようなことができるようになりたいですか。	

Class No. Name

春休みの思い出を紹介しよう【書くこと】



【目標】新しいALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、春休みの思い出について紹介できる。

実施時期 4月～5月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】How was ～? / They were～ / 【Part2】When / 【Part3】look・sound 形容詞など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 扉のページで、新しいALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、「書く」パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。	1. 扉のページで、新しいALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、「書く」パフォーマンステストを行うことを伝えます。	
	2. 春休みの思い出を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	2. 春休みの思い出を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ 学校行事などの関係でゴールデンウィーク後の実施になることも考えられます。そのため、「春休み」を「ゴールデンウィーク」に変更することも可能です。	
パフォーマンステスト(1時間)	1. 単元のゴールを確認して、1時間でパフォーマンステストを受けます。 ※ Google classroomの課題機能などを活用して、電子データで提出することも可能です。	1. 単元のゴールを確認し、1時間でパフォーマンステストを行います。(下書きなどは持ち込まないようにします。)	
	2. パフォーマンステスト終了後は、振り返り用紙を記入します。記入後、先生に提出します。	2. パフォーマンステストが終了した生徒は、開始後30分後を目安に教師が回収し、振り返りの記入を促します。	
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。	1. 「書く」パフォーマンステストは、「話すこと」のものに比べ、評価に時間がかかることから、次の時間に返却する必要はありません。	
	2. 返却されたテスト用紙を見直します。	2. 返却する際には、内容面・言語面でよいところを中心にフィードバックをしながら、返却するようにします。	
	3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	3. 次の単元へ進み、Unit2のパフォーマンステストについて説明します。	

パフォーマンステスト記述例

What did you during the spring vacation(the Golden Week Holidays)?

イラスト①

I visited my grandparents' house in Oita. Oita is famous for "Onsen". So I enjoyed it. I went to Suginoi Hotel for the first time. When I visit my grandparents' house, my grandparents always look happy. So I want to go to my grandparents' house again.

イラスト②

I practiced volleyball because I'm in the volleyball club. We have the volleyball tournament next month. After the club, I played games with my friends. When we have free time, we often play games at home.

春休みの思い出を紹介しよう【書くこと】



【目標】新しいALTの先生やクラスメイトに自分のことをより知ってもらうために、春休みの思い出について紹介できる。

□【条件①】自分の経験や体験などを詳しく紹介することができる。

□【条件②】つなぎ言葉を使って、まとまりのある英文で紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で書くことができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書こうとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で書くことができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書いている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書こうとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	
今年のパフォーマンステストを通じて、できるようになりたいことは何ですか？	

Class No. Name

好きなことやしたいことを紹介しよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなことやしたいことを紹介できる。

実施時期 5月～6月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】I don't like ~ing / I'm not good at ~ing / ~ing○○ is ... / 【Part2】I want to ~ / ○○ is to ~ / 【Part3】I think (that) ~ / I'm sure (that) ~ など
	生徒の活動	指導のポイント
単元のおおまかな流れ 	1. 扉のページで、ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 2. 自分のことを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	1. 扉のページで、ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が好きなことやしたいことを紹介し(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 2. 自分のことを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。 2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 3. 次の単元へ進み、Unit3のパフォーマンステストについて説明します。

質問例	
☐ What do you like doing? ☐ Do you like ~ing? ☐ Are you good at ~ing?	☐ What do you want to do? ☐ How can you do that? ☐ What do you think?
会話例	
ALT/JTE:	What do you like doing?
生徒:	I like playing sports.
ALT/JTE:	Are you good at playing sports?
生徒:	Yes. I like exercising. I want to be an athlete.
ALT/JTE:	What sports do you like?
生徒:	I like playing volleyball. My favorite player is Mr. Nishida. Do you know him?
ALT/JTE:	No, I don't. Please tell me more.
生徒:	Sure. He played volleyball in Italy. I think he is cool. By the way, did you watch the Olympic games?

好きなことやしたいことを紹介しよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなことやしたいことを紹介できる。

□【条件①】相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら、対話を継続することができる。

□【条件②】好きなことやしたいことなどを具体的に紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

夏休みのおすすめプランを紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の夏の過ごし方を知ってもらうために、夏休みのおすすめプランについて紹介できる。

実施時期 6月～7月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】I'm going to ~ / Are you going to ~? / 【Part2】will / Will you ~? / 【Part3】If など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 扉のページで、ALTの先生に日本の夏の過ごし方を知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 2. 夏休みのおすすめプランを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	1. 扉のページで、ALTの先生に日本の夏の過ごし方を知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTの先生が夏休みの過ごし方について質問するなどし(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況をと設定します。 2. 夏休みのおすすめプランを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。 ※ 本Unitのパフォーマンステストは6月下旬から7月上旬にすることが想定されるため、3学期制の場合、評価は2学期に入れることも可能です。	
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。 2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 3. 次の単元へ進み、Unit4のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Are you going to ____?
☐ Will you ____?

- ☐ If ____
☐ What are you going to do? / What will you do?

会話例

ALT/JTE:	What is your idea about the summer vacation?
生徒:	What are you going to do during the summer vacation? If you like Japanese traditional events, I think "Tobata Gion" is good. Look at this picture. This is a picture of "Mikoshi". You can join this event. I think you will like it. You can eat delicious food, too because this festival has many shops. You can also try goldfish scooping.
ALT/JTE:	I see. I'm really interested in Japanese traditional events.

夏休みのおすすめプランを紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の夏の過ごし方を知ってもらうために、夏休みのおすすめプランについて紹介できる。

- ☐【条件①】夏休みの過ごし方について、具体的に紹介することができる。
- ☐【条件②】自分の経験や体験などを伝えることができる。
- ☐【条件③】相手の立場になって、おすすめプランを提案することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。 	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。 	

Class No. Name

行ってみたい国についてプレゼンしよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に自分の興味のある国について知ってもらうために、行ってみたい国について紹介できる。

実施時期 9月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】There is(are) ~ / Is(Are) there ~? / 【Part2】show / give / 【Part3】to ~など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生に自分の興味のある国について知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 - 行ってみたい国について紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生に自分の興味のある国について知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTの先生が自分の国を紹介するなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 - 行ってみたい国について紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(2時間) 	- 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 - パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 - 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 - 先生から出された課題に取り組みます。	- 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 - 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。)	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	- 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 - いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 - 次の単元へ進み、Unit5のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Where (Why) do you want to go ?
- ☐ Is there ____? / Are there any ____?
- ☐ Show me _____

- ☐ What do you want to do there?
- ☐ Have you ____? (2年生の言語材料ではありませんが、生徒の実態や単元の流れによって、指導するとも可能です。)

会話例

ALT/JTE:	Where do you want to go?
生徒:	I want to go to Italy.
ALT/JTE:	Why do you want to go there?
生徒:	Because I'm interested in old buildings and sports in Italy.
ALT/JTE:	Are there any famous old buildings?
生徒:	Yes. There are many famous old buildings. I will show you some pictures.

行ってみたい国についてプレゼンしよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に自分の興味のある国について知ってもらうために、行ってみたい国について紹介できる。

- ☐【条件①】行きたい場所に何があって、何ができるかなど具体的に紹介することができる。
- ☐【条件②】行きたい理由を詳しく説明することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

防災バッグの中身を考えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に地震が起こった際の対処法を知ってもらうために、防災バッグの中身について伝え合うことができる。

実施時期 10月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】must～ / must not～ 【Part2】have to ～ / don't have to ～ / 【Part3】It is ～ to…など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 扉のページで、ALTの先生に地震が起こった際の対処法を知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 2. 防災バッグの中身について伝え合う上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	1. 扉のページで、ALTの先生に地震が起こった際の対処法を知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が地震の体験を話すなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 2. 防災バッグの中身について伝え合う上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。	
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。 2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 3. 次の単元へ進み、Unit6のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例	
☐ What do I have to do? ☐ Do you have ____?	☐ Is it necessary to ____? ☐ What do you think?
会話例	
ALT/JTE:	In my country, there is no earthquake. So please tell me what to do.
生徒:	Sure. First, it is important to "Drop", "Cover", and "Hold on."
ALT/JTE:	I see. We have to protect our head.
生徒:	Do you have an emergency bag?
ALT/JTE:	No, I don't. What do I have to prepare for the bag?
生徒:	I think a flashlight is the most important item. A radio is the second important item because you have to get some information and charge your smart phone.

防災バッグの中身を考えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に地震が起こった際の対処法を知ってもらうために、防災バッグの中身について伝え合うことができる。

□【条件①】相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら、対話を継続することができる。

□【条件②】防災バッグに備えるものを理由とともに説明することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

自分の将来について伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢ややりたいことについて紹介できる。

実施時期 11月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】to ~ / 【Part2】because / 【Part3】I'm glad to ~など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 扉のページで、ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 2. 将来の夢ややりたいことについて紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	1. 扉のページで、ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTの先生が自分の子どもの頃の夢やしたかったことを紹介するなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 2. 将来の夢ややりたいことについて紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。	
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。 2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 3. 次の単元へ進み、Unit7のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

☐ What's your hobby?

☐ What do you want to be (do)?

☐ What are you interested in?

☐ Why do you ____?

会話例

ALT/JTE:	What are you interested in?
生徒:	I'm interested in reading books. So I often read books when I am free.
ALT/JTE:	That's good.
生徒:	I like children, too. So I want to try volunteer work.
ALT/JTE:	What kind of volunteer work do you want to try?
生徒:	I want to read books for children. Or I want to be a nursery teacher.
ALT/JTE:	Wow. I think you can be a good teacher.

自分の将来について伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢ややりたいことについて紹介できる。

□【条件①】興味のあることや将来の夢についての理由などを具体的に説明

することができる。

□【条件②】相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら、対話を

継続することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)		月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。		
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。		

Class No. Name

自分の考えや気持ちを伝えよう【書くこと】



【目標】ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、ALTの先生の質問に自分の考えや気持ちを伝えることができる。

実施時期 1月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】～er than… / the ～est / 【Part2】more ～ than … / the most ～ / 【Part3】as ～ as / not as ～ asなど	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生に自分の考えや気持ちを伝えるために、「書く」パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 - 春休みの思い出を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生に自分の考えや気持ちを伝えるために、「書く」パフォーマンステストを行うことを伝えます。 - ALTの先生からの質問に答える上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ この単元では、本文よりも右のページのListenやSpeak, Writeの活動を通じて、パフォーマンス課題に向けて調整していくイメージになります。	
パフォーマンステスト(1時間)	- 単元のゴールを確認して、1時間でパフォーマンステストを受けます。 ※ 先生から準備された意見文を読んで、引用します。 ※ Google classroomの課題機能などを活用して、電子データで提出することも可能です。 - パフォーマンステスト終了後は、振り返り用紙を記入します。記入後、先生に提出します。	- 単元のゴールを確認し、1時間でパフォーマンステストを行います。(下書きなどは持ち込まないようにします。) ※ テスト当日に4人程度の簡単な意見文を準備します。 - パフォーマンステストが終了した生徒は、開始後30分後を目安に教師が回収し、振り返りの記入を促します。	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 返却されたテスト用紙を見直します。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	「書く」パフォーマンステストは、「話すこと」のものに比べ、評価に時間がかかることから、次の時間に返却する必要はありません。 - 返却する際には、内容面・言語面でよいところを中心にフィードバックをしながら、返却するようにします。 - 次の単元へ進み、Unit8のパフォーマンステストについて説明します。	

パフォーマンステスト記述例

Which is better?

【Topic B】を選択した場合の例

I think getting pets from a shelter is better than buying pets. I have a dog. Her name is Pochi. I got her from my friend.

I watched an animal TV show. There are a lot of stray dogs and cats in Japan. I'm sad to know this news. I think it is not good. Mike said, "We should think about animals' lives." I think so, too.

【Topic A】

playing sports or playing games

【Topic B】

buying pets or getting pets from a shelter

【Topic C】

using plastic straws or using paper straws

【Topic D】

studying English at home or studying English online

自分の考えや気持ちを伝えよう【書くこと】



【目標】 ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、ALTの先生の質問に自分の考えや気持ちを伝えることができる。

- 【条件①】 自分の経験や体験などを詳しく紹介することができる。
- 【条件②】 意見文を引用しながら、自分の考えや気持ちを伝えることができる。
- 【条件③】 つなぎ言葉を使って、まとまりのある英文で紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で書くことができる	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いている	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書こうとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で書くことができる	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書いている	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書こうとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

修学旅行の思い出について伝えよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の魅力をもっと知ってもらうために、修学旅行の思い出について紹介できる。

実施時期 2月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】want ~ to ... / 【Part2】male / call / 【Part3】It's made of ~など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生に日本の魅力をもっと知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 - 修学旅行の思い出について紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生に日本の魅力をもっと知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTの先生が日本の訪れたい場所を紹介するなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 - 修学旅行の思い出について紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ この単元では、本文よりも右のページのListenやSpeak, Writeの活動を通じて、パフォーマンス課題に向けて調整していくイメージになります。	
パフォーマンステスト(2時間) 	- 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 - パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 - 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 - 先生から出された課題に取り組みます。	- 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 - 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。)	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。	- 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 - いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行います。	

質問例

☐ Where did you go?

☐ What did you do?

☐ Have you ____? (2年生の言語材料ではありませんが、生徒の実態や単元の流れのよって、指導するととも可能です。)

会話例

生徒:	I will talk about my school trip. We went to Kyoto, Nara and Osaka on a school trip. We saw Kiyomizu Temple. It is in Kyoto. It is visited by many foreign people. If you like Japanese traditional temples, I want you to visit there.
ALT/JTE:	Oh, really? I love Japanese temples. I like collecting "Goshuin."
生徒:	Oh, me, too. This is my "Goshuin" collection book. It makes me happy. How many stamps do you have? I have twenty! You can buy many gifts around the temple. Green tea was my favorite drink. It is drunk by many students. Do you like green tea?

修学旅行の思い出について伝えよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の魅力をもっと知ってもらうために、修学旅行の思い出について紹介できる。

□【条件①】修学旅行の思い出を具体的に紹介できる。

□【条件②】どこで何ができるか、その場所の魅力を紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【1年間の振り返り・次の学年への見通し】 1年間のパフォーマンステストを通じて、どのようなことができるようになりましたか。 また、2年生では、さらにどのようなことができるようになりたいですか。	

Class No. Name

記事を読んで自分の考えを伝えよう【書くこと】



【目標】ALTの先生に自分の考えをよく知ってもらうために、記事についての自分の考えや気持ちを伝えることができる。

実施時期 4月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】is spoken / 【Part2】Let ~ show ... / 【Part3】tell ~ that...など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生に自分の考えをよく知ってもらうために、「書く」パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 - 記事についての自分の考えや気持ちを伝える上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生に自分の考えをよく知ってもらうために、「書く」パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ 教科書のGoalで使用されている記事の他にも、生徒に考えて欲しい題材について、ALTに平易な記事を作成してもらい、いくつかのトピックから選択させることも可能です。 - 記事についての自分の考えや気持ちを伝える上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(1時間)	- 単元のゴールを確認して、1時間でパフォーマンステストを受けます。 ※ Google classroomの課題機能などを活用して、電子データで提出することも可能です。 - パフォーマンステスト終了後は、振り返り用紙を記入します。記入後、先生に提出します。	- 単元のゴールを確認し、1時間でパフォーマンステストを行います。(下書きなどは持ち込まないようにします。) - パフォーマンステストが終了した生徒は、開始後30分後を目安に教師が回収し、振り返りの記入を促します。	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 返却されたテスト用紙を見直します。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	「書く」パフォーマンステストは、「話すこと」のものに比べ、評価に時間がかかることから、次の時間に返却する必要はありません。 - 返却する際には、内容面・言語面でよいところを中心にフィードバックをしながら、返却するようにします。 - 次の単元へ進み、Unit2のパフォーマンステストについて説明します。	

パフォーマンステスト記述例

I have a question. Do you use plastic products? Me? Of course, "Yes." We can't live without plastic. It makes our lives more convenient. Today, I want to tell you about plastic waste. I use plastic products every day. How about you?

Let me show you Picture 1. I was very shocked to see this picture. There are a lot of plastic on the beach. What do you think? It's not beautiful. I watched a news about sea animals on TV. Look at Picture 2. There is a sea turtle in the sea. It is eating a plastic bag. Plastic bags or micro plastic are eaten by many sea animals. They might die.



記事を読んで自分の考えを伝えよう【書くこと】



【目標】 ALTの先生に自分の考えをよく知ってもらうために、記事についての自分の考えや気持ちを伝えることができる。

□【条件①】 グラフや写真を活用して、説得力のある意見を書くことができる。

□【条件②】 つなぎ言葉を使って、まとまりのある英文で紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で書くことができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書こうとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で書くことができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書いている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書こうとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	
今年のパフォーマンステストを通じて、できるようになりたいことは何ですか？	

Class No. Name

日本の観光名所を紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の魅力にもっと気づいてもらうために、おすすめの観光名所について紹介できる。

実施時期 5月～6月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】We have reached … / 【Part2】Have you ~yet? / 【Part3】I have never seen … など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生に日本の魅力にもっと気づいてもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 - おすすめの観光名所について紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生に日本の魅力にもっと気づいてもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTが日本の興味のあることをプレゼンするなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 - おすすめの観光名所について紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ この単元では、題材である修学旅行が終了しているため、新たな単元目標を設定しています。	
パフォーマンステスト(2時間) 	- 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 - パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 - 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 - 先生から出された課題に取り組みます。	- 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 - 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。)	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	- 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 - いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行います。 - 次の単元へ進み、Unit3のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

☐ What can I do there?

☐ Are you interested in ____?

☐ Have you ____?

会話例

生徒: I want to tell you about a famous place in Japan.

ALT/JTE: Yes, please.

生徒: You have never seen snow, right? So, I will recommend Hokkaido. Have you been there? I have never been there, but I have seen many beautiful pictures of nature in Hokkaido. You can enjoy Sapporo Snow Festival. In Fukuoka, we can sometimes see snow in January. But Hokkaido has much more snow than Fukuoka. Also, Hokkaido is famous for seafood. I like salmon and crabs. I want to eat them.

日本の観光名所を紹介しよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に日本の魅力にもっと気づいてもらうために、おすすめの観光名所について紹介できる。

□【条件①】日本の観光名所をALTの先生の興味に合わせて、具体的に紹介できる。

□【条件②】どこで何ができるか、その場所の魅力を紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

自分のことをもっと詳しく伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、自分が夢中になっている(はまっている)ことを詳しく紹介できる。

実施時期 6月～7月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】has been / How long have you ~? / 【Part2】I've been ~ing / 【Part3】how to ~ / what to ~など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 単元の扉のページで、ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。	1. 単元の扉のページで、ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が夢中になっていることなどについて紹介し(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。	
	2. 自分が夢中になっていることを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読 やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	2. 自分が夢中になっていることを紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ この単元では、本文をとおして平和をテーマとした言語活動を行っているため、教科書のゴールの活動に設定されている平和について自分の考えや気持ちを書くパフォーマンステストを実施することもできます。学校や生徒の実態、先生方の思いに沿って、柔軟に設定してください。	
パフォーマンステスト(2回目) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。	
	2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。	2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。	
パフォーマンステスト終了後	3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。		
	4. 先生から出された課題に取り組みます。		
	1. 返却された振り返りシートに目を通します。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。	
	2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。	2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。	
	3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	3. 次の単元へ進み、Unit4のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- Have you _____? / How long have you _____?
□ Do you know how to _____?

- What's your favorite _____?
□ How often do you _____?

会話例

生徒:	I will talk about my favorite cartoonist. Do you know Eiichiro Oda? He made One Piece characters.
ALT/JTE:	I don't know him. But I know One Piece. How long have you read his comics?
生徒:	Since I was a child. I'm a big fan of his.
ALT/JTE:	Wow! That's a long time! Do you have all his volumes?
生徒:	Of course. I also have its figures.

自分のことをもっと詳しく伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生とお互いをもっと知り合うために、自分が夢中になっている(はまっている)ことを詳しく紹介できる。

□【条件①】相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら、対話を継続することができる。

□【条件②】夢中になっていることなどを具体的に紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

AIについて自分の考えを伝えよう【書くこと】



【目標】ALTの先生にAIについての考えを知ってもらうために、自分の考えや気持ちを伝えることができる。

実施時期 9月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】a thing which / 【Part2】a person who / 【Part3】the thing(person) that など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 扉のページで、ALTの先生にAIについての考えを知ってもらうために、「書く」パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 - AIについての自分の考えや気持ちを伝える上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 扉のページで、ALTの先生にAIについての考えを知ってもらうために、「書く」パフォーマンステストを行うことを伝えます。 - AIについての自分の考えや気持ちを伝える上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(1時間)	- 単元のゴールを確認して、1時間でパフォーマンステストを受けます。 ※ 先生から準備された意見文を読んで、引用します。 ※ Google classroomの課題機能などを活用して、電子データで提出することも可能です。 - パフォーマンステスト終了後は、振り返り用紙を記入します。記入後、先生に提出します。	- 単元のゴールを確認し、1時間でパフォーマンステストを行います。(下書きなどは持ち込まないようにします。) ※ テスト当日に4人程度の簡単な意見文を準備します。意見文については、生徒の実態に合わせて、難易度を調整(教科書p54参照)してください。 - パフォーマンステストが終了した生徒は、開始後30分後を目安に教師が回収し、振り返りの記入を促します。	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 返却されたテスト用紙を見直します。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	「書く」パフォーマンステストは、「話すこと」のものに比べ、評価に時間がかかることから、次の時間に返却する必要はありません。 - 返却する際には、内容面・言語面でよいところを中心にフィードバックをしながら、返却するようにします。 - 次の単元へ進み、Unit5のパフォーマンステストについて説明します。	

パフォーマンステスト記述例

What do you think about using AI?

AI Technology has made great progress lately. It has become a part of daily lives. So I agree with using AI technology. There are two reasons.

First, it is very useful. When I study English, I sometimes use Google translation. Though too much use is not good, if we use it in a correct way, it is very convenient. We even have an English conversation app. We can talk with AI avatar through English. We don't have much chance to talk with foreign people.

Second, AI can help people. When I went to Yakiniku restaurant, I saw an AI robot. It carried a lot of plates. I was surprised to see it. Also, I saw a rescue robot on TV. It can work at a dangerous place. Mr. Mike said, "I use a Roomba every day. It cleans my room automatically." AI technology is the necessary thing that makes our lives better.

AIについて自分の考えを伝えよう【書くこと】



【目標】ALTの先生にAIについての考えを知ってもらうために、自分の考えや気持ちを伝えることができる。

- 【条件①】自分の経験や体験などを詳しく紹介することができる。
- 【条件②】意見文を引用して、自分の考えや気持ちを伝えることができる。
- 【条件③】つなぎ言葉を使って、まとまりのある英文で紹介することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で書くことができる	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いている	3つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく書こうとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で書くことができる	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書いている	2つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを書こうとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

世界の課題について意見を伝えよう【話すこと(発表)】

【目標】ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、興味をもったことについて意見を伝えることができる。

実施時期 10月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】this picture (which) I found / 【Part2】The presentation (that) you gave / 【Part3】another great experience I had など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 扉のページで、ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)という単元のゴールを確認します。 2. 興味をもったことについて意見を伝える上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	1. 扉のページで、ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、パフォーマンステストを行う(ビデオを送ることも考えられます)ことを伝えます。 ※ ALTの先生が教科書の題材(社会的な話題)についてプレゼンするなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 2. 興味をもったことについて意見を伝える上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 4. 先生から出された課題に取り組みます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。 ※ 話すこと【発表】では、簡単なメモを見たり、プレゼンテーションを示すことが考えられます。(プレゼンには文字を入れすぎないように促しましょう。)	
パフォーマンステスト終了後	1. 返却された振り返りシートに目を通します。 2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 3. 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行います。 3. 次の単元へ進み、Unit6のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Are you interested in ____?
- ☐ Anything else?

- ☐ Have you ____?
- ☐ What kind of ____?

会話例

生徒:	I didn't know about "Fair Trade" before the class. So, I looked it up on the Internet. It is the very important system to support people in Ghana. If you buy Fair Trade products, you can help people working there. They can get money to go to school, to eat enough food and so on. I want to support those people so I bought Fair Trade chocolate at a convenience store. Have you bought Fair Trade products?
ALT/JTE:	No, I haven't. But I want to buy them someday.
生徒:	I want you to know about Fair Trade more. When you go to a convenience store, please take a look!

世界の課題について意見を伝えよう【話すこと(発表)】



【目標】ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、興味をもったことについて意見を伝えることができる。

□【条件①】グラフや写真を活用して、説得力のある意見を伝えることができる。

□【条件②】自分の経験や体験などを交えて伝えることができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

お気に入りの人や物を紹介しよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、お気に入りの人や物を紹介することができる。

実施時期 11月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】a person ~ing... / 【Part2】a thing ~ed... / 【Part3】why you're leavingなど	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	- 単元の扉のページで、ALTの先生とお互いをもっと知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。 - お気に入りの人や物を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	- 単元の扉のページで、ALTの先生とお互いをもっと知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生がお気に入りの人や物を紹介し(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。 - お気に入りの人や物を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。 ※ この単元では、本文より右のページのListenやSpeak, Writeの活動を通じて、パフォーマンス課題に向けて調整していくイメージになります。	
パフォーマンステスト(2時間) 	- 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。 - パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。 - 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。 - 先生から出された課題に取り組みます。	- 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。 - 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。	
パフォーマンステスト終了後	- 返却された振り返りシートに目を通します。 - 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。 - 次の単元の説明を聞き、次単元への見通しをもちます。	- 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。 - いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 - 次の単元へ進み、Unit7のパフォーマンステストについて説明します。	

質問例

- ☐ Have you ____? / How long have you ____?
☐ Who's your favorite ____?

- ☐ How often do you ____?
☐ Who is this? / What is this?

会話例

生徒:	This is the person I respect. Do you know who she is?
ALT/JTE:	No, I don't. Who is she?
生徒:	She is a famous singer in Japan. Her name is Ikuta Rira, so we call her "Ikura."
ALT/JTE:	That's interesting!
生徒:	Her songs are listened to by many people around the world.
ALT/JTE:	I have listened to them!
生徒:	Oh, really? I'm going to go to her concert next month. I'm looking forward to it.

お気に入りの人や物を紹介しよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生に自分のことをもっと知ってもらうために、お気に入りの人や物を紹介することができる。

- 【条件①】お気に入りの人や物について体験談やエピソードなどを具体的に紹介することができる。
- 【条件②】相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら、対話を継続することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	2つの条件を満たし、自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えている	1つの条件を満たして、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるともよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
【次の単元への見通し】 自分の考えや気持ちを表現するために、次の単元では、さらにどのようなところを工夫していきたいですか。	

Class No. Name

3年間の思い出を伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生やクラスメイトに自分の感じたことなどをより知ってもらうために、1年間の思い出について紹介できる。

実施時期 12月	本単元で学習した主な言語材料	【Part1】If I were ~, I would ... / 【Part2】I wish I could ... など	
	生徒の活動	指導のポイント	
単元のおおまかな流れ 	1. 単元の扉のページで、ALTの先生やクラスメイトに自分の感じたことなどをより知ってもらうために、パフォーマンステストを行うという単元のゴールを確認します。	1. 単元の扉のページで、ALTの先生やクラスメイトに自分の感じたことなどをより知ってもらうために、パフォーマンステストを行うことを伝えます。 ※ ALTの先生が生徒に中学校生活の思い出を質問するなどして(ビデオやオンラインでも可)、目的・場面・状況を設定します。また、条件については特に指定せず、生徒に「誰に、何のために」このスピーチを行うのかを考えさせるようにしましょう。	
	2. 中学校生活の思い出を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	2. 中学校生活の思い出を紹介する上で、必要な語彙や表現等を教科書の音読やイラストなどを使用したやり取りを行いながら、表現の幅を広げることができるようにします。	
パフォーマンステスト(2時間) 	1. 単元のゴールを確認して、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを受けます。	1. 単元のゴールを確認し、廊下(もしくは別室)でパフォーマンステストを行います。 ※ ALTの先生が当日勤務していない場合は、後日パフォーマンスビデオを見せるなど工夫しましょう。	
	2. パフォーマンステスト終了後は、評価用紙を受け取り、振り返りを記入します。記入後、先生に提出します。	2. 評価シートにパフォーマンス評価とフィードバックを記載し、生徒に渡します。 ※ パフォーマンステストの前には、他の英語科の先生やALTの先生と十分な打ち合わせを行いましょう。	
パフォーマンステスト終了後 	3. 録画したビデオを視聴し、自分の発話を振り返ります。		
	4. 先生から出された課題に取り組みます。		
パフォーマンステスト終了後 	1. 返却された振り返りシートに目を通します。	1. 振り返りシートを返却しながら、生徒の振り返りの記述内容のよいところを中心にフィードバックします。	
	2. 他の生徒のパフォーマンスビデオを見て、振り返ります。	2. いくつかのパフォーマンスビデオを見せながら、言語面(使用した言語材料)と内容面の価値付けを行いながら、次の学習へ見通しをもたせます。 ※ Unit 8については、学校や生徒の実態に応じて、メッセージカードを作成したり、手紙を書くなどの活動が考えられます。	

質問例

- ☐ What is your best memory?
☐ Was it fun?

- ☐ How was it?
☐ How often do you ____?

会話例

ALT/JTE:	Please tell me about your best memory in your junior high school.
生徒:	If I could go back to 2nensei, I would go on a school trip again.
ALT/JTE:	You went to Kyoto, right? Was it fun?
生徒:	Yes. I talked with my friends, enjoyed sightseeing, bought a lot of gifts for my family.
ALT/JTE:	Sounds fun! Did you eat something delicious?
生徒:	Of course. I like sweets. So, I can't forget green tea!

3年間の思い出を伝えよう【話すこと(やり取り)】



【目標】ALTの先生やクラスメイトに自分の感じたことなどをより知ってもらうために、1年間の思い出について紹介できる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ誤りのない正しい英文で伝えることができる	自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えている	自分の考えや気持ちなどを詳しく伝えようとしている
b	誤りはあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で伝えることができる	自分の考えや気持ちなどを伝えている	自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

【先生からのフィードバック】

他の人にも真似してほしいすばらしい表現	次につながるとてもよいミス

Reflection (振り返り)	月 日 ()
【単元の振り返り】 この単元でできるようになったこと、また自分の考えや気持ちを表現するために工夫したことは何ですか。	
1年生のころのパフォーマンステストや3年生の始めのころと今回のパフォーマンステストの動画を見比べて、何がどのように成長したと思いますか？	

Class No. Name

Name

Class.

No.

ミニメモマッピング



一番伝えたいこと

自分の考えや気持ちを伝えるための
・具体例 ・理由 ・エピソードなど

Name

Class.

No.

マンダラシート

一番伝えたいこと

自分の考えや気持ちを伝えるための
・具体例 ・理由 ・エピソードなど

小中連携・接続等を意識した 外国語授業や学校行事



「つながりタイム」

Let's Explore the Junior High School!

小学生が中学生と共に、中学校内のウォークラリーをし、中学校生活への期待をもてるようにします。

- 【目標】中学生は、小学校6年生が理解できるような英語を用いて指示やサポートをすることができる。
小学生は、中学生から出される指示を聞いて、それに対して英語や態度で答えることができる。

実施場所	中学校内教室	参加対象	小学校6年生、中学校2年生
実施時期	二学期後半から三学期前半	時間の目安	90分
準備物	中学校内のチェックポイント(9か所)の設定、チェックポイントの指示書、タイマー、児童用チェックリスト、グループ用名札 修了証書、振り返りカード		
チェックポイント例	①理科室:What's this? Quiz 動物、植物などに関するクイズ ②音楽室:Sing an English Song 好きな歌やアーティストについて伝え合い、小学校で習った英語の歌を歌う ③家庭科室:What's your favorite lunch? 中学校で人気のメニューから選んで理想の給食メニューを作る ④体育館:Let's exercise! 英語での指示に応じて身体を動かす ⑤パソコン室: This is my name. パソコンで、自分名前と好きなことをタイプする ⑥玄関:Club activities. 中学校の部活動の写真を示し、中学生の説明を聞き、参加したい部活を伝える ⑦多目的室:School trip. 中学校の修学旅行の写真を見せてもらい、中学生の話を聞き、体験してみたいことを伝える ⑧和室:Events in a year. カレンダーを見ながら、年中行事や学校行事の思い出を伝え合う ⑨職員室:School subjects and the teachers. 中学校の先生の写真とその先生についての説明を聞きながら、何の教科の先生かを想像し、クイズにこたえる ※ 学校の実情等に応じて作成ください		
事前準備例	1) 小学校では、参加児童を4〜5名のグループに分ける(チェックポイントの数よりグループが多くなりすぎないようにする) 2) 中学校では、生徒を (a)チェックポイントにて指示を出す役割(各チェックポイントに2〜3名)と (b) 児童のグループに同行し支援する役割(各グループに1〜2名)に分ける 3) 中学校内のチェックポイントの準備:生徒用スクリプト案、児童用の掲示物・教材、校内マップ(各グループ用に印刷)、 タイマー、カラーマーカー 4) グループ用名札(グループ名が書いているものを児童が胸に貼るようなもの)、児童用チェックリスト(各グループに1枚)、 修了証書(参加児童数)		
主な使用表現例	①What's this? Quiz	It's (形容詞). They are in (国・地域). It has (姿態の特長). Do you like it/them? Do you have it/them?	
	②Sing some English Song	I like (singer, song). Do you know (singer, song)? English song.	
	③What's your favorite lunch?	School lunch menu. Do you like (food)? I like/ don't like (food). It's (形容詞). Did you have (food) in elementary school lunch?	
	④Let's exercise!	Do you like sports? What sport do you like? Can you shoot the basketball? Do jump rope everyone together!	
	⑤This is my name.	Please type your name.-My name is (name). Please type what color you like.- I like (color). Please type what country you want to visit.-I want to visit (country).	
	⑥Club activities	We have (club activities). What do you like? - I like (drawing). I want to join (the art club). I am the member of (the soccer team). Do you like (soccer)?	
	⑦School trip	We went to (Kyoto). What did you do? We did (活動). How was (活動)? I want to visit (場所、施設など). I want to see/eat/do /buy (物事).	
	⑧Events in a year.	What did you do in (month)? We have Sports Day in September. What do you do in summer vacation? I enjoy music festival. It was (形容詞).	
	⑨School subjects and the teachers	This is (教師の名前). She is (形容詞). He can (できること). What subject do you like? She is a (教科) teacher.	
	※ 児童のために、チェックポイントには、必要な表現がわかるように、図や写真とともに示しておく		

Let's Explore the Junior High School!

小学生が中学生と共に、中学校内のウォークラリーをし、中学校生活への期待をもてるようにします。

時間	活動	詳細	準備物
10～ 15	導入～準備	・小学生は体育館に全員集合 ・小学生と中学生の対面～中学生からの挨拶 ・活動の流れの説明(担任教員等) ・グループに分かれて準備(自己紹介、どの順番でチェックポイントを回るかを話し合っておく)	・グループ用名札 ・チェックリスト ・校内マップ
		・チェックポイントの担当生徒は、スタンバイしておく。 ・必要な掲示物や教材を整えておく。	・各チェックポイントの教材 ・サイン用マーカー ・タイマー
65～ 70	Walk rally	・各グループは、担当の中学生のリードで、各チェックポイントを巡回する。順番は自由。他のグループと重ならないように動く。 ・チェックポイントでは、担当の中学生からの指令するタスクを行う。(英語で対話) ・1つのチェックポイントには、7分間までしかいられない。5分でタイマーをセットしておき、5分経ったら、活動を終了しはじめる。 ・タスクが完了できたら、チェックポイント担当の中学生が、児童のチェックリストにサインする。 ※ 小学校教員、中学校外国語科教員、ALTは、分担してチェックポイントに滞在し、必要に応じて子どもたちのへの支援をする。 ※ 特別に支援を必要とする児童がおられる場合は、そのグループには1名教師が随行する。	
10～ 15	まとめ	・全てのチェックポイントを回り終えたら、再度、体育館に集合する。 ・児童は振り返りカードにふりかえりを記入する。 - その間に、グループ担当の中学生は、児童用の修了証書に名前を記入する。 ・グループ担当の中学生から、グループの児童に修了証書を渡す。 ・最後に、振り返りのコメントをする。	・振り返りカード ・修了証書

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

中学校を探検しよう!



【目標】中学校でのウォークラリーで、中学生から出される英語での質問や指示に英語や態度で答えよう

1. 当てはまるところを ○ で囲みましょう。

チェックポイントでは、自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。



ウォークラリーを通して、中学校のことがよく分かりましたか。



2. 中学生と一緒に活動してどんなことがわかりましたか。

3. 中学生になったら、英語でどんなことができたらいいと思いますか。

北九州市のふるさと自慢をしよう①

本市の魅力や歴史・文化について、英語を使って話す活動をとおして、郷土への「愛着」や「誇り」をもてるようにします。

【目標】まちの魅力をもっと伝えられるようになるために、英語で北九州市ふるさとカルタに取り組むことができる。

取組時間の目安	45分
表現例	I got it. / I want to read. / Do you want to try? / I want to try. / Listen to me. / Let's count. How many? / I have five (数). / I like Kokura castle.
留意事項	英語で北九州市ふるさとカルタに取り組む前に、日頃から日本語でカルタで遊ぶ機会を設けるとよい。

流れ			準備物
導入	児童	1. カルタに関するHRTとALTの対話を聞いて、その内容を聞き取ります。 2. カルタのやり方の説明を聞いてから、机を班にし、カルタを机上に広げて準備をします。	北九州市ふるさとカルタ (グループに一つ準備する)
	HRT・ALT	1. カルタの中から、好きなものを選び、それについて簡単にやり取りをします。 ALTが北九州市について知っていることを話すなど、児童の興味・関心を引き出すようにします。 2. カルタについて、日本語でやり方を説明します。	北九州市ふるさとカルタ
展開	児童	方法① 1. 読まれた英語を聞いて、絵札を取ります。 2. 最後の4枚になったら、自分の絵札の数を数えます。	
	ALT	1. まず読まない4つの札を選んで除いておきます。 2. 英語でカルタの読み札を読みます(児童の様子を見ながら繰り返ししたり、読む速さを調節したりします)。	読み札の英訳シート
	児童	方法② 1. 読まれた英語を聞いて、絵札を取ります。 2. 最後の4枚になったら、自分の絵札の数を数えます。 ※ 読み手に立候補してもよい	
	ALT	1. まず読まない4つの札を選んで除いておきます。 2. 英語でカルタの読み札を読みます(児童の様子を見ながら繰り返ししたり、読む速さを調節したりします)。 3. 読み手を募ります。 4. 児童が読み札を読むのをサポートします。	読み札の英訳シート
	HRT	各グループを回って、必要な助言をします。	
まとめ	児童	カルタの感想や、これから紹介したい北九州市の場所やものなどについて発表します。	
	HRT	児童の発表を聞いて、次の活動の参考にします。	

導入でのやり取り例	
ALT:	I went to Mt. Sarakura last Sunday. I enjoyed the view from the top. It was so beautiful.
HRT:	Oh, that is good. Did you go there in daytime or at night?
ALT:	I went there in daytime.
HRT:	The view is beautiful at night, too.
ALT:	I see. I'll try next time.

北九州市のふるさと自慢をしよう②

本市の魅力や歴史・文化について、英語を使って話す活動をとおして、郷土への「愛着」や「誇り」をもてるようにします。

【目標】○年○組北九州市ふるさと自慢コンテストをするために、北九州市ふるさとカルタに出てきた場所やものなど、まちの自慢したい事柄について英語で話すことができる。

取組時間の目安	45分
表現	This is my city, Kitakyushu. / I like ○○. / ○○ is popular. / I live in ○○. / We have ○○. (6年生の教科書 You can do it! 「Me on the Map」を作って日本の紹介をしよう」で使った表現を想起させるのもよい)
留意事項	・本時の活動に取り組む前に、北九州市ふるさとカルタで北九州市の自慢の場所やものについて広く知るようにする。 ・ふるさと自慢をする相手は、ALTや他小学校の児童、地域の留学生など学校の実態に合わせて設定し、相手意識をもつようにする。

流れ				準備物
導入	児童	1. HRTとALTの対話を聞いて、北九州市ふるさとカルタのことを思い出したり、質問をしたりします。		
	HRT・ALT	1. カルタの中からいくつか好きな札を選んでおき、それについて互いに紹介し合う様子を児童に見せます。 2. 互いの紹介を聞いて、指導者どうして質問をし合ったり、児童からの質問を引き出したりします。		北九州市ふるさとカルタ
展開	児童	展開①	1. ふるさとカルタの中からそれぞれが好きな札を2～3枚選びます。 2. 選んだ札について英語でどんなふうに紹介したらよいか考えます。 3. ペアの児童と互いに紹介し合います。 4. 言いたかったけどうまく言えなかったことについて、どう言ったらよいか、学級の友だちやHRT、ALTと一緒に考えます。 5. もう一度ペアを変えて互いに紹介し合います。	北九州市ふるさとカルタ
	HRT・ALT		1. グループにひとつ北九州市ふるさとカルタを渡します。(またはGIGA端末を使って、ホームページ「北九州市ふるさとカルタ」から読み句の紹介)を開くよう伝えます) 2. ペア活動で児童が英語でうまく表現できなかったことについて中間指導を行います。 3. 必要に応じ、読み札の英語を参考にさせるなど、各グループをまわって、必要な助言をします。	
	児童	展開②	1. ペアの人に紹介した札の中から自分のお気に入りの1枚の札を選びます。 2. グループのパワーポイントを開き、順番を決めて紹介用のスライドを作成します。(写真やイラスト、簡単な単語などを一枚のスライドに入れる) 3. グループで互いにスライドを見て、アドバイスし合います。	GIGA端末
	HRT・ALT		各グループを回って、必要な助言をします。	人数分のシート(白紙)を入れたパワーポイントをグループ番号をつけてクラスのチームに置いておきます。
まとめ	児童	言えるようになったことや、紹介するために英語で言いたいことなどについて振り返ります。		
	ALT	今日の児童の活動についてのコメントと、次の時間を楽しみにしていることを伝えます。		
	HRT	次の時間の予告をします。		

北九州市のふるさと自慢をしよう③

本市の魅力や歴史・文化について、英語を使って話す活動をとおして、郷土への「愛着」や「誇り」をもてるようにします。

【目標】○年○組北九州市ふるさと自慢コンテストを行い、北九州市ふるさとカルタに出てくる場所や事柄、そのほかのまちの魅力を発見し、さらにまちに愛着をもつことができる。

取組時間の目安		45分
表現		This is my city, Kitakyushu. / I like ○○. / ○○ is popular. / I live in ○○. / We have ○○. (6年生の教科書 You can do it! 「Me on the Map」を作って日本の紹介をしよう」で使った表現を想起させるのもよい)
留意事項		・ふるさと自慢をする相手は、ALTや他小学校の児童、地域の留学生など学校の実態に合わせて設定し、相手意識をもつようにする。 ・ふるさと自慢をする相手から、「北九州市のことを知りたいな」というメッセージや、相手のふるさとの自慢などを動画等で準備しておく。
流れ		
導入	児童	1. ふるさと自慢をする相手からのメッセージを聞きます。 2. 教科書巻頭のいつも「たいせつ」(コミュニケーションのポイント)を確認します。 3. ウォームアップを兼ねてグループで練習を行います。
	HRT・ALT	1. メッセージを聞いたあと、児童の理解を確認するためにメッセージの内容について、英語や日本語で児童とやり取りを行います。 2. 発表を楽しみにしている気持ちや、あやまりを気にせずに発表してほしいことなど、心構えを伝えます。 3. 各グループを回って必要な助言をします。
展開	児童	1. 自分のグループの番になったら、前に出て発表をします。 2. 他のグループの発表を聞きながら、リアクションをしたり、質問をしたりします。
	HRT・ALT	1. 各グループの発表を聞きます。 2. グループのスライドをテレビ画面に表示するサポートをします。 3. 各グループ終了後に、内容について児童から質問を引き出したり、質問をします。
まとめ	児童	友だちの発表をきいて、内容や、英語についてよかったところや、次に使ってみたい英語や工夫したいことなどについて振り返ります。
	ALT	今日の児童の活動についてのコメントと、発表へのお礼を伝えます。
	HRT	頑張りを称賛したり、内容や英語のよかったところなどについて伝えます。

児童の発表例	
例	※ スライド資料を提示しながら 児童A Hello. We want to talk about Foods in Kitakyushu. We have many delicious foods. I like Kokura beef steak. Kokura beef steak is delicious. I want to eat it now! 児童B Next, I want to tell you about Kashiwa meshi. You can get Kashiwa meshi bento at Orio station. I want to eat udon, too.

北九州市ふるさとかるた 英訳例

1	青空に 優雅な姿 小倉城 Kokura Castle / Look! It's high / In the blue sky
2	異国への 夢も運んだ 長崎街道 Nagasaki Road / Dream to / Foreign Countries
3	うわ! すごい でっかい 恐竜 あえるまち Wow! Amazing! / Come and visit / Big dinosaurs
4	江戸めざし 白象が行く 常盤橋 Let's go to Edo! / A white elephant / On Tokiwa Bridge
5	鷗外の 往時を語る 小倉の日記 Kokura's / Old times / in Ogai's Diary
6	カルストの 羊群れなす 平尾台 Are they sheep? / No! They are rocks / Hiraodai
7	九州と 本州をつなぐ 夢の橋 A dream bridge / Between Kyushu / And Honshu
8	雲の峰 シュガーロードの 松並木 White clouds / Pine trees / on Sugar Road
9	健次郎への 金吾のオマージュ 松本邸 To Kenjiro / From Kingo / Matsumoto house
10	小文字の 迎え火ゆれて 盆の入り Komonji / Welcoming fire / Start of Bon
11	皿倉山に 百億ドルの 夜景あり Mount Sarakura / 10 billion dollars / night view
12	じんだ煮は ふるさと自慢の 祖母の味 Jindani / Local food / Granma's cooking
13	ステーキ すき焼き 小倉牛 Steak / Sukiyaki / Kokura Beef
14	清張の 足跡残す 小倉まち Seicho's steps / still here / in Kokura City
15	曽根干潟 生きてる化石 カブトガニ Sone higata / Living fossils / Kabutogani
16	樽太鼓 叩けや唄え 五平太ばやし Tarudaiko / hitting and singing / Goheita song
17	提灯で 五色に焦がす 戸畑の夜 With lanterns / Shine in five colors / Tobata at night

18	梅雨の雨 紫陽花濡らす 高塔山 Rainy season / wet hydrangeas / Mt. Takato
19	鉄の街 日本を支えた 溶鉱炉 Yahata Steel Town / the factory / makes Japan strong
20	殿様も ちょっといっふく 銀杏屋で It's break time! / Tonosama stops / at Ichouya
21	七色の 煙塗り替え 青一色 Seven color smoke / Now / One blue sky
22	人情が 旦過市場の かくし味 Human Feelings / The secret of / Tanga Market
23	ぬくもりを そっと解いて かしわめし Open the Kashiwa meshi / Look inside / It's so warm!
24	ねりあげる 最高潮の 黒崎祇園 Kurosaki Gion / a big parade / Lots of energy
25	農民の 命をつないだ 猿喰新田 Saruhami Rice Field / saved / Farmers
26	春の味 合馬のたけのこ 日本一 Best in spring! / Ouma's Bamboo shoots / Japan's No.1!
27	百万の汗が飛びちる 夏祭り Summer festival! / Let's sing and dance / together! Wasshoi!
28	古き佳き 時代とどめて 門司港駅 Remember / Old times at / Mojiko Station
29	部埼から 船人見守る 清虚さま From Cape Hesaki / watching over sailors / Monk Seikyo
30	僕たちの 元気を集め 向日葵咲く Sunflowers / open from / our energy
31	孫次郎 戸畑の空を ひとりじめ Fly high / in Tobata sky! / Magojidako!
32	水しぶき 化粧美人を 菅生（素顔）にし Splashing water / natural face / Sugao Falls
33	結ぶ五市 ひとつになって 北九州 Five cities / came together / now, it's Kitakyushu
34	メガネ橋 ダムを彩り 歴史を語る Megane Bridge / the symbol at / Kawachi Dam
35	「もったいない」 捨てずに再生 エコタウン Mottainai / Use everything! Don't throw! / Eco Town

36	焼うどん 小倉の味を 楽しもう Yakiudon! / Let's enjoy the taste / of Kokura
37	揺れる提灯 祇園太鼓の 歩き打ち Kokura Gion! / Many lanterns / Let's walk and hit drums
38	夜宮から 菖蒲が初夏の 香をとどけ From Yomiya / Japanese iris / Early Summer smell
39	落陽で 真っ紅に染まる 千畳敷 We say goodbye / to the sun / Senjoujiki turns red
40	凜とたつ 東田高炉 技の街 Higashida factory / it's tall / technology is here
41	流転の日 芙美子の思い出 海峡に Days of travel / Fumiko's memories / in the ocean
42	レトロとは 門司の港の ことなりと What is the Retro? / It's Mojiko Port!
43	櫓山荘 久女多佳子の 句碑いだき Hisajo and Takako's / Haiku statue / in Rozanso
44	若戸大橋 洞海湾を ひとまたぎ Wakato Bridge / Dokai Bay / one step
45	故郷と 河童を愛した 火野葦平 Hino Ashihei / loved his hometown and Kappa

Happy English Time!

月に1回程度、これまでに学習した英語を活用して、6年生が1年生に楽しい英語活動を実施します。

【目標】 6年生は、英語を用いた活動を自分たちで主導することで、英語への自信を持つようにする。
外国語学習への興味関心を高める

実施場所	1年生の教室	参加対象	小学校1年生、6年生
実施時期	1ヶ月に1回程度。朝や午後の時間。	時間の目安	5分～10分
概要	・これまでの外国語活動や外国語授業で学習した英語を活用し、6年生が1年生に対して英語での簡単な活動を提供する。 ・6年生は4～6人の班で、月に1回程度1年生の学級を訪問し活動する。 ・1年生の担任は、児童の支援をする。		
5分間の流れ	①Helloの挨拶から始め、6年生は一人ずつ「My name is****.」と自己紹介をする。 ②最初にHello Songから始める。 ③その日の活動をLet's Sing もしくは Let's Playから選んで始める。 ※ Let's Singの場合は、同じ歌を数回繰り返して行う。 ※ Let's SingとLet's playを両方行ってもよい。 (例:Let's Play「うごいてみよう!」→ Let's Sing “Head, shoulders, knees and toes”)		
Let's Sing	1. Hello Song 2. Ten Steps 3. Rainbow Song 4. Head, Shoulders, Knees and Toes 5. Five Little Monkeys ※ 以上の音源と歌詞は、「Ⅲ-9_英語大好きタイム_音源」参照 ※ 新しい歌を紹介する際は、最初に6年生がデモンストレーションをしてみせ、2回目から1年生と一緒に動くようにする。歌わせることを強要しない。		
Let's Play	1. Rock, Scissors, Paper (ジャンケンゲーム) ・最初に英語でのジャンケンのやり方 (Rock, scissors, paper, one, two, three) を6年生が実演し、学級全体で練習する。 ・1年生には、算数の数え棒を3本ずつ渡す。 ・活動を6年生同士でデモンストレーションする。“Hello.” “Hello” “Rock, scissors, paper, one, two, three” ジャンケンで負けた方は、勝った方に自分の数え棒を1本渡す。もらった方は“Thank you.”と言う。続けて学級内を歩いて、相手を見つけ、同じようにする。 2. Color Touch Game (色をさがそう) ・red, yellow, blue, green, blackの5色を、色紙などを用いて6年生が紹介する。 ・6年生が「red!」などと言い、1年生が学級内でその色をさがしてタッチする。 3. うごいてみよう! ・stand up, sit down, walk, jump, stop の動作の単語と動きを6年生がデモンストレーションし、1年生が見て真似をする。 ・6年生が次々に英語で動作の指示を言い、1年生は、言われた動作を即座に行う。 ※ TPRは、聞いて動くことが目的なので、1年生は、特に英語を発話する必要はない。 4. Simon Says (サイモンの命令) ・「Simon says, stand up!」と言われたら、立つ。「Simon says」と言われず、単に「Stand up」だけであれば、動いてはいけないというルール。 ・これを1年生に分かるように6年生が実演してみる。 ・全員起立して行い、間違えた児童は1回休みになるので着席する。 5. Alphabet Relay(アルファベット伝言ゲーム) ・最前列の1年生に、6年生がアルファベットを1つ教え、1年生は、後ろの児童に次々に伝言していく。最後尾の児童は、前に出てきて6年生にそのアルファベットを言う。 ・その児童は、最前列に着き、順に後ろに移動し、同様に進める。		



一資料編一



「クラスルームイングリッシュ」

クラスルーム・イングリッシュ

クラスルーム・イングリッシュは、外国語活動・外国語科における「英語授業の雰囲気づくり」として大変有用です。児童と教員と一緒に外国語の表現を楽しみながら、コミュニケーションの幅を広げていきましょう。

新出の表現を用いるときは、何度か聞かせるとともに、動作や絵、場合によっては日本語を効果的に活用して、教員の意図が全ての児童に伝わるように工夫します。

1) 授業のはじまり (Starting Class)

1	おはようございます。／こんにちは。	Good morning. / Hello. / Good afternoon.
2	今日は何曜日ですか？ — 金曜日です。	What day is it today? — It's Friday.
3	今日の天気はどうですか？ — 晴れです。	How's the weather? — It's sunny.
4	英語の時間です。	It's time for English class.
5	今日の目標です。	This is today's goal.
6	始めましょう。	Let's begin. / Shall we begin?

2) 活動中 (Activities)

7	立ちましょう。 / 座りましょう。	Stand up. / Sit down. (,please)
8	席に戻りましょう。	Go back to your seat. (,please)
9	準備はいいですか？	Are you ready?
10	歌いましょう。	Let's sing.
11	並びましょう。	Line up. (,please)
12	ペアになりましょう。	Make pairs. / Get into pairs. (,please)
13	相手を変えましょう。	Change partners. (,please)
14	やりたい人はいますか？	Any volunteers?

3) ほめる表現 (Praising)

15	正解です。	That's right.
16	よくできました。	Good! / Great! / Good job! / Well done!
17	いいアイデアですね。	Good idea!
18	素晴らしい! いいね!	Wonderful! / Excellent! / Marvelous! / Fantastic! / Super! / Perfect!
19	おめでとう。	Congratulations!
20	よくなってきたね。	You're getting better.
21	(彼／彼女)に拍手しましょう。	Let's give [him/her] a big hand.
22	手伝ってくれてありがとう。	Thank you for your help.

クラスルームイングリッシュ

4) 励ます表現 (Encouraging)

23	あきらめないで。	Don't give up.
24	心配しないで。	Don't worry.
25	間違えても大丈夫ですよ。	It's OK to make mistakes.
26	よくがんばったね。	Nice try! / Good try!
27	惜しい!	Close! / Almost!
28	もう一度やってみましょう。	Try it again.
29	始めからもう一度やってください。	Once more. / One more time, please
30	がんばって。	Good luck! / Do your best.
31	その調子。	Keep it up.
32	落ち着いて。	Take it easy. / Relax.
33	君ならできるよ。	You can do it.

5) 活動/授業の終わり (Ending Activities/Class)

34	時間です。 / 終わります。	Times's up. / We're finished.
35	やめなさい。	Stop now.
36	終わったら、座りましょう。	When you're finished, sit down. (,please)
37	鉛筆を置きましょう。	Put your pencil down. (,please)
38	今日の授業の振り返りをしましょう。	Let's review today's class.
39	振り返りカードを出して下さい。	Take out your reflection sheet / furikaeri card.
40	今日の授業は楽しかったですか?	Did you enjoy today's class?
41	気を付けて。	Take care.
42	また月曜日に / 来週 / 次回会いましょう。	See you on Monday / next week / next time.
43	良い週末を。	Have a nice weekend.



■ 外国語教育特化型小中一貫教育事業（北九州市型外国語教育）検討
ワーキンググループ名簿

令和6年3月現在

学校関係	小倉中央小学校	校 長	緒方 真奈美
	戸ノ上中学校	校 長	寺田 政幸
	志井小学校	校 長	山崎 千歳
	企救丘小学校	校 長	花田 桂子
	尾倉中学校	校 長	高宮 滋
	医生丘小学校	教 頭	山田 百合子
	ひびきの小学校	教 頭	小倉 万利子
	洞北中学校	主幹教諭	波多野 皓一
	企救丘小学校	指導教諭	福田 峻也
	光貞小学校	教 諭	北野 真紀
教育委員会	教 職 員 課	課 長	岩松 恵美
	授業づくり支援企画課	課 長	臼木 祐子
	教育センター	指導主事	島田 みゆき
アドバイザー	国立大学法人長崎大学	理事（教学担当）	中村 典生
事 務 局	学校教育課	課 長	松山 修司
		指導主事	新郷 久恵
		指導主事	高城 直子

■ 北九州市版外国語教育ハンドブック

初 版 令和6年3月29日
編集・発行 北九州市教育委員会学校教育課
制 作 株式会社インタラック西日本

■ 協力・写真提供
到津の森公園 、北九州市にぎわいづくり懇話会